

オーナーズマニュアル

Manuel d'utilisation et entretien

SUPERBIKE

1199 PANIGALE S

1199 PANIGALE S ABS



SUPERBIKE

1199 PANIGALE S

1199 PANIGALE S ABS

オーナーズマニュアル

この度はDucati 製品をお買い上げ頂きありがとうございます。貴方をドゥカティストの仲間としてお迎えできるのは、私達にとって何よりの喜びです。この新しいバイクでは日常的に利用されるだけでなく、ロングツーリングも楽しまれることと思います。Ducati Motor Holding S.p.A. は、そのライディングが常に快適で楽しいものであるよう願っています。私達は、常にアフターサービスの改善に努めていますが、その努力の一環として、お客様にこのマニュアルに記載された正しい使用方法、特に慣らし運転の項を遵守していただけますようお願い致します。そうすることにより、Ducati はあなたの要求にいつでも応え、最高のライディングがいつも楽しめることでしょう。

修理作業や適切なアドバイスが必要な場合は、Ducati オフィシャルディーラーにご連絡下さい。誰よりもDucati を熟知したエキスパート達が、いつも万全の体制でお客様のご要望にお応え致します。

楽しいライディングを！



参考

Ducati モーターホールディング社は、本マニュアルの編集過程での誤りに対し、いかなる責任も負うものではありません。ここに記載された情報は、印刷時点において最新のものです。Ducati モーターホールディング社は、製品を改良、発展させていくために必要とされる、あらゆる変更を行う権利を保有します。安全のため、そして保証を有効にするため、またDucati モーターサイクルの信頼性、価値を保証するため、Ducati オリジナルパーツのみをご使用下さい。



重要

本マニュアルの全て又は一部を複製又は流布することは禁止されています。あらゆる権利は Ducati モーターホールディング社に帰属しており、理由を明記したうえで（書面による）許可の申請をしなければなりません。



警告

本マニュアルは車両の一部とみなされ、車両を売却する際には、常に新しい所有者に渡さなければなりません。

目次

はじめに	8
保証について	8
シンボルマーク	9
安全運転のための注意事項	10
最大積載時の運転	13
危険物 - 注意事項	14
識別データ	16
インストルメントパネル (ダッシュボード)	17
本マニュアルで使用されている頭字語及び略語	20
技術用語	20
機能ボタン	24
パラメータ設定 / 表示	25
メイン機能	32
ライディングモード (Riding Mode)	39
DTC	43
EBC	49

DQS	53
メニュー1の機能	57
メニュー1の機能: オドメーター (TOT)	58
メニュー1の機能: トリップメーター 1 (TRIP 1)	60
メニュー1の機能: トリップメーター 2 (TRIP 2)	62
メニュー1の機能: 燃料リザーブトリップメーター (TRIP FUEL)	64
メニュー1の機能: ラップタイム (LAP time)	66
メニュー2の機能	69
メニュー2の機能: エンジンクーラント温度	70
メニュー2の機能: 瞬間燃費	72
メニュー2の機能: 平均燃費	73
メニュー2の機能: 平均スピード	74
メニュー2の機能: 走行時間	75
メニュー2の機能: 外気温	76
サブ機能	77
時計 (CLOCK)	77
メンテナンス表示 (SERVICE)	78
OIL SERVICE ゼロ表示	78
OIL SERVICE 又は DESMO SERVICE 表示	80
警告 / アラーム	81
エラー表示	85
エラー表示の説明	86
サイドスタンドステータスの表示	90
設定メニュー	91
ライディングモード のパーソナライズ (Riding Mode)	94

ライディングモードのパーソナライズ：ABSの調整 (ABSバージョン)	98
ライディングモードのパーソナライズ：エレクトロ ニックサスペンションの調整	101
ライディングモードのパーソナライズ：ディスプレ イの設定	106
ライディングモードのパーソナライズ：DQSの起動 /解除	108
ライディングモードのパーソナライズ：DTCレベル の設定	110
ライディングモードのパーソナライズ：エンジンの 調整	112
ライディングモードのパーソナライズ：EBCレベル の設定	116
ライディングモードのパーソナライズ：デフォルト 設定の回復	118
エンジン回転数のデジタル表示 (RPM)	119
バッテリー電圧	120
DDA	122
Pin Code	126
PIN CODEの変更	129
時計の調整	133
日付の調整	136
ディスプレイの背景の調整	139
LAP	141
単位の設定	147
その他の機能	154
赤外線フィニッシュライン	160

ディスプレイの背景色	161
ランプコントロール	162
イモビライザーシステム	165
キー	165
作業	165
キーの複製	166
PIN CODEによる車両ブロックの解除	166

運転時に必要なコマンド 169

コマンド類の配置	169
イグニッションスイッチ / ステアリングロック	170
左側スイッチ	171
クラッチレバー	172
右側スイッチ	173
スロットルグリップ	174
フロントブレーキレバー	174
リアブレーキコントロールペダル	175
ギアチェンジペダル	175
ギアチェンジペダルとリアブレーキペダルの配置調 整	176

主要構成部品 / 装備 178

車両上の配置	178
燃料フィルタープラグ	179
シートロック	180
サイドスタンド	181
ステアリングダンパー	182

フロントフォーク調整	183
リアショックアブソーバー調節	184
車高の調整	185

運転のしかた 186

慣らし運転の方法	186
走行前の点検事項	188
エンジンの始動	190
車両の発進	192
ブレーキ操作	193
車両の停止	196
パーキング	196
燃料の補給	197
付属アクセサリー	198

主な整備作業とメンテナンス 199

装飾部品の取り外し	199
サイドフェアリング	199
エアフィルターの交換	200
クーラントレベルの点検および補充	201
ブレーキ / クラッチフルードレベルの点検	203
ブレーキパッドの摩耗点検	205
バッテリーの充電	206
バッテリー充電および冬季の断熱	209
トランスミッションチェーン張力の点検	211
チェーンの潤滑	212

ハイ / ロービーム電球の交換	213
リアターンインジケーター	214
ヘッドランプの光軸調整	215
リアビューミラーの調整	217
チューブレスタイヤ	218
エンジンオイルレベルの点検	220
スパークプラグの清掃と交換	221
車両の清掃	222
長期間の保管	223
重要注意事項	223

メンテナンスプログラム 224

メンテナンスプログラム：ディーラーで行うメンテナンス	224
メンテナンスプログラム：お客様が行うメンテナンス	228

テクニカルデータ 229

全体寸法 (mm)	229
重量	229
エンジン	231
タイミングシステム	231
性能データ	232
スパークプラグ	232
燃料供給	232
ブレーキ	233

トランスミッション	234
フレーム	235
ホイール	235
タイヤ	235
サスペンション	235
エキゾーストシステム	236
カラーバリエーション	236
エレクトリカルシステム	236

定期点検メモ	243
--------	-----

はじめに

保証について

あなた自身のため、また製品の信頼性を保証するために、特に専門的技術が要求される整備作業は、Ducati オフィシャルディーラー又はサービスセンターにご依頼頂くよう強くお勧めします。

Ducati オフィシャルディーラーの熟練したスタッフが、どのような整備作業にも対応できる適切な器具と、完璧な互換性、円滑な作動、ロングライフを保証する Ducati オリジナルパーツのみを使用し、最善のサービスを提供致します。

全てのDucati モーターサイクルには保証書が付属しています。

競技に使用した車両や、十分なメンテナンスが行われていない車両は保証の対象外となります。
また保証期間中に、車両の一部あれ、Ducati オリジナルパーツ以外の部品と交換、改造、変更したりした場合、保証は適用されません。

重要

慣らし運転期間は、当マニュアルで指定された点検、整備を必ず受けて下さい。順守されなかった結果、エンジンの損傷、および寿命の短縮などについて、Ducati モーターホールディング社はいかなる責任も負いません。

慣らし運転の方法を守ることでエンジンの寿命を延ばし、調整、オーバーホールの回数を抑えることができます。

警告

この車両にはエタノール含量が 10% 以下の燃料 (E10) のみ使用することができます。エタノール含量が 10% 以上のガソリンを使用することは禁止されています。この燃料を使用すると車両のエンジン及び部品に重大な損傷をきたす恐れがあります。エタノール含量が 10% 以上のガソリンを使用すると保証の対象外になります。

シンボルマーク

Ducati Motor Holding S.p.A. このバイクについてより良く理解するため、当マニュアルをよくお読み下さい。

車両について、不明な点、さらに詳しくお知りになりたい点がある場合は、ご購入先のオフィシャルディーラーにお問い合わせ下さい。

当マニュアルに記載された情報は、あなたの走行にきっと役立つことでしょう。Ducati モーターホールディング社は、快適で楽しい走行を願いつつ、長期にわたってあなたの車両性能が保たれるようお手伝いしていきたいと思っております。

本マニュアルには注意事項として、下記のシンボルマークが使用されています：



警告

この説明を遵守しなかった場合、重度の負傷および死亡に至る危険性があります。



重要

車両や車両構成部品に損傷を与える可能性があります。



参考

作業上の追加注意事項。
文中の「右」、「左」の表記は乗車位置から見た位置です。

安全運転のための注意事項



警告

運転を開始する前によく読んで下さい。

多くの事故は経験不足のために起こります。無免許では運転しないでください。また、免許証は適した車種および有効期限内のものがが必要です。あなたの車両を未経験者および有効免許証を持っていないライダーに貸さないで下さい。



重要

ライダー、パッセンジャー共に常に適した服装、およびヘルメットを着用する義務があります。アクセサリなどが視界を制限したり、操作の妨げになることのない適切なライディングウエアを着用して下さい。



警告

屋内では絶対にエンジンを始動したり、作動させたりしないで下さい。排気ガスは有毒ですので、短時間で意識を失ったり、さらには死に至る危険性があります。



重要

ライダー、パッセンジャー共に、走行中は足をフットレストに乗せておいて下さい。



重要

急な方向変更や路面状態の違いに対応できるよう、ライダーは常に両手でハンドルを保持し、パッセンジャーはパッセンジャーシートにあるハンドルを常に持っていないければなりません。



警告

起動前点検（188 ページ参照）を行わないと、車体に損傷を与え、ライダー及びパッセンジャーに重大な傷害を負わせる可能性があります。



重要

走行地域の道路交通法、法律等を遵守して下さい。常に指示された速度制限を厳守するとともに、視界や道路条件、混雑の割合に合わせて、常に速度を調整して下さい。



重要

車線を変更する時や曲がる時には、常に適切にターンインジケーターを使用し、早めに合図を出して下さい。



重要

良好な視界を保ち、前方車両の“死角”に入らないよう走行して下さい。



重要

交差点や私有地の出口に近い場所、駐車場、高速道路への進入路等を走行する際は十分に注意して下さい。



警告

給油の際は常にエンジンを停止し、エンジンやエキゾーストパイプにガソリンがこぼれないよう注意して下さい。



警告

給油時には絶対に喫煙しないで下さい。



警告

給油の際に、人体に有毒な気化ガソリンを吸い込む可能性があります。万一ガソリンが皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに石鹸と水で洗浄し、衣服を着替えて下さい。



重要

車両から離れるときには、必ずキーを抜いて下さい。



重要

このキーを長時間Pの位置にしておくと、バッテリー切れの原因になります。監視できない場所に停車するときは、キーを付けたままにしないで下さい。



警告

エンジン、エキゾーストパイプ、サイレンサーは、エンジン停止後も長時間高温を帯びています。



警告

エンジン停止後でもエキゾーストユニットは高温の場合があるので、手を触れないよう充分注意し、車両を木材、木の葉などの可燃物のそばに駐車しないようにして下さい。

重要

車両は人や物がぶつからないような場所にサイドスタンドを使用して停車して下さい。

車両が倒れる可能性があるので平面でないところや柔らかい地面には絶対に停車しないで下さい。

重要

タイヤを定期的に点検します。特に側面に傷やヒビがないか、突起、広範囲のシミ、内部の損傷を表すような箇所がないかを注意深く目視点検して下さい。損傷が著しい場合はタイヤを交換して下さい。トレッドに入り込んだ石や異物は取り除いて下さい。

最大積載時の運転

このバイクは最大積載時でも長距離を安全に走行できるように設計されています。

重量をバランス良く配分することは、通常の安全走行に必要な注意事項です。凸凹な道を走行したり、急な進路変更を必要とする際のトラブルを避けるために非常に重要です。



警告

車両許容重量を超えることのないよう、以下の積載容量に注意すること。

積載容量について

走行時の車両総重量はライダー、パッセンジャー、荷物、オプションパーツの重量の合計で 370kg です。



重要

積み荷は車両の中心に近く、できる限り低い位置に配置するよう努めて下さい。



重要

車両が不安定になりますので、ステアリングヘッドやフロントマッドガード部に、体積や重量のかさむものを固定しないで下さい。



重要

バッグなどの荷物は車体にしっかり固定してください。確実に固定されていない場合、運転が不安定になる危険があります。



重要

車両の可動部分の妨げになる恐れがありますのでフレームのすき間に絶対に物を挟まないで下さい。



警告

タイヤが、218 ページに定められた規定空気圧内の良いコンディションであることを確かめて下さい。

危険物 - 注意事項

使用済みエンジンオイル



警告
使用済みエンジンオイルは長期間にわたり繰り返し表皮に触れると、上皮がんの原因になることがあります。日常的に使用済みエンジンオイルを取り扱う場合には、使用後速やかに手を水と石鹸で入念に洗ってください。子供の手の届かない場所に保管してください。

ブレーキダスト

ブレーキユニットを清掃する際、圧縮空気のジェットやドライブラシは絶対に使用しないでください。



警告
アスベストを吸い込むと呼吸器疾患やがんの原因になります。

ブレーキフルード



警告
車両のプラスチック、ゴム製部品又は塗装部品にブレーキフルードがかかるとその部品の損傷の原因になることがあります。ブレーキシステムのメンテナンスを始める前に、これらの部品に清潔な布をかぶせてください。子供の手の届かない場所に保管してください。



警告
ブレーキフルードは腐食性です。誤って目や皮膚に付いた場合は、大量の流水で洗浄して下さい。

クーラント

特定の条件下ではエンジンクーラントに含まれるエチレングリコールが発火し、その炎は目に見えません。エチレングリコールが発火するとその炎は目に見えず、重大なやけどの原因になることがあります。



警告
エンジンクーラントをエキゾーストシステムやエンジン部品にかけないようにしてください。これらの部位は高温のためクーラントを発火させる危険があり、見えない炎で焦げてしまいます。

クーラント（エチレングリコール）は皮膚の炎症の原因になることがあります、飲み込むと有毒です。子供の手の届かない場所に保管してください。

エンジンがまだ熱いときにはラジエーターのキャップを取り外さないでください。クーラントは圧力がかかっており、やけどの原因になることがあります。

クーリングファンは自動的に作動するので手や衣服を近付けないでください。

バッテリー



警告

バッテリーは爆発性ガスを発生させます。火花、炎、タバコを近付けないでください。バッテリー充電を行う場所の換気が適切であることが確認してください。

識別データ

すべての Ducati モーターサイクルはフレームナンバー（図1）とエンジンナンバー（図2）の2種類の番号で識別します。

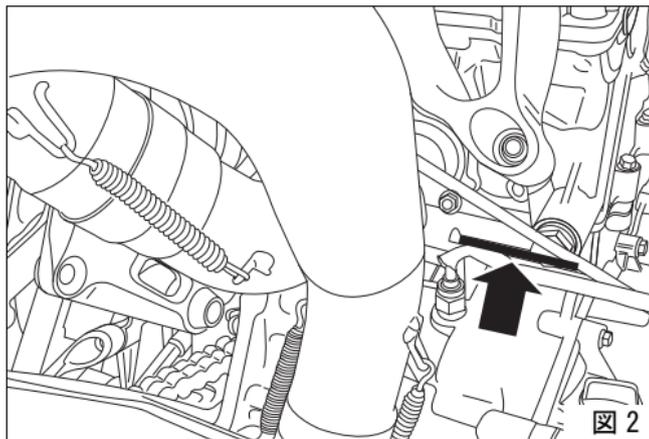
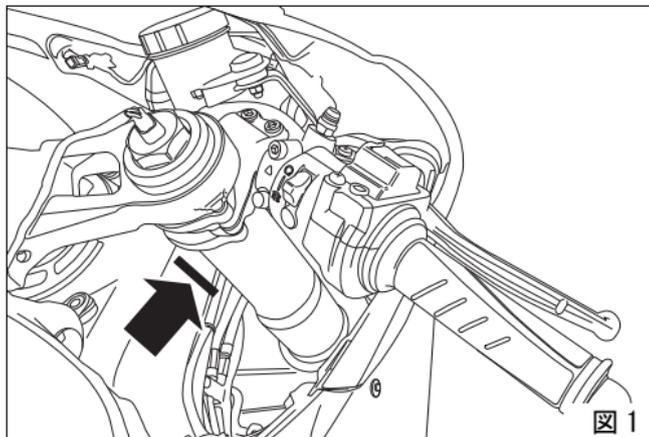
フレーム N.

エンジン N.



参考

これらの番号は車両モデルを識別するもので、部品を注文する際にも必要です。



インストルメントパネル (ダッシュボード)

- 1) ディスプレイ。
- 2) ニュートラルランプ N (緑)。
ギアポジションがニュートラルの時に点灯します。
- 3) ハイビーム表示灯  (青)。
ハイビーム点灯時及びフラッシュ起動時に表示します。
- 4) エンジンオイル圧警告灯  (赤)。
エンジンオイルのプレッシャーが低すぎる時に点灯します。“Key-on”の状態が必要ですが、エンジン起動後、数秒の停止が必要です。
エンジン温度が高い時に、場合によって数秒間点灯することがありますが、回転数が上がると消灯します。



重要

エンジンに重度の破損をもたらす恐れがあるので、このランプ (4) が点灯続けている場合は、車両を使用しないで下さい。

- 5) リザーブ燃料警告灯  (琥珀色)。
燃料レベルがリザーブ状態になると点灯します。この際、燃料残量は約 5 リットルです。
- 6) ターンインジケータ表示灯  (緑)。
ターンインジケータを ON にすると点滅します。
- 7) “エンジン/車両診断 - EOB” ランプ  (琥珀色)。

エンジンや車両にエラーがあると点灯しますが、場合によっては、エンジンブロックにつながることもあります。

- 8) 一般警告灯 (赤) (図 3) :

警告灯 (8a) は回転数が第一リミッター値に達すると点灯します。

警告灯 (8b) は回転数が第二リミッター値に達すると点灯します。

警告灯 (8c) は回転数が第三リミッター値に達すると点灯します。

9) ABSランプ (ABS) (琥珀色)、ABSバージョン用 (図3)。
ABS 停止もしくはエラー時に点灯します。

エンジン停止 / 走行速度 5 km/h 以下		
ランプ OFF	点滅	点灯
-	メニューの "ABS" 機能を使って ABS が解除されている	ABSは起動しているがまだ作動していない
エンジン起動 / 走行速度 5 km/h 以下		
ランプ OFF	点滅	点灯
-	メニューの "ABS" 機能を使って ABS が解除されている	ABSは起動しているがまだ作動していない
エンジン起動 / 走行速度 5 km/h 以上		
ランプ OFF	点滅	点灯
ABS 機能は起動中	メニューの "ABS" 機能を使って ABS が解除されている	問題発生のため、ABS は解除され作動していない

10) DTC 干渉 (琥珀色) (図3) :

DTC	
干渉なし	ランプ OFF
アドバンサーなし	ランプ ON 固定
インジェクションなし	ランプ ON 固定

11) OVER REV/ イモビライザー抑止 / 盗難防止 (赤) (図3) :

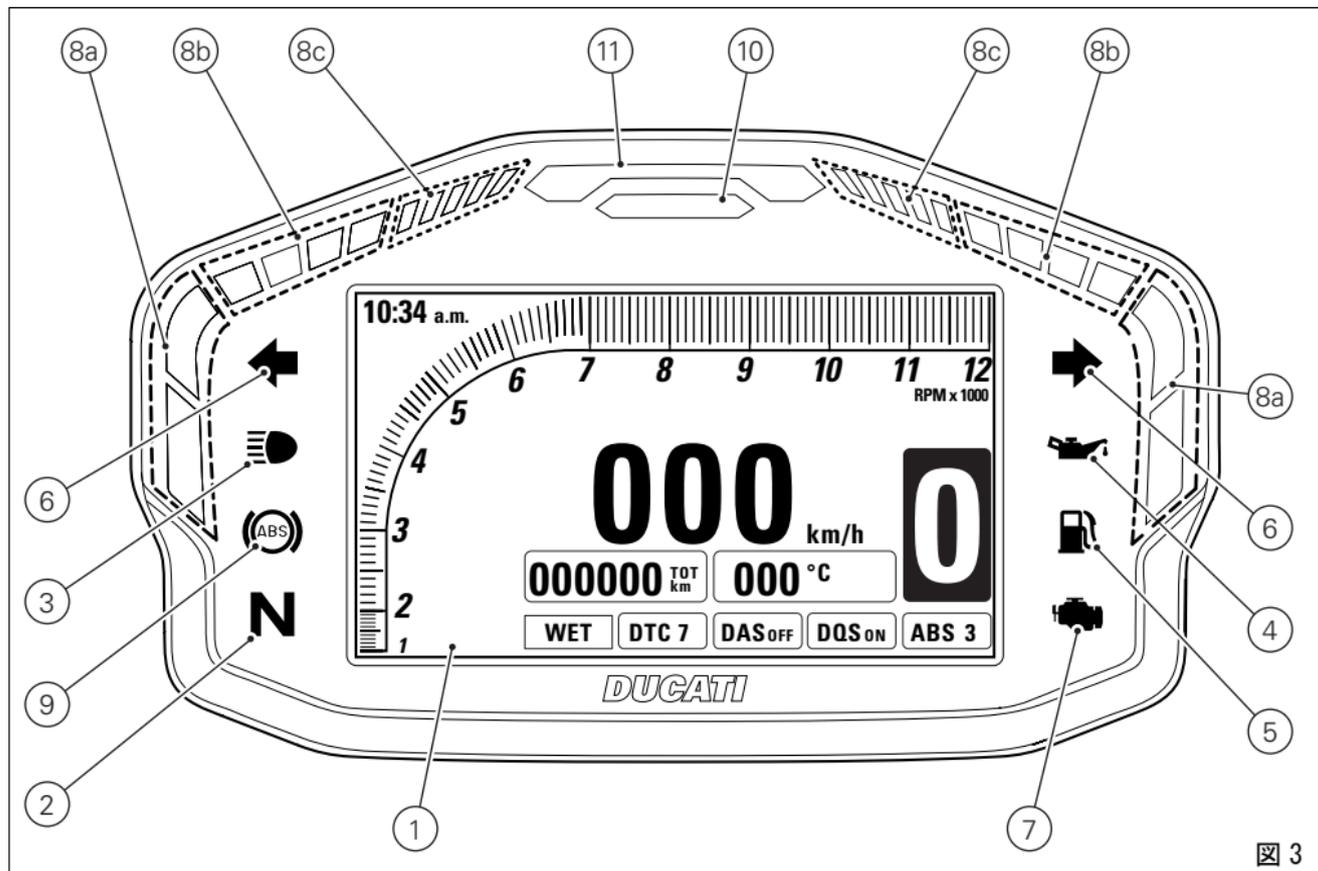
Over rev	
干渉なし	ランプ OFF
第一リミッター値 (N リミッターの前の RPM)	ランプ ON 固定
リミッター	ランプ ON 点滅



参考

それぞれのエンジンコントロールユニットの較正は、リミッター値とリミッター自体により異なる設定になる場合があります。

イモビライザー	
車両 key-on	ランプ OFF
車両 key-on	ランプ ON 点滅
12 時間以上車両 key-off	ランプ OFF



本マニュアルで使用されている頭字語及び略語

ABS

アンチロックブレーキシステム

BBS

ブラックボックスシステム

CAN

コントローラーエリアネットワーク

DDA

ドゥカティデータアナライザー

DES

ドゥカティエレクトロニックサスペンション

DSB

インストルメントパネル

DTC

ドゥカティトラクションコントロール

DQS

ドゥカティクイックシフト

EBC

ドゥカティエンジnbrakeコントロール

ECU

エンジンコントロールユニット

E-Lock

エレクトロニックメインスイッチセット

GPS

グローバルポジショニングシステム

UP-MAP

マップ / キャリブレーションアップデータ

技術用語

エンジnbrakeコントロール (EBC)

エンジnbrake調整システム (EBC) はアンチホッピングクラッチと連動して機能し、急激なシャフトダウンの際のリアホイールのブロックを防止します。システムがホイールのスリップを検知すると、エンジン制御装置に信号を送り、リアホイールのスピードが車両スピードと同じになるよう回転数を若干増加させます。

3 レベルのオペレーションシステムが装備され、EBC は3つのライディングモードに組み込まれています。

ライディングモード

1199 Panigale ではライダーは3つの初期設定(ライディングモード)からドライビングスタイルや道路の状態に最も合っているものを選択することができます。ライディングモードでエンジン出力(パワーモード)、ABS 干渉レベル(搭載機種)、DTC、DQS、EBC、インストルメントパネルの表示、Sバージョンではサスペンションの設定(DES)を瞬時に変更することができます。

1199 Panigale で使用できる設定は、Race、Sport、Wet です。ライダーはそれぞれのライディングモードの初期設定を自由に変更することができます。

パワーモード

パワーモードはライダーが出力レベルと排気モードをライディングモードと道路の状態に合わせて最も合っているものを選択できるエンジンマッピングです。1199 Panigale には3つのパワーモードがあります。それぞれライディングモードと連動します。

120 CV、低出力

195 CV、低出力

195 CV、瞬間出力

ライドバイワイヤ (RbW)

ライドバイワイヤシステムは燃料供給スロットル開閉の電子制御装置です。ガスグリップとスロットルボディが機械的に接続されていなくても、スロットルの開度に作用し、エンジン ECU が出力を調整できるようにするものです。

ライドバイワイヤは選択したライディングモードに合わせて出力と排出量を変更(パワーモード)し、エンジンブレーキ(EBC)をタイムリーに管理することができます。リアホイールのスリップを制御します(DTC)。

ドゥカティエレクトロニックサスペンション (DES)

Öhlins のドゥカティエレクトロニックサスペンションシステムは、油圧ブレーキのリバウンド及びコンプレッションダンピングを自動的に調整します。これは、選択したライディングモードに合わせてサスペンションのセットアップを変更したり、ライダーが自身のドライビングスタイルに合わせてパーソナライズすることができます。

ドゥカティトラクションコントロール (DTC)

ドゥカティトラクションコントロール (DTC) はリアホイールのスリップ制御を行い、8つの干渉レベルを基に機能します。それぞれリアホイールのスリップに対し異なる許容値がプログラムされています。それぞれのライディングモードにはあらかじめ設定された干渉レベルが割り当てられています。

レベル 8 はごくわずかなスリップを検知しただけでシステムが作動し、一方、熟練ライダー向けのレベル 1 は許容値が高いのが特徴で、システムの干渉が最小限に抑えられます。

アンチロックブレーキシステム (ABS) 9ME

1199 Panigale に搭載されている ABS 9ME はデュアルチャンネルの次世代システムで、リアホイールのリフティングを制御することでインテグラルブレーキを行い、停止距離を短くするだけでなく、ブレーキ動作における高い安定性を確保します。ABS 9ME は主にスポーツドライブ用に設定されており、3つの干渉レベルがあり、それぞれのライディングモードと連動しています。RACE モードではシステムはフロントディスクにのみ作用し、サーキットにおいてさらに高いパフォーマンスを保証します。

エンジンプレーキコントロール (EBC)

エンジンプレーキ調整システム (EBC) はアンチホッピングクラッチと連動して機能し、急激なシャフトダウンの際のリアホイールのブロックを防止します。システムがホイールのスリップを検知すると、エンジン制御装置に信号を送り、リアホイールのスピードが車両スピードと同じになるよう回転数を若干増加させます。

3レベルのオペレーションシステムが装備され、EBC は3つのライディングモードに組み込まれています。

ドゥカティクイックシフト (DQS)

ドゥカティクイックシフト (DQS) はレースにおけるギア電子制御システムで、ガスオープンのままクラッチを使用せずに加速中にギアを挿入することができます。これにより100分の1秒も無駄にせずラップタイムを短くすることが可能になります。

ドウカティデータアナライザー (DDA+)

DDA+ はドウカティデータアナライザーの最新モデルで、GPS 信号を読み取り“バーチャルフィニッシュライン”を作成します。システムはライダーの操作なしに自動的にラップの終了を検知し、ストップウォッチ測定を中断します。GPS 信号を使用することでサーキットのマップ上に軌跡及びスロットル開度、スピード、エンジン速度、ギア、エンジン温度、DTC 干渉といった車両のメインパラメーターを表示することができます。

機能ボタン

- 1) コントロールボタン (図4) UP"▲"
インストルメントパネル"▲"上の設定および表示に使用するボタン。
- 2) コントロールボタン (図4) DOWN"▼"
インストルメントパネル"▼"上の設定および表示に使用するボタン。
- 3) フラッシャーランプボタン (図4)
フラッシャーランプ機能ボタンは LAP 機能に使用する場合もあります。
- 4) ターンインジケータ解除ボタン (図4) メニュー決定ボタン

このボタンは通常ターンインジケータの解除機能に使用しますが、メニュー決定、ライディングモードの選択にも使用します。

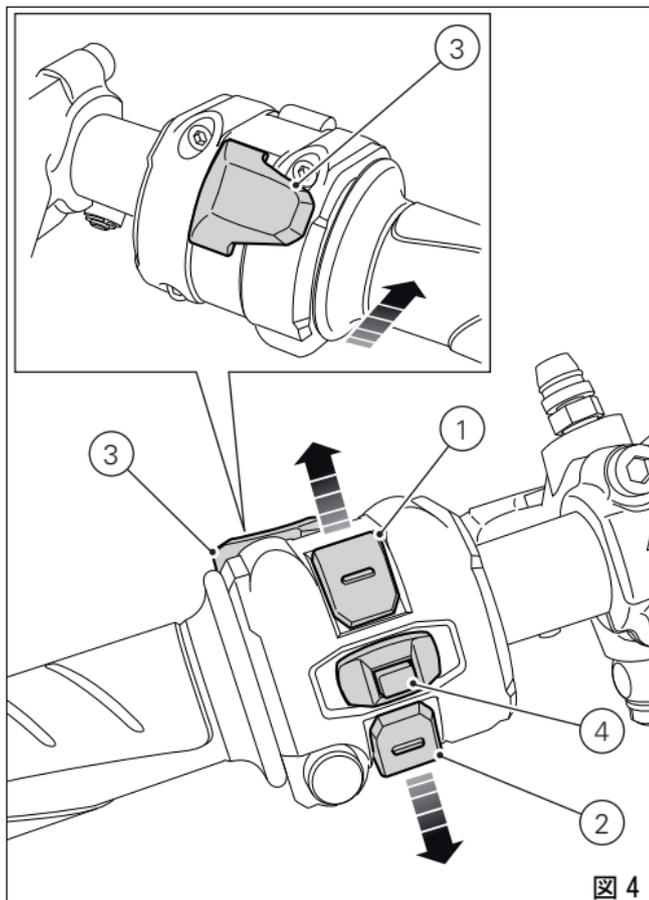
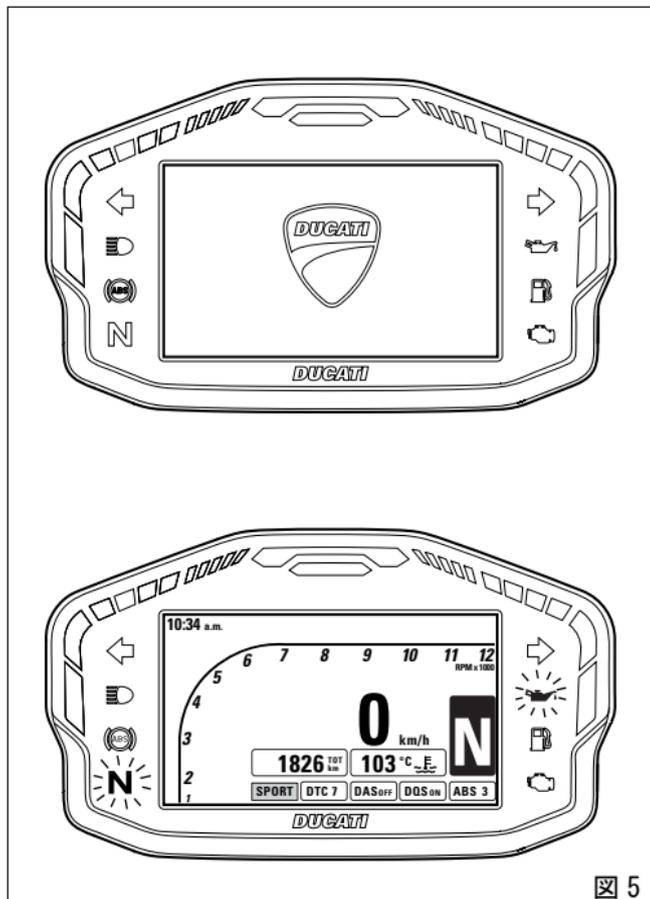


図 4

パラメータ設定 / 表示

車両を起動するとインストルメントパネルはディスプレイに DUCATI のロゴを表示し、LED の明るいランプ（“初期点検”）が 2 回点灯します。

点検後、インストルメントは ROAD 又は TRACK のメインスクリーンを表示します（key-off 前に使用した設定による）。



車両が Performance 仕様の場合、すなわち Performance エキゾーストキット（部品番号 96450211B） - Performance サイレンサーキット（部品番号 96450311B）が搭載されている場合、車両起動時にインストルメントパネルは DUCATI のロゴの後、“RACING” 又は “RACING EVO” を表示します。

- RACING：車両に Performance サイレンサーキットが搭載されている場合
- RACING EVO：車両に Performance エキゾーストユニットキットが搭載されている場合



参考

Performance エキゾーストキット（部品番号 96450211B） - Performance サイレンサーキット（部品番号 96450311B）はディーラー又は Ducati サービスセンターでお求めいただけます。



警告

Performance エキゾーストキット（部品番号 96450211B） - Performance サイレンサーキット（部品番号 96450311B）の取り付けはディーラー又は Ducati サービスセンターに依頼してください。

点検中に車両スピードが 10 km/h（実スピード）を超えると、インストルメントパネルは以下を中断します。

- ディスプレイの点検。更新情報をスタンダードスクリーンに表示します。
- 警告灯の点検。その時点で実際に起動している物のみ点灯します。



参考

キーを OFF の位置にすると、車両への電源供給で直ちに停止されるわけではなく、70 秒後に停止されます。



図 6

メインスクリーンのレイアウトは ROAD と TRACK の 2 種類があります。メインスクリーンに表示可能な情報は以下のものです。

- 1) エンジン回転数棒グラフ
- 2) 車両スピード
- 3) ギア
- 4) メニュー1 (オドメーター、トリップメーター1、トリップメーター2、燃料リザーブトリップメーター、ラップタイム - 起動時のみ)
- 5) メニュー2 (エンジンクーラント温度、瞬間燃費、平均燃費、平均スピード、走行時間、外気温)
- 6) 設定ライディングモード (Riding Mode)
- 7) 起動している DTC のレベル又は DTC 停止の表示
- 8) 起動している EBC のレベル又は EBC 停止の表示
- 9) DQS 起動又は停止の表示
- 10) 起動している ABS のレベル又は ABS 停止の表示 (ABS バージョンのみ)
- 11) DDA 起動の表示 (搭載機種のみ)
- 12) GPS 受信の表示 (搭載機種のみ)
- 13) 時計
- 14) SERVICE 表示 (起動時のみ) - アラーム / 警告表示 (ある場合のみ) - エラー表示 (ある場合のみ)

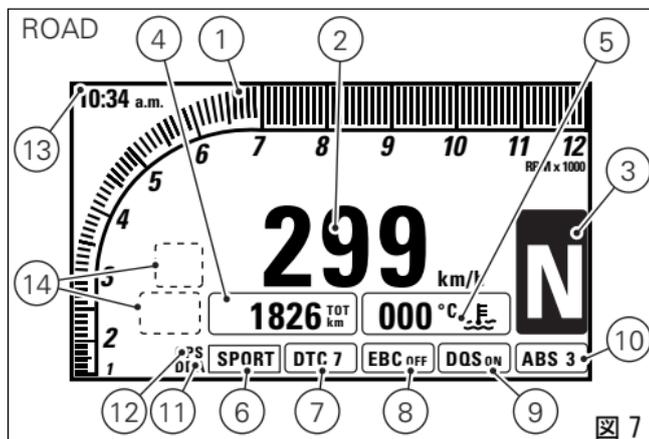


図 7

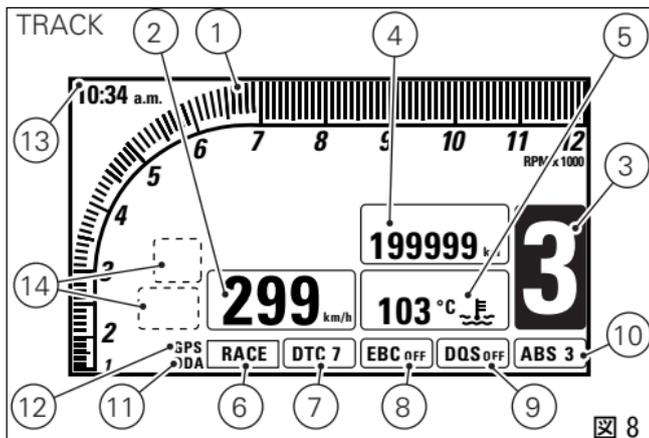


図 8

メニュー1の情報を表示するにはボタン(1)を押します。

ROAD及びTRACKモードで表示される情報は以下の順です。

- オドメーター (TOT)
- TRIP 1
- TRIP 2
- TRIP FUEL (起動時のみ)
- ラップタイム (LAP) - TRACKモードのみ

メニュー2の情報を表示するにはボタン(2)を押します。

ROAD及びTRACKモードで表示される情報は以下の順です。

- 冷却水温度
- 瞬間燃費 (CONS.)
- 平均燃費 (CONS. AVG)
- 平均スピード (SPEED AVG)
- 走行時間 (TRIP TIME)
- 外気温

車両を起動 (Key-ON) した時にメニュー1及びメニュー2に表示される情報は、Key-OFF前に表示されていたものです。

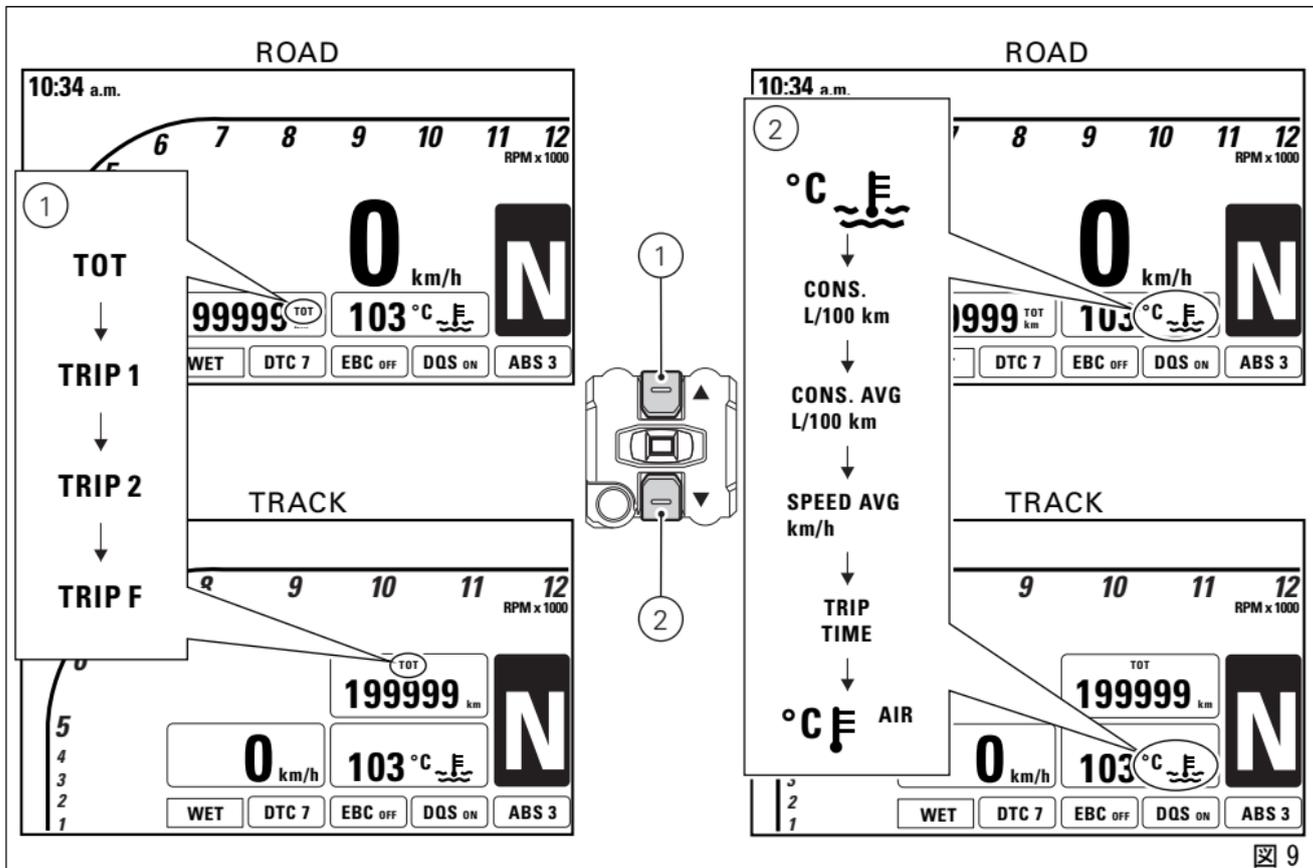


ROAD及びTRACモード双方で、Key-ON時にメニュー1には出発の時点で設定したパラメーター(オドメーター - TOT)が10秒間表示され、その後最後のKey-OFF時のパラメーターが表示されます。



急なKey-OFF(電源供給の急な停止)の場合、次のKey-ON時にはインストルメントパネルにデフォルトの設定が表示されます。特に、

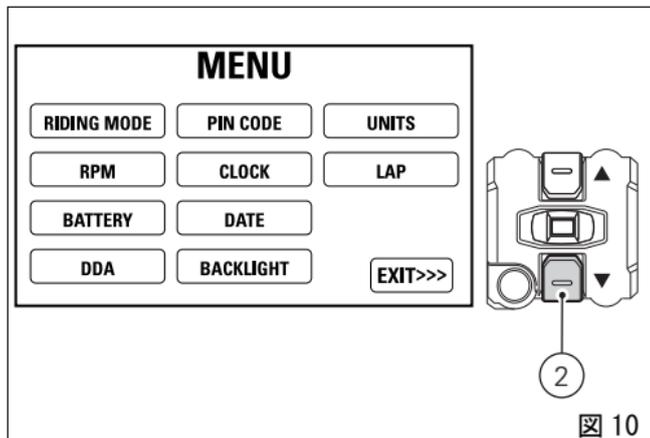
- メニュー1ではオドメーター (TOT)
- メニュー2ではエンジンクーラント温度が表示されます。



スタンダードスクリーンが表示された場合、車両の実スピードが 20 km/h 以下の状態でボタン (2) を 3 秒間押すと、機能設定を行うことのできる設定メニューに入ります。

重要

設定メニューには車両の実スピードが20km/h以下の場合にのみ入ることができます。設定メニュー内にいるときに車両の実スピードが20km/hを超えると、インストルメントパネルは自動的にこのメニューを終了しスタンダードスクリーンを表示します。



Key-ON 時及び点検終了時にキーがインストルメントに認識されない場合、

- PIN CODE 機能が起動していない場合、スタンダードスクリーンが表示されます。この時、警告灯の初期点検は行われず、E-LOCK エラーが表示され、設定メニューに入ることはできません。

PIN CODE 機能が起動している場合、PIN CODE 機能のページ表示され、解除暗号を入力します（“PIN CODE による車両の解除”の章を参照）。

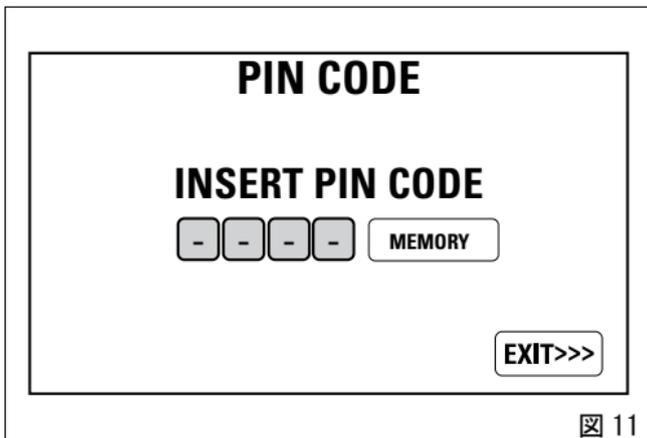


図 11

メイン機能

スタンダードスクリーンに表示される機能

メイン機能

- エンジン回転数表示 RPM
- 車両スピード
- ギア
- ライディングモード (Riding Mode)
- DTC
- EBS
- DQS
- ABS
- メニュー 1 には以下の機能が表示されます
 - オドメーター (TOT)
 - トリップメーター 1 (TRIP1)
 - トリップメーター 2 (TRIP2)
 - 燃料リザーブトリップメーター (TRIP FUEL)
 - ラップタイム (LAP time) - 起動している場合、TRACK モードのみ
- メニュー 2 には以下の機能が表示されます
 - エンジンクーラント温度
 - 瞬間燃費 (CONS.)
 - 平均燃費 (CONS. AVG)
 - 平均スピード (SPEED AVG)
 - トリップタイム (TRIP TIME)
 - 外気温

サブ機能

- DDA (搭載機種のみ)
- DDA (搭載機種のみ)
- 時計 (CLOCK)
- メンテナンス表示 (SERVICE)
- 注意 / 警告表示 (Warning)
- エラー表示

設定メニューのうちユーザーが変更できる機能

- ライディングモード (RIDING MODE) のパーソナライズ。パーソナライズメニュー内で以下の機能を設定することができます。

-ABS 調整 (ABS)

-エレクトロニックサスペンション調整 (DES)

-ディスプレイの設定 (DISPLAY)

-DQS 起動 / 解除 (DQS)

-DTC レベルの設定 (DTC)

-エンジン調整 (ENGINE)

-EBC レベルの設定 (EBC)

-デフォルト設定の回復 (DEFAULT)

-エンジン回転数のデジタル表示 (RPM)

- バッテリーテンション (BATTERY)

- DDA (起動 / 解除 - 表示 - 削除)

- PIN CODE (入力 / 変更)

- 時計の調整 (CLOCK SETTING)

- 日付の調整 (DATE)

- ディスプレイ背景の設定 (BACK LIGHT)

- 単位の設定 (スピード - 温度 - 燃費) UNIT

- LAP (表示 / 削除 / 自動設定の回復)

10500rpm から 11500rpm のゾーン (事前警告ゾーン) はディスプレイにオレンジ色の棒グラフ及び数値 11 (“オレンジゾーン”) で表示されます。

11500rpm から 12000rpm のゾーン (警告ゾーン) はディスプレイに赤の棒グラフ及び数値 12 (“レッドゾーン”) で表示されます。

重要

走行距離が 1000km (慣らし運転) までの期間、すなわちオドメーターの表示が 1000km 以下では、6000rpm に達すると、“オレンジゾーン” (事前警告ゾーン - ディスプレイにオレンジ色の棒グラフ及びそれに相当する数値を表示) が表示されます。慣らし運転期間中は 6000rpm を超えないこと、すなわちインストルメントパネルの棒グラフに ‘ ’ オレンジゾーン” が表示されないことが推奨されます。

慣らし運転期間が終了すると、“オレンジゾーン”はエンジンが冷たい状態でエンジン回転数を抑えるよう指示します。“オレンジゾーン”は以下に示すようなエンジン温度によって変化します。

- 8000rpm 以上、エンジン温度 40 度以下
- 9000rpm 以上、エンジン温度 50 度以下
- 10500rpm 以上、エンジン温度 50 度未満

回転数リミッターの限界値に到達すると点灯する警告灯は以下の数値で3つのグループに分けられます。

- 1^a 10500 rpm まで (A)
- 2^a 10700 rpm まで (B)
- 3^a 10900 rpm まで (C)

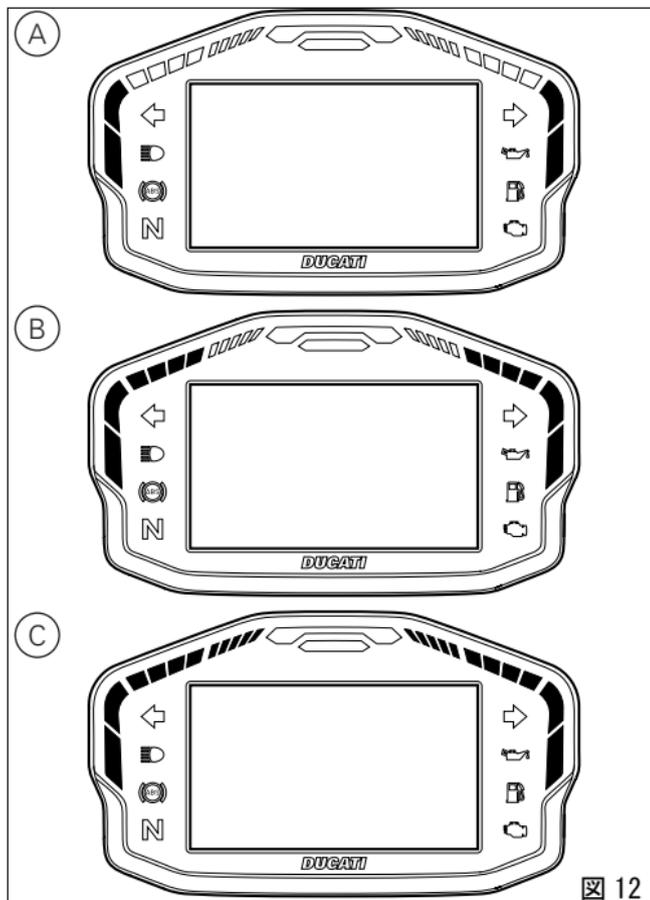
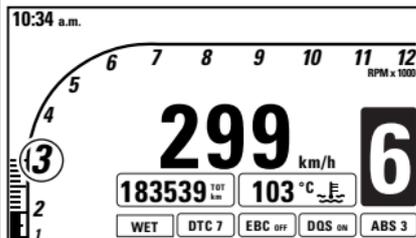
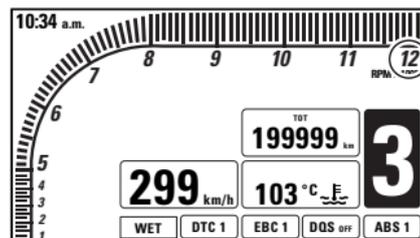
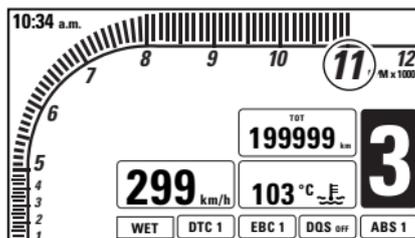
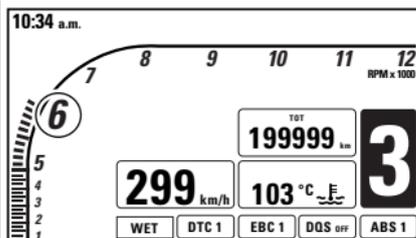


図 12

ROAD



TRACK



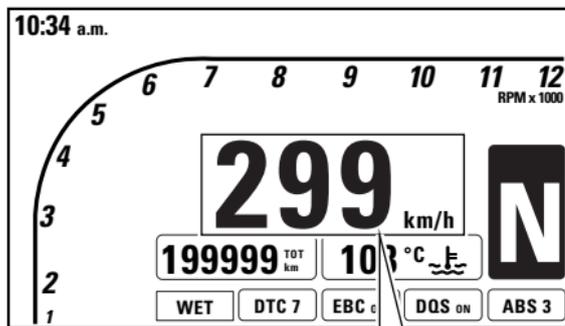
車両スピード

インストルメントパネルは車両の実スピード (km/h で算出) 情報を受信し、ディスプレイに 5% 上乗せしたデータを設定した単位 (km/h 又は mph) で表示します。

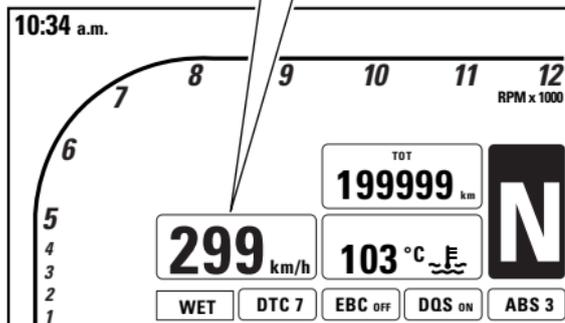
以下の場合、“---” が表示されます。

- スピードが 299 km/h 又は 186 mph の場合、又は、インストルメントパネルがスピード情報を受信しない場合 (“---” 点灯)
- リアスピードセンサーエラー (“---” 点滅、EOBD ランプ点灯、SPEED SENSOR エラー表示)

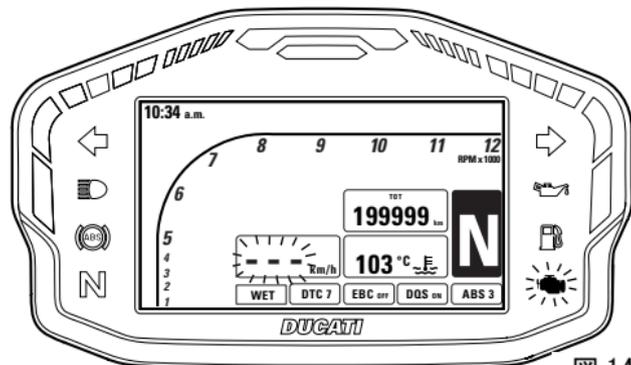
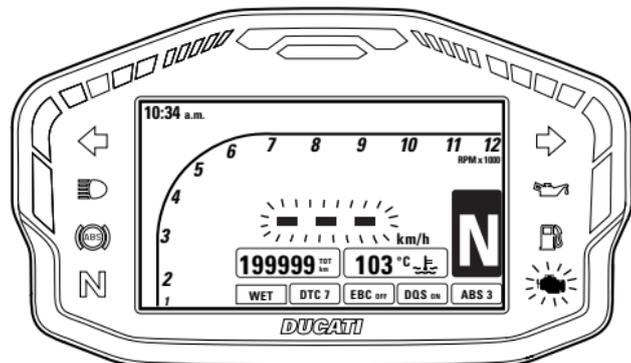
ROAD



TRACK



186 mph



14

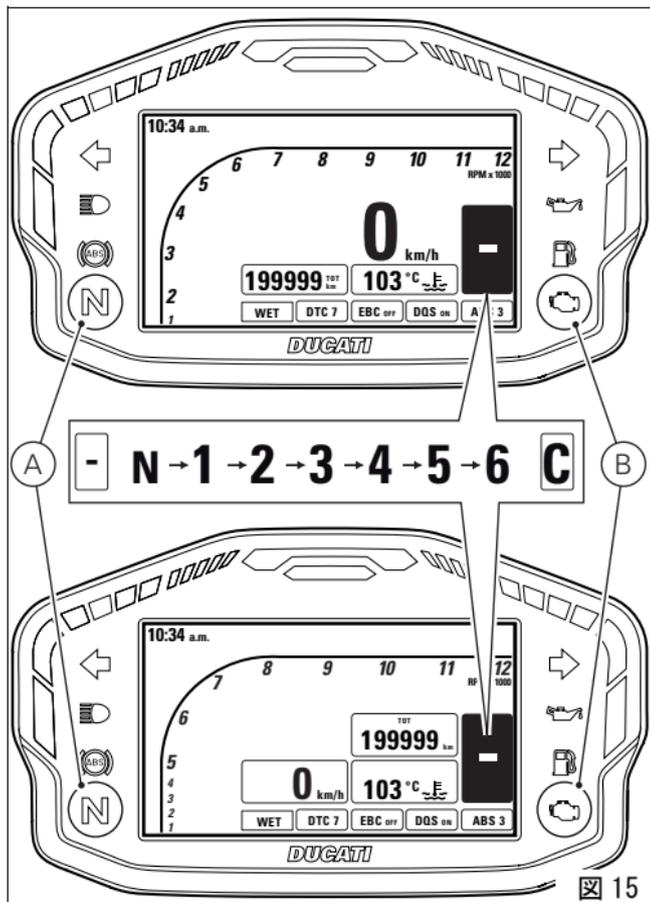
ギア

インストルメントパネルは車両のギアに関する情報を受信し、ディスプレイにその値を表示します。

ギアが挿入されていると 1 から 6 の値が表示され、ニュートラルの状態では N の文字が表示されます。ギアチェンジする必要がある場合は、C の文字が表示されます。

以下の場合には “-” が表示されます。

- ギアの学習を行っていない (“-” 点滅、ニュートラルランプ (A) 点滅)
- ギアセンサーエラー (“-” 点滅、E0BD ランプ (B) 点灯、GEAR SENSOR エラー表示)
- インストルメントパネルがギア情報を受信していない (“-” 点灯)



ライディングモード (Riding Mode)

インストルメントパネルから好みのライディングモードを選択することが可能です。あらかじめ設定された3つのライディングモード RACE、SPORT、WET から選択します。

選択したライディングモードはインストルメントパネルのディスプレイの下部に表示されます。ライディングモードのパラメーターがデフォルトのものである場合、緑色の長方形内に、一方ユーザーがパーソナライズしたパラメーターの場合はオレンジ色の長方形内に表示されます。

それぞれのライディングモードには以下のドゥカティが設定したパラメーター、又はユーザーが設定機能のページで変更したパラメーターが連動しています。

- トラクションコントロール DTC 干渉レベル (1、2、3、4、5、6、7、8、off)
- スロットル作動を変更するエンジン出力 (195Hi、195Lo、120)
- フロントフォークのリバウンドダンピング及びコンプレッションダンピングのレベル
- リアショックアブソーバーのリバウンドダンピング及びコンプレッションダンピングのレベル
- ABS システムの許容値 (1、2、3、off)
- EBC エンジンブレーキコントロールシステムの干渉レベル (1、2、3、off)
- DQS ギアグイックシフトの使用の有無 (DQS on 又は DQS off)

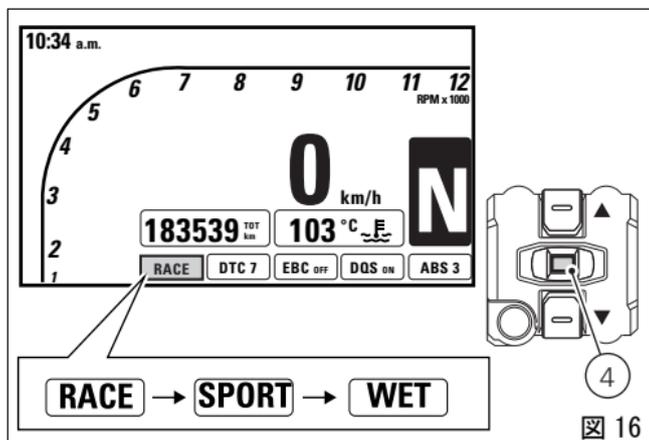


図 16

それぞれのライディングモードには情報表示のスタンダードスクリーン (ROAD、TRACK) が異なり、それらはドゥカティが設定したものの、又は、ユーザーが設定機能のページで変更したものです。

重要

ドゥカティは車両停止時にライディングスタイルを変更することをお勧めします。運転中にスタイル変更を行なう場合は、充分ご注意ください (低速での変更をお勧めします)。

ライディングモードの選択

メニュー決定ボタン (4) を押して、ライディングモード選択メニューに入ります (A、図 17)。

インストルメントパネルはスピードを表示したまま (ディスプレイの右側) ライディングモードの名前を表示します (ディスプレイの左側)。

- RACE
- SPORT
- WET

最後にメモリーし、現在使用中のライディングモードが強調表示されます。



警告

ボタン (4) がターンインジケータ起動の位置、すなわち右又は左にある場合は、ライディングモード選択メニューに入ることはできません。

強調表示されたライディングモードについて対応するパラメーターの一部が表示されます。

- DTC システム：DTC が起動している場合、DTC の文字の後、設定干渉レベル (1、2、3、4、5、6、7、8) が表示され、DTC が解除されている場合、OFF の文字が表示されます。
- EBC システム：EBC が起動している場合、EBC の文字の後、設定干渉レベル (1、2、3) が表示され、EBC が解除されている場合、OFF の文字が表示されます。

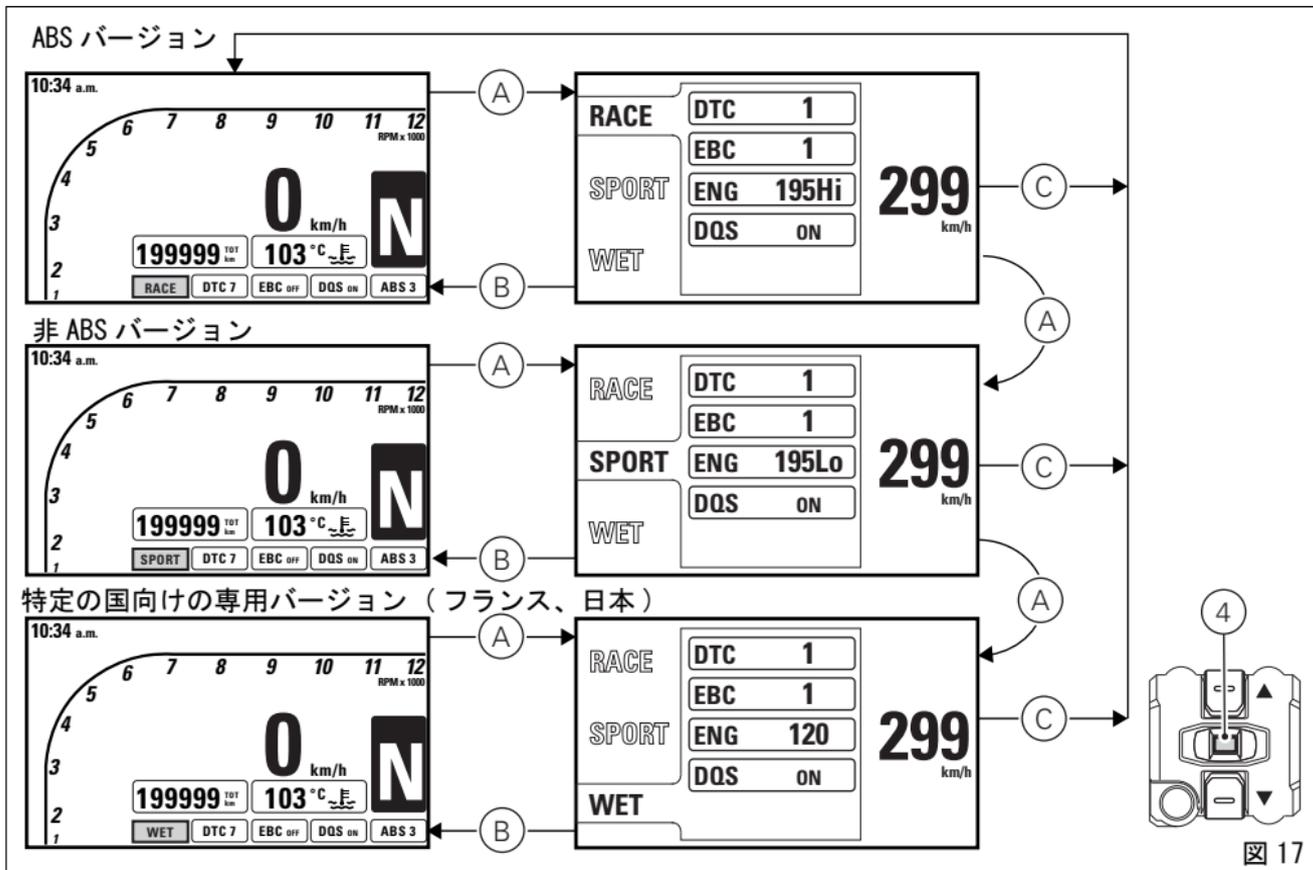
- エンジン出力 (ENGINE)：ENG の文字の後、設定エンジン出力 (195Hi、2195Lo、120 又は HIGH、MID、LOW2) が表示されます。
- DQS システム：DQS が起動している場合、DQS の文字の後、ON の文字が表示され、DQS が解除されている場合、OFF の文字が表示されます。
- ABS システム：ABS が起動している場合、ABS の文字の後、設定許容レベル (1、2、3) が表示され、ABS が解除されている場合、OFF の文字が表示されます。

表示される情報はそれぞれのライディングモードにメモリーされている値です。その値はドゥカティが設定した値、又はユーザーがパーソナライズした値です。

メニュー決定ボタン (4) を押す度にライディングモードが表示可能なパラメーターと共に強調されます (A、図 17)。

選択したライディングモードが強調されたら、メニュー決定ボタン (4) を 2 秒押し続け希望のライディングモードを決定します。ライディングモードの変更がメモリーされ、スタンダードスクリーンの画面に戻ります (B、図 17)。

選択したライディングモードが強調されてもメニュー決定ボタン (4) を 10 秒以内に押さないと、ライディングモードは変更されず、スタンダードスクリーンの画面に戻ります (C、図 17)。



以下の場合、ライディングモードの変更の決定をしてもエラーになります。

- ABS システムが搭載されていないバージョンでスロットルコントロールが開いている場合、スロットル閉鎖 (CLOSE THROTTLE) エラーが表示され、5 秒以内にスロットルコントロールが閉じられないとライディングモードの変更は行われず、スタンダードスクリーンの画面に戻ります。
- ABS システム搭載バージョンでスロットルコントロールが開き、ブレーキがかかり、車両が走行中の場合、スロットル閉鎖及びブレーキ開放 (CLOSE THROTTLE AND RELEASE BRAKES) エラーが表示され、5 秒以内にスロットルコントロールを閉じるか、ブレーキを放すか、又は車両のスピードがゼロにならないとライディングモードの変更は行われず、スタンダードスクリーンの画面に戻ります。



参考

ABS システム搭載バージョンでは、ライディングモードの変更時に ABS システムの状態を ON (起動) から OFF (解除) 又は OFF (解除) から ON (起動) に変更すると、選択したライディングモードを決定するときにインストルメントパネルは ABS システムの起動又は解除の手続きも行います。



図 18



図 19

DTC

インストルメントパネルはディスプレイに DTC 機能の状態を以下のように表示します。

- DTC が起動している場合、DTC の文字とトラクションコントロール干渉レベルの 1 から 8 までの数値
- DTC が解除されている場合、DTC OFF の文字
- DTC エラー又はブラックボックスコントロールユニットエラーの場合、DTC --- の文字、及び EOBDLamp が点灯し、対応するエラーが表示されます。



警告

DTC はライダーをアシストするシステムで、一般道走行時でもサーキット利用時でも使用できます。アシストシステムとは、車両の運転がより確実に安心なものとなるためのメカニズムで、ライダーの注意による正しい行動を制限するものではなく、道路交通法の観点から言う偶発的に起こりうる間違いや、外的要因による間違いに対するアシストをするためのものです。

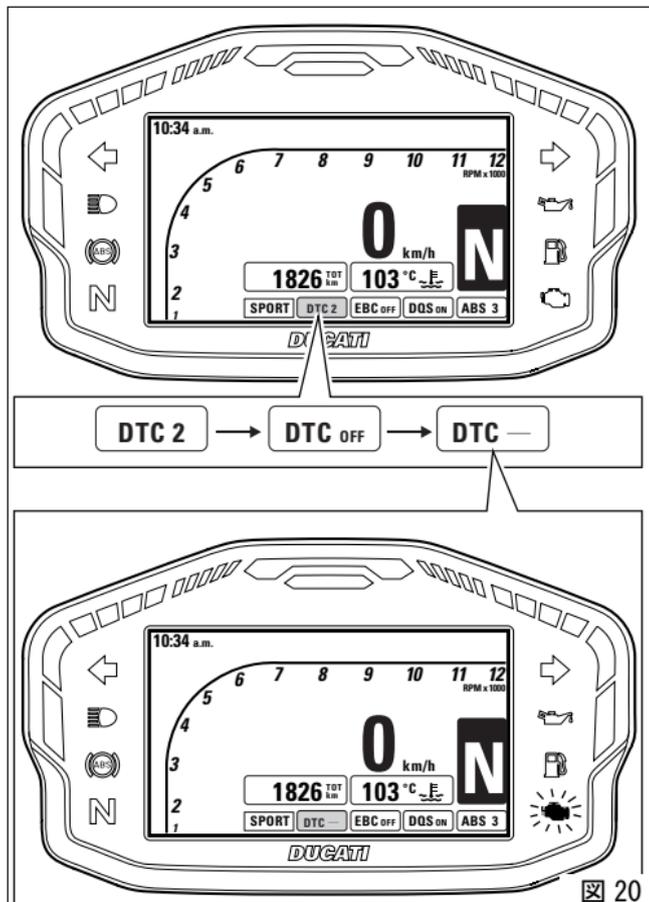


図 20

この安全システムは事故予防のためのシステムです。これらの機能は車両の運転を助け、その管理を簡単で確実なものにします。車両が走行している路面状況や道路交通法など各種規制範囲を超えたり、合理的に許容されるスピードを超えて走行するライダーを阻止するシステムではありません。

下記の表は、各タイプのライディングに適した DTC 干渉レベルで、ユーザーが“RIDING MODE” からデフォルト設定を選択することができます。

DTC レベル	ライディングモード	使用	DEFAULT
1	RACE	熟練ライダーが Pirelli の SC2 タイヤ用に最適化されたサーキットで使用 スキッドします	NO
2	RACE	熟練ライダーが OEM タイヤ（相手先ブランド名製造）用に最適化されたサーキットで使用 スキッドします	ライディングモード RACE のデフォルトレベル
3	RACE	熟練ライダー向けサーキットでの使用 スキッドします	NO
4	RACE	（熟練ライダー向け）サーキット（及びストリート）での使用	NO
5	SPORT	ENGINE 195cv LOW（最大出力 195 馬力、排出量 Smooth）の使用に適したストリート及びサーキットでのスポーツドライブ用	SPORT デフォルト
6	SPORT	ENGINE 195cv LOW（最大出力 195 馬力、排出量 Smooth）の使用に適したストリート及びサーキットの乾燥した路面でのセーフティードライブ用	NO
7	WET (RAIN)	雨天時用のタイヤ、特に Pirelli Diablo Rain タイヤ（リア 190/55 ZR17）用に最適化されたサーキットでの使用	NO
8	WET (HEAVY RAIN)	OEM タイヤ（相手先ブランド名製造）を使用し濡れた路面かつ非常に滑りやすいアスファルトでの使用。ENGINE 120 と合わせて使用します。	ライディングモード WET のデフォルトレベル

レベルの選択に際しての注意事項



警告

車両に搭載されている DTC システムのレベル 1 の調整は車両の標準装備のタイヤではなく SC2 タイヤ (Pirelli Diablo Supercorsa SC2) を使用して行われました。特徴の異なるタイヤでこのレベルを使用すると、システムの機能の特徴が異なることがあります。

車両に搭載されている DTC システムのレベル 7 の調整は車両の標準装備のタイヤではなく Rain タイヤ (Pirelli Diablo Rain、リアサイズ 190/55 ZR17) を使用して行われました。特徴の異なるタイヤでこのレベルを使用すると、システムの機能の特徴が異なることがあります。

車両に搭載されている DTC システムのレベル 2-3-4-5-6-8 の調整は、車両の標準装備のタイヤ Pirelli Diablo Supercorsa SP フロント 120/70ZR17、リア 200/55ZR17) を使用して行われました。標準装備のタイヤとサイズや特徴の異なるタイヤを使用すると、システムの機能の特徴が異なることがあります。

標準装備のタイヤとモデルやメーカーが違うが、サイズクラスが同じ (リア = 200/55ZR17、フロント = 120/70ZR17) など、少し違うだけのタイヤを使用する場合、システムの機能を最適化するには、選択可能なレベルのうち、より適切なレベルを選択することでカバーできるでしょう。

サイズクラスの違うタイヤ、又はサイズが少しだけ違うタイヤを使用する場合、システム機能は設定可能な 8 レベルのどれも納得できるものではない可能性があります。この場合、システムは解除する事をお勧めします。

レベル 8 を選択すると、DTC システムはリアタイヤのわずかなスピンにも対応します。レベル 8 からレベル 1 の順に DTC システムの干渉レベルが小さくなります。レベル 1、2、3 ではリアタイヤにスピンやスキッドさせることができます。これらのレベルはサーキットで熟練ライダーのみが使用することが推奨されます。特にレベル 1 は SC2 タイヤを使用する場合のみに最適に機能するよう考慮されたものです。

正しいレベルを選択すると主に以下のパラメーターが機能します。

タイヤ / アスファルトに関連する安定性 (タイヤのタイプ、磨耗状態、アスファルトの種類、気候など) レイアウト / 行程 (同じような、又は全く異なったカーブ)

ライディングスタイル (より "丸く" 又は "鋭く")

定着状況によるレベルの関係：正しいレベルの選択はレイアウト / 行程中の定着状況に影響します (後述のサーキットおよび一般道での使用時のアドバイスを参照)。

レイアウトのタイプによるレベルの関係：レイアウト / 行程に同じスピードで走ることのできるカーブがいくつもある場合、それぞれのカーブで満足できる干渉レベルを簡単に見つけることができるでしょう。一方、様々カーブがレイアウト / 行程にある場合、妥当な DTC 干渉レベルが必要になります。

ライディングスタイルからのレベル選択

DTC は “ 丸く ” 操縦する人にはバイクを倒し、“ 鋭く ” 操縦する人には車体を上げて、カーブからより早く抜けれるよう介入します。

サーキットでの使用時のアドバイス

タイヤを温める間の数周は、システムとの接触を良くするため、レベル 8 に設定して走行することをお勧めします。その後、レベルを 7、6、と DTC の最適なレベルに達するまで調整します（タイヤを温めるため、ひとつのレベルごとに数周する）。

1つか2つのゆるいカーブ以外は納得のできるレベルの場合、違うレベルに設定しようと調整するよりは、ゆるいカーブでのライディングスタイルを少し “ 鋭く ” し、カーブ出口での車体角度をより早く上げて走行するとよいでしょう。

一般道での使用時のアドバイス

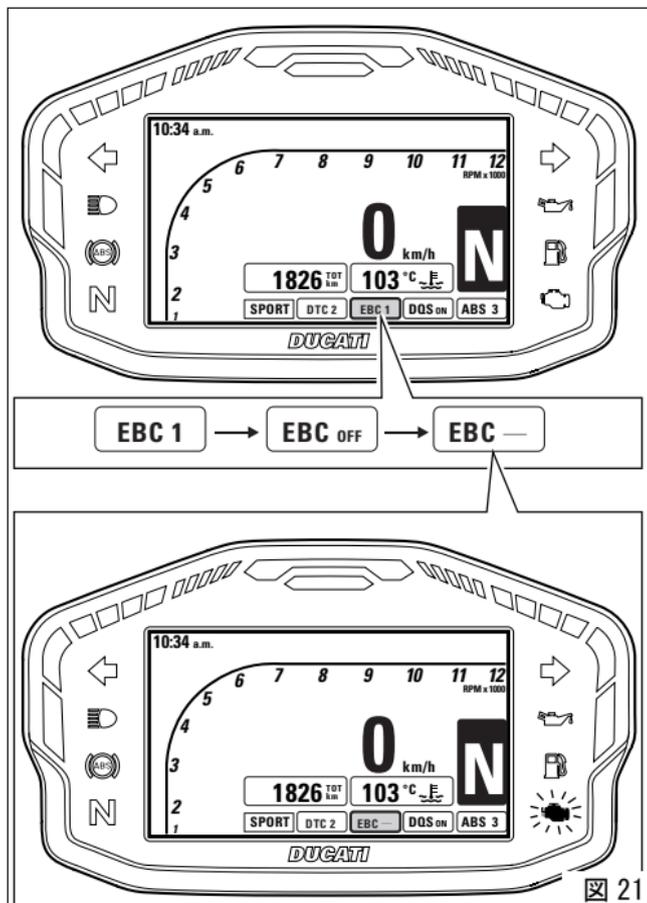
DTC を起動した後、レベル 8 を選択し、好みのスタイルで運転します。DTC が介入しすぎると感じる場合は、レベルを 7、6、と順番に落とし、快適なレベルに達するまで調整して下さい。

定着状況や行程の種類、ライディングスタイルを変更し、設定レベルでは満足できない場合は、次のレベルに設定します。この方法で最も快適なレベルに調整します（例：レベル 7 では DTC が介入しすぎると感じる場合はレベル 6 に、レベル 7 では全く DTC の介入がないと感じる場合はレベル 8 に）。

EBC

インストルメントパネルはディスプレイに EBC 機能の状態を以下のように表示します。

- EBC システムが起動している場合、EBC の文字と設定した干渉レベルの 1 から 3 までの数値
- EBC システムが解除されている場合、EBC OFF の文字
- EBC システムエラー又はコントロールユニットエラーの場合、EBC --- の文字、及び EOBd ランプが点灯し、対応するエラーが表示されます。



EBC はアクセルが完全に閉じている状態で運転中のエンジブレーキを制御するシステムです（シフトダウン及び一定のギアでの単なる開放、ブレーキ動作の有無にかかわらず）。このシステムは独立してスロットルを調整し、運転中にホイールからエンジンへのトルクの退行を一定にします。

システムは“エンジブレーキ”を作動させます。OFF に設定されているとエンジブレーキが最大となり、レベルが高くなるとエンジブレーキが徐々に弱くなります。

システムの影響はエンジン回転速度が高いと特に大きくなり、エンジン回転速度が減少するとともにその影響も小さくなります。



警告

EBC はライダーをアシストするシステムで、一般道走行時でもサーキット利用時でも使用できます。アシストシステムとは、車両の運転がより確実なものとなるためのメカニズムで、ライダーの注意による正しい行動を制限するものではなく、道路交通法の観点から言う偶発的に起こりうる間違いや、外的要因による間違いに対するアシストをするためにのものです。

下記の表は、各タイプのライディングに適した EBC レベルで、ユーザーが“RIDING MODE” からデフォルト設定を選択することができます。

EBC レベル	ライディングモード	特徴	DEFAULT
停止		エンジnbrレーキ最大	NO
1		エンジnbrレーキがある程度かかっているが、EBC OFF でさらに小さくできる	全てのライディングモードでのデフォルト
2		エンジnbrレーキが弱い。サーキットでの使用に限り、減速時のエンジnbrレーキをあまり望まないライダー向け。	NO
3		エンジnbrレーキが非常に弱い。サーキットでの使用に限り、減速時のエンジnbrレーキをほとんど望まないライダー向け。	NO

レベルの選択に際しての注意事項

警告

車両に搭載されているEBCシステムのレベル1-2-3の調整は、車両の標準装備のタイヤPirelli Diablo Supercorsa SP フロント120/70ZR17、リア200/55ZR17)を使用して行われました。標準装備のタイヤとサイズや特徴の異なるタイヤ(特にリアタイヤ)を使用すると、システムの機能の特徴が異なることがあります。

標準装備のタイヤとモデルやメーカーが違うが、サイズクラスが同じ(リア=200/55ZR17、フロント=120/70ZR17)など、少し違うだけのタイヤを使用する場合、システムの機能を最適化するには、選択可能なレベルのうち、より適切なレベルを選択することでカバーできるでしょう。

サイズクラスの違うタイヤ、又はサイズが少しだけ違うタイヤを使用する場合、システム機能は設定可能な3レベルのどれも納得できるものではない可能性があります。この場合、システムは解除する事をお勧めします。

レベル3を選択すると、EBCシステムはエンジンブレーキの機能を最小限に抑えます。レベル3からレベル1の順にエンジンブレーキの強さが大きくなります。EBC OFFでエンジンブレーキは最大になります。

正しいレベルを選択すると主に以下のパラメーターが機能します。

タイヤ/アスファルトに関連する安定性(タイヤのタイプ、磨耗状態、アスファルトの種類、気候など)レイアウト/行程(同じような、又は全く異なったカーブ)

ライディングモード

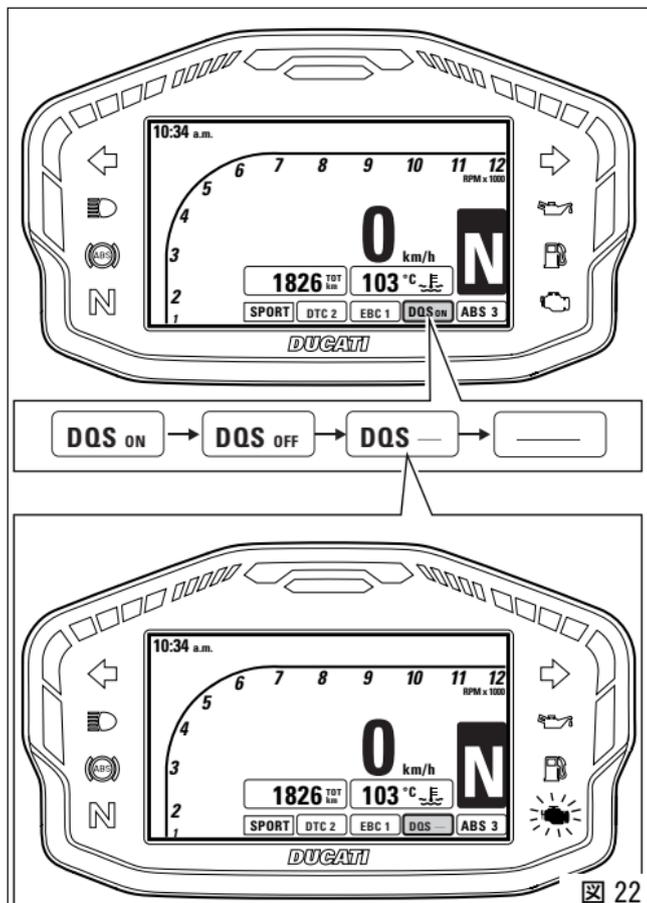
定着状況によるレベルの関係:正しいレベルの選択はレイアウト/行程中の定着状況に影響します(後述のサーキットおよび一般道での使用時のアドバイス参照)。

レイアウトのタイプによるレベルの関係:レイアウト/行程に同じようにブレーキをかけることができる場合(全て非常に激しい、又は、全て非常に緩やか)、それぞれのブレーキで満足できる干渉レベルを簡単に見つけることができるでしょう。一方、様々なブレーキがレイアウト/行程にある場合、妥当なEBC干渉レベルが必要になります。

DQS

インストルメントパネルはディスプレイに DQS 機能の状態を以下のように表示します。

- DQS システムが起動している場合、DQS ON の文字
- DQS システムが解除されている場合、DQS OFF の文字
- DQS システムエラー又はコントロールユニットエラーの場合、DQS --- の文字、及び EOBД ランプが点灯し、対応するエラーが表示されます。
- 車両に DQS が搭載されていない場合、---- のシンボル



ABS (ABS バージョンのみ)

車両に ABS システムが搭載されている場合、インストルメントパネルは ABS 機能の状態を示す長方形を表示します

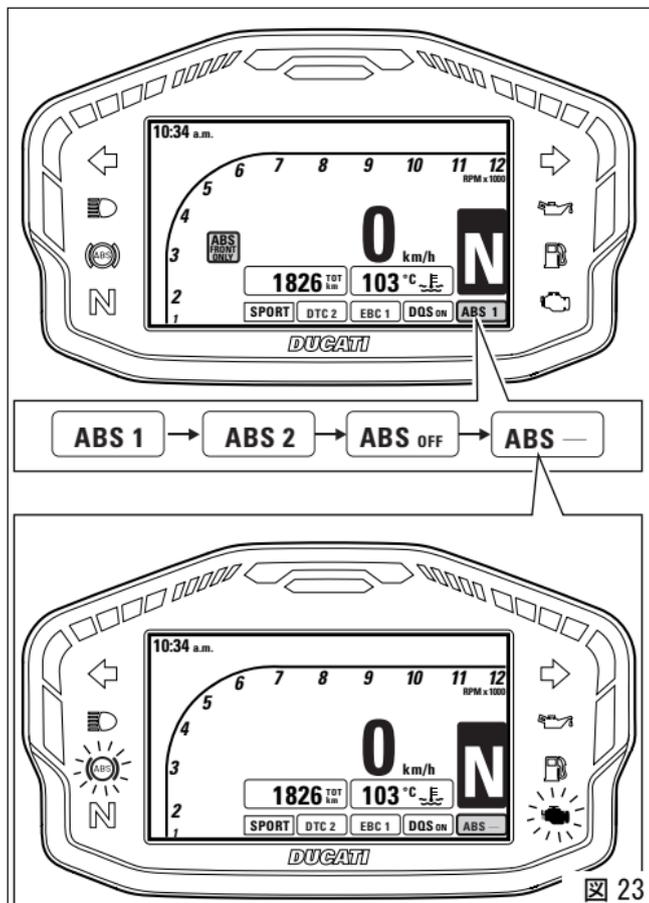
インストルメントパネルの表示

- ABS システムが起動している場合、ABS の文字と設定した干渉レベルの 1 から 3 までの数値
- ABS システムが解除されている場合、ABS OFF の文字
- ABS システムエラーの場合、ABS — の文字、さらに ABS 及び EOBD ランプが点灯し、対応するエラーが表示されます。



参考

ABS 1 の表示は琥珀色の背景に ABS FRONT ONLY のアイコンのディスプレイ上の表示に常に連動します。この表示はスタンドの状態の表示エリアにスタンドの状態に関する情報に優先して表示されます。



下記の表は、各タイプのライディングに適した ABS レベル、及び、ユーザーが選択できる “ライディングモード” のうちどのレベルがデフォルト設定かを表示します。

ABS レベル	ライディングモード	特徴	DEFAULT
停止		ABS システム解除	NO
1	RACE	熟練ライダー向けサーキットでの使用のみ（ストリートでの使用は推奨しません）。このモードでは ABS はフロントホイールにのみ機能し（ブロック回避）、リアホイールに対しては機能しません。システムはリフトアップを制御せず、フロント、リア間のブレーキ配分を行いません。	ライディングモード RACE のデフォルトレベル
2	ROAD	高い定着性のある条件でのストリートでの使用向け。両方のタイヤ共システムにより制御され、リアキャリアにも圧をかけてブレーキ配分し、アンチリフトアップ制御が起動します。しかしこの調整は、システムにより制御されないリフトアップよりブレーキが優先されます。	ライディングモード SPORT のデフォルトレベル
3	WET CONDITION ROAD/TRACK	濡れた路面のあらゆる状況での使用向け。両方のタイヤ共システムにより制御され、リアキャリアにも圧をかけてブレーキ配分し、大半のリフトアップを制御します。	ライディングモード WET のデフォルトレベル

レベルの選択に際しての注意事項



警告

車両に搭載されている ABS システムのレベル 1-2-3 の調整は、車両の標準装備のタイヤ Pirelli Diablo Supercorsa SP フロント 120/70ZR17 リア 200/55ZR17) を使用して行われました。標準装備のタイヤとサイズや特徴の異なるタイヤ（特にリアタイヤ）を使用すると、システムの機能の特徴が異なることがあります。

標準装備のタイヤとモデルやメーカーが違うが、サイズクラスが同じ（リア＝200/55ZR17、フロント＝120/70ZR17）など、少し違うだけのタイヤを使用する場合、システムの機能を最適化するには、選択可能なレベルのうち、より適切なレベルを選択することでカバーできるでしょう。

サイズクラスの違うタイヤ、又はサイズが少しだけ違うタイヤを使用する場合、システム機能は設定可能な 3 レベルのどれも納得できるものではない可能性があります。この場合、システムは解除する事をお勧めします。

レベル 3 を選択すると、ABS システムは非常に安定したブレーキ動作、リフトアップの高い制御を行い、車両は全てのブレーキにおいて高い安定性を維持します。レベル 3 からレベル 1 の順に安定性及びリフトアップ制御よりブレーキの優先度合いが高くなります。レベル 1 ではリフトアップを制限する制御が行

われず、リアブレーキは ABS によって管理されません。また、フロント及びリアのブレーキ配分が行われません。

正しいレベルを選択すると主に以下のパラメーターが機能します。

- 1) タイヤ/アスファルトに関連する安定性（タイヤのタイプ、磨耗状態、アスファルトの種類、気候など）
- 2) ライダーの経験及び間隔：熟練ライダーは停止距離を最小限に抑えるためリフトアップを制御することができますが、経験の少ないライダーには急ブレーキでも車体の安定性を維持するためレベル 2 及び 3 の使用を推奨します。

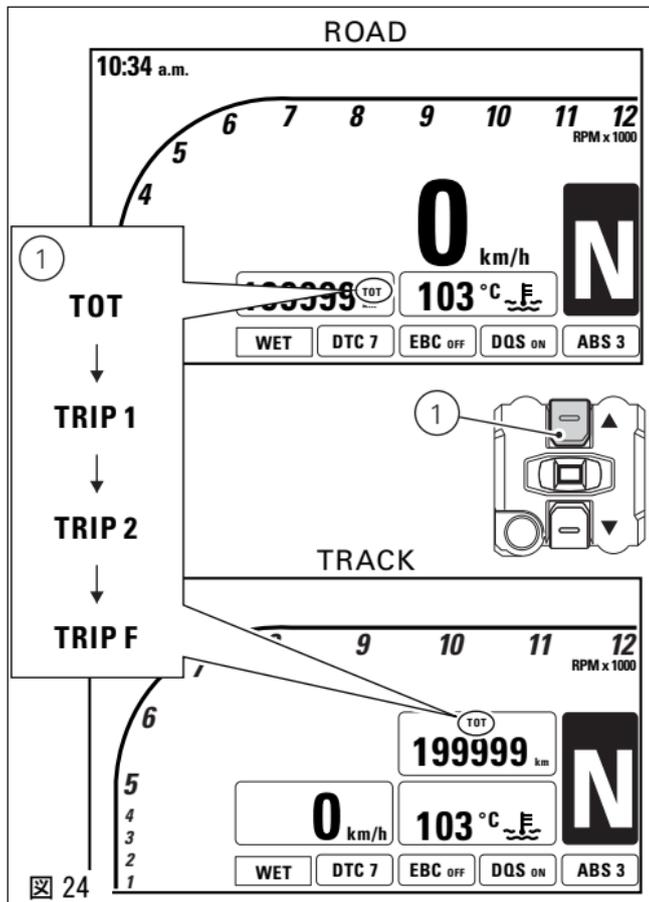
メニュー 1 の機能：

メニュー 1 の機能は 3 つのドライビングスタイル (Race、Sport、Wet) のそれぞれで 2 種類のモードのうちどちらかで表示することができます。

- ROAD
- TRACK

以下の機能があります。

- オドメーター (TOT)
- トリップメーター 1 (TRIP1)
- トリップメーター 2 (TRIP2)
- 燃料リザーブトリップメーター (TRIP FUEL)
- ラップタイム (LAP time) (起動している場合) - TRACK モードのみ



メニュー 1 の機能： オドメーター (TOT)

オドメーターは車両の総走行距離を設定した単位 (キロ又はマイル) でカウント、表示します。

オドメーターに対応するキロ数又はマイル数は TOT の文字及び単位と共に表示されます。最大値 (199999km 又は 199999 マイル) に達するとインストールパネルのその値が表示されたままになります。

オドメーターの値は常に保存され、いかなる理由でもリセットはできません。

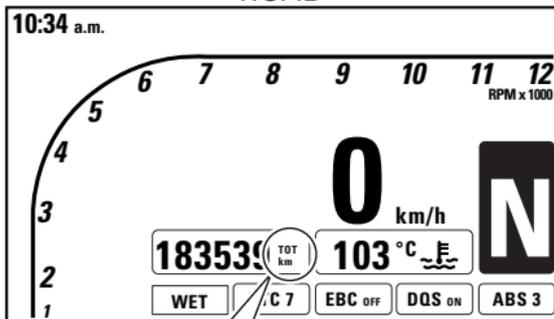
電源の供給が中断 (Battery Off) してもデータを紛失することはありません。



参考

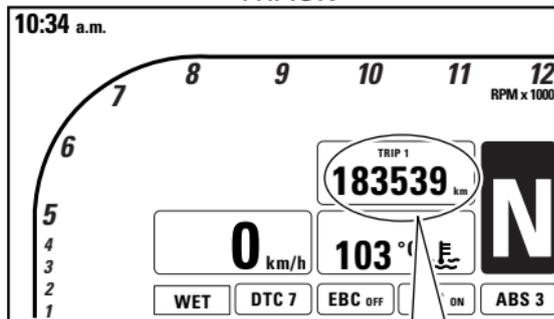
Key-On 時にインストールパネルは 10 秒間オドメーターを表示し、その後ユーザー設定ページの表示に代わります。

ROAD

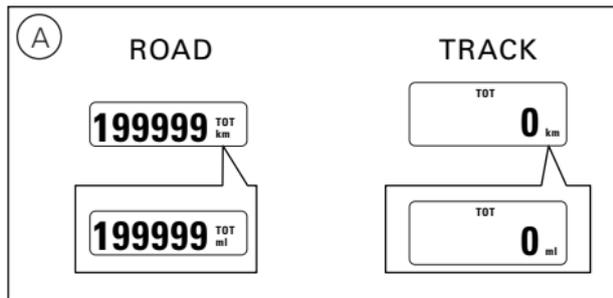


183539 ^{TOT} mi

TRACK



183539 ^{TOT} mi



メニュー 1 の機能： トリップメーター 1 (TRIP 1)

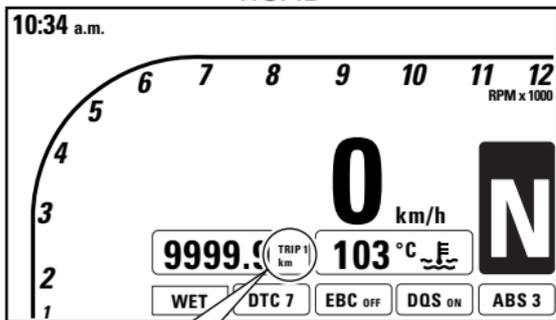
トリップメーターは車両の部分走行距離を設定した単位（キロ又はマイル）でカウント、表示し、平均燃費、平均スピード、トリップタイムの計算に使用されます。

TRIP1に対応するキロ数又はマイル数はTRIP1の文字及び単位と共に表示されます。

データが最大値である 9999.9 km 又は 9999.9 マイルを超えると、カウンターは自動的にリセットされゼロから再カウントされます。

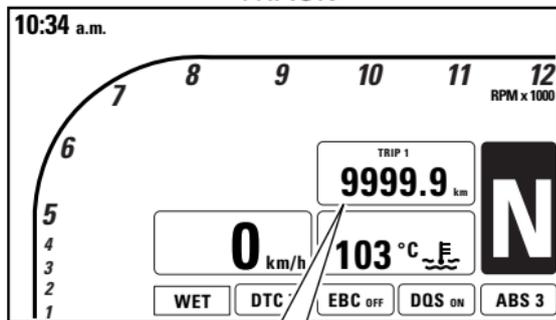
トリップメーターの表示中にボタン (1) “▲” を 3 秒間押すと、TRIP 1 のデータはリセットされます。TRIP 1 がリセットされると、平均燃費、平均スピード、トリップタイムのデータもリセットされます。TRIP 1 のカウントはシステムの単位を手動で変更した場合にも自動的にリセットされます。新しく設定した単位でゼロから再カウントされます。

ROAD

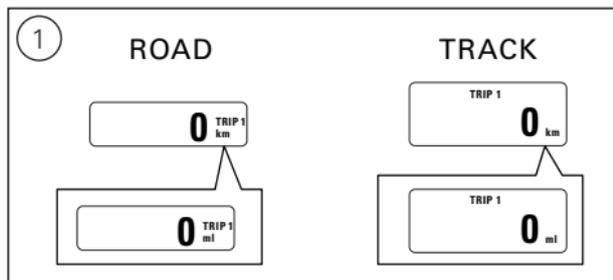
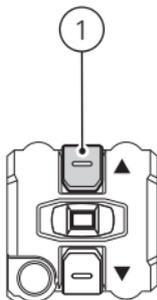


9999.9 TRIP 1 ml

TRACK



9999.9 TRIP 1 ml



メニュー 1 の機能： トリップメーター 2 (TRIP 2)

トリップメーターは車両の部分走行距離を設定した単位（キロ又はマイル）でカウント、表示します。

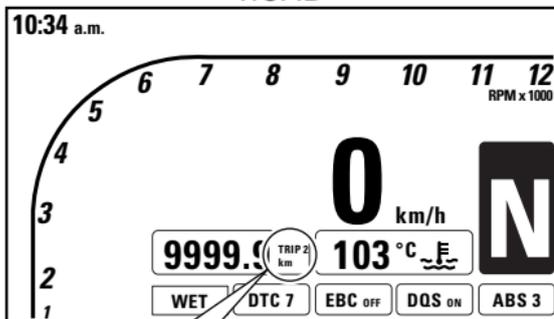
TRIP2に対応するキロ数又はマイル数はTRIP2の文字及び単位と共に表示されます。

データが最大値である 9999.9 km 又は 9999.9 マイルを超えると、カウンターは自動的にリセットされゼロから再カウントされます。

トリップメーターの表示中にボタン (1) “▲” を 3 秒間押すと、TRIP 2 のデータはリセットされます。

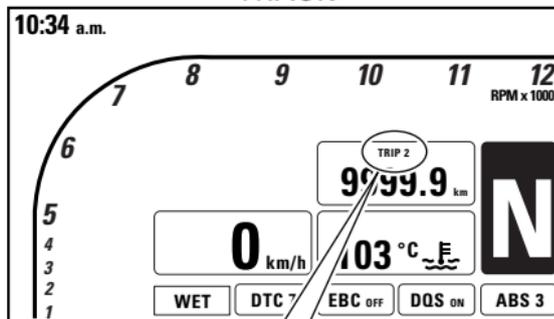
TRIP2 のカウントはシステムの単位を手動で変更した場合にも自動的にリセットされます。新しく設定した単位でゼロから再カウントされます。

ROAD

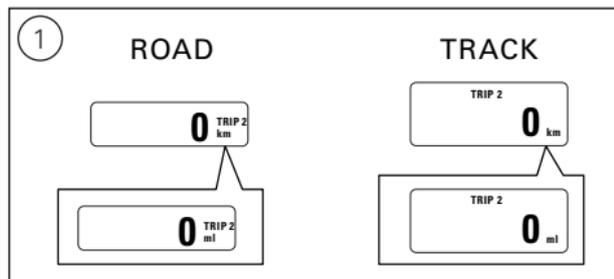
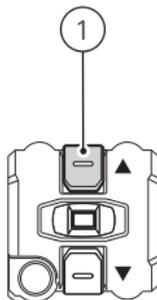


9999.9 TRIP 2 ml

TRACK



TRIP 2
9999.9 ml



メニュー 1 の機能：燃料リザーブトリップメーター (TRIP FUEL)

燃料リザーブトリップメーターは車両のリザーブでの走行可能距離（燃料リザーブランプが点灯した時点からの車両の走行距離）を設定した単位（キロ又はマイル）でカウント、表示します。

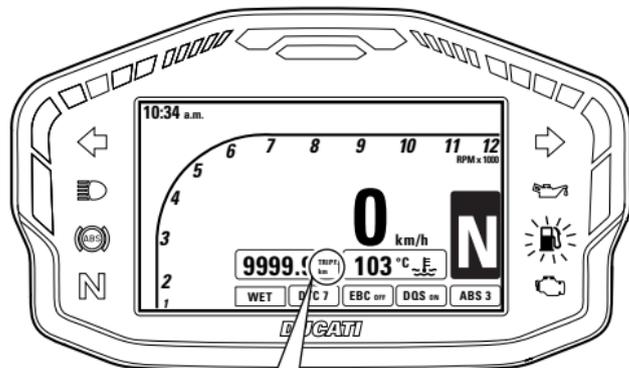
燃料リザーブランプが点灯すると、ディスプレイにその時点で表示されている機能にかかわらず自動的に TRIP FUEL 機能が表示され、その後、メニューの他の機能をスクロール表示することができます。リザーブタンク使用の状態が続く場合は、データは Key-Off 後もメモリに記憶されます。カウンターは給油後、リザーブ状態ではなくなった時点で自動的に中断します。

TRIP FUEL に対応するキロ数又はマイル数は TRIP FUEL の文字及び単位と共に表示されます。

データが最大値である 9999.9 km 又は 9999.9 マイルを超えると、カウンターは自動的にリセットされゼロから再カウントされます。

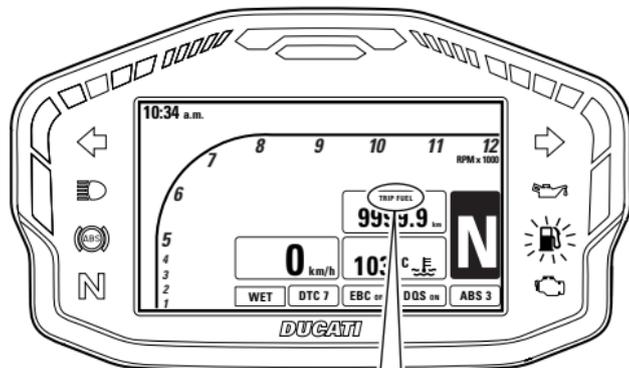
TRIP FUEL 機能が起動していない場合、メニュー内に対応する値を表示することはできません。

ROAD



9999.9 TRIP F.
mi

TRACK



TRIP FUEL
9999.9
mi

メニュー1の機能：ラップタイム (LAP time)

ラップ機能は TRACK モードのスタンダードスクリーンでのみ表示することができます。LAP 機能に関する情報は機能が起動している場合に表示されます。

LAP 機能の起動時、ストップウォッチの最初の表示 "0' 00'' 00"、及び LAP 数の最初の表示 "LAP—" が表れます。FLASH ボタン (3) を押すと1秒の10分の1 ("0' 00'' 0") までのストップウォッチがカウントし始め、現在進行中の LAP 数が表示されます。その後 FLASH ボタン (3) を押す度に終えたばかりの周回のラップ数及びラップタイムが一時的に表示され、続いてストップウォッチ及び進行中の新しい周回のラップ数が改めて表示されます。

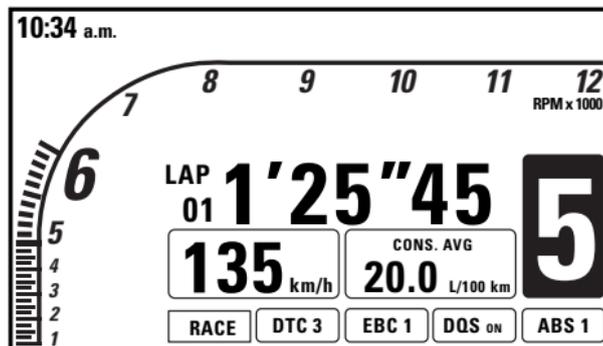
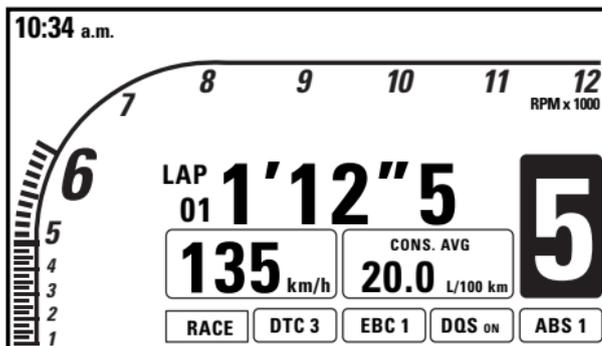
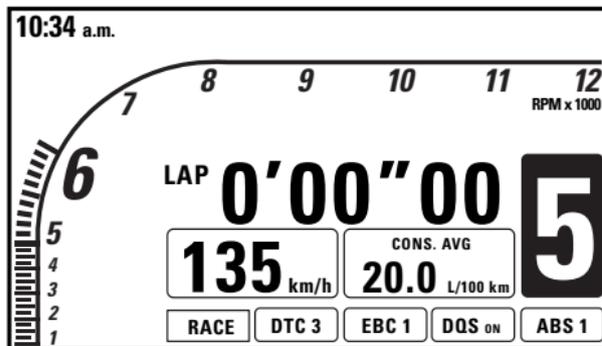
ストップウォッチが起動していても車両が停止している場合、5秒後にストップウォッチの機能が一時的にストップし、ストップウォッチの最初の表示 "0' 00'' 00" 及びラップ数の最初の表示 "LAP—" が表れます。その後 FLASH ボタン (3) を1回押すと再度ストップウォッチが起動します。

参考

LAP 機能が起動中、FLASH ボタン (3) はハイビームの点滅とラップのストップウォッチの Start / Stop の操作 (新しい周回の開始指示) 両方に使われます。

参考

TRIP FUEL 機能は常に LAP 機能より優先されません。LAP 機能が起動している状態で TRIP FUEL 機能を起動すると、自動的に LAP 機能のストップウォッチの表示が停止され、TRIP FUEL 機能に関する情報が表示されます。



LAP の記録 (図 29)

LAP 機能が起動している場合、連続して 30 の周回までラップタイプを記録することができます。

操作

- FLASH ボタン (3) を押すと最初にインストルメントパネルは 1 秒の 10 分の 1 ("0' 00' 0") までのストップウォッチを表示します。
- その後 FLASH ボタン (3) を押す度にインストルメントパネルはディスプレイに 5 秒間、1 秒の 10 分の 1 まで終えたばかりの周回のラップ数及びラップタイムを表示します。
- 5 秒後、インストルメントパネルは進行中の新しい周回のラップ数の表示に戻ります。
- FLASH ボタン (3) (FLASH) を長く押し続ける (3 秒) と、ストップウォッチの機能が一時的にストップし、ストップウォッチの最初の表示 "0' 00' 00" 及びラップ数の最初の表示 "LAP—" が表れます。
- その後 FLASH ボタン (3) を 1 回押すか同等の操作を行うと再度ストップウォッチが起動します。

ラップタイムが最大 9 分 59 秒 99 以内に停止されない場合、ストップウォッチは再度ゼロからカウントを開始し、ラップが停止するか記録機能が解除されるまで続きます。

ラップ数は 01 から 30 で、循環して表示されます。最初の 30 周が終わると、インストルメントパネルは LAP01 から情報を上書きします。

ラップ機能が中止 (ROAD スクリーンへの変更、一時的な解除、又は key-off) され、その後再度起動 (TRACK スクリーンの回復、再起動、又は key-on) されてもメモリー中のラップが消去されないと、ラップに関する情報は古いラップ情報に上書きされます。

例：34 周行われても一切消去が行われないと、インストルメントパネルはまず最初の 30 周を記録し、その後、最初の 4 週の記録に上書きします。次の key-on 時、又は LAP 機能の再起動時、消去が行われていないと、インストルメントパネルは LAP05 からメモリーを続けます。

それぞれの LAP で以下が記録されます。

- 30 周分のラップタイム (連続したスタートとストップ間のタイム)
- 30 の最大 RPM 値 (各ラップの最大 RPM 値)
- 30 の最高スピード (各ラップの最高スピード)

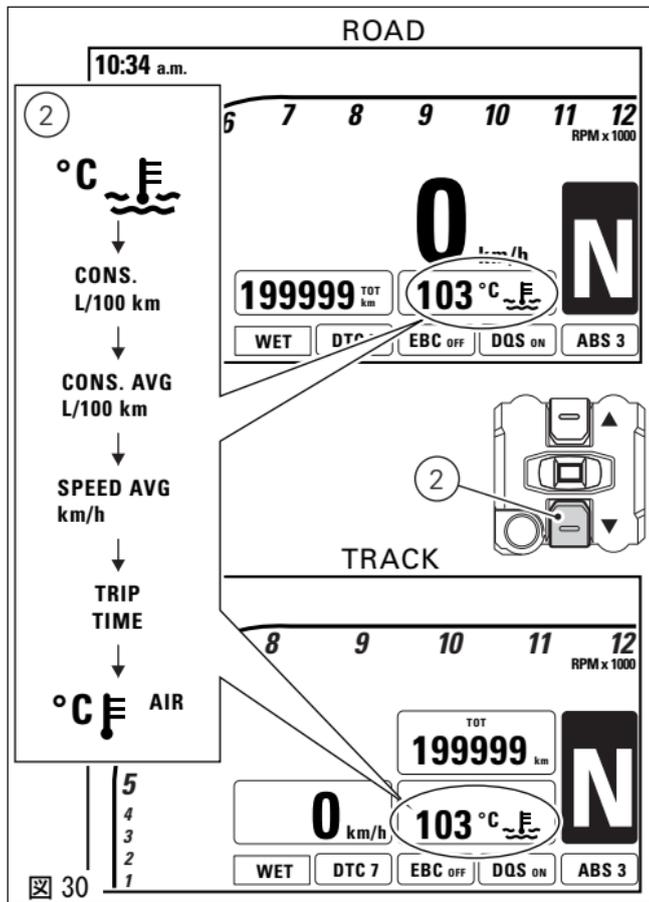
メニュー 2 の機能

メニュー 2 の機能は 3 つのドライビングスタイル (Race、Sport、Wet) のそれぞれで 2 種類のモードのうちどちらかで表示することができます。

- ROAD
- TRACK

以下の機能があります。

- エンジンクーラント温度
- 瞬間燃費 (CONS.)
- 平均燃費 (CONS. AVG)
- 平均スピード (SPEED AVG)
- トリップタイム (TRIP TIME)
- 外気温



メニュー 2 の機能： エンジンクーラント温度

インストルメントパネルはエンジン温度の情報（°C に変換済）を受信し、ディスプレイに設定された単位（°C 又は °F）に換算されたデータ、単位、エンジン温度のシンボルを表示します。

温度データの表示範囲は 40 °C ~ +120 °C (+104 °F ~ +248 °F) です。データが以下の場合

- ≤ -40 °C 以下の場合、“---” が点滅表示されます。
- -39 °C から $+39$ °C の場合、“LOW” が点灯します。
- $+40$ °C から $+120$ °C の場合、データが表示されます。
- $\geq +121$ °C 以上の場合、“HIGH” が点滅表示されます。

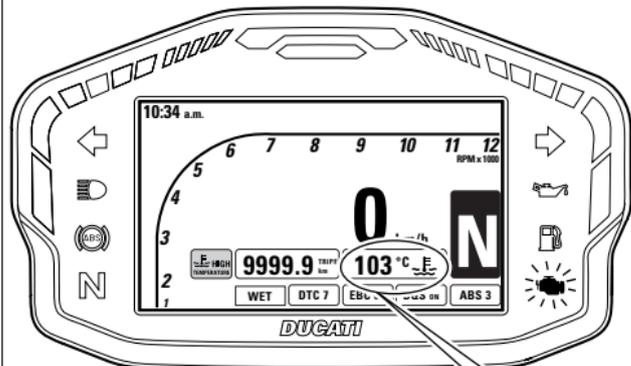
クーラント温度が以下を超えた場合

- 100 °C、MENU 2 の他の表示情報に関わりなく温度が MENU 2 に直ちに表示されます。MENU 2 の他の情報を表示することは可能です。
- 121 °C、MENU 2 の他の表示情報に関わりなく温度が MENU 2 に表示されます。MENU 2 の他の情報を表示することはできません。さらに、警告アイコンが表示されます。

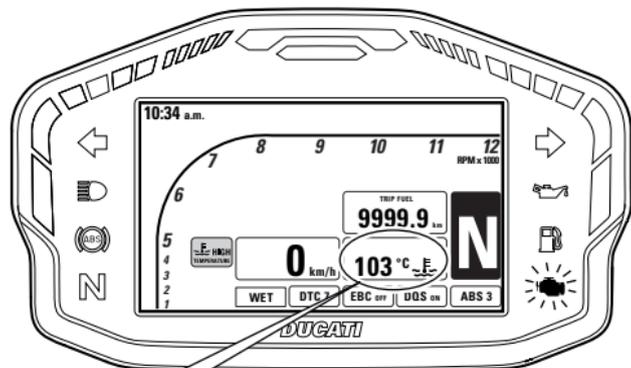
クーラント温度センサーエラーの場合、設定単位と共に“---” が点滅表示されます。さらに、EOBD ランプが点灯し、ENGINE TEMP. SENSOR エラーが表示されます。

インストルメントパネルがクーラント温度のデータを受信しない場合、単位と共に“---” が固定表示されます。

ROAD



TRACK



217°F

メニュー 2 の機能：瞬間燃費

インストルメントパネルは車両の瞬間燃費、設定単位、及び CONS の文字を表示します。

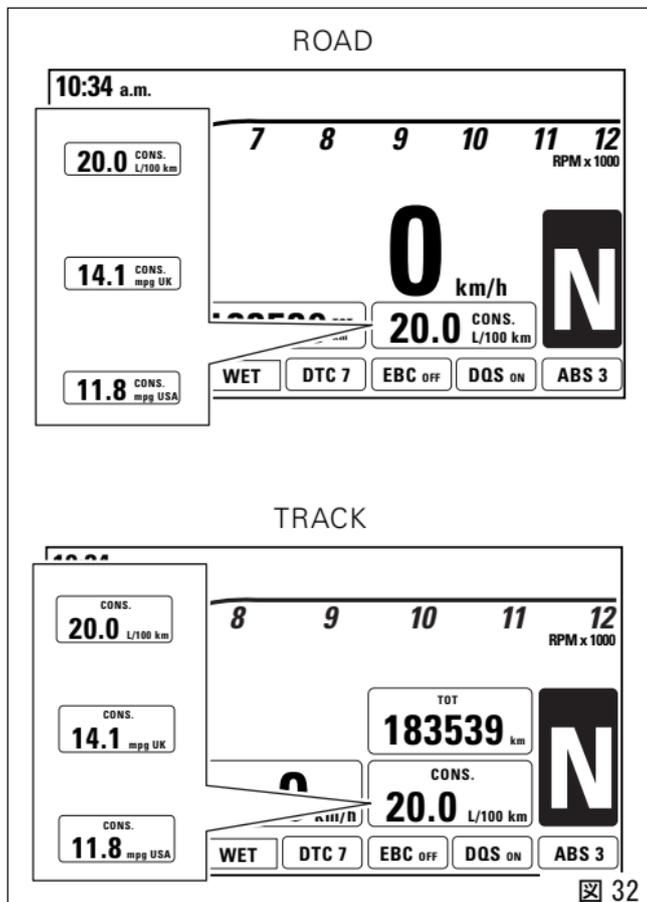
数値は消費燃料の量と最終秒の走行距離から算出されます。データは設定された単位リットル /100 km、mpg UK、又は mpg USA で表示されます。

数値はエンジン起動中かつ車両が動いている時に算出されます（車両停止中もしくはエンジン停止中のギア中断はお勧めできません）。算出がされない場合、ディスプレイ上に “-.-” が瞬間燃費として固定点灯します。



参考

燃費の単位を L/100 から km/L に設定メニューの UNITS 機能から変更することができます（平均燃費、瞬間燃費同時に）（91 ページ参照）。



メニュー 2 の機能： 平均燃費

インストルメントパネルは車両の平均燃費、設定単位、及び CONS. AVG の文字を表示します。

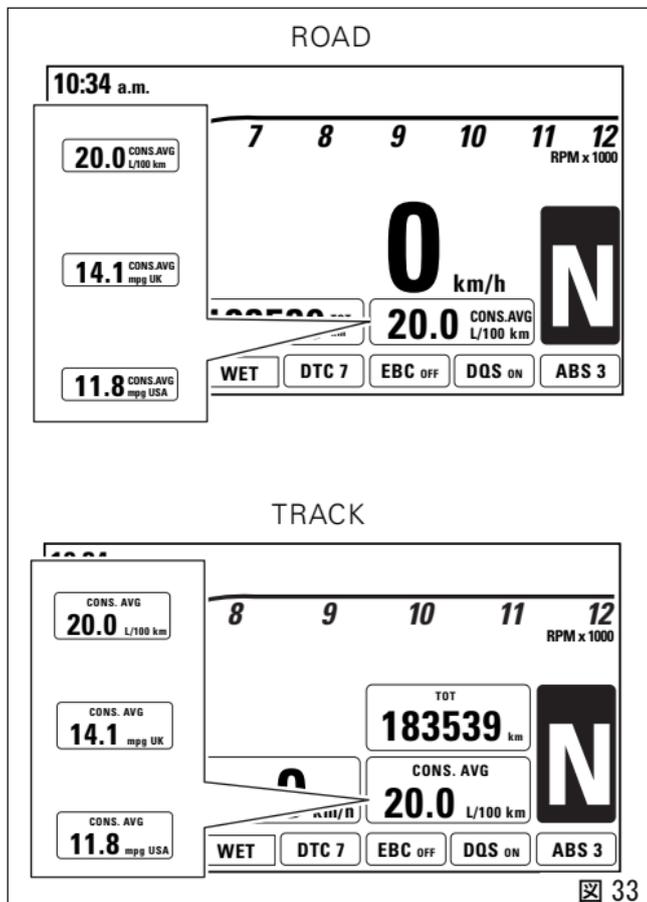
使用燃料の量及び TRIP1 の最後のリセット以降の走行距離から計算されます。TRIP 1 がリセットされると、データがリセットされ、最初のデータはリセットから 10 秒後に表示されます。数値がディスプレイされない最初の 10 秒間は “- - -” が 平均燃費として固定点灯します。

データは設定された単位（リットル /100 km、mpg UK、又は mpg USA）で表示されます。

車両が停止していてもエンジンが作動中であれば計算されます（エンジン停止中のギアの中断は考慮されません）。



参考
燃費の単位を L/100 から km/L に設定メニューの UNITS 機能から変更することができます（平均燃費、瞬間燃費同時に）（91 ページ参照）。



メニュー 2 の機能： 平均スピード

インストルメントパネルは車両の平均スピード、設定単位、及び SPEED AVG の文字を表示します。

TRIP 1 の最後のリセット以降の走行距離及び時間から計算されます。TRIP 1 がリセットされると、データがリセットされ、最初のデータはリセットから 10 秒後に表示されます。数値がディスプレイされない最初の 10 秒間は "—" が平均スピードとして固定点灯します。

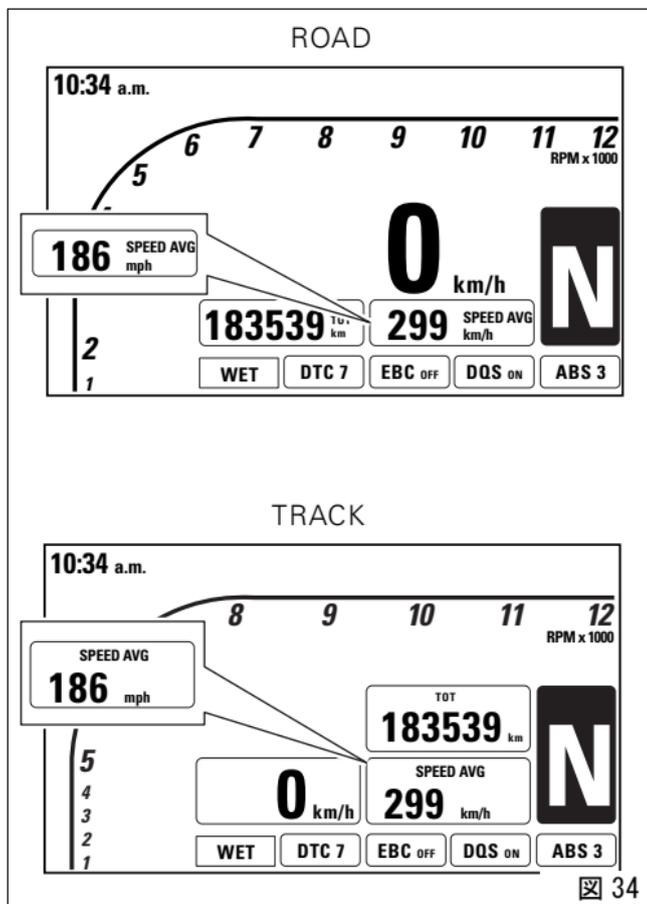
車体停止、エンジン作動中も計算されます（エンジン停止中のギアの中断は考慮されません）。

平均スピードは車両スピードの表示と合わせるため実スピードに 5% 上乘せした値が表示されます。



参考

設定メニューの UNITS SETTING 機能で km/h（及び km）から mph（及びマイル）にスピード（及び走行距離を同時に）の単位を変更することができます（91 ページ参照）。



メニュー 2 の機能： 走行時間

インストルメントパネルは走行時間を hhh:mm の形式で算出し、TRIP TIME の文字と共に表示します。

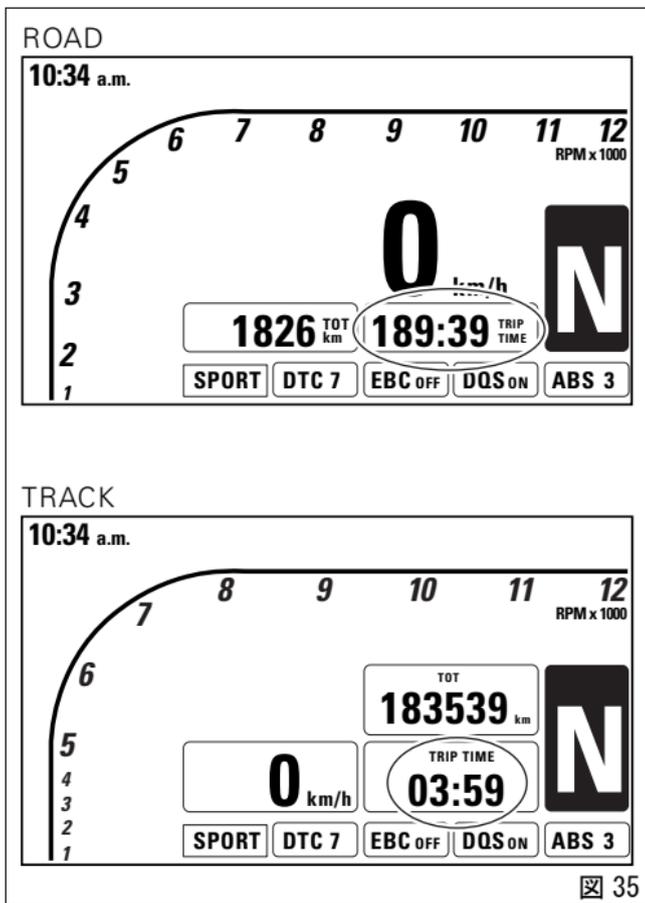
TRIP 1 の最後のリセット以降の走行時間から計算されます。TRIP1 がリセットされると、データもリセットされます。

車両が停止していてもエンジンが作動中であれば計算されます（エンジン停止中のギアの中断で、時間は自動的に止まり、計算が始まると自動的に時間測定も始まります。）

表示時間が 720:00（720 時間 00 分）を超えると、カウンターは自動的にリセットされ、再度ゼロからカウントされます。



参考
スピード（及び距離）及び燃費に関する値の単位が変更された場合、走行時間のデータは自動的にリセットされます。



メニュー 2 の機能： 外気温

インストルメントパネルは設定された単位 (° C 又は ° F) に換算された外気温、単位、AIR の文字、温度計のシンボルを表示します。

温度データは -39 ° C ~ +124 ° C (又は -38 ° F ~ +255 ° F) の場合に表示されます。それ以外の温度 (-39 ° C 未満又は +124 ° C を超える場合) では “- - -” 及び単位が表示されます。

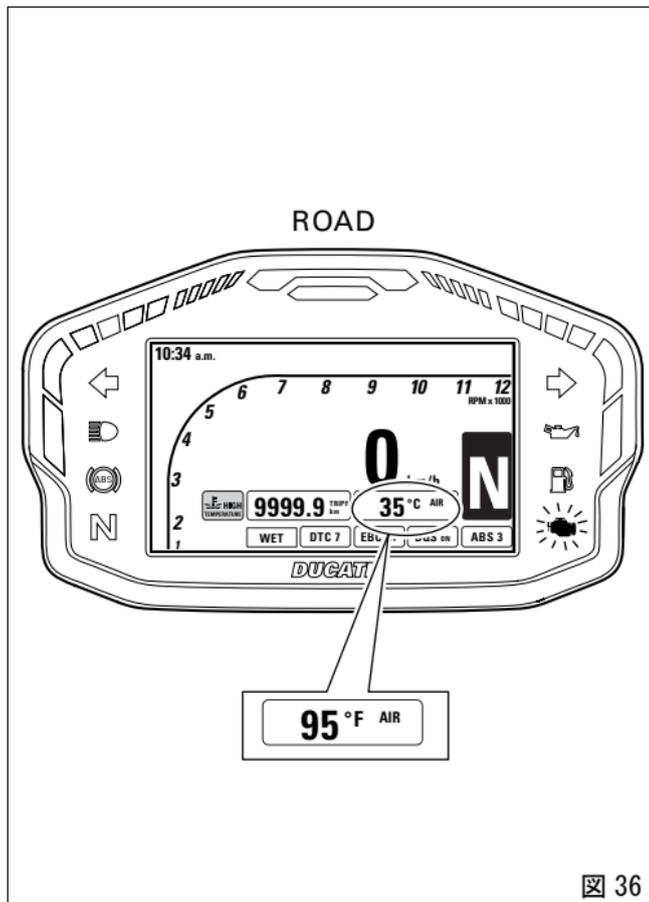
気温センサーエラーの場合、インストルメントパネルは単位と共に温度として “- - -” が点滅し、EOBD ランプが点灯します。そして、ディスプレイ上に AIR SENSOR エラーが表示されます。

インストルメントパネルが気温のデータを受信しない場合、単位と共に “- - -” が固定表示されます。



参考

エンジン熱は停止車両の温度表示に影響を与えません。



サブ機能

DDA

車両に DDA 装置が搭載されている場合のみインスト
ルメントパネルは DDA に関する情報を表示します。
DDA の文字が表示される場合、DDA 装置が起動して
おり、記録が行われています。
DDA の文字が表示されない場合、DDA 装置は起動して
いません。

時計 (CLOCK)

インストルメントパネルは時間に関する情報を表示
します。時間はディスプレイの左上の角に表示され
ます。

インストルメントパネルは時間を以下のように表示
します。

hh (時間) : mm (分)

文字

a. m. (午前 0:00 から午前 11:59 まで) 又は

p. m. (午後 12:00 から午後 12:59 まで及び午後 1:00
から午後 11:59 まで)。

インストルメントパネルが正しい時間データを受信
しない場合、“-- : -- a. m.” が固定点灯します。

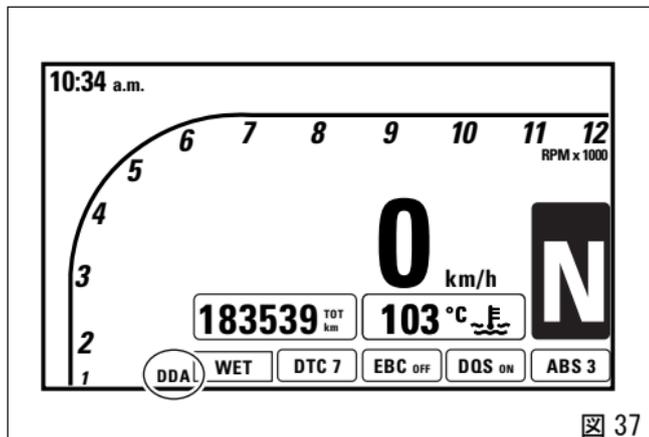


図 37

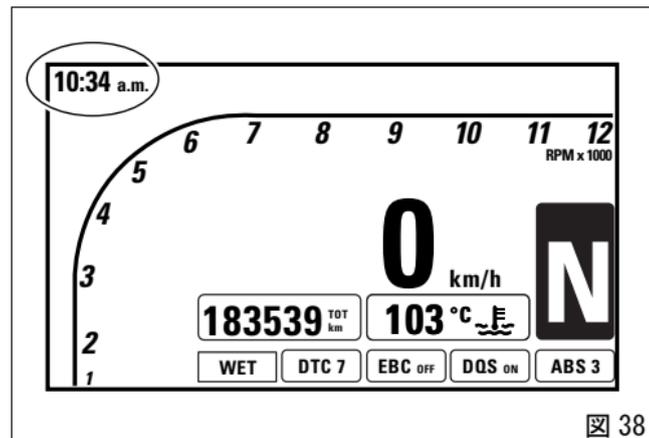


図 38

メンテナンス表示 (SERVICE)

これはユーザーに Ducati オフィシャルサービスセンターにて車両のメンテナンス (定期点検) の必要性を表示します。

メンテナンス表示のリセットは、メンテナンスを行う Ducati オフィシャルサービスセンターのみが行うことができます。

アイコンの表示は、警告 / アラームを表示するための手順に従います (“警告 / アラーム” の章参照)

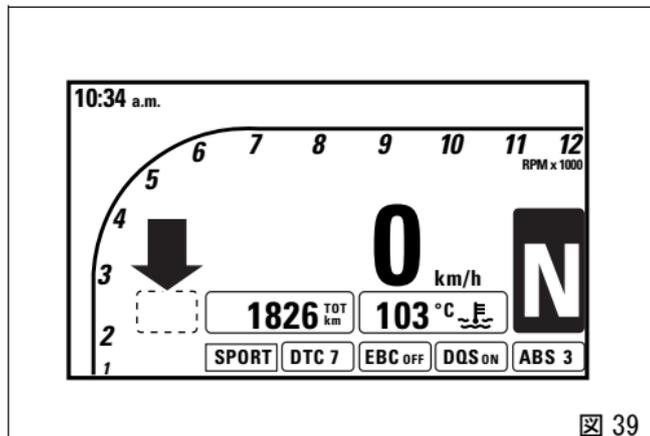


図 39

OIL SERVICE ゼロ表示 (図 40)

メンテナンスの最初の表示は OIL SERVICE ゼロで、オドメーターが最初の 1000km (600 マイル) に達すると起動します。

Key-On の度に 5 秒間 “大きく” 表示され、その後 Ducati オフィシャルサービスセンターがメンテナンスで “リセット” を行うまで常に小さく表示されます。

アイコンの表示は、警告 / アラームを表示するための手順に従います (“警告 / アラーム” の章参照)

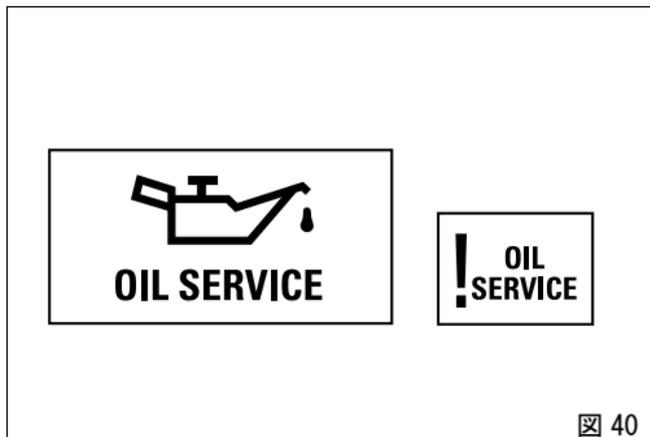


図 40

OIL SERVICE 又は DESMO SERVICE カウントダウン表示 (図 41)

(1000km) の OIL SERVICE ゼロ表示の最初のリセットが行われた後、インストルメントパネルは次の定期点検 (OIL SERVICE 又は DESMO SERVICE) までの残りのキロ数 (マイル数) をカウントし始めます。Key-On の度に緑色の表示が 2 秒間 “大きく” 表示され、定期点検までの走行距離が 1000km を切ると表示は黄色になり、Key-On 毎に 5 秒間表示されます。アイコンの表示は、警告 / アラームを表示するための手順に従います (“警告 / アラーム” の章参照)

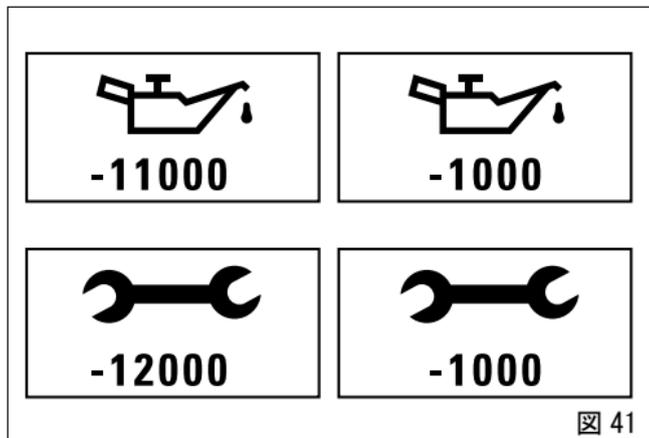


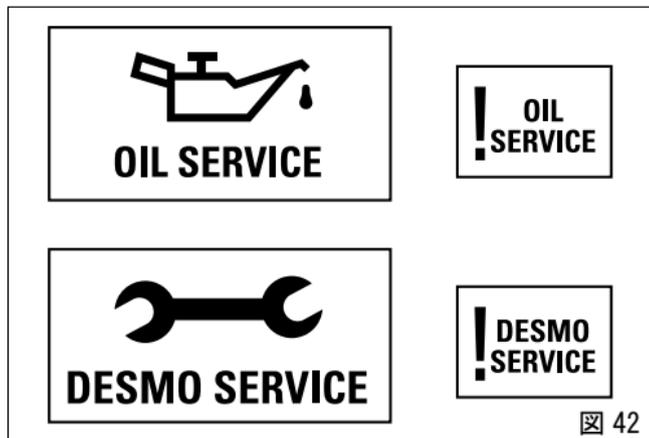
図 41

OIL SERVICE又はDESMO SERVICE表示（図42）

メンテナンスを行う走行距離に達すると、必要なメンテナンスのタイプ（OIL SERVICE 又は DESMO SERVICE）の表示が表れます。

Key-On の度に 5 秒間行うべきメンテナンスの種類が “大きく” 表示され、その後 Ducati オフィシャルサービスセンターがメンテナンスで “リセット” を行うまで常に小さく表示されます。

アイコンの表示は、警告 / アラームを表示するための手順に従います（“警告 / アラーム” の章参照）



警告 / アラーム

インストルメントパネルは車両の使用中にユーザーに有用な情報を供給するため一連の警告 / アラームを管理します。車両の Key-On 時、警告がある場合、インストルメントパネルは警告をディスプレイに表示します。車両が通常に機能している間、警告を受信するとインストルメントパネルは自動的に警告があることを表示します。警告を受信すると、最初の 5 秒間よく見える形（大きなアイコン）で表示され、その後小さなアイコンに代わります。

複数の警告を受信した場合、各警告のアイコンが順番に表示されます。それぞれのアイコンは 3 秒間表示されます。警告が表示されても警告ランプは点灯しません。

エンジンクーラント温度高 (High temperature) (図 43)

エンジンクーラント温度が 121° C (250° F) に達すると通知します。



参考

この場合 Ducati 社は、速やかに車両を停止させ、エンジンを切ることを推奨します。ファンが機能していることを確認してください。

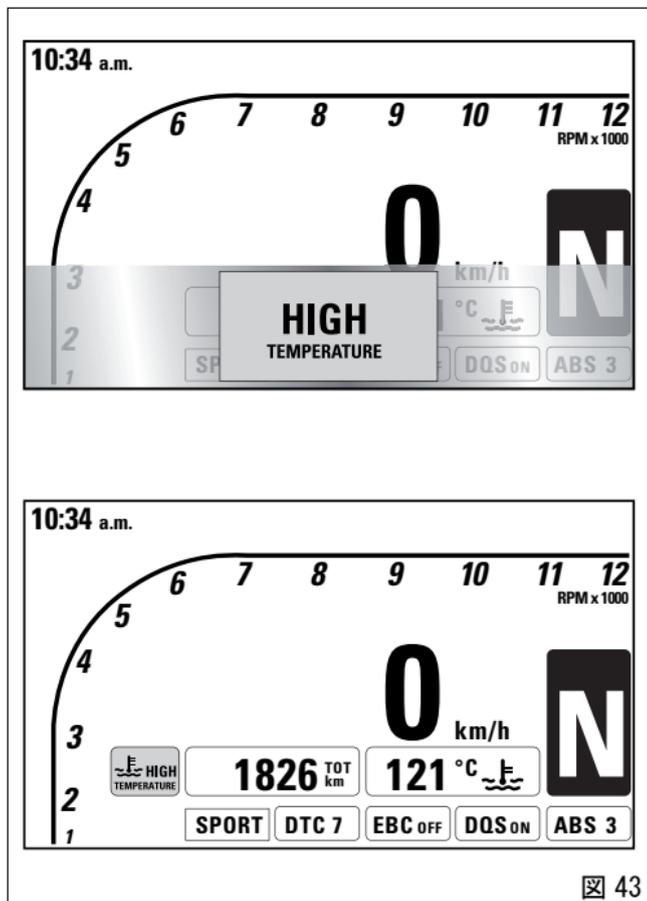
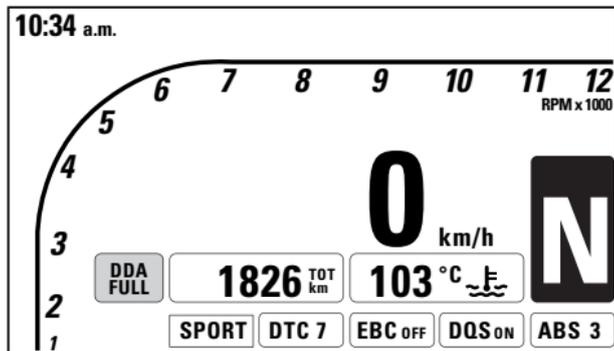
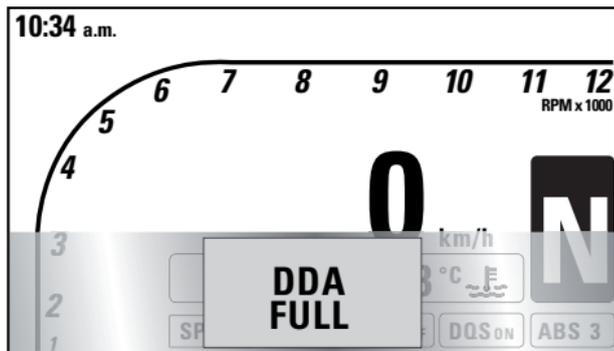


図 43

DDA メモリーフル (DDA full)

DDA のメモリーがいっぱいで、これ以上トリップデータをメモリーできない場合に通知します。



Ice

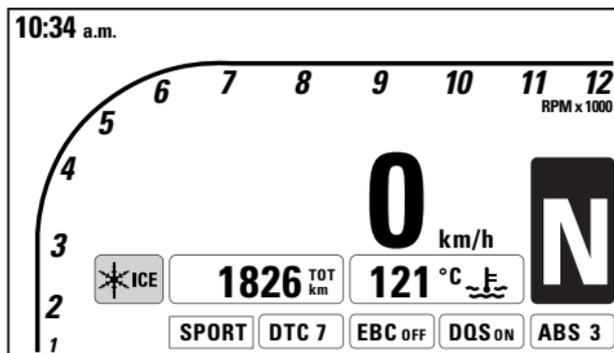
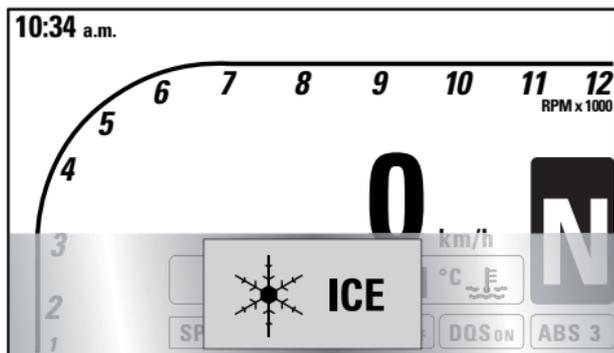
外気温が低く道路が氷結している危険を通知します。

温度が下がり 4° C (39° F) に達すると起動し、温度が上がり 6° C (43° F) に達すると解除されます。



参考

気温が 4° C (39° F) 以上でも道路が氷結している可能性があります。外気温が“低い”場合は、特に日陰や橋の上では細心の注意を払って運転してください。



エラー表示

インストルメントパネルは車両の不具合をリアルタイムに識別するためにエラー信号を管理します。

車両の Key-On 時、エラーがある場合、インストルメントパネルはエラーをディスプレイに表示し、EOBD ランプが点灯します。車両が通常に機能している間エラーが検出されると、インストルメントパネルは自動的にエラーをディスプレイに表示し、EOBD ランプが点灯します。

エラーを受信すると、最初の 5 秒間よく見える形(大きなアイコン)で表示され、その後小さなアイコンに代わります。

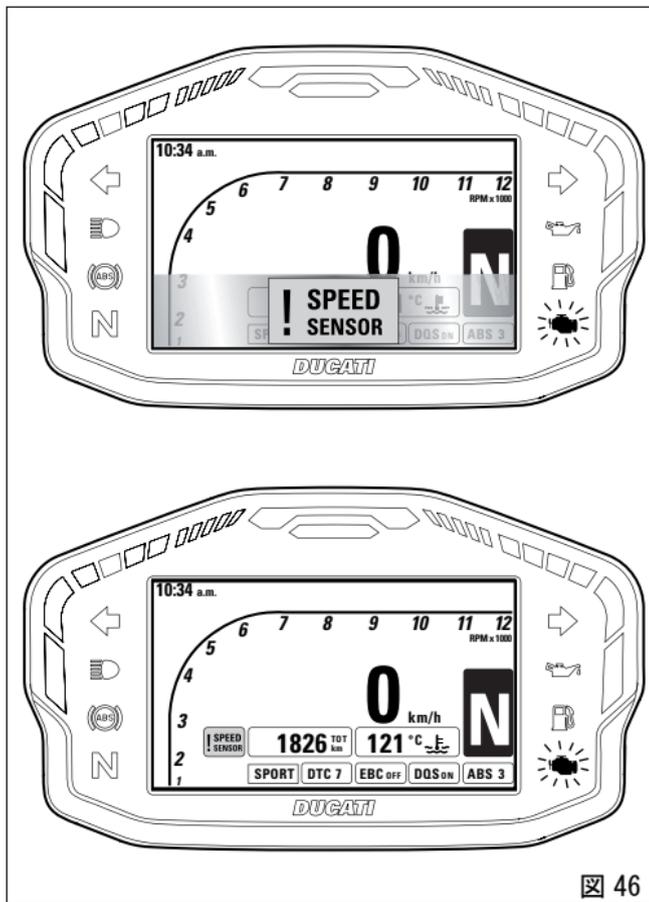
複数のエラーを受信した場合、各エラーのアイコンが順番に表示されます。それぞれのアイコンは 3 秒間表示されます。

エラーを受信すると同時に EOBD ランプが点灯します。



参考

ひとつ又はそれ以上のエラーが表示された場合には、Ducati オフィシャルディーラーにお問い合わせください。



エラー表示の説明

エラー表示	説明
CAN LINE	CAN LINE BUS Off
UNKNOWN DEVICE	コントロールユニットがシステムに認識されません - SW エラー
ABS	ABS コントロールユニットが伝達を行いません / 正常に機能していません
BBS	BBS コントロールユニットが伝達を行いません / 正常に機能していません
	BBS コントロールユニット機能の一般不具合
	エキゾーストバルブモーター機能の不具合
DSB	DSB コントロールユニットが伝達を行いません / 正常に機能していません
E-LOCK	E-LOCK コントロールユニットが伝達を行いません / 正常に機能していません
	E-LOCK コントロールユニット機能の一般不具合
	アンテナキー（イモビライザー）機能の不具合
ENGINE	ECU コントロールユニットが伝達を行いません / 正常に機能していません
	ECU コントロールユニット機能の一般不具合
	スロットルポジションセンサー不具合
	ガスグリップポジションセンサー不具合
	リレー又はスロットルサブエンジン不具合
	圧力センサー不具合
	エンジンクーラント温度センサー不具合
	インテークダクト温度センサー不具合
インジェクションリレー不具合	

エラー表示	説明
ENGINE	イグニッションコイル不具合
	インジェクター不具合
	エンジン回転センサー不具合
	ラムダセンサー又はラムダセンサーヒーター不具合
	車両スターターリレー不具合
	クイックシフトスイッチ不具合
	セカンダリアエアセンサー不具合
DES	フロントコンプレッションダンピングサスペンション機能の一般不具合
	フロントリバウンドサスペンション機能の一般不具合
	リアコンプレッションダンピングサスペンション機能の一般不具合
	リアリバウンドサスペンション機能の一般不具合
GEAR SENSOR	ギアセンサー機能の不具合
FUEL SENSOR	NTC リザーブセンサー機能の不具合
SPEED SENSOR	フロント及び / 又はリアスピードセンサー機能の不具合
BATTERY	バッテリー電圧が高すぎる、又は、低すぎる
STOP LIGHT	ストップライトが機能していない
FAN	エレクトリッククーリングファンの不具合
SIDE STAND	サイドスタンドセンサーの不具合

エラーアイコン表

ランプ	エラーメッセージ	エラー
	ABS	ABS コントロールユニット
	BBS	ブラックボックスコントロールユニット
	DSB	インストルメントパネルコントロールユニット
	E-LOCK	E-LOCK コントロールユニット
	CAN LINE	Can Bus OFF
	UNKNOW DEVICE	ソフトウェアの互換性
	FUEL SENSOR	リザーブフューエルセンサー
	GEAR SENSOR	ギアセンサー
	DES	エレクトロニックサスペンション

ランプ エラーメッセージ	エラー
 SIDE STAND	サイドスタンドセンサー
 STOP LIGHT	リアストップライト
 BATTERY	エンジンコントロールユニット
 ENGINE	スピードセンサー
 SPEEDSENSOR	クーリングファン

サイドスタンドステータスの表示

インストルメントパネルはサイドスタンドのステータスに関するデータを受信し、サイドスタンドエクステンド/オープンの場合、赤い背景に“SIDE STAND”の文字がディスプレイに表示されます。

サイドスタンドセンサーエラーがある場合、インストルメントパネルはサイドスタンドエクステンド / オープンの信号を表示し、EOBD ランプが点灯します。ディスプレイには“Side stand sensor”を表示します。

インストルメントパネルがサイドスタンドのステータスのデータを受信しない場合、サイドスタンドエクステンド/オープンの“SIDE STAND”表示が点滅し、ステータスが明確でないことを通知します。

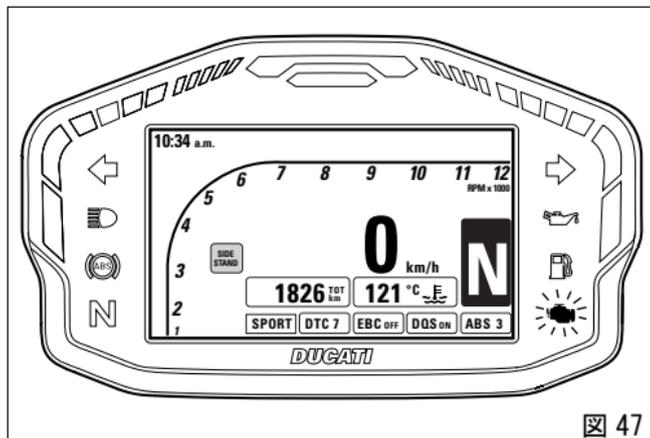


図 47

設定メニュー

このメニューはいくつかの車両機能を ON/OFF 及び設定することができます。

設定メニューに入るには Key-On 及び車両実スピードが $\leq 20\text{km/h}$ (以下) の状態でボタン (2) を 3 秒間押しします。このメニューを表示中は他の機能を見ることはできません。

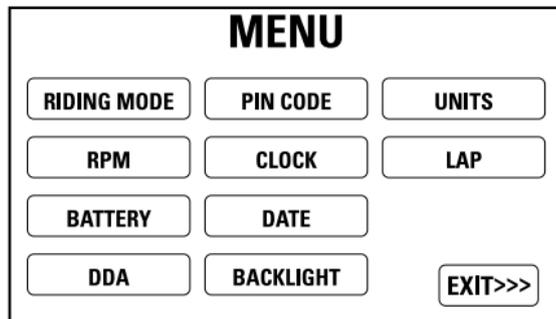
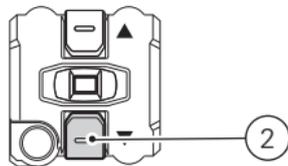
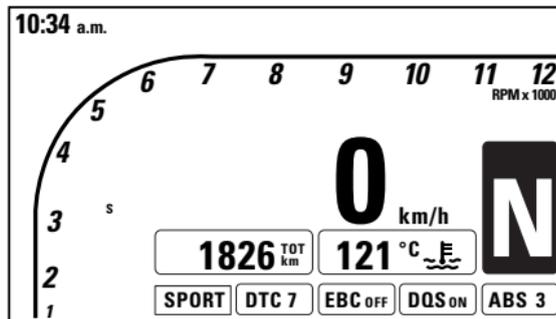
設定メニューには以下の機能が表示されます

- RIDING MODE
- RPM
- BATTERY
- DDA
- PIN CODE
- CLOCK
- DATE
- BACK LIGHT
- UNITS
- LAP ("TRACK" タイプのディスプレイ表示でのみ起動)



重要

安全性の理由からこのメニューは車両が停止している状態で使用してください。



ボタン (1) 及び (2) を押すとパーソナライズ可能なパラメーターを一つずつ強調表示することができます。ボタン (1) を押すと次のパラメーターが、ボタン (2) を押すと前のパラメーターが強調表示されます。

希望のパラメーターを強調表示した後、ボタン (4) を押すと選択したパラメーターに対応するメニューページが開きます。

機能が搭載されていない場合や一時的に解除されている場合は、メニューページにアクセスできません。設定メニューがら出るには、“EXIT” を強調表示し、メニュー決定ボタン (4) を押します。

MENU

RIDING MODE

PIN CODE

UNITS

RPM

CLOCK

LAP

BATTERY

DATE

DDA

BACKLIGHT

EXIT>>>

DDA

DDA OFF

OFF

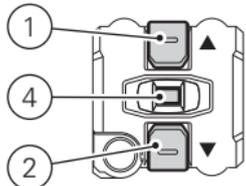
ON

ERASE

DDA MEMORY

EMPTY

EXIT>>>



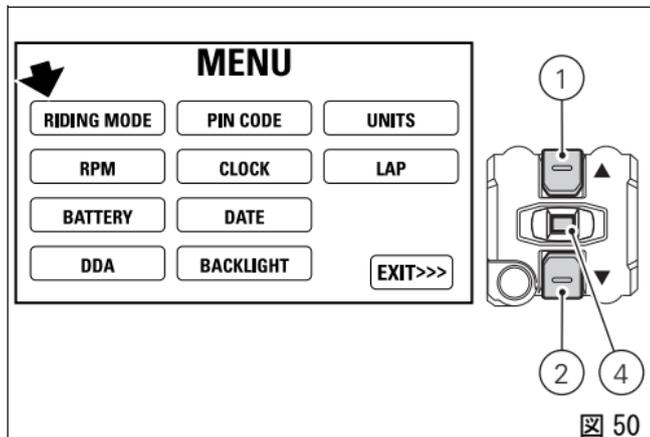
ライディングモード のパーソナライズ (Riding Mode)

各ライディングモードのそれぞれの設定をパーソナライズすることができます。

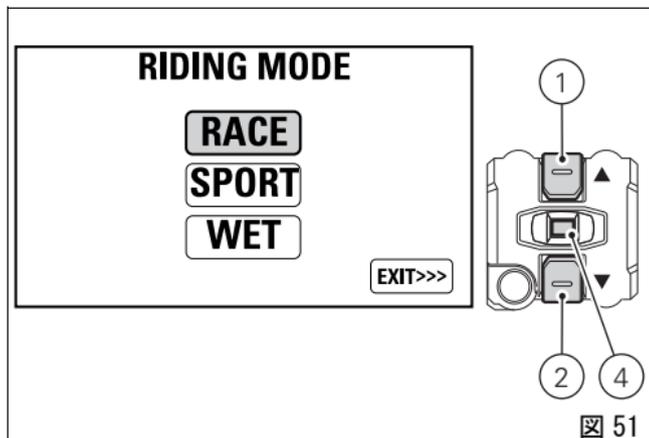
設定メニューに入ります。

ボタン (1) 又は (2) を押して "RIDING MODE" の文字を選択します。

機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。



“RIDING MODE”メニューに入ります。
ボタン (1) または (2) を押して、希望のライディングモード (RACE、SPORT、又は WET) を選択します。
希望のライディングモードが強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。
選択したライディングモードのパーソナライズメニューに入ります。
“EXIT” の文字が強調表示され、ボタン (4) を押すと、サブメニューを終了し前の表示に戻ります。



各ライディングモードについて以下のパラメーターをパーソナライズすることができます。

- ABS (ABS バージョンのみ可能)
- EBC
- DES
- DISPLAY
- DQS (DQS 搭載車両のみ可能)
- DTC
- ENGINE
- DEFAULT

ボタン (1) 及び (2) を押すとパーソナライズ可能なパラメーターを一つずつ強調表示することができます。ボタン (1) を押すと次のパラメーターが、ボタン (2) を押すと前のパラメーターが強調表示されます。

希望のパラメーターを強調表示した後、ボタン (4) を押すと選択したパラメーターに対応するメニューページが開きます。

更新事項は Battery-Off 後もメモリー消去されません。

それぞれのライディングスタイルをDucatiの初期設定に戻すには、DEFAULT 機能を使用します。

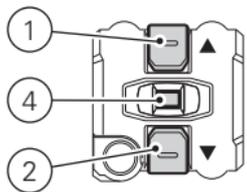
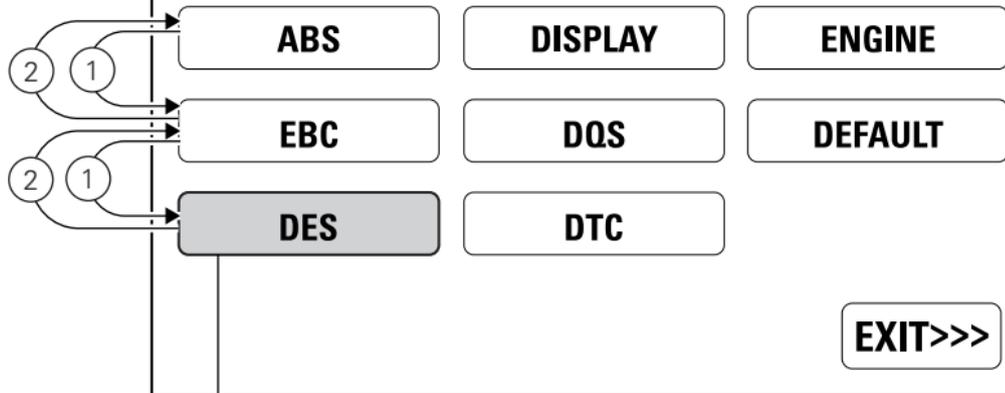
“EXIT” の文字が強調表示され、ボタン (4) を押すと、サブメニューを終了し前の表示に戻ります。



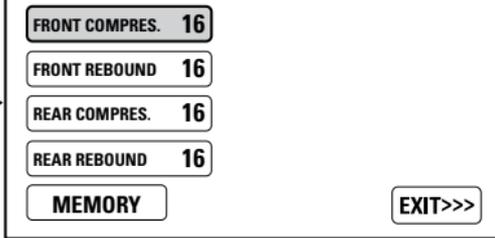
参考

これらの更新は、車両のセットアップに充分慣れている方のみにお勧めします。想定外の更新になった場合、DEFAULT で、パラメーターそのものの修復をお勧めします。

RACE



RACE



ライディングモードのパーソナライズ： ABS の調整 (ABS バージョン)

ABSのパーソナライズ用ページはABSシステムを搭載している車両のみ表示することができます。ここでは一つのライディングモードについてABSシステムの干渉レベルの設定、又はABSシステムを解除することができます。設定メニューに入ります。

ボタン (1) 又は (2) を押して“RIDING MODE”の文字を選択します。

機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。

“RIDING MODE”メニューに入ります。ボタン (1) または (2) を押して、希望のライディングモード (RACE、SPORT、又はWET) を選択します。

希望のライディングモードが強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。選択したライディングモードのパーソナライズメニューに入ります。ボタン (1) 又は (2) を押して、パーソナライズするパラメーター (ABS) を選択します。希望のパラメーターが強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。

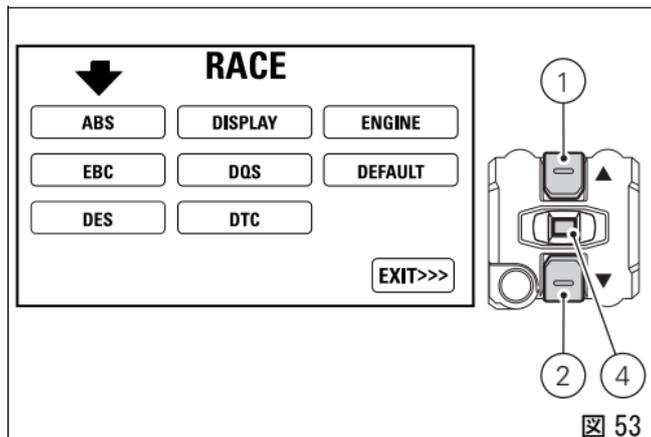


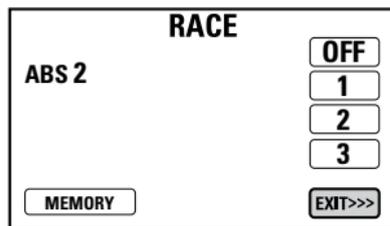
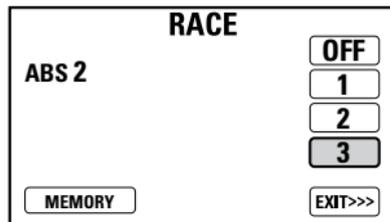
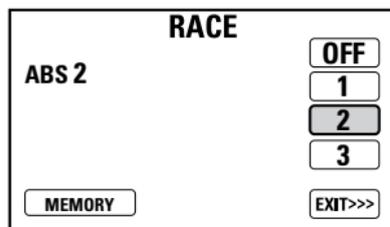
図 53

左側の機能の入口に現在の ABS のレベル又は状態が表示されます（例：ABS 1）。

右側にパーソナライズ可能なレベル 1 から 3、又は OFF がリストアップされます。

ボタン (1) 及び (2) を押すと希望の干渉レベルを一つずつ強調表示することができます。ボタン (1) を押すと次のレベルが、ボタン (2) を押すと前のレベルが強調表示されます。

希望のレベルを選択したらメニュー決定ボタン (4) を押し、MEMORY の文字を強調表示します。

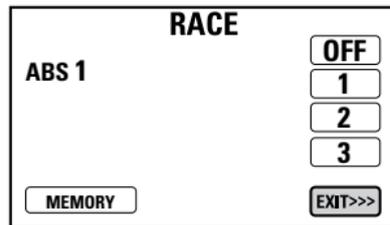
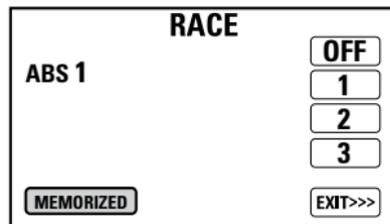
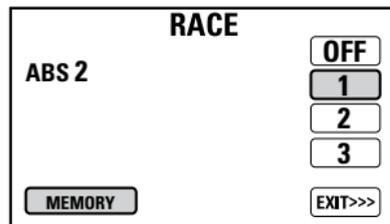


新しい設定をメモリーするにはオレンジ色に強調表示された MEMORY の文字と共にボタン (4) を 3 秒押します。メモリーが完了すると、MEMORIZED の文字が 1 秒間緑色に強調表示され、レベル数又は設定ステータスが更新されます (更新内容は緑色で表示されます)。その後 EXIT の文字が緑色に強調表示されます。メニューを終了して前の表示に戻るには、EXIT の文字を強調表示し、ボタン (4) を押します。



参考

この機能で ABS システムを起動又は解除する場合、すなわちシステム解除の状態から起動の状態又はその反対に変更する場合、ABS システムの起動又は解除の手続きが取られません。ABS コントロールユニットのステータスの変更はすぐに行われるものでなく、約 6 秒かかります。



ライディングモードのパーソナライズ： エレクトロニックサスペンションの調整

ここでは各ライディングモードに連動したエレクトロニックサスペンションのコンプレッションダンピングとリバウンドのレベルを設定します。

設定メニューに入ります。

ボタン (1) 又は (2) を押して “RIDING MODE” の文字を選択します。

機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。

“RIDING MODE” メニューに入ります。

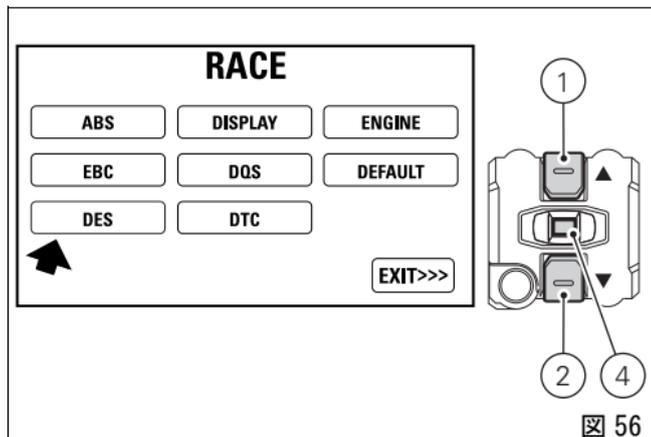
ボタン (1) または (2) を押して、希望のライディングモード (RACE、SPORT、又は WET) を選択します。

希望のライディングモードが強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。

選択したライディングモードのパーソナライズメニューに入ります。

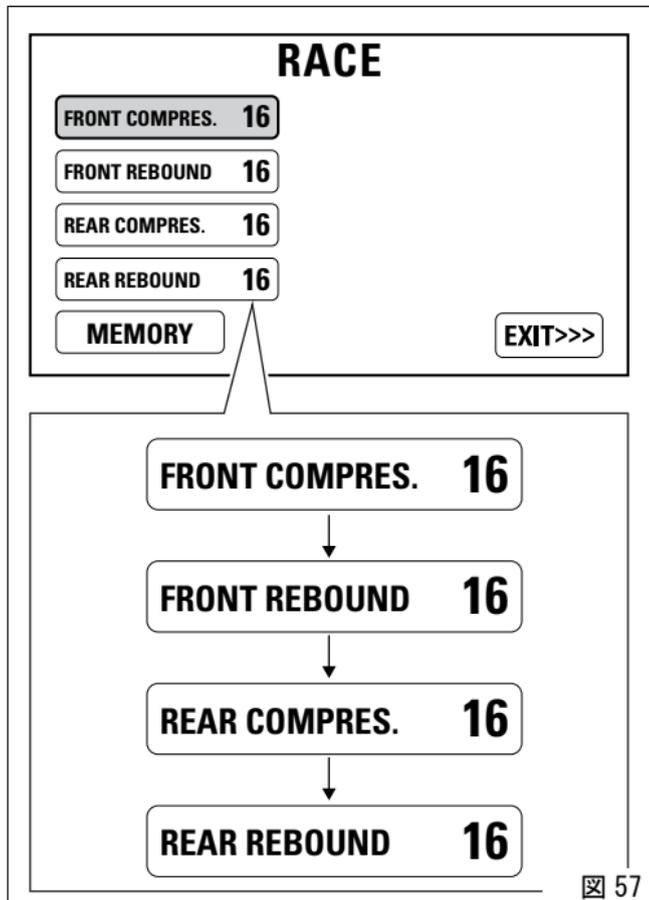
ボタン (1) 又は (2) を押して、パーソナライズするパラメーター (DES) を選択します。

希望のパラメーターが強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。



左側の機能の入口に以下の 4 つのパラメーターに対して設定された現在のクリック数が表示されます。

- FRONT COMPRES.
- FRONT REBOUND
- REAR COMPRES.
- REAR REBOUND



ボタン (1) 及び (2) を押すとパーソナライズ可能なパラメーターを一つずつ強調表示することができます。ボタン (1) を押すと次のパラメーターが、ボタン (2) を押すと前のパラメーターが強調表示されます。

希望のパラメーターを強調表示した後、ボタン (4) を押すと選択したパラメーターに対応するメニューページが開きます。

右側にパーソナライズ可能なクリック数0から31までリストアップされます。

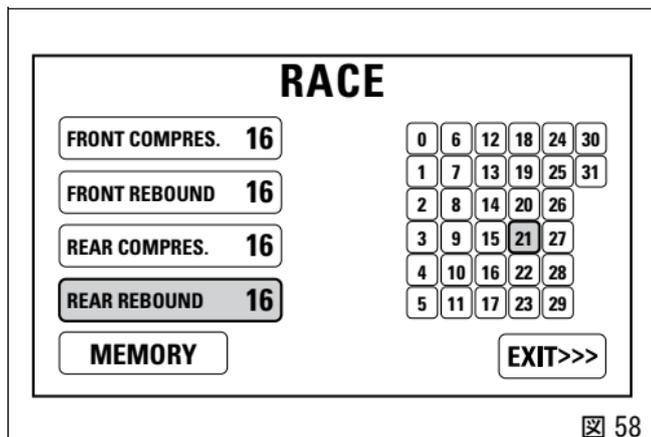
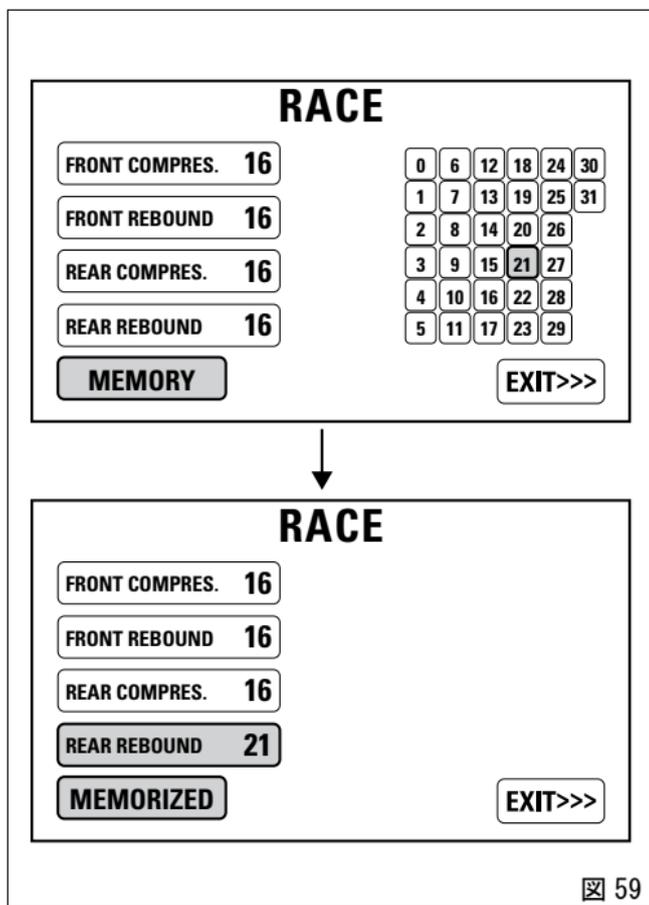


図 58

ボタン (1) 及び (2) を押すと希望のクリック数を一つずつ強調表示することができます。ボタン (1) を押すと次のレベルが、ボタン (2) を押すと前のレベルが強調表示されます。

希望のクリック数を選択したらメニュー決定ボタン (4) を押し、MEMORY の文字を強調表示します。

新しい設定をメモリーするにはオレンジ色に強調表示された MEMORY の文字と共にボタン (4) を 3 秒押しします。メモリーが完了すると、MEMORIZED の文字が 1 秒間緑色に強調表示され、クリック数が更新されます。

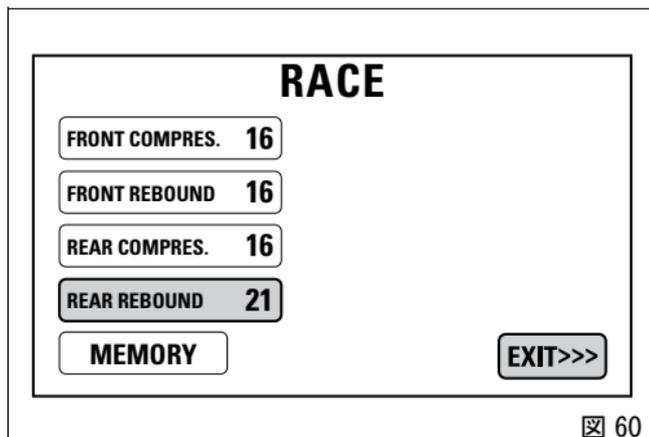


メニューを終了して前の表示に戻るには、EXIT の文字を強調表示し、ボタン (4) を押します。



参考

クリック数を増やすと油圧ブレーキの力が弱くなり、クリック数を減らすと油圧ブレーキの力が強くなります。



ライディングモードのパーソナライズ： ディスプレイの設定

ここでは各ライディングモードに連動したメインスクリーンのレイアウトのタイプを選択することができます。設定メニューに入ります。

ボタン (1) 又は (2) を押して “RIDING MODE” の文字を選択します。機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。“RIDING MODE” メニューに入ります。

ボタン (1) または (2) を押して、希望のライディングモード (RACE、SPORT、又は WET) を選択します。希望のライディングモードが強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。

選択したライディングモードのパーソナライズメニューに入ります。

ボタン (1) 又は (2) を押して、パーソナライズするパラメーター (DISPLAY) を選択します。

希望のパラメーターが強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。

左側の機能の入口に現在設定されたメインスクリーンのタイプが表示されます。

右側にパーソナライズ可能なタイプ ROAD 又は TRACK がリストアップされます。

ボタン (1) 及び (2) を押すと希望のメインスクリーンのタイプを一つずつ強調表示することができます。ボタン (1) を押すと次のレベルが、ボタン (2) を押すと前のレベルが強調表示されます。

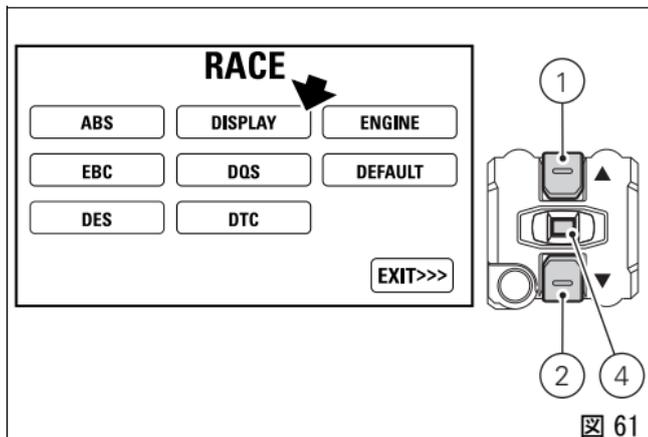
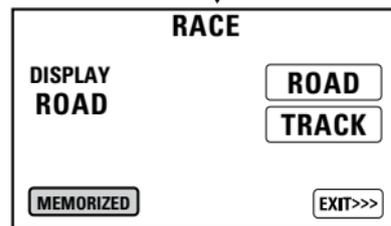
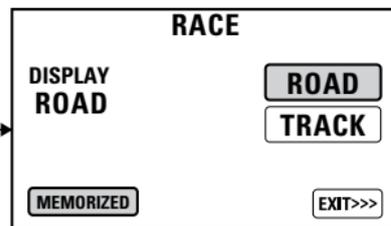
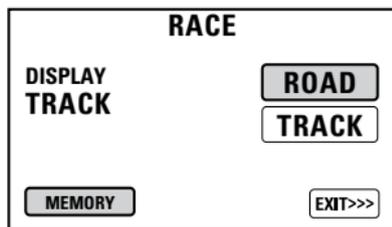
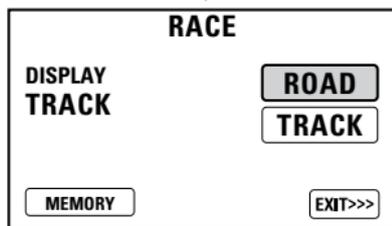
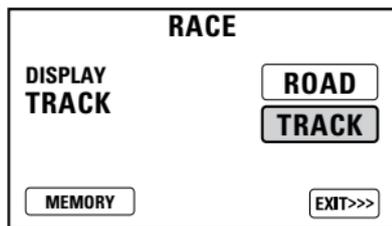


図 61

希望のメインスクリーンのタイプを選択したらメニュー決定ボタン (4) を押し、MEMORY の文字を強調表示します。

新しい設定をメモリーするにはオレンジ色に強調表示された MEMORY の文字と共にボタン (4) を 3 秒押します。メモリーが完了すると、MEMORIZED の文字が 1 秒間緑色に強調表示され、設定されたスクリーンのレイアウトが更新されます (更新内容は緑色で表示されます)。その後 EXIT の文字が緑色に強調表示されます。

メニューを終了して前の表示に戻るには、EXIT の文字を強調表示し、ボタン (4) を押します。



ライディングモードのパーソナライズ : DQS の起動 / 解除

DQSのパーソナライズ用ページはDQS装置を搭載している車両のみ表示することができます。ここでは各ライディングモードに連動した DQS 装置の起動又は解除を行うことができます。設定メニューに入ります。

ボタン (1) 又は (2) を押して “RIDING MODE” の文字を選択します。機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。“RIDING MODE” メニューに入ります。

ボタン (1) または (2) を押して、希望のライディングモード (RACE、SPORT、又は WET) を選択します。希望のライディングモードが強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。

選択したライディングモードのパーソナライズメニューに入ります。ボタン (1) 又は (2) を押して、パーソナライズするパラメーター (DQS) を選択します。希望のパラメーターが強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。

左側の機能の入口に現在の DQS 状態が表示されます (例 : DQS ON)。

右側にパーソナライズ可能な状態 ON 又は OFF がリストアップされます。

ボタン (1) 及び (2) を押すと希望の状態を一つずつ強調表示することができます。ボタン (1) を押すと次のレベルが、ボタン (2) を押すと前のレベルが強調表示されます。

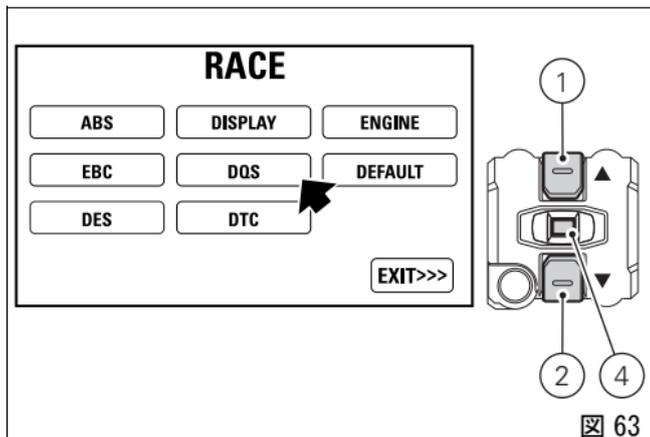
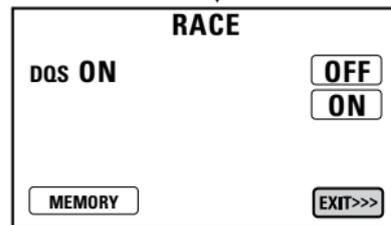
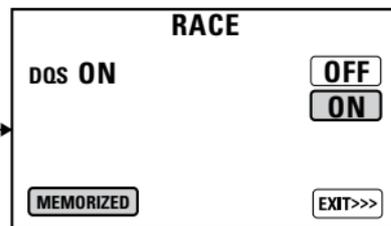
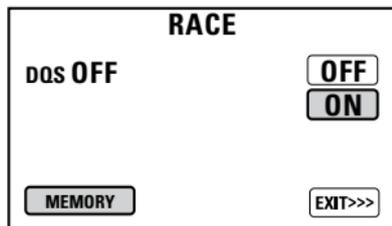
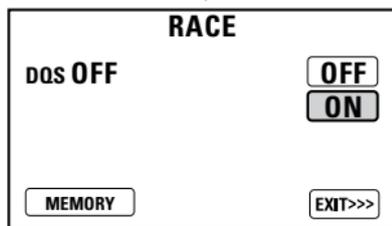
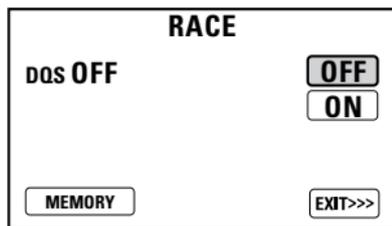


図 63

希望の状態を選択したらメニュー決定ボタン (4) を押し、MEMORY の文字を強調表示します。新しい設定をメモリーするにはオレンジ色に強調表示された MEMORY の文字と共にボタン (4) を 3 秒押しします。メモリーが完了すると、MEMORIZED の文字が 1 秒間緑色に強調表示され、設定された状態が更新されます (更新内容は緑色で表示されます)。その後 EXIT の文字が緑色に強調表示されます。メニューを終了して前の表示に戻るには、EXIT の文字を強調表示し、ボタン (4) を押します。



ライディングモードのパーソナライズ : DTC レベルの設定

ここでは各ライディングモードに連動したDC干渉レベルの設定又は解除を行うことができます。

設定メニューに入ります。

ボタン (1) 又は (2) を押して “RIDING MODE” の文字を選択します。

機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。

“RIDING MODE” メニューに入ります。

ボタン (1) または (2) を押して、希望のライディングモード (RACE、SPORT、又は WET) を選択します。希望のライディングモードが強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。

選択したライディングモードのパーソナライズメニューに入ります。

左側の機能の入口に現在の DTC のレベル又は状態が表示されます (例 : DTC 3)。

右側にパーソナライズ可能なレベルレベル 1 から 8、又は OFF がリストアップされます。

ボタン (1) 又は (2) を押して、パーソナライズするパラメーター (DTC) を選択します。

希望のパラメーターが強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。

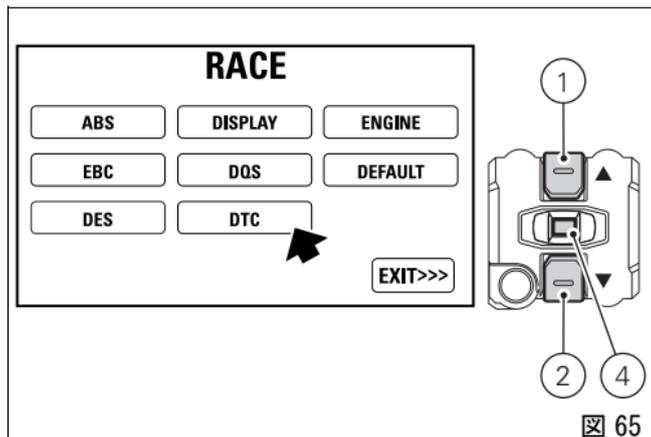
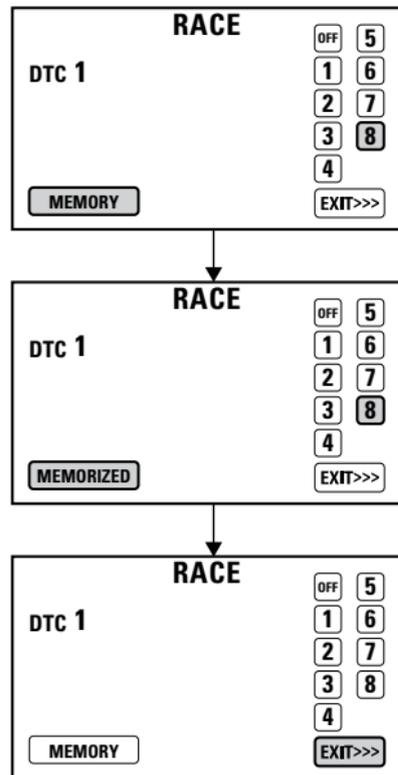
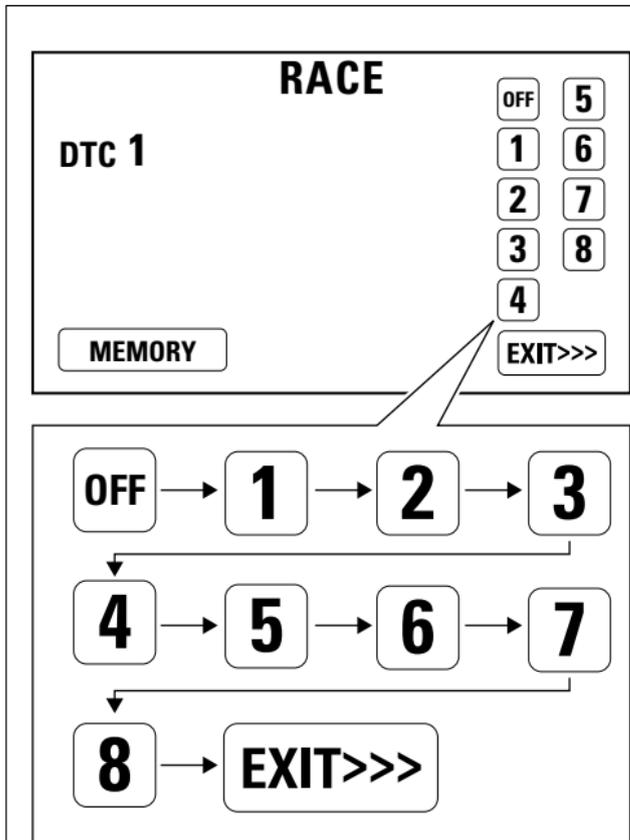


図 65

新しい設定をメモリーするにはオレンジ色に強調表示された MEMORY の文字と共にボタン (4) を 3 秒押します。メモリーが完了すると、MEMORIZED の文字が 1 秒間緑色に強調表示され、レベル数又は設定ステータスが更新されます (更新内容は緑色で表示されず)。その後 EXIT の文字が緑色に強調表示されます。メニューを終了して前の表示に戻るには、EXIT の文字を強調表示し、ボタン (4) を押します。



ライディングモードのパーソナライズ： エンジンの調整

ここでは各ライディングモードに連動したエンジン出力を設定することができます。

設定メニューに入ります。

ボタン (1) 又は (2) を押して “RIDING MODE” の文字を選択します。

機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。

“RIDING MODE” メニューに入ります。

ボタン (1) または (2) を押して、希望のライディングモード (RACE、SPORT、又は WET) を選択します。希望のライディングモードが強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。

選択したライディングモードのパーソナライズメニューに入ります。

ボタン (1) 又は (2) を押して、パーソナライズするパラメーター (ENGINE) を選択します。

希望のパラメーターが強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。

左側の機能の入口に現在のエンジン出力が表示されます (例：ENGINE 195Hi)。

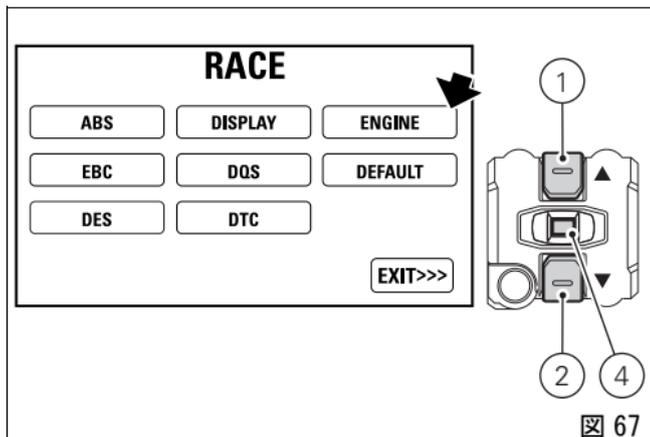


図 67

右側にパーソナライズ可能な出力が以下のようにリストアップされます。

- 195Hi、195Lo、120 (ヨーロッパ、UK、USA、カナダ、ブラジル、台湾、中国バージョン)

または：

- HIGH、MID、LOW (フランス、日本バージョン)

ヨーロッパ、UK、USA、カナダ、ブラジル、台湾、中国

RACE	
ENGINE 195Hi	195 Hi
	195Lo
	120
MEMORY	EXIT>>>



RACE	
ENGINE 195Hi	195 Hi
	195Lo
	120
MEMORY	EXIT>>>

フランス、日本

RACE	
ENGINE HIGH	HIGH
	MID
	LOW
MEMORY	EXIT>>>



RACE	
ENGINE HIGH	HIGH
	MID
	LOW
MEMORY	EXIT>>>

ボタン (1) 及び (2) を押すと希望のエンジン出力を一つずつ強調表示することができます。ボタン (1) を押すと次のレベルが、ボタン (2) を押すと前のレベルが強調表示されます。

希望の出力を選択したらメニュー決定ボタン (4) を押し、MEMORY の文字を強調表示します。

新しい設定をメモリーするにはオレンジ色に強調表示された MEMORY の文字と共にボタン (4) を 3 秒押しします。メモリーが完了すると、MEMORIZED の文字が 1 秒間緑色に強調表示され、設定されたエンジン出力が更新されます (更新内容は緑色で表示されます)。その後 EXIT の文字が緑色に強調表示されます。

メニューを終了して前の表示に戻るには、EXIT の文字を強調表示し、ボタン (4) を押しします。

ヨーロッパ、UK、USA、カナダ、ブラジル、台湾、中国

RACE

ENGINE
195Hi

195 Hi
195Lo
120

MEMORY EXIT>>>

RACE

ENGINE
195Hi

195 Hi
195Lo
120

MEMORIZED EXIT>>>

RACE

ENGINE
195Hi

195 Hi
195Lo
120

MEMORY EXIT>>>

フランス、日本

RACE

ENGINE
HIGH

HIGH
MID
LOW

MEMORY EXIT>>>

RACE

ENGINE
HIGH

HIGH
MID
LOW

MEMORIZED EXIT>>>

RACE

ENGINE
MID

HIGH
MID
LOW

MEMORY EXIT>>>

ライディングモードのパーソナライズ： EBC レベルの設定

ここでは各ライディングモードに連動したリアホイールのアンチブレーキシステム（EBC）の干渉レベル又は解除を設定することができます。設定メニューに入ります。

ボタン (1) 又は (2) を押して “RIDING MODE” の文字を選択します。

機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。

“RIDING MODE” メニューに入ります。

ボタン (1) または (2) を押して、希望のライディングモード (RACE、SPORT、又は WET) を選択します。

希望のライディングモードが強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。

選択したライディングモードのパーソナライズメニューに入ります。ボタン (1) 又は (2) を押して、パーソナライズするパラメーター (EBC) を選択します。希望のパラメーターが強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。

左側の機能の入口に現在の EBC のレベル又は状態が表示されます (例: EBC 1)。右側にパーソナライズ可能なレベル 1 から 3、又は OFF がリストアップされます。

ボタン (1) 及び (2) を押すと希望の干渉レベルを一つずつ強調表示することができます。ボタン (1) を押すと次のレベルが、ボタン (2) を押すと前のレベルが強調表示されます。

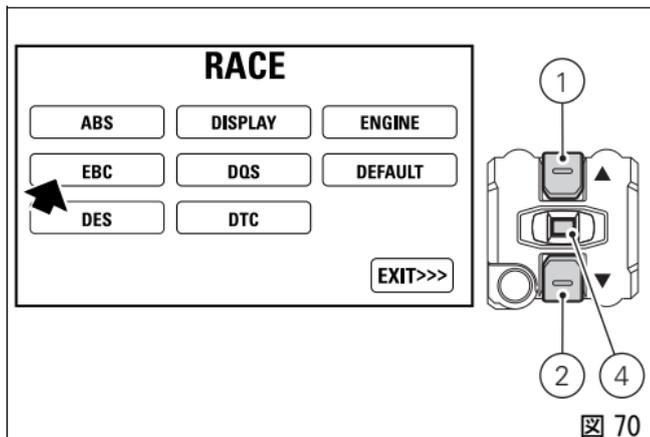


図 70

希望のレベルを選択したらメニュー決定ボタン (4) を押し、MEMORY の文字を強調表示します。新しい設定をメモリーするにはオレンジ色に強調表示された MEMORY の文字と共にボタン (4) を 3 秒押します。メモリーが完了すると、MEMORIZED の文字が 1 秒間緑色に強調表示され、レベル数又は設定ステータスが更新されます (更新内容は緑色で表示されず)。その後 EXIT の文字が緑色に強調表示されます。メニューを終了して前の表示に戻るには、EXIT の文字を強調表示し、ボタン (4) を押します。

RACE

EBC 1

OFF

1

2

3

MEMORY

EXIT>>>



RACE

EBC 1

OFF

1

2

3

MEMORY

EXIT>>>



RACE

EBC 1

OFF

1

2

3

MEMORY

EXIT>>>



RACE

EBC 1

OFF

1

2

3

MEMORY

EXIT>>>



RACE

EBC 1

OFF

1

2

3

MEMORIZED

EXIT>>>



RACE

EBC 1

OFF

1

2

3

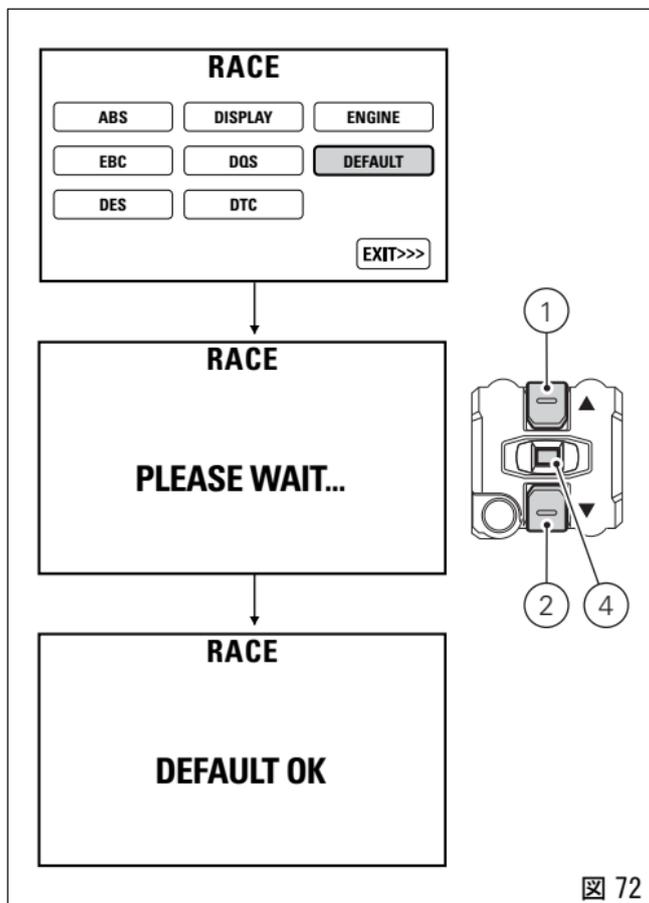
MEMORY

EXIT>>>

ライディングモードのパーソナライズ : デフォルト設定の回復

ここではそれぞれのライディングモードに連動したパラメーターをドゥカティが設定したデフォルトの値に回復させることができます。設定メニューに入ります。

ボタン (1) 又は (2) を押して “RIDING MODE” の文字を選択します。機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。“RIDING MODE” メニューに入ります。ボタン (1) または (2) を押して、希望のライディングモード (RACE、SPORT、又は WET) を選択します。希望のライディングモードが強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。選択したライディングモードのパーソナライズメニューに入ります。ボタン (1) 又は (2) を押して、パーソナライズするパラメーター (DEFAULT) を選択します。希望のパラメーターが強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。パラメーターの回復には、ディスプレイに PLEASE WAIT... と 3 秒間表示されます。ディスプレイでの手続きが終了すると、パラメーターの回復が正常に行われたことを表す DEFAULT OK が 2 秒間表示されます。その後、自動的に EXIT の強調表示された文字と共にライディングモードのパーソナライズメニューの最初のページに戻ります。メニューを終了して設定メニューの最初のページに戻るには、EXIT の文字を強調表示し、ボタン (4) を押します。



エンジン回転数のデジタル表示 (RPM)

この機能はエンジン回転数 (RPM) をデジタル表示します (より正確な値を得るため、アイドリング中に行うことを推奨します)。

設定メニューに入ります。

ボタン (1) 又は (2) を押して “RPM” の文字を選択します。

機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。

“RPM” メニューに入ります。

ディスプレイにはエンジン回転情報が 50 rpm から正確に表示されます。

インストルメントパネルが回転数のデータを受信しない場合、5 本のハイフン “-----” を固定表示し、値が表示できないことを示します。

メニューを終了して設定メニューの最初のページに戻るには、EXIT の文字を強調表示し、ボタン (4) を押します。

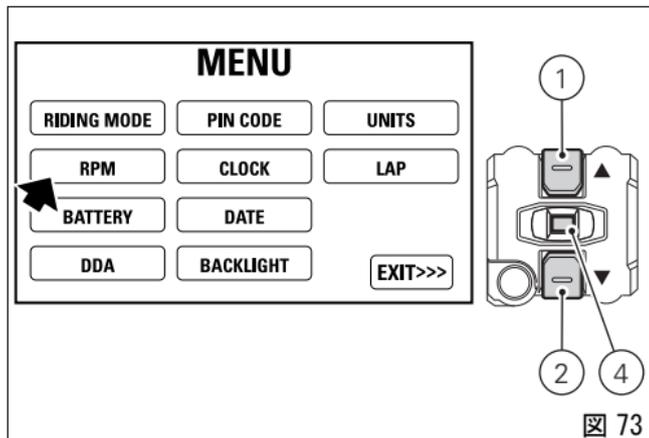


図 73

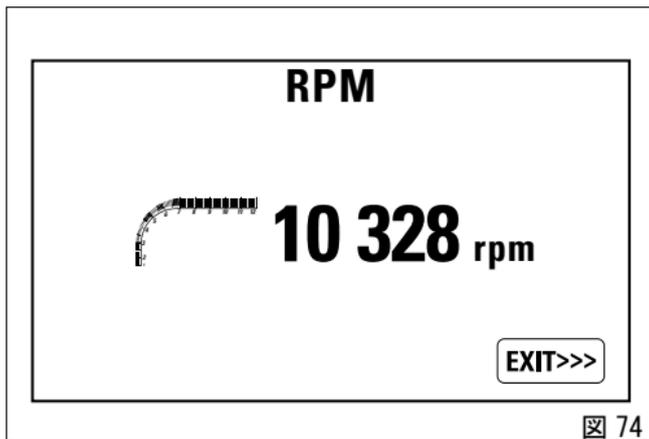


図 74

バッテリー電圧

ここでは車両のバッテリー電圧のレベルを確認することができます。

設定メニューに入ります。

ボタン (1) 又は (2) を押して “BATTERY” の文字を選択します。

機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。

“BATTERY” メニューに入ります。

ディスプレイ上には以下の項目が表示されます。

- バッテリー電圧が 11.0V 未満の場合、赤の背景に LOW の文字が点滅し、バッテリーアイコンが表示されます。
- バッテリー電圧が 11.0V から 11.7V の場合、赤の背景にデータが点滅し、バッテリーアイコンが表示されます。
- バッテリー電圧が 11.8V から 14.9V の場合、スタンダードの背景にデータ及びバッテリーアイコンが表示されます。
- バッテリー電圧が 15.0V から 16.0V の場合、赤の背景にデータが点滅し、バッテリーアイコンが表示されます。
- バッテリー電圧が 15.0V を超える場合、赤の背景に HIGH の文字が点滅し、バッテリーアイコンが表示されます。

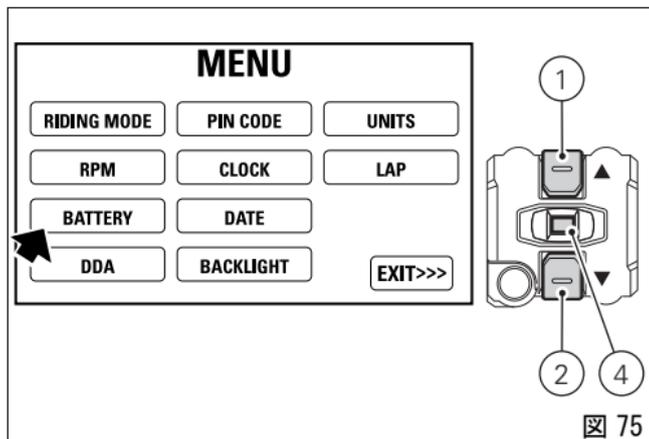


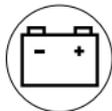
図 75

バッテリー電圧エラーの場合、インストルメントパネルは単位と共に電圧として “- - -” が点滅し、EOBDランプが点灯します。そして、ディスプレイ上に BATTERY エラーが表示されます。

インストルメントパネルがバッテリー電圧の値を受信しない場合、3本のハイフン “- - -” 及び単位が表示されます。

メニューを終了して設定メニューの最初のページに戻るには、EXIT の文字を強調表示し、ボタン (4) を押します。

BATTERY



LOW

EXIT>>>

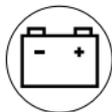
BATTERY



11.5 V

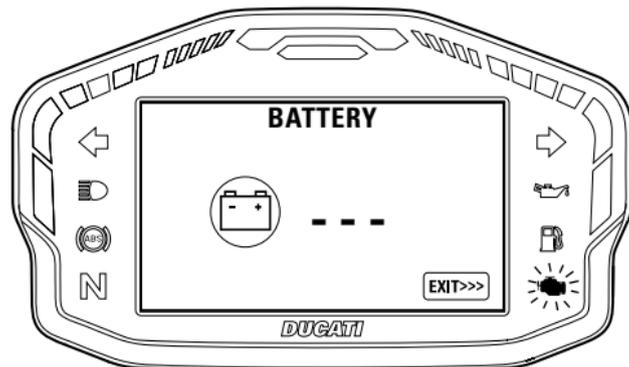
EXIT>>>

BATTERY



HIGH

EXIT>>>



DDA

ここでは DDA 装置の起動及び解除、占有メモリーの割合の表示、そして装置のメモリーの削除を行うことができます。

DDA に関するページは車体に装置が搭載されている場合のみ使用することができます。

設定メニューに入ります。

ボタン (1) 又は (2) を押して “DDA” の文字を選択します。

機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。

“DDA” メニューに入ります。

DDA の起動 / 解除

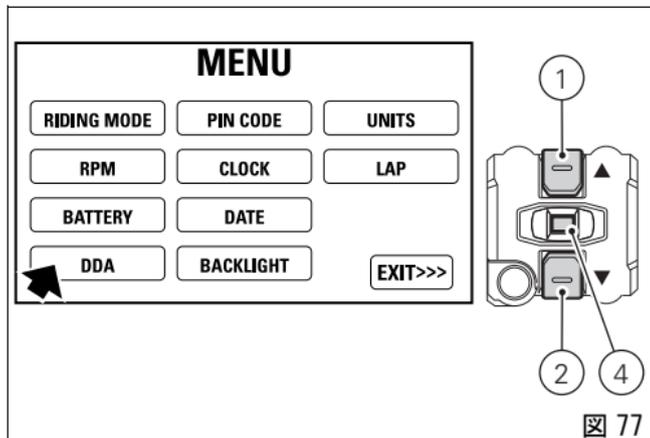
左側の機能の入口に現在の DDA 状態が表示されます (例: DDA ON)。

この表示の下にパーソナライズ可能な状態 ON 又は OFF がリストアップされます。

ボタン (1) 及び (2) を押すと希望の状態を一つずつ強調表示することができます。ボタン (1) を押すと次のレベルが、ボタン (2) を押すと前のレベルが強調表示されます。

希望の状態を選択したらメニュー決定ボタン (4) を押し、レベルを決定します。

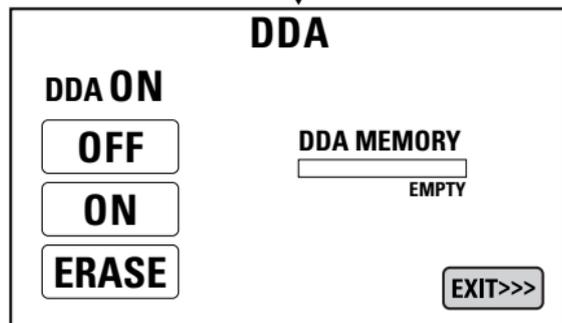
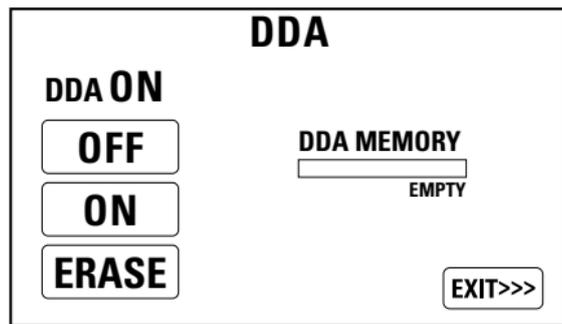
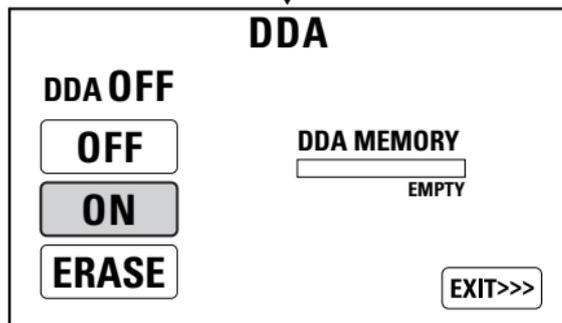
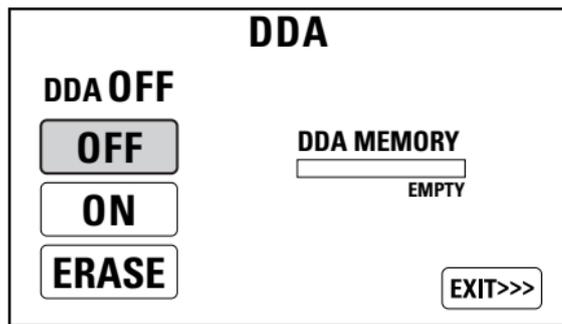
新しく設定した値が更新されます (更新内容は緑色で表示されます)。



メニューを終了して前の表示に戻るには、EXIT の文字を強調表示し、ボタン (15、図 4) を押します。



参考
key-off する度に DDA システムはインストールメントパネルにより自動的に解除されます。



DDA メモリーの表示 / 削除

右側のこの機能の入口に DDA メモリーの占有率が表示されます。

- 空のバー及び EMPTY の文字は DDA メモリーが空であることを示します。
- 一部に色が付いているバー及び割合は DDA メモリーが表示された割合だけ占有されていることを示します。
- 全て色が付いているバー及び FULL の文字は DDA メモリーがいっぱいであることを示します。

DDA

が OFF の場合、メモリーを削除することができます。ボタン (1) 又は (2) を押して “ERASE” の文字を選択します。

決定ボタン (4) を 3 秒間押して決定します。

3 秒後、インストルメントパネルは削除が完了するまで “PLEASE WAIT...” と表示します。その時間は削除するデータの量によって異なります。削除が正常に行われると、インストルメントパネルは 2 秒間 ERASE OK と表示し、ディスプレイ上のメモリーステータスの表示を更新します。

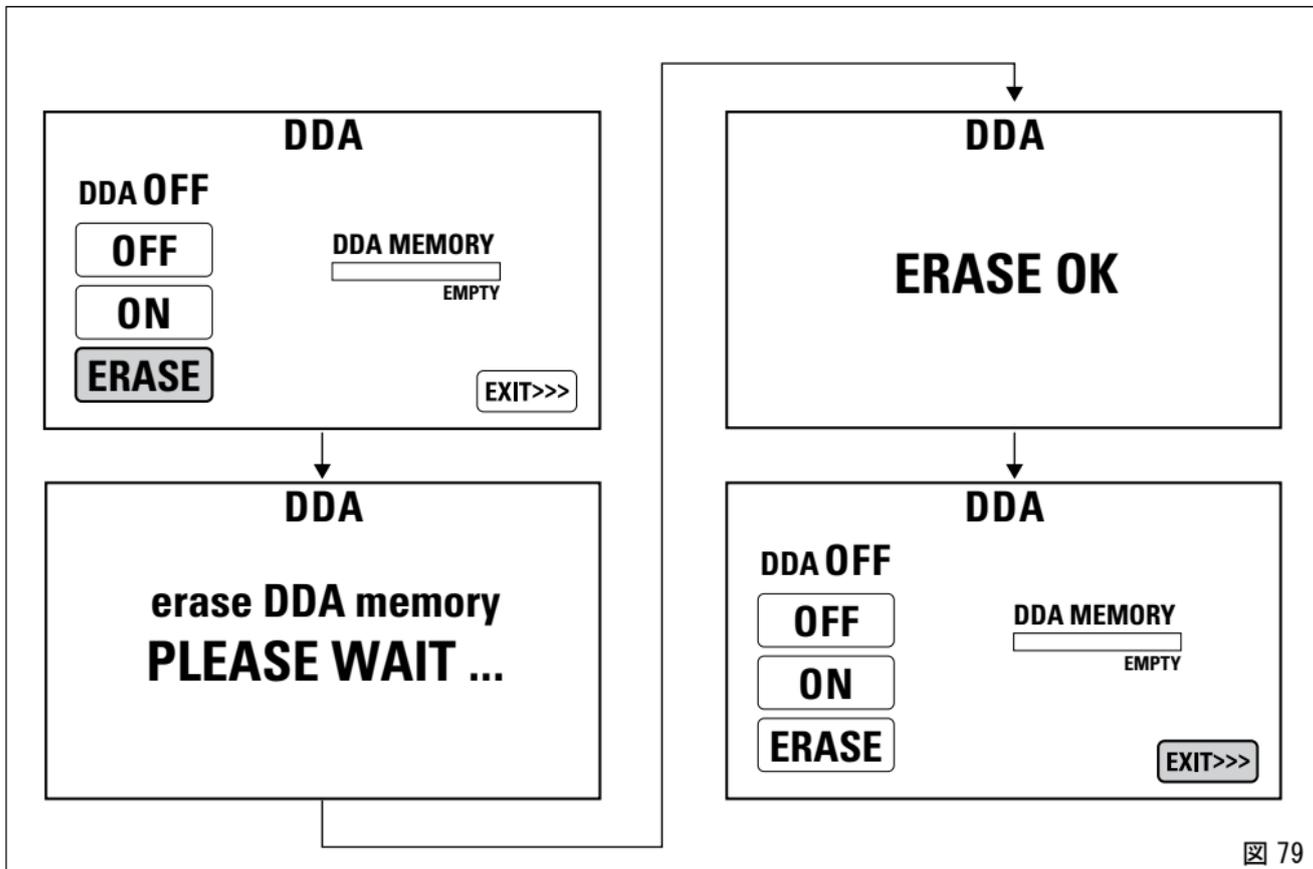
削除に失敗した場合、インストルメントパネルはメモリー占有率の表示に戻ります。

メニューを終了して前の表示に戻るには、“EXIT” の文字を強調表示し、ボタン (4) を押します。



参考

DDA 装置が ON の場合、削除及び ERASE キーの選択はできません。



Pin Code

この機能で E-Lock システムの不具合が生じた場合（ステアリングブロックが解除されており、E-Lock システムに問題がある場合）、車両を“一時的に”起動させることができます。

PIN CODE は最初車両に登録されていませんが、ユーザーが4桁のPINをインストールパネルに入力します。これを行わないと、不具合が生じた場合に一時起動をすることができません。

起動するには“PIN CODE の入力”の手順に従います。PIN を変更するには“PIN CODE の変更”の手順に従います。

E-Lock システムに不具合が生じた際に車両を一時的に起動するには、車両のブロック解除の手順に従います。



参考

PIN CODE は車両の所有者が設定（登録）しなければなりません。PIN がすでに設定されている場合には、ドゥカティオフィシャルディーラーにて機能の“リセット”を依頼してください。設定解除をする場合、Ducati デイラーは車両所有者確認をさせていただきますことがあります。

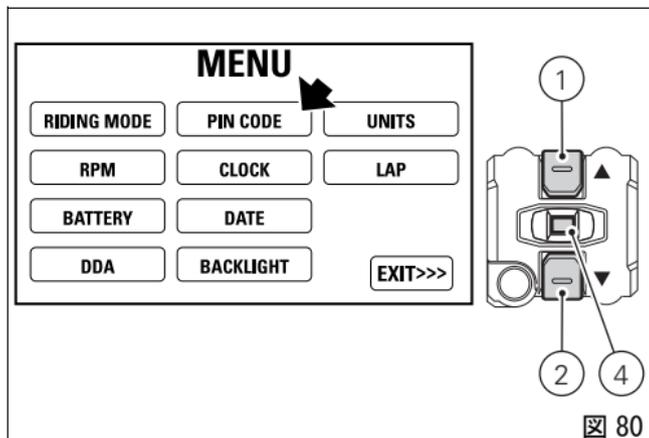


図 80

PIN CODE の入力

PIN CODE 機能を有効にし、PIN CODE を入力するには、設定メニューに入ります。

ボタン (1) 又は (2) を押して“PIN CODE”の文字を選択します。

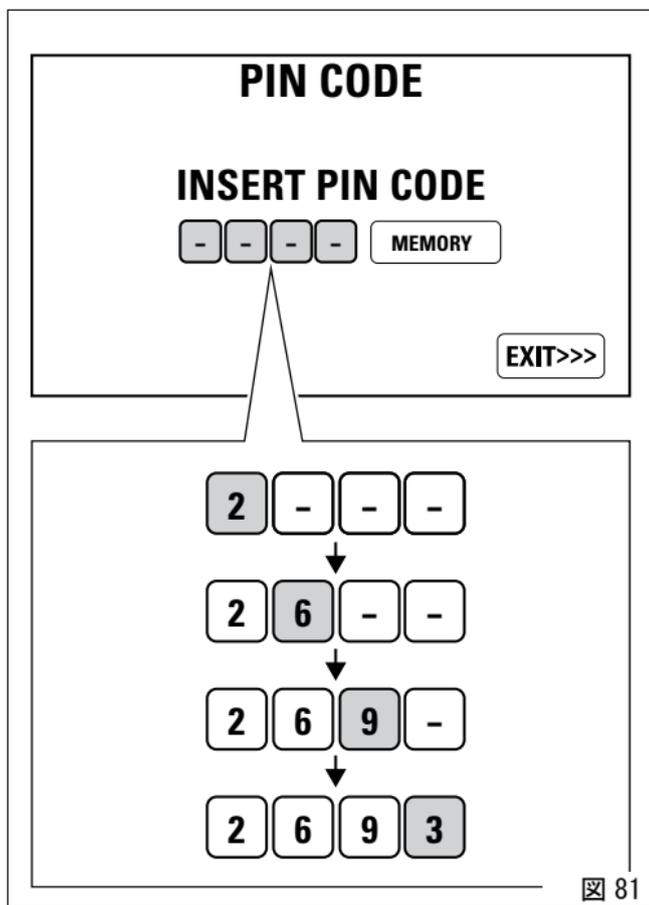
機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。

“PIN CODE”メニューに入ります。

機能の入口でディスプレイに“INSERT NEW PIN CODE”の表示が表れ、その下に緑色の点線“- - - -”が表示されます。

コードの入力：

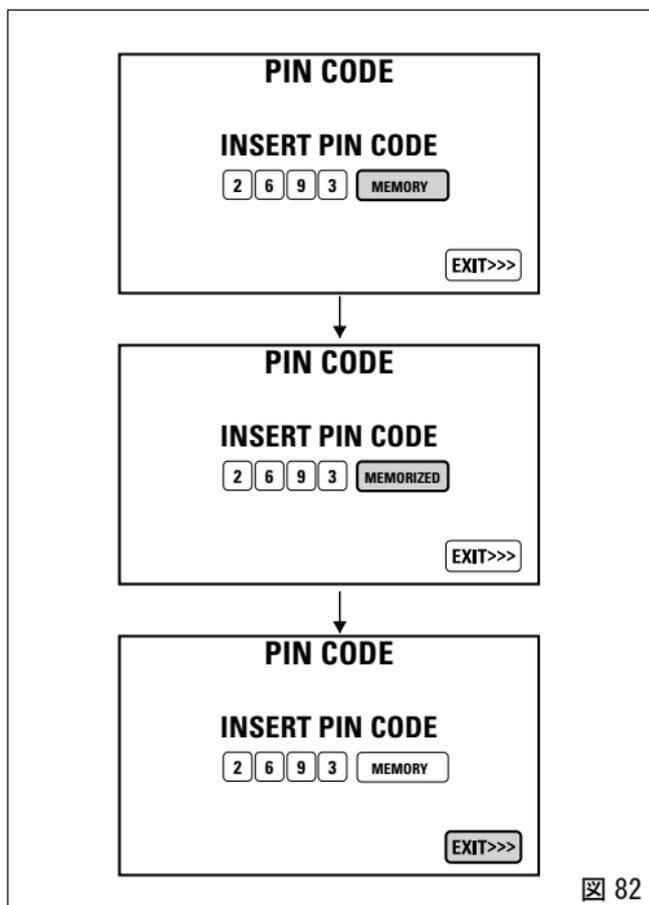
- 1) ボタン (4) を押します。
- 2) “0” で表示される 1 桁のみが緑色に強調表示されます。
- 3) ボタン (2) を押す度に数字が 1 から 9 までひとつずつ大きくなり、その後 “0” に戻ります。
- 4) ボタン (1) を押す度に数字が 1 までひとつずつ小さくなり、その後 “0” に戻ります。
- 5) ボタン (4) を押して数字を決定します。
- 6) 2) - 5) の手順を繰り返し、PIN CODE の全ての 4 ケタの数字を決定します。



ボタン (4) を押して最後の数字を決定すると、インストルメントパネルはMEMORYの文字を強調表示します。新しい設定をメモリーするにはオレンジ色に強調表示されたMEMORYの文字と共にボタン (4) を3秒押します。メモリーが完了すると、MEMORIZEDの文字が1秒間緑色に強調表示され、その後EXITの文字が緑色に強調表示されます。

最初のPIN CODEのメモリー後、メニューのこのページに入ることができなくなり、PIN CODEの変更のページになります。

PIN CODE機能がリセットされた場合（ドゥカティオフィシャルディーラーのみ行うことが可能）に限り、最初のPIN CODEの登録のページが有効になりメニューから入ることができるようになります。



PIN CODE の変更

すでに登録されている PIN を変更し、新しい PIN を有効にするには、設定メニューに入ります。

ボタン (1) 又は (2) を押して “PIN CODE” の文字を選択します。

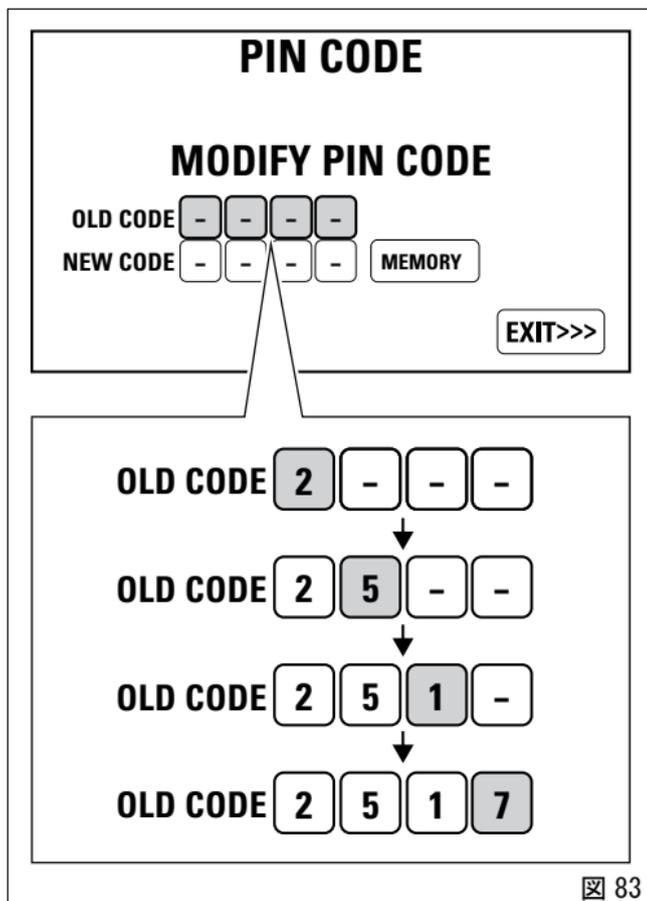
機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。

“PIN CODE” メニューに入ります。126 ページの手順を参照。

機能の入口でディスプレイに “OLD CODE” の表示が表れ、その隣に緑色の点線 “- - - -” が、下には NEW CODE の表示が表れます。

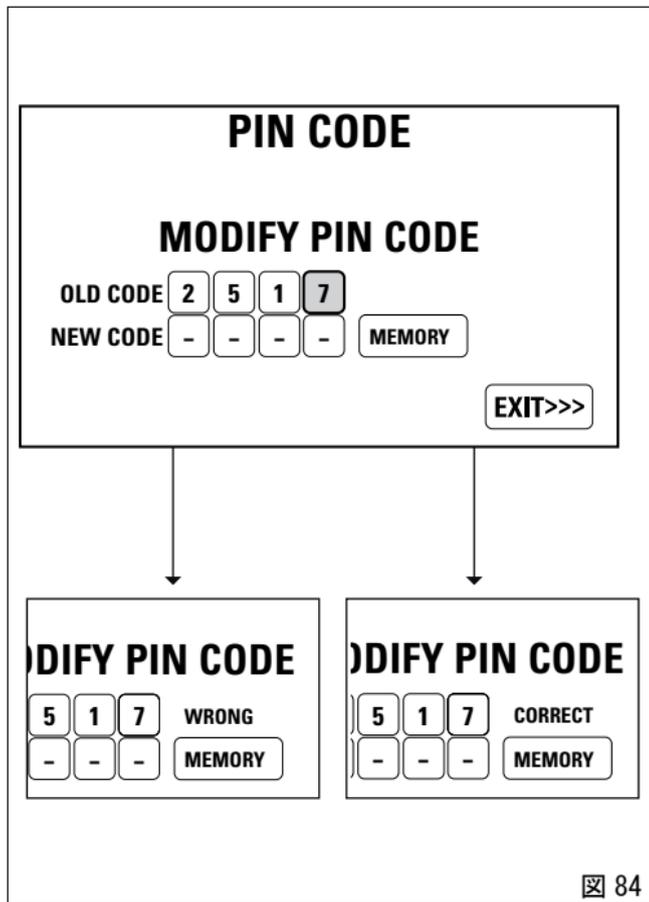
古いコードの入力：

- 1) ボタン (4) を押します。
- 2) “0” で表示される 1 桁のみが緑色に強調表示されます。
- 3) ボタン (2) を押す度に数字が 1 から 9 までひとつずつ大きくなり、その後 “0” に戻ります。
- 4) ボタン (1) を押す度に数字が 1 までひとつずつ小さくなり、その後 “0” に戻ります。
- 5) ボタン (4) を押して数字を決定します。
- 6) 2) - 5) の手順を繰り返し、PIN CODE の全ての 4 ケタの数字を決定します。



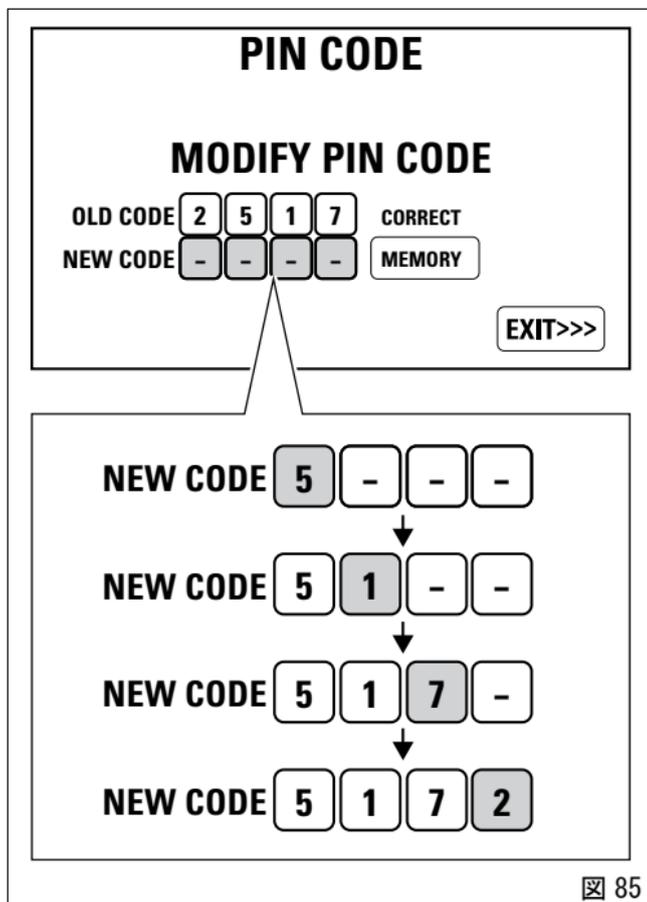
ボタン (4) を押して 4 ケタすべての数字を決定した際、

- PIN CODE が正しくない場合、インストールパネルは 3 秒間 WRONG の文字を表示し、その後 OLD PIN について点線 “- - - -” を強調します。もう一度 PIN CODE を入力してください。
- PIN CODE の確認中に問題が発生した場合、インストールパネルは ERROR を 3 秒間表示し、その後 EXIT の文字を強調表示します。
- PIN CODE が正しい場合、インストールパネルは CORRECT を 3 秒間表示し、NEW PIN を入力するための点線 “- - - -” を強調表示します。



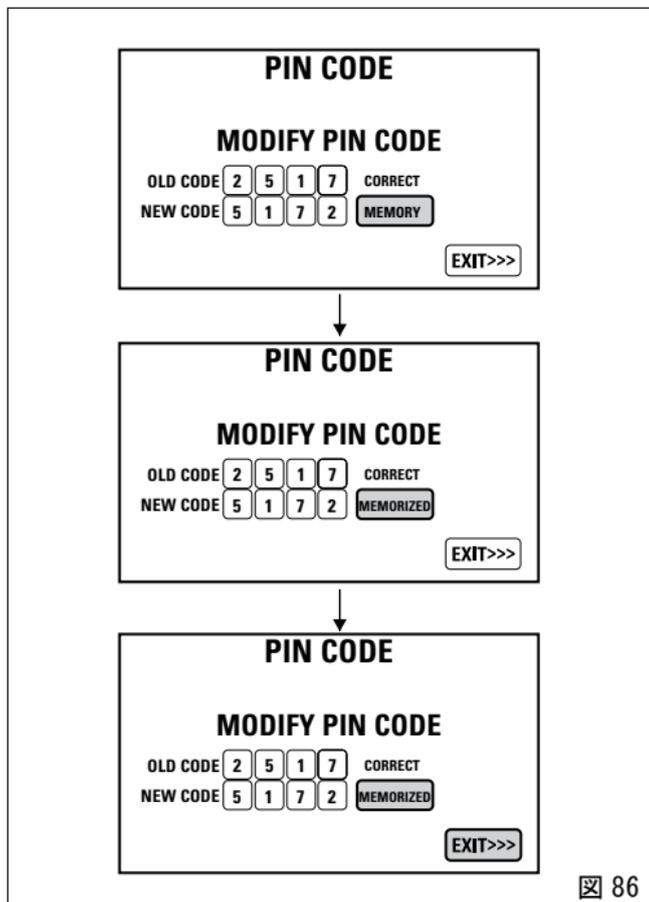
新しいコードの入力：

- 1) ボタン (4) を押します。
- 2) "0" で表示される 1 桁のみが緑色に強調表示されます。
- 3) ボタン (2) を押す度に数字が 1 から 9 までひとつずつ大きくなり、その後 "0" に戻ります。
- 4) ボタン (1) を押す度に数字が 1 までひとつずつ小さくなり、その後 "0" に戻ります。
- 5) ボタン (4) を押して数字を決定します。
- 6) 2) - 5) の手順を繰り返し、PIN CODE の全ての 4 ケタの数字を決定します。



ボタン (4) を押して最後の数字を決定すると、インストールパネルはMEMORYの文字を強調表示します。新しい設定をメモリーするにはオレンジ色に強調表示されたMEMORYの文字と共にボタン (4) を3秒押します。メモリーが完了すると、MEMORIZEDの文字が1秒間緑色に強調表示され、その後EXITの文字が緑色に強調表示されます。

メモリーに失敗した場合、インストールパネルはNEW PINについて点線“-----”を強調表示します。もう一度新しいPIN CODEを入力してください。



時計の調整

この機能は時計の調整 / 設定をします。

設定メニューに入ります。

ボタン (1) 又は (2) を押して “CLOCK” の文字を選択します。

機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。

“CLOCK SETTING” メニューに入ります。

左側の入口に調整可能な HOUR、MINUTE、AM / PM がリストアップされます。一方右側には現在の時刻が表示されます (例: 10 : 30 a.m.)。

時間の調整

ボタン (1) 又は (2) を押して “HOUR” の文字を選択します。

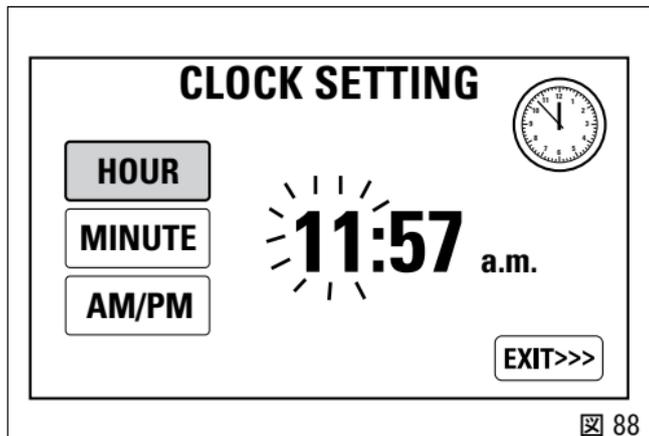
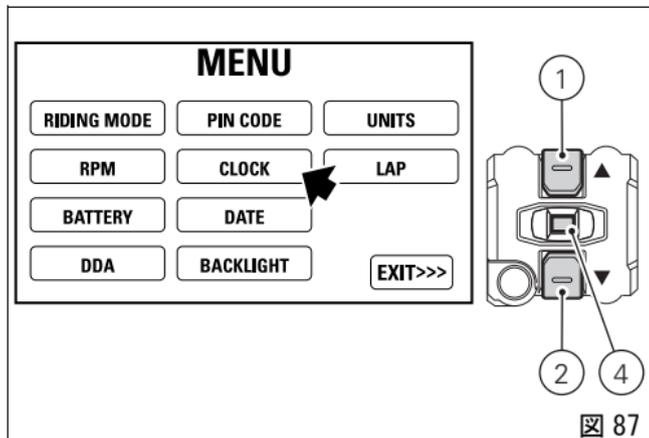
強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。

時間に相当するデータが点滅し始めます。

ボタン (1) を押すと時間がひとつずつ小さくなります。AM は 0、11、... 1、0、PM は 12、11、... 1、12 と表示されます。

ボタン (2) を押すと時間がひとつずつ大きくなります。AM は 11、0、1... 11、PM は 12、1、... 12 と表示されます。

希望の値に達したら、メニュー決定ボタン (4) を押します。設定された時間は固定表示に代わります。



分の調整

ボタン (1) 又は (2) を押して “MINUTE” の文字を選択します。

強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。

分に相当するデータが点滅し始めます。

ボタン (1) を押すと分がひとつずつ小さくなります。

59、58、... 00、59 と表示されます。

ボタン (2) を押すと分がひとつずつ大きくなります。

00、01、... 59、00 と表示されます。

希望の値に達したら、メニュー決定ボタン (4) を押します。設定された分は固定表示に代わります。

am/pm の調整

ボタン (1) 又は (2) を押して “AM/PM” の文字を選択します。

強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。

データが点滅し始めます。

AM を選択するにはボタン (1) を、PM を選択するにはボタン (2) を押します。

希望の値に達したら、メニュー決定ボタン (4) を押します。設定されたデータは固定表示に代わります。

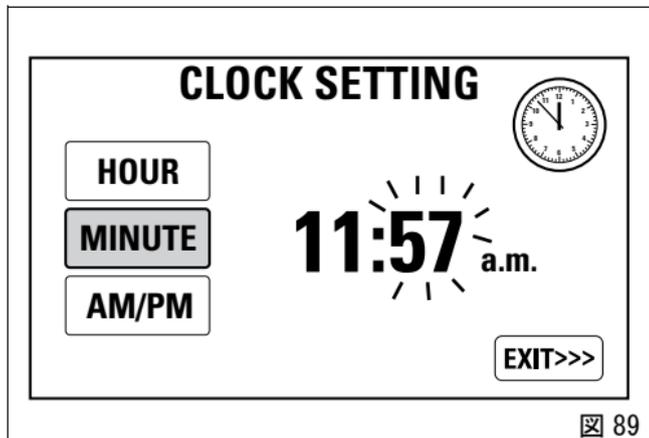


図 89

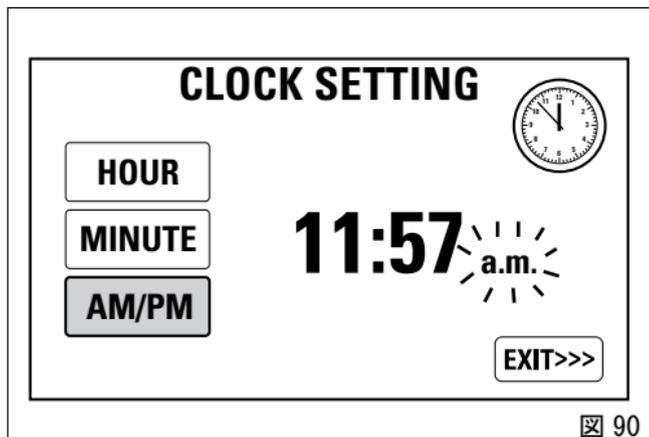
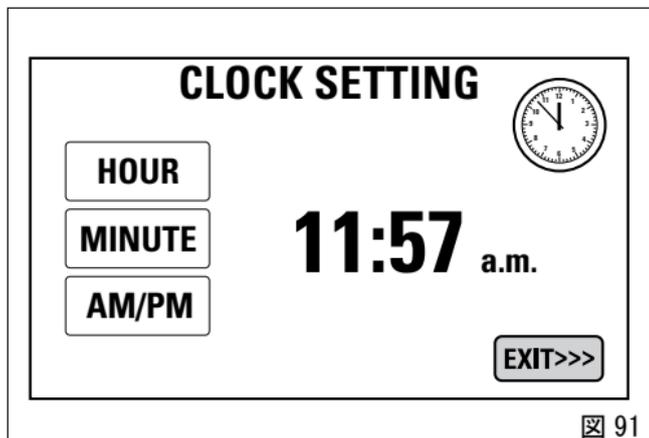


図 90

メニューを終了して前の表示に戻るには、EXIT の文字を強調表示し、ボタン (4) を押します。



参考
バッテリーが切断される度に時計の情報はリセットされ、ユーザーは再度設定しなければなりません。



日付の調整

この機能で日付の表示、設定 / 調整することができます。

設定メニューに入ります。

ボタン (1) 又は (2) を押して “DATE” の文字を選択します。

機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。

“DATE SETTING” メニューに入ります。

左側の入口に調整可能な YEAR、MONTH、DAY がリストアップされます。一方右側には現在の日付が表示されます (例: 2012/01/27)。

年の調整

ボタン (1) 又は (2) を押して “YEAR” の文字を選択します。

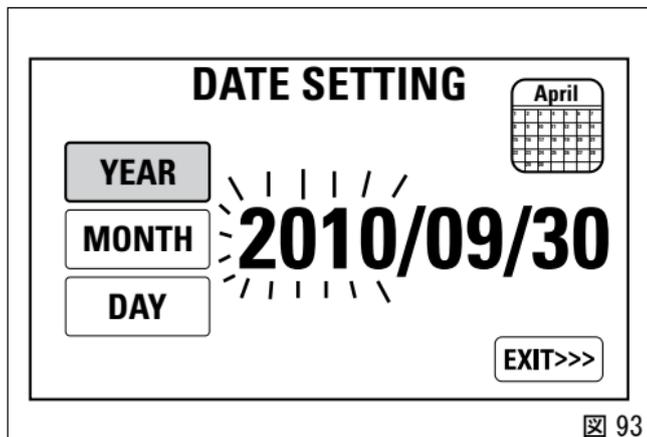
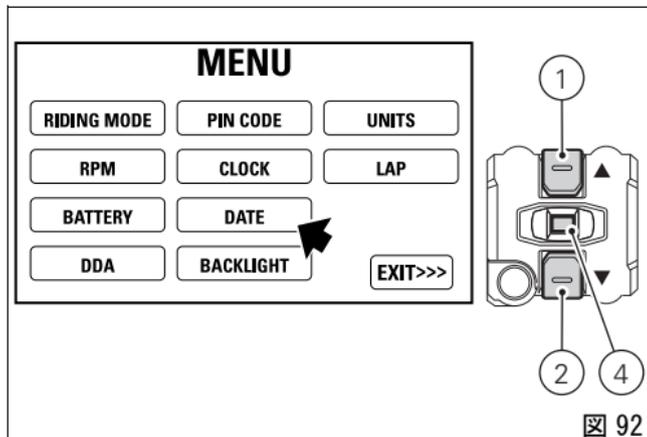
強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。

年に相当するデータが点滅し始めます。

ボタン (1) を押すと年がひとつずつ小さくなります。2250、2249、... 2000、2250 と表示されます。

ボタン (2) を押すと年がひとつずつ大きくなります。2000、2001、... 2250、2000 と表示されます。

希望の値に達したら、メニュー決定ボタン (4) を押します。設定された年は固定表示に代わります。



月の調整

ボタン (1) 又は (2) を押して “MONTH” の文字を選択します。

強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。

月に相当するデータが点滅し始めます。

ボタン (1) を押すと月がひとつずつ小さくなります。

12、11、…… 01、12 と表示されます。

ボタン (2) を押すと月がひとつずつ大きくなります。

01、02、…… 12、01 と表示されます。

希望の値に達したら、メニュー決定ボタン (4) を押します。設定された月は固定表示に代わります。

日の調整

ボタン (1) 又は (2) を押して “DAY” の文字を選択します。

強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。

日に相当するデータが点滅し始めます。

ボタン (1) を押すと日がひとつずつ小さくなります。

31、30、…… 01、31 と表示されます。

ボタン (2) を押すと日がひとつずつ大きくなります。

01、02、…… 31、01 と表示されます。

希望の値に達したら、メニュー決定ボタン (4) を押します。設定された日は固定表示に代わります。

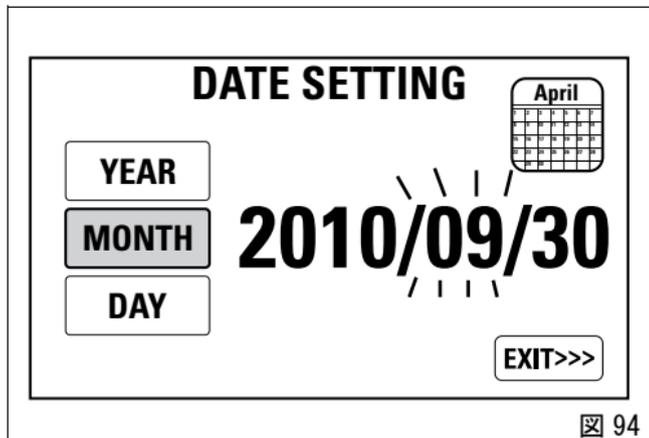


図 94

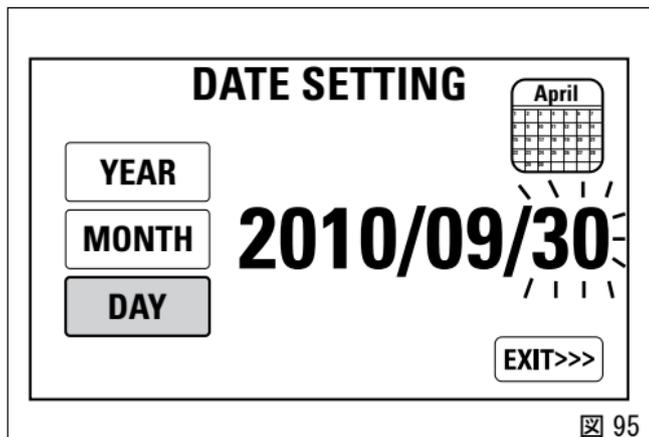


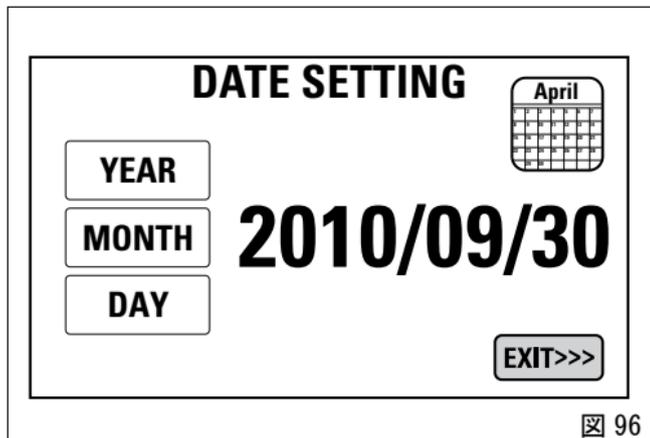
図 95

メニューを終了して前の表示に戻るには、EXIT の文字を強調表示し、ボタン (4) を押します。



参考

バッテリーが切断される度に日付の情報はリセットされ、ユーザーは再度設定しなければなりません。



ディスプレイの背景の調整

この機能でユーザーはインストールパネルの“背景”を選択することができます。

設定メニューに入ります。

ボタン (1) 又は (2) を押して“BACKLIGHT”の文字を選択します。

機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。

“BACKLIGHT”メニューに入ります。

左側の機能の入口に背景の設定可能な DAY, NIGHT, AUTO がリストアップされ、現在使用中のモードが強調表示されます。

ボタン (1) 及び (2) を押すと希望のインストールパネルの背景のタイプを一つずつ強調表示することができます。ボタン (1) を押すと次のレベルが、ボタン (2) を押すと前のレベルが強調表示されます。希望の背景のタイプを選択したらメニュー決定ボタン (4) を押し、決定します。

インストールはすぐにユーザーが選択した背景を有効にし、対応する文字を強調表示します。

DAY 設定 (日中のモード) を選択すると、ディスプレイの背景がよく見える“白”に代わります。外の光が強い時に推奨します。

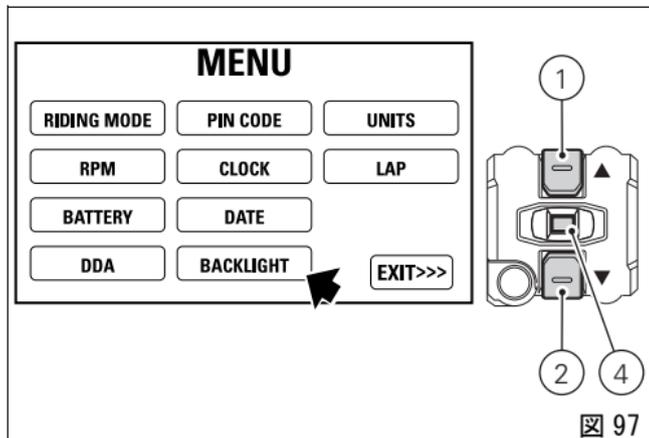
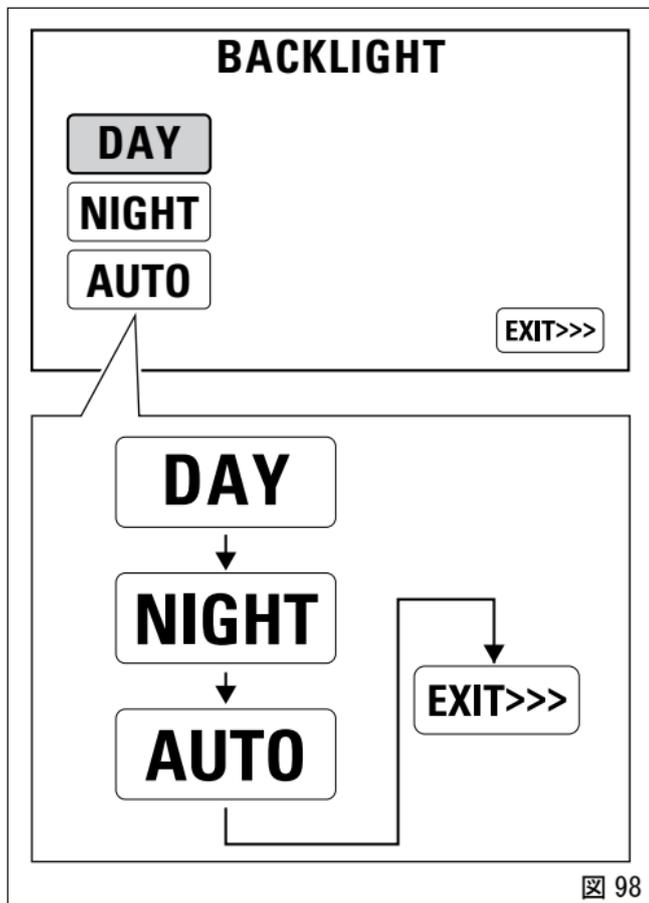


図 97

NIGHT 設定（夜のモード）を選択すると、ディスプレイの背景が和らげられた“黒”に代わります。外の光が弱い時又は暗い時に推奨します。

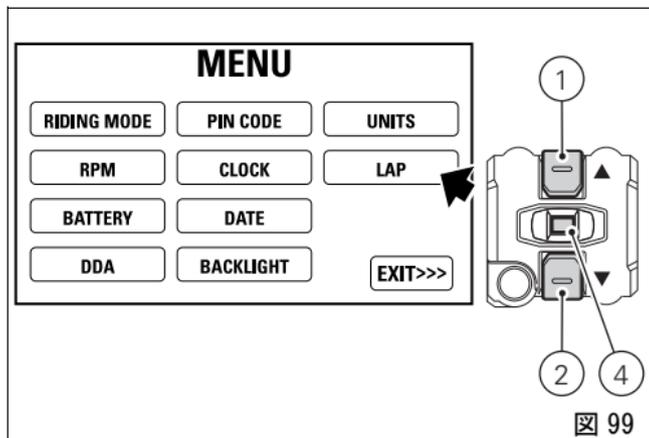
AUTO 設定（自動モード）を選択すると、ディスプレイの背景は外に光の強さに合わせて自動的に調整されます（センサーにより感知）。外の光が強い場合はディスプレイの背景は白になり、弱い場合は背景は黒になります。

メニューを終了して前の表示に戻るには、EXIT の文字を強調表示し、ボタン (4) を押します。



LAP

“LAP 登録”メニューで前もってメモリーされた LAP (68 ページ、MENU 1 の機能参照) はディスプレイ上に表示することができます。表示可能な情報はラップタイム、最大回転数 (rpm)、最高スピードです。さらに、メモリーされている LAP を削除することができます。



メモリーされている LAP の表示

メモリーされている LAP を表示するには設定メニューに入ります。

ボタン (1) 又は (2) を押して “LAP” の文字を選択します。

機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。

“LAP DATA” メニューに入ります。

機能の最初に以下の内容が表示されます。

- LAP の文字の後、LAP 数 (例: LAP 01)
- TIME の文字の後、記録されたラップタイム
- SPEEDMAX の文字の後、ラップ中に記録された最高スピード
- RPMMAX の文字の後、ラップ中に記録された最大 RPM

ボタン (1) 及び (2) を押すとメモリーされた LAP をひとつずつ強調表示することができます。特に以下のように表示されます。

ボタン (2) を押すと、次のラップが表示されます (LAP 01 ... LAP 02 ... LAP 03 LAP 30 のようにラップを昇順で表示)。その後 EXIT の文字が表示されます。

ボタン (1) を押すと、前のラップが表示されます (LAP 30 ... LAP 29 ... LAP 28 LAP 01 のようにラップを降順で表示)。その後 EXIT の文字が表示されます。

メニューを終了して前の表示に戻るには、EXIT の文字を強調表示し、ボタン (4) を押します。



参考

記録最高速度はディスプレイに表示されず (5% 増大させたもの)。



参考

メモリーにデータが記録されていない場合、ストップウォッチ “-. -. --”、最大回転数 MAX = -----、最高スピード MAX = ----- が表示されます。

LAP DATA

LAP 01 TIME: 1'23"55
 SPEED max: 267 km/h
 RPM max: 9800

∨

ERASE ALL EXIT>>>

LAP DATA

^

LAP 07 TIME: 1'23"55
 SPEED max: 267 km/h
 RPM max: 9800

∨

ERASE ALL EXIT>>>

LAP DATA

^

LAP 30 TIME: 1'23"55
 SPEED max: 267 km/h
 RPM max: 9800

ERASE ALL EXIT>>>

LAP DATA

LAP 01 TIME: -'--"--
 SPEED max: --- km/h
 RPM max: ---- rpm

∨

ERASE ALL EXIT>>>

メモリーされている LAP の削除

メモリーされている LAP を削除するには設定メニューに入ります。

ボタン (1) 又は (2) を押して “LAP” の文字を選択します。

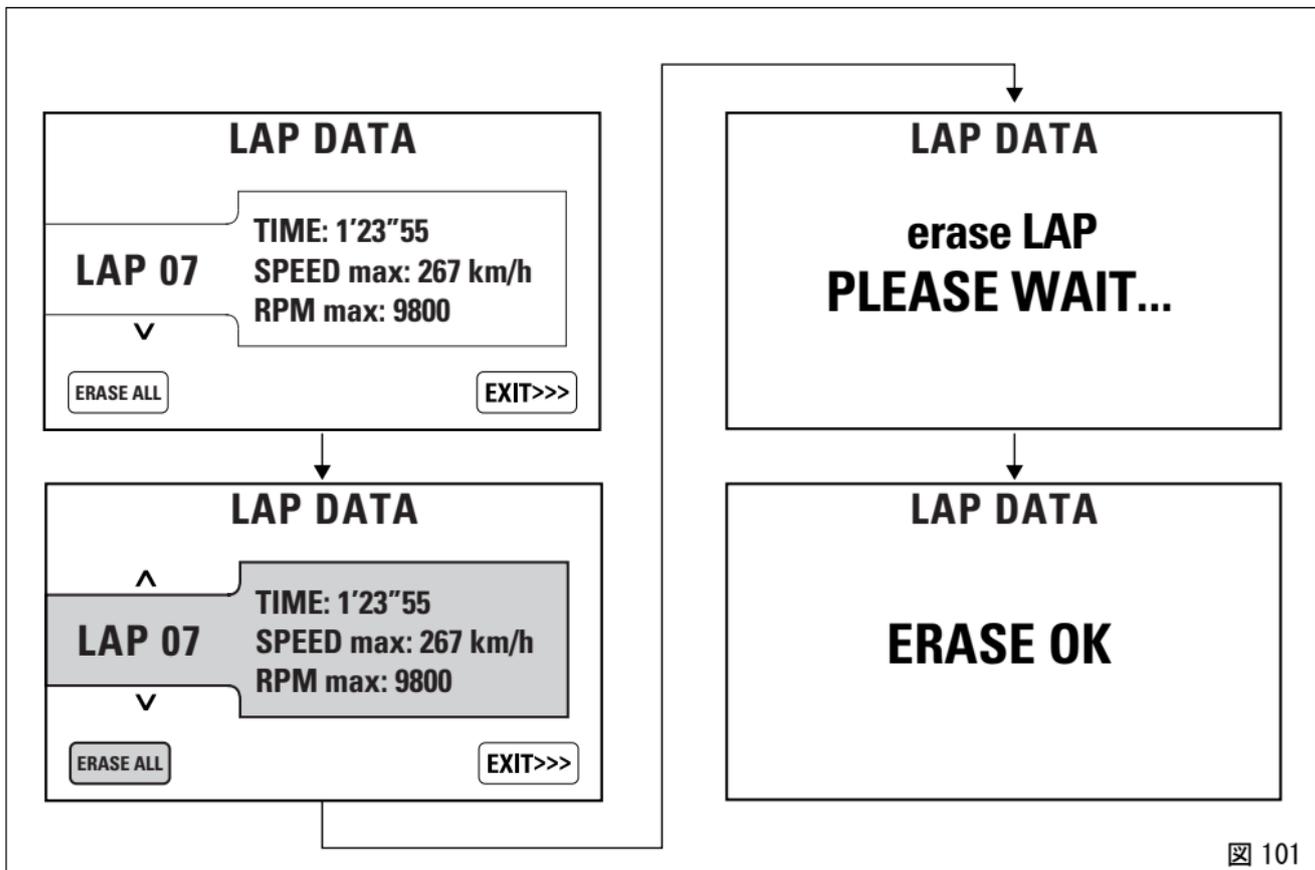
機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。

メモリーされている LAP が表示される “LAP DATA” メニューに入ります。

ボタン (4) を押して ERASE ALL 強調表示します。

ボタン (4) を 3 秒間押して削除を決定します。3 秒後インストルメントパネルはディスプレイに以下を表示します。

- 3 秒間、erase LAP PLEASE WAIT... の文字。
- 2 秒間、ERASE OK の文字。削除の結果を表示します。



全てのメモリーされているラップが一度に削除されます。削除終了後、ラップの 01 から 30 のパラメーターは全て空白表示 “-” されます (ラップタイム = ‘ - - - ’ - - 、回転数 = - - - - - 、スピード = - - -)。



参考

メニューを終了して前の表示に戻るには、EXIT の文字を強調表示し、ボタン (4) を押します。

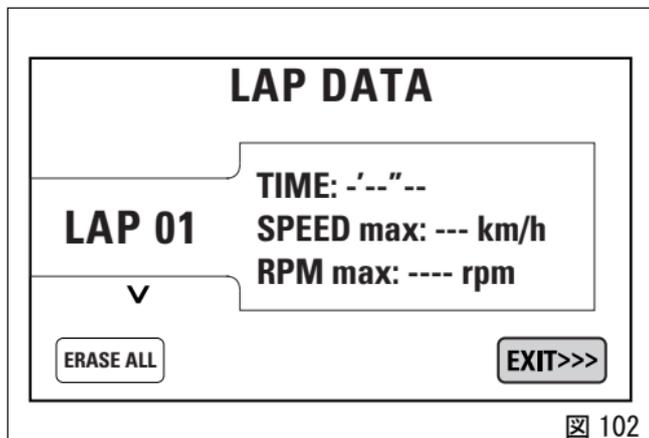


図 102

単位の設定

ここでは使用する国にかかわらず、表示される単位を変更することができます。

手動で単位の設定を行うには、設定メニューに入ります。

ボタン (1) 又は (2) を押して “UNITS” の文字を選択します。

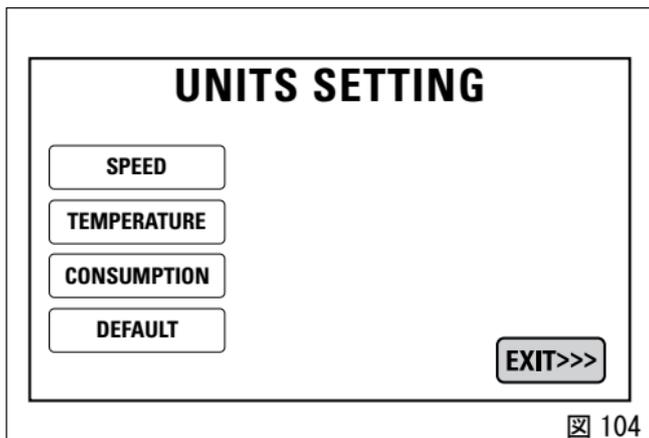
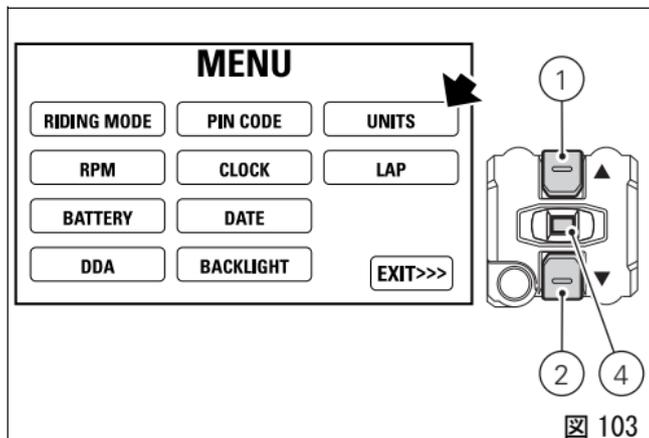
機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。

“UNITS SETTING” メニューに入ります。

左側の機能の入口に設定可能な単位がリストアップされます。

- スピード (SPEED)
- 温度 (TEMPERATURE)
- 燃費 (CONSUMPTION)
- 自動設定回復 (DEFAULT)

メニューを終了して前の表示に戻るには、EXIT の文字を強調表示し、ボタン (4) を押します。



単位の設定：スピード

この機能はスピードの単位を変更することができます（従って走行距離の単位も変更します。）

前のページに書かれている通り“UNITS SETTING”メニューに入ります（“単位の設定”参照）。

ボタン（1）又は（2）を押して“SPEED”の文字を選択します。

機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン（4）を押します。

“SPEED”メニューに入ります。

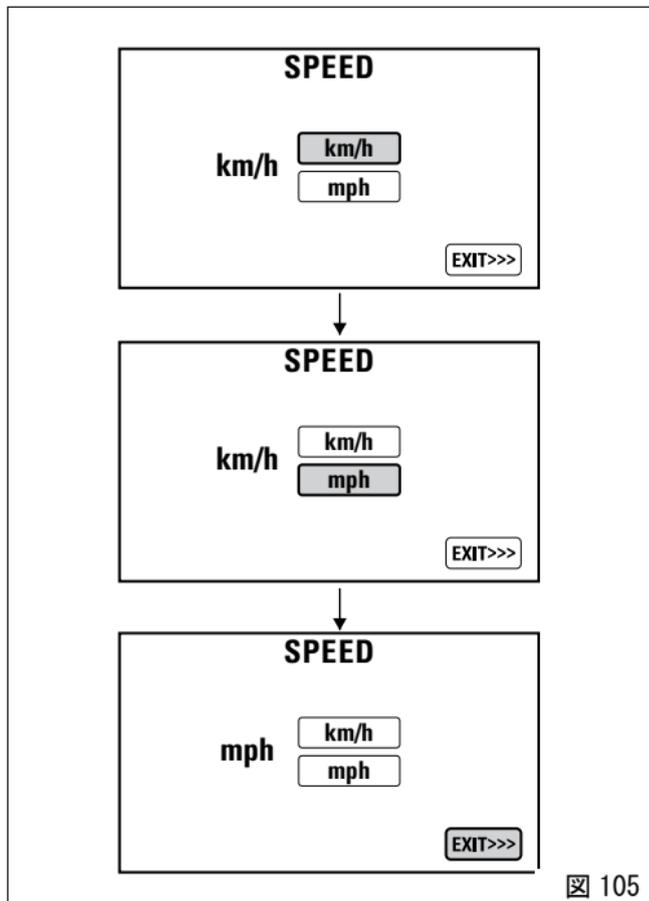
機能の最初に現在使用している単位が表示され、その後使用可能な単位 km/h、mph がリストアップされます。

ボタン（1）及び（2）を押すと希望の単位を強調表示することができます。ボタン（1）を押すと次の単位が、ボタン（2）を押すと前の単位が強調表示されます。

希望の単位を選択した後メニュー決定ボタン（4）を押して決定します。選択した単位はメモリーされ、自動的に EXIT の文字が強調表示されます。

選択した単位はインストルメントパネルで以下の測定に使用されます。

- 車両スピード及び平均スピード（km/h 又は mph）
- オドメーター、Trip1、Trip2、Trip Fuel（km 又は mi）



単位の設定：温度

この機能では温度の単位の変更が可能です。
前のページに書かれている通り“UNITS SETTING”メニューに入ります (“単位の設定”参照)。

ボタン (1) 又は (2) を押して“TEMPERATURE”の文字を選択します。

機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。

“TEMPERATURE”メニューに入ります。

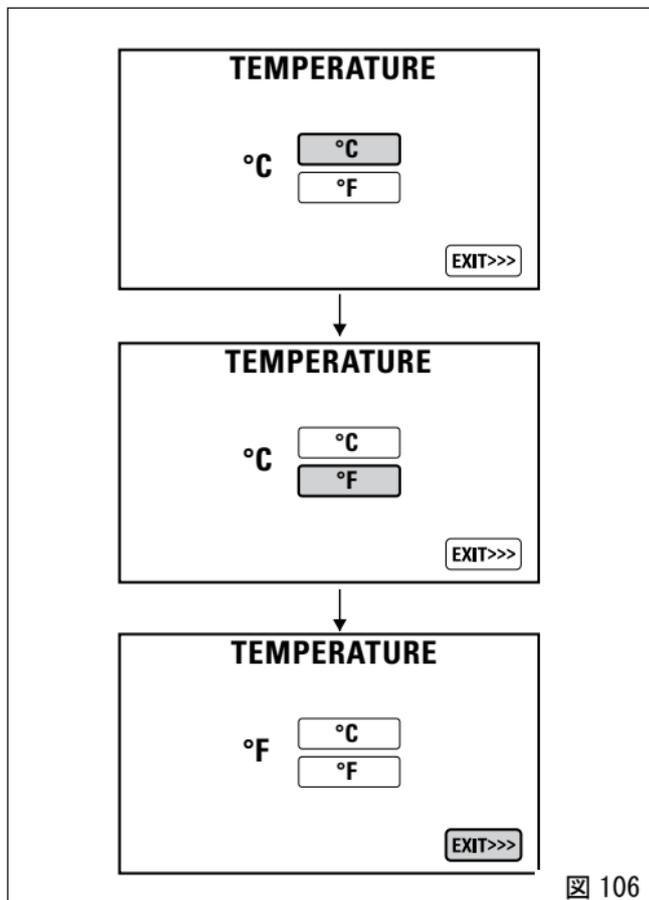
機能の最初に現在使用している単位が表示され、その後使用可能な単位 °C、°F がリストアップされます。

ボタン (1) 及び (2) を押すと希望の単位を強調表示することができます。ボタン (1) を押すと次の単位が、ボタン (2) を押すと前の単位が強調表示されます。

希望の単位を選択した後メニュー決定ボタン (4) を押して決定します。選択した単位はメモリーされ、自動的に EXIT の文字が強調表示されます。

選択した単位はインストルメントパネルで以下の測定に使用されます。

- エンジンクーラント温度及び外気温。



単位の設定：燃費

この機能では燃費の単位の変更が可能です。
前のページに書かれている通り“UNITS SETTING”メニューに入ります (“単位の設定”参照)。

ボタン (1) 又は (2) を押して“CONSUMPTION”の文字を選択します。

機能が強調表示されたら、メニュー決定ボタン (4) を押します。

“CONSUMPTION”メニューに入ります。

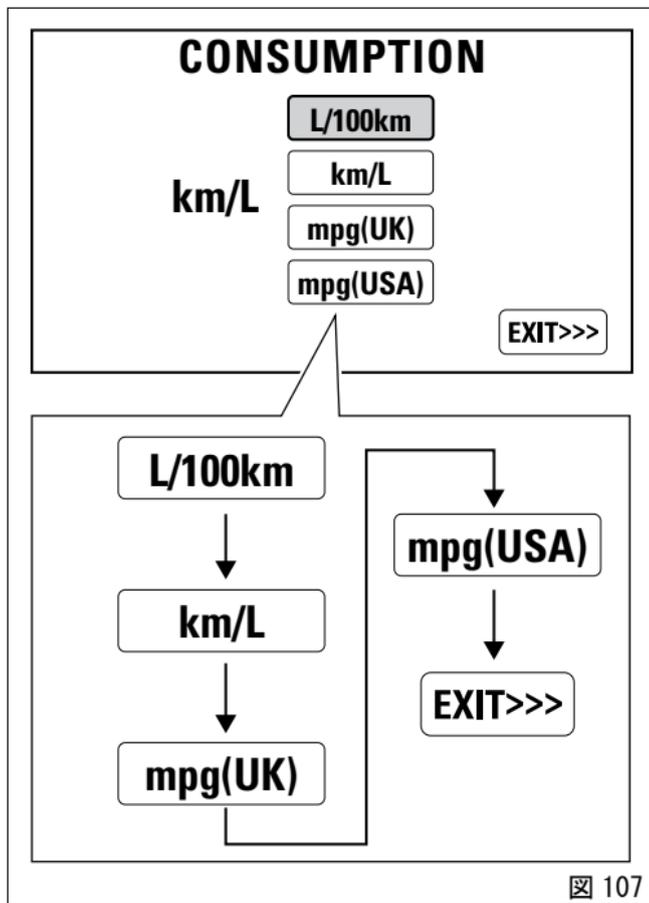
機能の最初に現在使用している単位が表示され、その後使用可能な単位 L / 100km、km / L、mpg (UK)、mpg (USA) がリストアップされます。

ボタン (1) 及び (2) を押すと希望の単位を強調表示することができます。ボタン (1) を押すと次の単位が、ボタン (2) を押すと前の単位が強調表示されます。

希望の単位を選択した後メニュー決定ボタン (4) を押して決定します。選択した単位はメモリーされ、自動的に EXIT の文字が強調表示されます。

選択した単位はインストルメントパネルで以下の測定に使用されます。

- 瞬間燃費及び平均燃費。



単位の設定：自動設定回復

この機能では、インストールパネルに表示される全ての測定値の単位の自動設定を回復することができます。

前のページに書かれている通り“UNITS SETTING”メニューに入ります（“単位の設定”参照）。

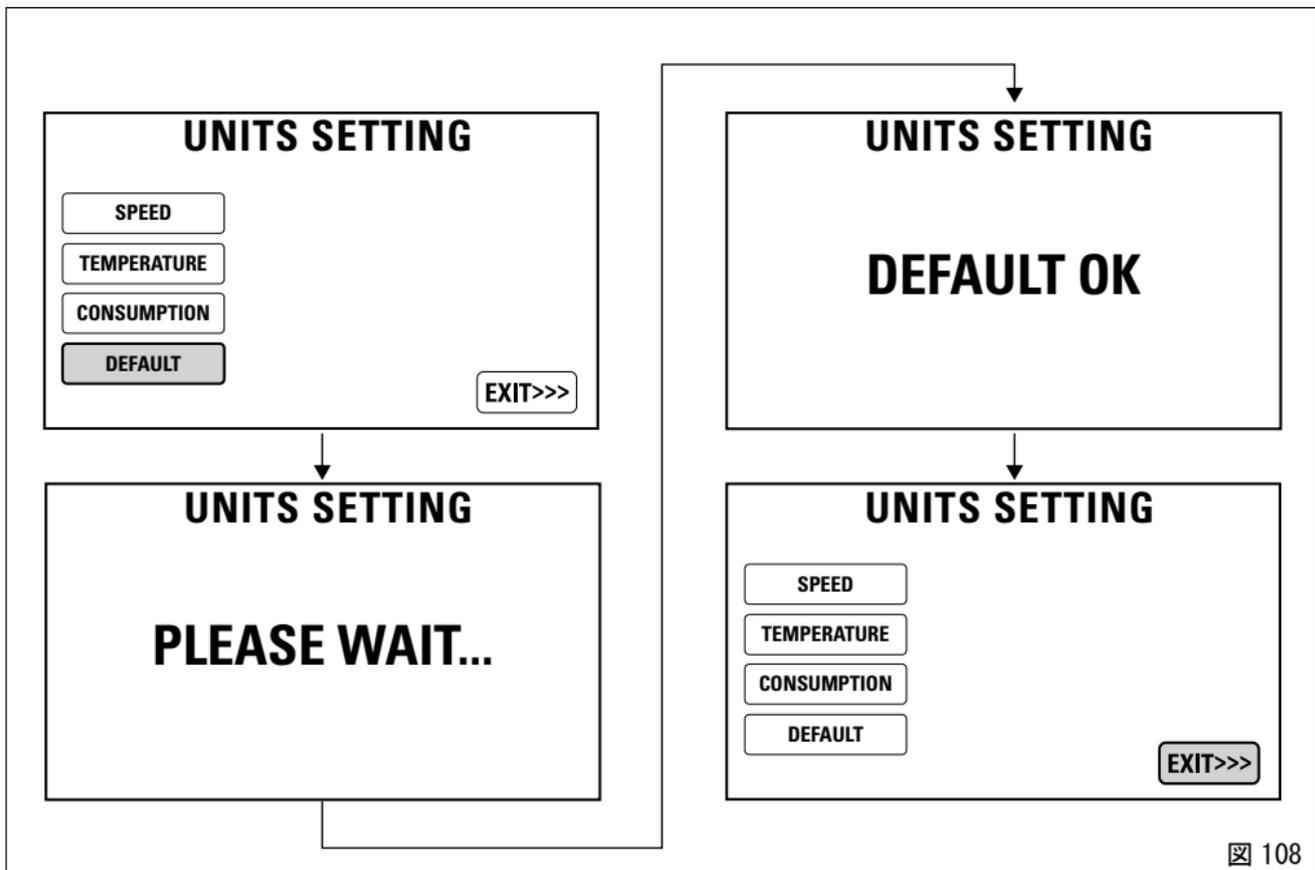
ボタン (1) 又は (2) を押して“DEFAULT”の文字を選択します。

機能が強調表示されたら、3 秒間メニュー決定ボタン (4) を押します。

ディスプレイに 3 秒間 PLEASE WAIT... と表示され、その後 2 秒間 DEFAULT OK と表示されます。最後に EXIT の文字が強調表示され設定メニューのページが表示されます。メニューを終了して前の表示に戻るには、EXIT の文字を強調表示し、ボタン (4) を押します。

単位表

	オドメーター (TOT) トリップメーター1 (TRIP1) トリップメーター2 (TRIP2) 燃料リザーブトリッ プメーター (TRIP FUEL)	スピード 平均スピード	エンジン温度 (T_ENGINE) 外気温 (T_AIR)	瞬間燃費 平均燃費
ヨーロッパ	km	km/h	° C	l/100km
UK	mi (マイル)	mph	° C	mpg UK
USA	mi (マイル)	mph	° F	mpg USA
カナダ	km	km/h	° C	l/100km
フランス	km	km/h	° C	l/100km
日本	km	km/h	° C	l/100km
ブラジル	km	km/h	° C	l/100km
台湾	km	km/h	° C	l/100km
中国	km	km/h	° C	l/100km



その他の機能

UP-MAP

この機能は Performance エキゾーストキット（部品番号：96450211B）及び Performance サイレンサーキット（部品番号：96450311B）を取り付ける際、UP-MAP 装置（キー）からエンジンコントロールユニットに Performance 設定のダウンロード中にインターフェースとして使用します。



参考

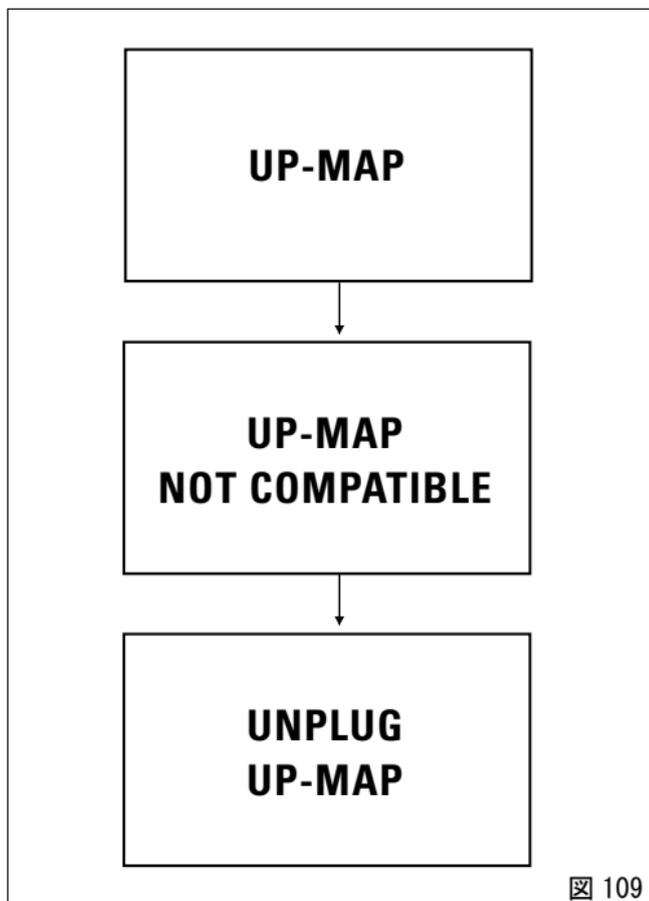
Performance エキゾーストキット（部品番号 96450211B） - Performance サイレンサーキット（部品番号 96450311B）はディーラー又は Ducati サービスセンターでお求めいただけます。



警告

Performance エキゾーストキット（部品番号 96450211B） - Performance サイレンサーキット（部品番号 96450311B）の取り付けはディーラー又は Ducati サービスセンターに依頼してください。

装置は Key-ON 及びエンジン停止の状態で使用することができます。UP-MAP 装置が車両に接続されると、上記の状態であるか確認し、全て確認されると UP-MAP、エンジンコントロールユニット及びインストールメントパネル間の通信が始まります。



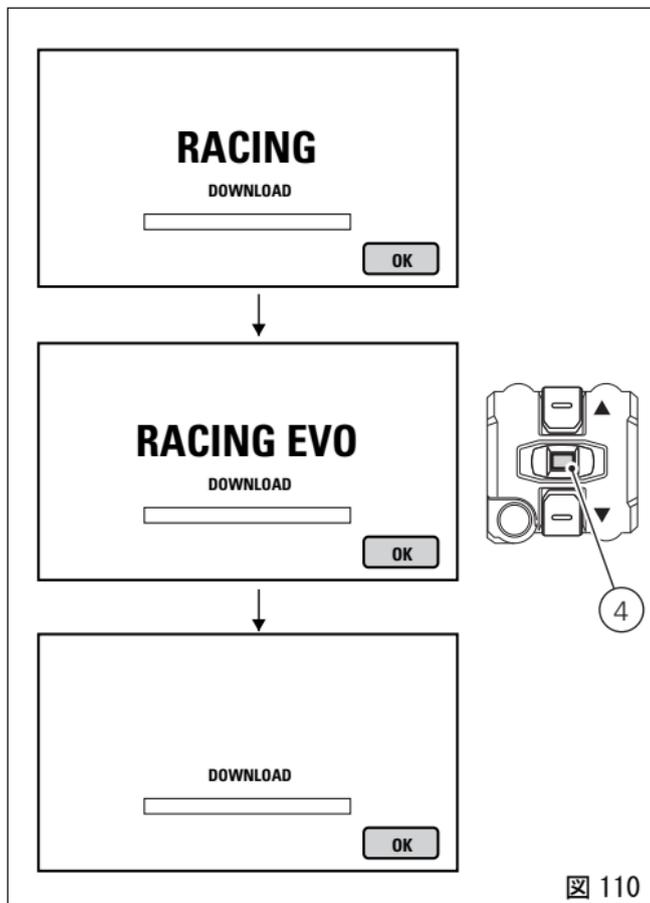
システムに UP-MAP 装置が搭載されていると、ディスプレイに“UP-MAP”の文字が表示されます。

装置の認証に失敗すると UP-MAP NOT COMPATIBLE の文字が 3 秒間表示され、その後 UNPLUG UP-MAP の表示が表れます。車両から装置の接続を切り離してください。

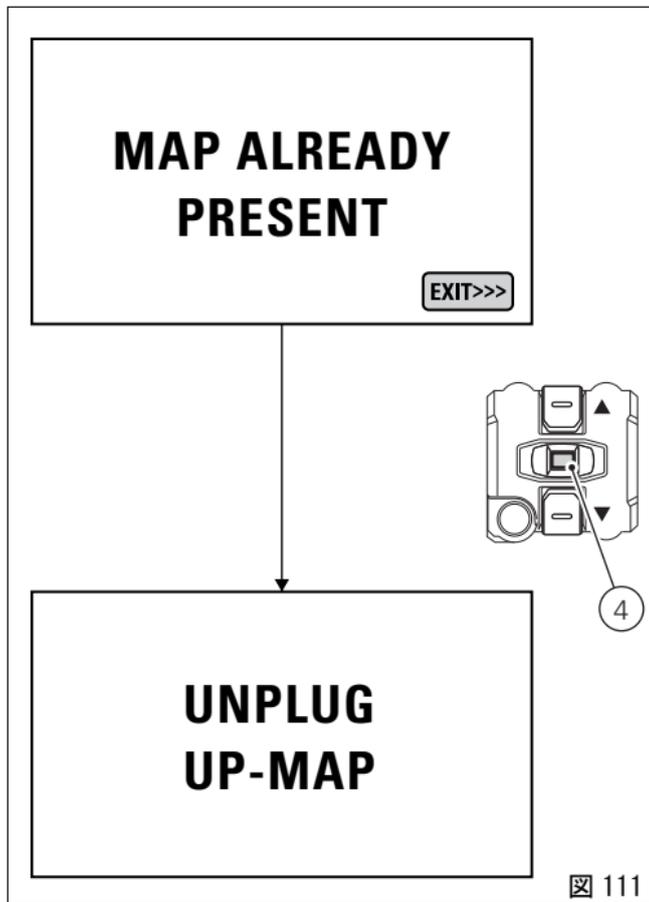
ダウンロードが可能な場合は、RACING の文字 (Performance サイレンサーキットを取り付ける場合) 又は RACING EVO の文字 (Performance エキゾーストユニットキットを取り付ける場合) が表示されます。

その後、DOWNLOAD の表示が表れ、最後に OK ボタンが表示されます。

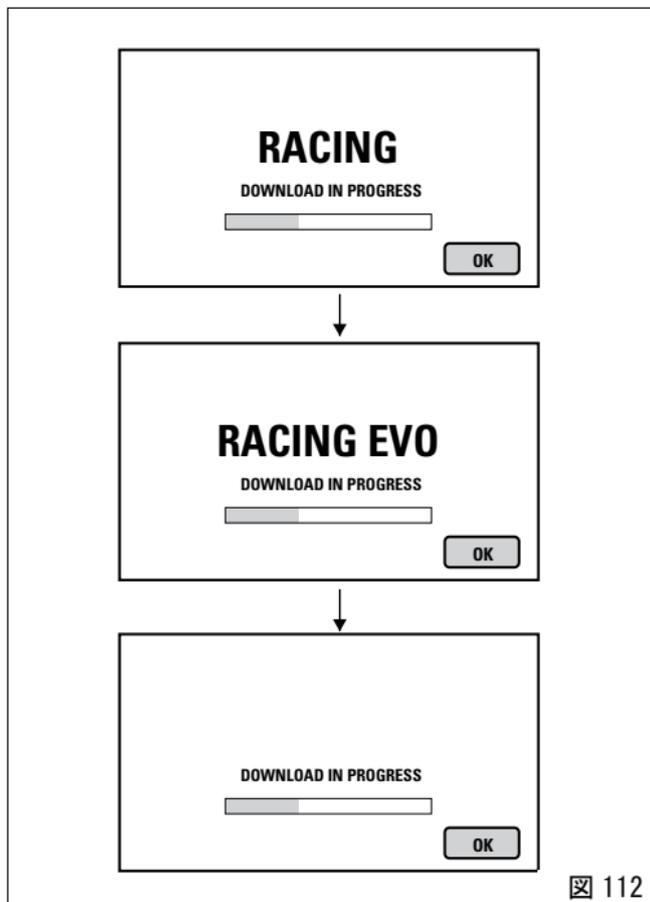
ボタン (4) を押して表示された設定のダウンロードを許可します。



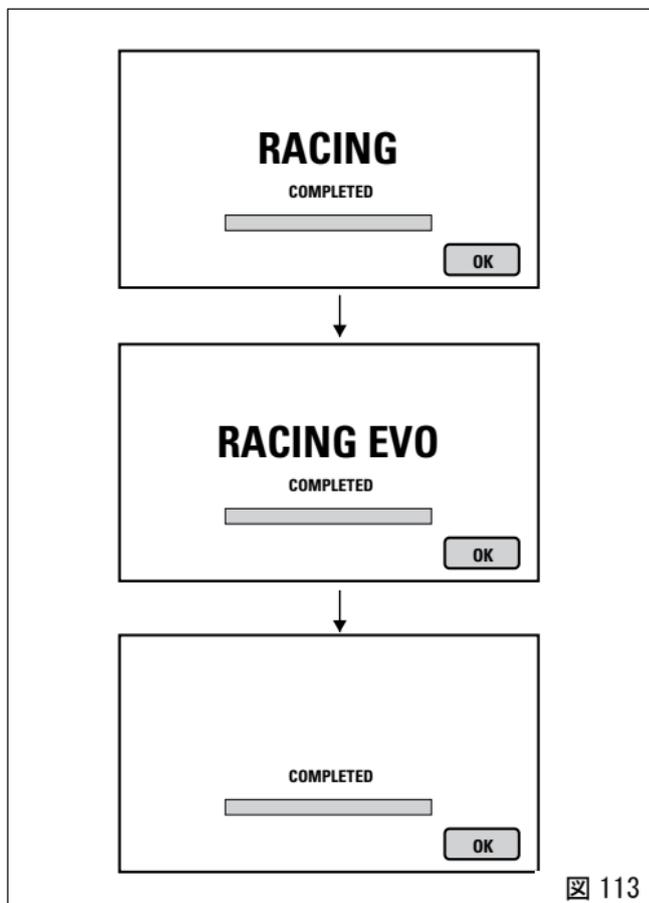
ダウンロードができずダウンロードしようとしている設定がすでにコントロールユニットに登録されている場合、MAP ALREADY PRESENT の文字及び EXIT ボタンが表示されます。ボタン (4) を押して終了します。ボタン (4) を押した後、又はボタン (4) を押さずに 10 秒たつと、UNPLUG UP-MAP の表示が表れます。車両から装置の接続を切り離してください。



ダウンロード中、ディスプレイに RACING の文字 (Performance サイレンサーキットの設定) 又は RACING EVO の文字 (Performance エキゾーストユニットキットの設定)、及び DOWNLOAD IN PROGRESS、ダウンロードの進行状況を示すバーが表示されます (およそ 5 秒かかります)。

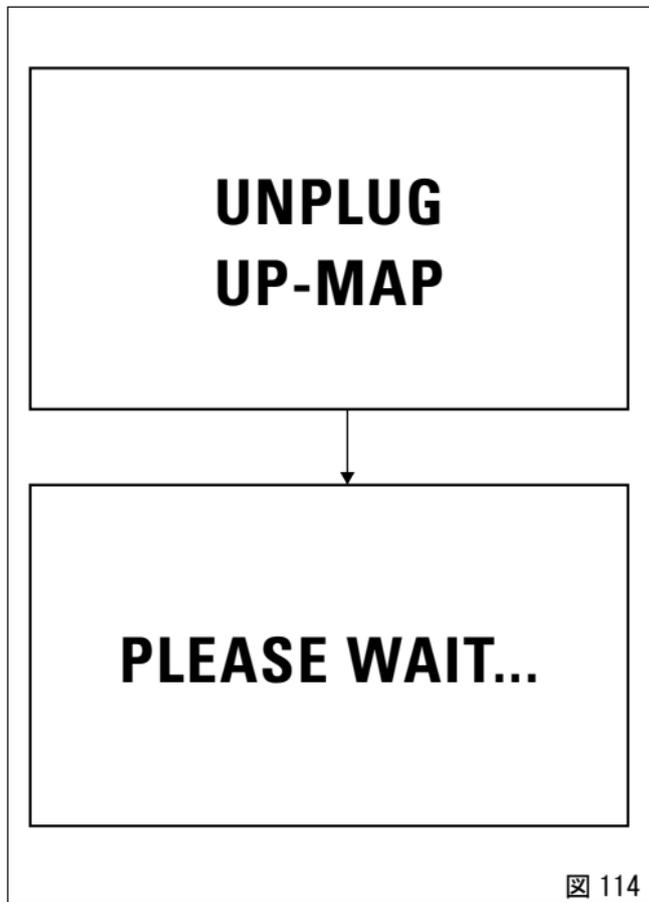


ダウンロードが終了すると、RACING の文字 (Performance サイレンサーキットの設定) 又は RACING EVO の文字 (Performance エキゾーストユニットキットの設定)、及び COMPLETED、ダウンロードが終了したことを示すバーが 3 秒間表示されます。



3 秒後すべて正常に終了すると、ディスプレイ上に UNPLUG UP-MAP の表示が表れます。車両から装置の接続を切り離してください。

UNPLUG UP-MAP の表示は車両から UP-MAP 装置の接続が切り離されるまで消えません。UP-MAP 装置の接続が車両から切り離されると、ディスプレイ上に PLEASE WAIT ... の文字が 3 秒間表示され、その後 “スタンダードスクリーン” が表れます。



UP-MAP 装置の不具合が検出されたりダウンロードが正常に行われなかったりすると、インストルメントパネルはディスプレイに DOWNLOAD ABORTED の文字を 3 秒間表示し、その後 UNPLUG UP-MAP の表示が表れます。



参考

設定ダウンロードの作業が終了する前に車両が key-off されたり、UP-MAP 装置の接続が切り離された場合、ダウンロードは無効になります。

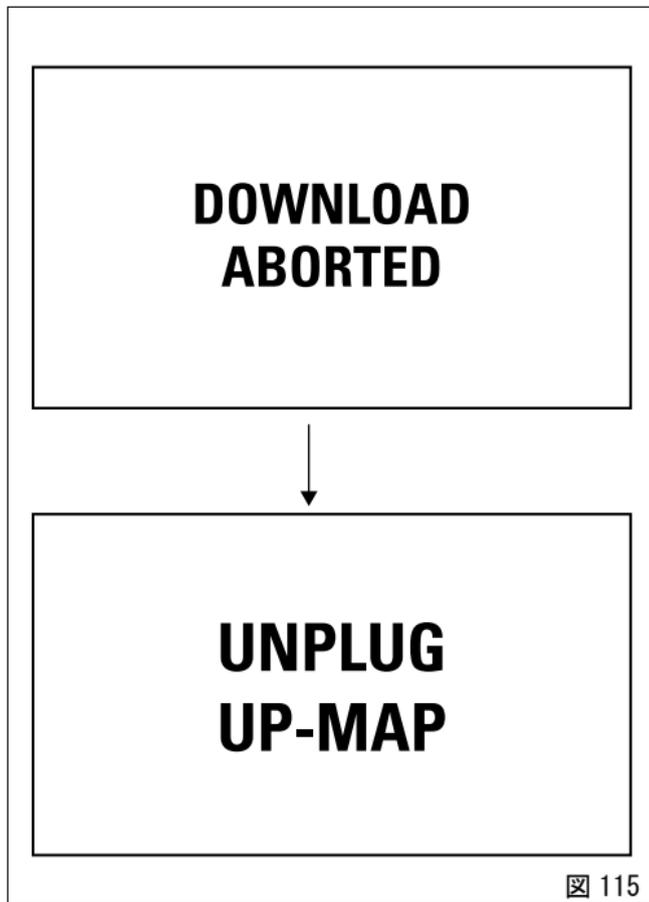


参考

車両にUP-MAP装置が接続している状態では車両は起動できません。UP-MAP が接続している状態で車両を使用することができません。

赤外線フィニッシュライン

インストルメントパネルは赤外線 “フィニッシュライン” を使用してラップタイムのスタート / ストップを管理することができます。



ディスプレイの背景色

インストルメントパネルは外の光の強さによってディスプレイの背景色を自動的に調整することができます。

BACKLIGHT - AUTO機能が起動している場合、センサーが“弱い光”（夜）を検出するとインストルメントパネルは背景を黒（NIGHT）にし、反対に“強い”光（昼）を検出すると背景を白（DAY）にします。

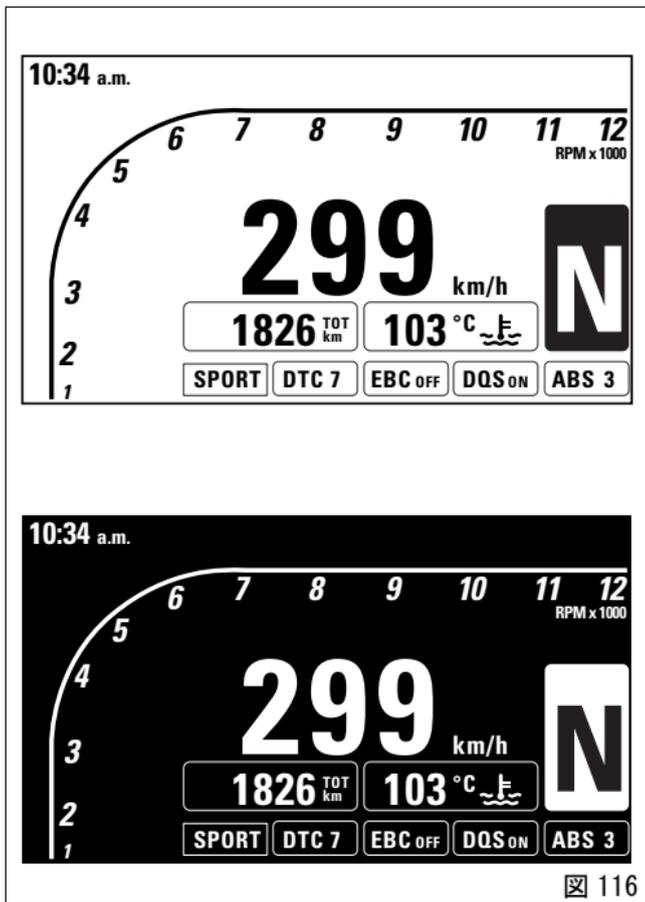
設定メニューからこの機能をパーソナライズすることができます。“BACKLIGHT”機能を選択し、“BACKLIGHT”メニューに入ります。

- 常にNIGHT又はDAYモードのうち一つに設定するか
 - 自動表示モードAUTOに設定します。
- （“ディスプレイの背景の設定”）の章を参照してください。



参考

電力が 16 V を超えるとバックライトが解除され、8 V 未満の場合はバックライトの電源が消えます。



ランプコントロール

ロービーム / ハイビームランプ

ヘッドランプの点灯及び消灯を調整し、バッテリーの消費量を抑えます。

key-on 時、ロービーム及びハイビームランプは消灯 (off) のままで、ポジションランプのみが点灯します。

エンジンを起動するとロービームランプが起動します。エンジンが起動している状態でランプの標準的な機能が回復します。ポジション A のボタン 1 (図 117) 又はポジション B のボタン 1 (図 117) でフラッシュすることによりロービームからハイビーム又はその逆に切り替えることができます。

key-on 時エンジンが起動されない場合でも左のスイッチのポジション A のボタン 1 (図 117) を押すことでロービーム / ハイビームランプを起動することができます。ボタンを 1 回押すとまずロービームランプが起動し、その後 1 回押すごとにロービームランプとハイビームランプが交互に切り替わります。最初にボタンを押してから 60 秒以内にエンジンを起動しないと、ロービーム及びハイビームランプは再度停止します (off)。

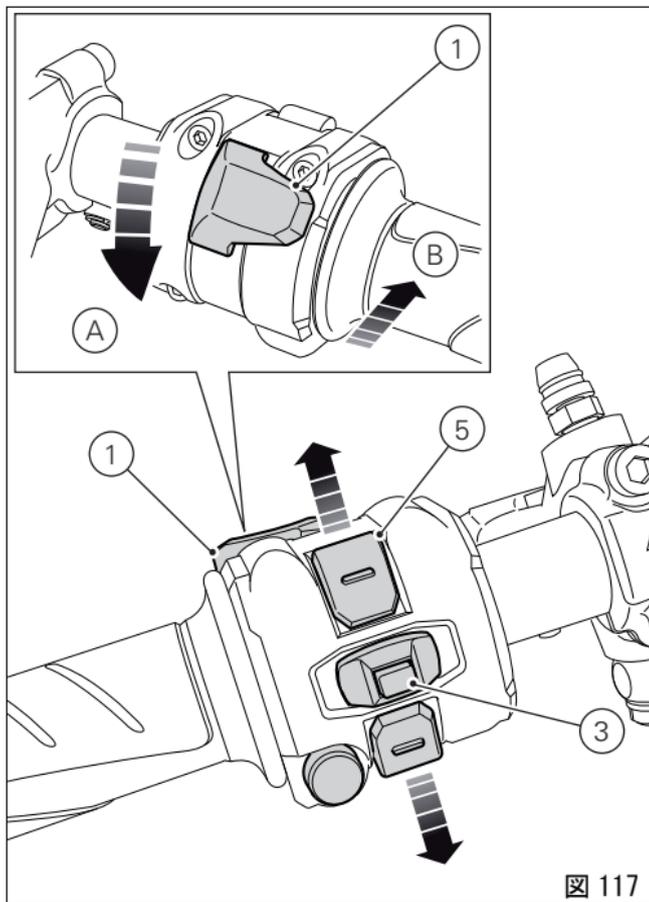


図 117

エンジンを起動する前に（上記の方法で）ロービーム又はハイビームランプを点灯させた場合、エンジンを起動する際ヘッドランプが自動的に消灯し、エンジンが完全に起動してから再点灯します。

ターンインジケーター

インストルメントパネルはターンインジケーターの自動リターンを行います。

2つのうち、どちらかのターンインジケーターを点けた後、左側スイッチにあるボタン（3、図 117）で解除することができます。

ターンインジケーターコマンドの手動リセットが行われなかった場合、起動されてから 500 m（0.3 マイル）走行すると インストルメントパネルは自動的にターンインジケーターを停止します。自動解除の際、走行距離のカウントは 80 km/h（50 mph）以下でのみ行なわれます。

走行距離カウントは自動解除が完了した後、80 km/h（50 mph）以上で可能です。また、前述の速度を下回った場合、カウントは解除され、再開します。

パーキング機能

パーキング機能で 車両停止の際、駐車が目立つように、フロント / リアパーキングランプを点灯することができます。

車両停止後 (key-off 後) 60 秒以内に、ボタン (5、図 117) を 3 秒間押すと設定が可能です。

機能起動後、PARKING のアイコンがディスプレイ上に 3 秒間表示され、バッテリー電圧が 11.7 V \geq (以上) になるまで点灯したままになります。バッテリー電圧が >11.7 V (以上) になると省エネのためランプは自動的に消灯します。

機能を中止するには、車両を起動 (key-on) 及び停止 (key-off) する必要があります。



参考

機能作動中に突然バッテリーが無くなるなどの理由で電源が遮断された場合、電源をリセットするため、インストルメントパネルは機能を停止します。



参考

この機能を頻繁に使うことで、バッテリーの消耗が著しくなります。ドウカティ社は必要な場合のみこの機能を使用することを推奨します。



図 118

イモビライザーシステム

この車両には電子制御でエンジンをブロックする盗難防止システム（イモビライザー）が搭載されています。イモビライザーは、毎回エンジンを停止する度に自動的に作動します。

各キーのボディにはトランスポンダーが内蔵されています。トランスポンダーからの信号は、イグニッションスイッチ部に組み込まれたアンテナを介してコントロールユニットに送られます。この信号はパスワードの役割を果たし、イグニッションキーがスイッチに差し込まれる度に変更し、CPUがその“パスワード”によってキーを認識した時のみエンジンが始動します。

キー（図 119）

バイクは2本のキーと一緒に納品されます。

キーには“イモビライザーシステムコード”が内蔵されています。

キー（B）は通常のイグニッションキーで、以下の場合に使用されます：

- エンジンの始動
- フューエルプラグの開閉
- シートロックの解除



警告

通常は2本のキーの内の1本のみを使用するようにしてください。

作業

イグニッションキーをONからOFFの位置に回す度に、システムはエンジンブロックを作動します。この方法でもまだブロックが解除されない場合は、Ducati サービスセンターに御連絡下さい。



警告

キーに強い衝撃を与えると内蔵された電子部品が破損しますので注意してください。

作業中は常に同じキーのみを使用してください。違うキーを使用すると、システムのコード承認の妨げになる場合があります。

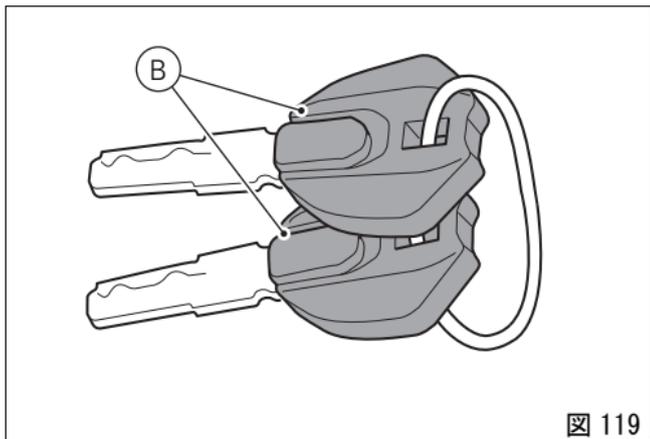


図 119

キーの複製

追加のキーが必要な場合は、お持ちのキー全てを持って Ducati サービスセンターにご依頼下さい。

Ducati サービスセンターは新しいキー、およびお持ちのキーを再プログラミングします。

Ducati アシスタントサービスは、お客様が車両のオーナーである証明の提示を求めることがありますので、必要書類をご持参下さい。

この作業時に再メモリーされなかったキーのメモリーは削除されて無効となるため、エンジンを始動する為に使用することはできません。



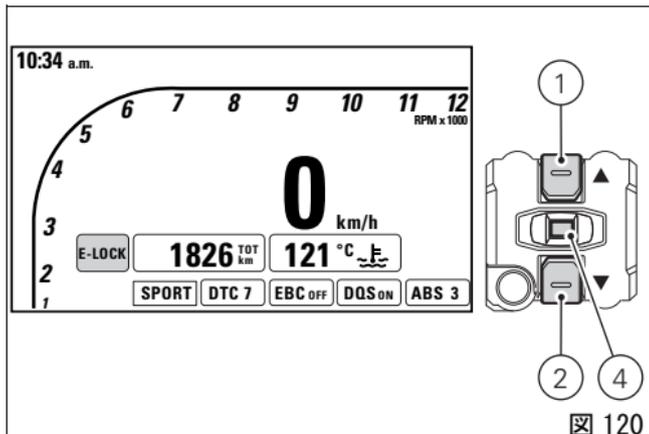
参考

オーナー変更の際、全てのキーを新しいオーナーに譲り渡されなければなりません。

PIN CODE による車両ブロックの解除

キー認識システムの不具合、又は、キーの不具合の場合、車両ブロックの一時解除のため PIN コードの入力ができるようになります。PIN CODE 機能が有効でない場合、インストルメントパネルにブロック解除コード入力ページが開かれず、スタンダードスクリーンを表示し、E-Lock エラーでキー読み取り / 識別エラーがあることをユーザーに知らせ、設定メニューに入ることができなくなります。

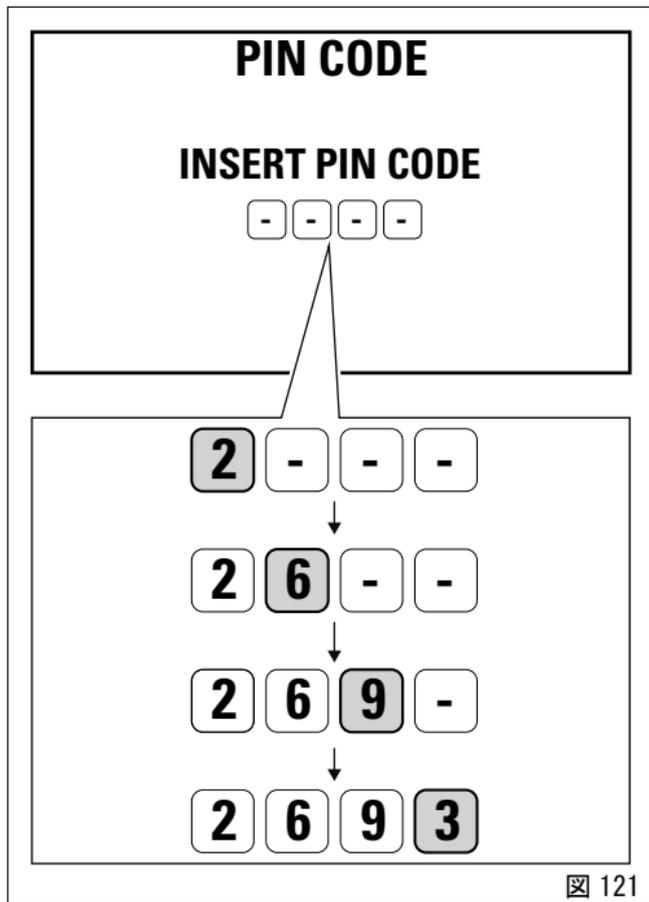
次の key-off まで E-Lock エラーが表示されます。



PIN CODE 機能が起動している場合、インストールパネルはブロック解除のコード入力ページを表示し、INSERT PIN CODE の文字、その下に緑色で強調表示された4本のハイフン“----”が表示されます。

コードの入力：

- 1) ボタン (4) を押します。
- 2) “0” で表示される 1桁のみが緑色に強調表示されます。
- 3) ボタン (2) を押す度に数字が1から9までひとつずつ大きくなり、その後“0”に戻ります。
- 4) ボタン A (1) を押す度に数字が1までひとつずつ小さくなり、その後“0”に戻ります。
- 5) ボタン (4) を押して数字を決定します。
- 6) 2) - 5) の手順を繰り返し、PIN CODE の全ての4ケタの数字を決定します。



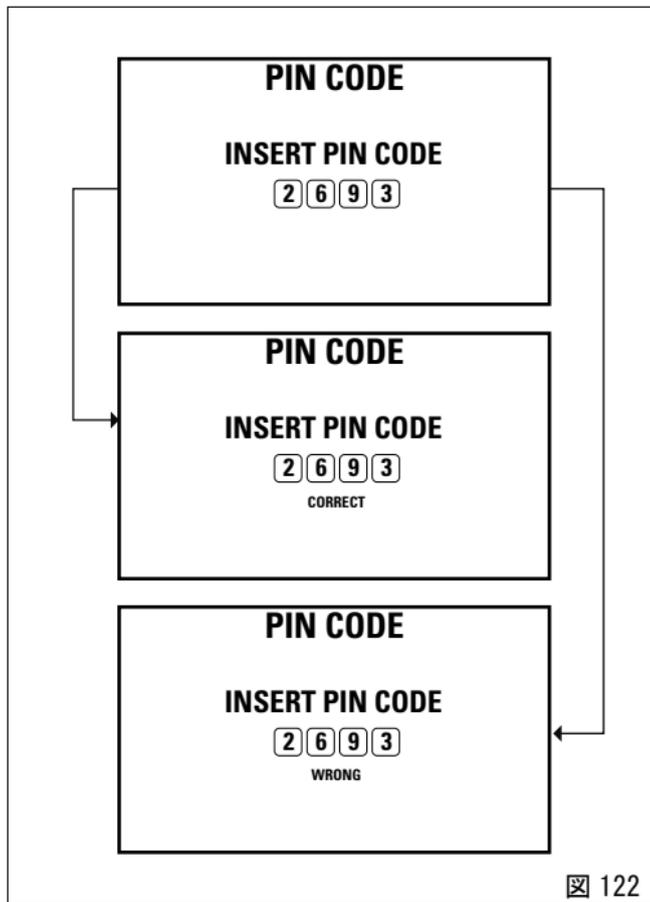
ボタン (4) を押して 4 ケタすべての数字を決定した後、

- PIN CODE が正しくない場合、インストールパネルは 3 秒間 WRONG の文字を表示し、再度点線 “- - - -” を強調します。もう一度 PIN CODE を入力してください。入力可能時間は 2 分間に設定してあります。この時間を過ぎるとインストールパネルはスタンダードスクリーンに代わり、E-Lock エラーを起動し、設定メニューに入ることができなくなります。
- PIN CODE の確認に問題が発生した場合、インストールパネルは 3 秒間 ERROR を表示し、WRONG の場合と同様に作動します。
- PIN コードが正しい場合、インストールパネルは 3 秒間 CORRECT を表示し、その後 “スタンダードスクリーン” に代わり、E-Lock エラーを起動し、ユーザーにキーの読み取り / 識別に問題があることを通知します。



参考

起動のため、上記のプロセスをふまなければならないときは、早めに Ducati サービスセンターまでお問い合わせ下さい。



運転時に必要なコマンド



警告

この章では車両を運転する上で必要な全てのコマンド機能と配置を詳しく説明しています。コマンドを使用する前によくお読み下さい。

コマンド類の配置 (図 123)

- 1) インstrumentパネル
- 2) 左側スイッチ
- 3) クラッチコントロールレバー
- 4) リアブレーキペダル
- 5) 右側スイッチ
- 6) スロットルグリップ
- 7) フロントブレーキレバー
- 8) ギアチェンジペダル

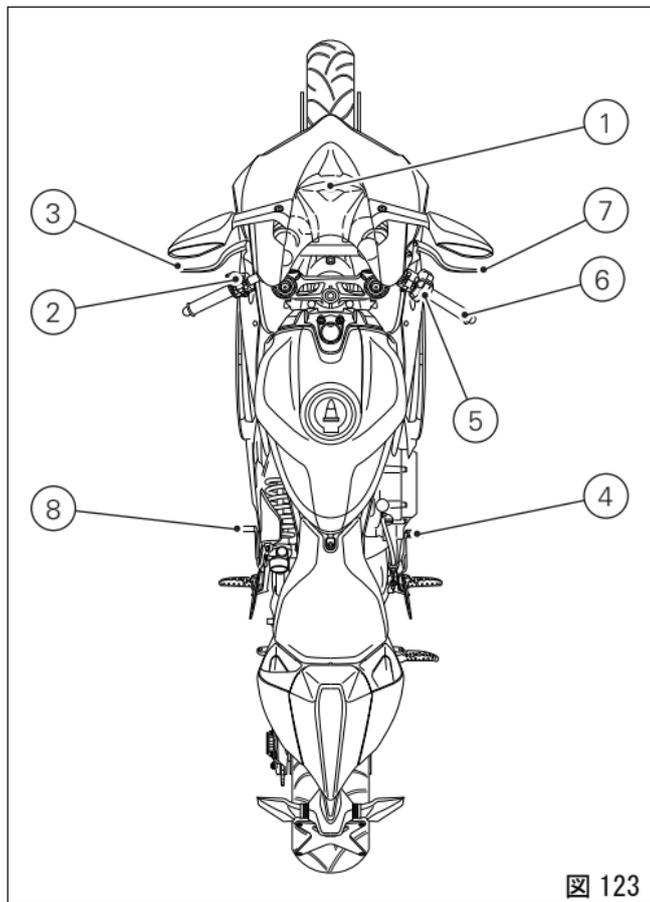


図 123

イグニッションスイッチ / ステアリングロック (図 124)

燃料タンクの前にあり、4つのポジションがあります：

- A) ON : エンジンおよびランプを ON にする
- B) OFF : エンジンおよびランプを OFF にする
- C) LOCK : ステアリングロック状態
- D) P : パーキングランプ点灯、ステアリングロック状態



参考

キーを最後の2つのポジションにするには、キーを押してから回して下さい。(B)、(C)、(D) の位置ではキーを引き抜くことができます。

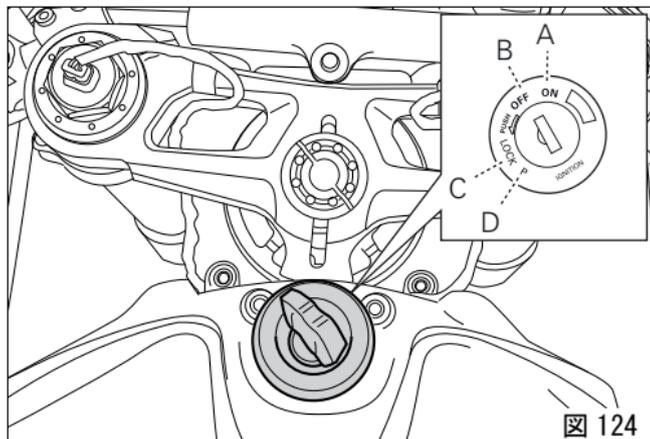


図 124

左側スイッチ（図 125）

- 1) デイマースイッチ、ビームの選択、2 ポジション（図 125）（A）下方方向に押すたびにロービームライト点灯 ① からロービームライト及びハイビームライト点灯 ② への信号が伝わります。（B）水平に押した場合 ③ = ハイビーム点滅（FLASH）、"Start-Stop lap" 表示。
- 2) ボタン ④ = ターンインジケータ、3 ポジション（図 125）中央 = OFF
ポジション ⑤ = 左折
ポジション ⑥ = 右折
- 3) ターンインジケータ停止ボタン、Riding mode 起動とメニュー操作
- 4) ⑦ ボタン = 警告ホーン
- 5) メニュー操作ボタン、ディスプレイスクロールと TRIP1 と TRIP2 機能のリセット。
- 6) メニュー操作ボタン、ディスプレイスクロール。

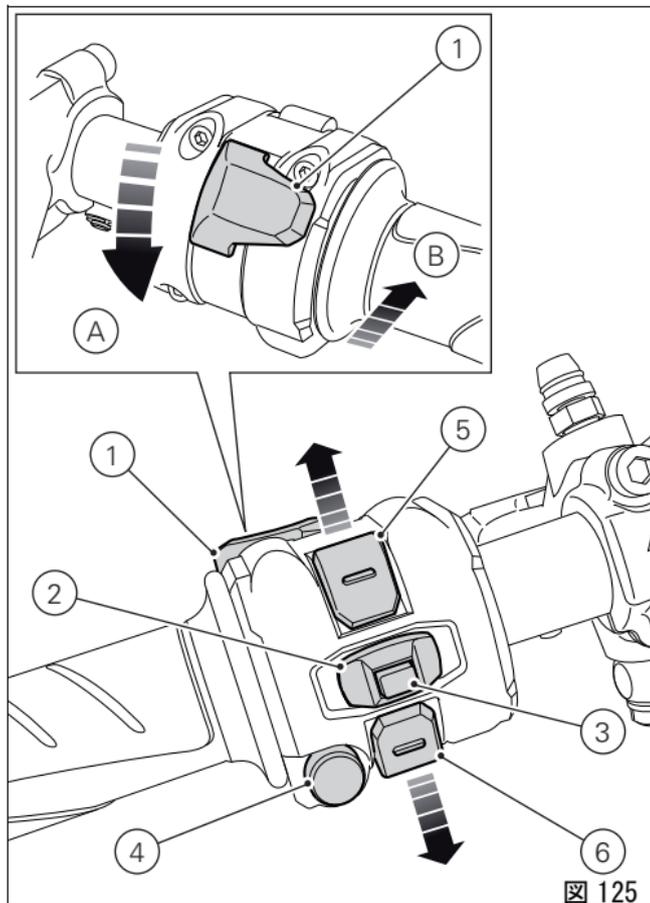


図 125

クラッチレバー（図 126）

レバー（1）でクラッチの接続を操作します。この機種にはアジャスター（2）がついており、レバーとハンドルバー上のハンドル間の調整が可能です。レバーの間隔はアジャスター（2）の10クリックで調整できます。時計回りに回すとレバーはスロットルグリップから離れます。アジャスターを反時計回りに回すと近づきます。

レバー（1）を操作すると、エンジンの回転がトランスミッションおよび駆動輪に伝わらなくなります。クラッチの適切な操作は、スムーズなライディング、特に発進時に重要です。



警告

クラッチ及びブレーキレバーの調整は、停車時に行います。



重要

クラッチレバーを正しく操作することで、トランスミッションの損傷を避け、車両の寿命を延ばすことができます。

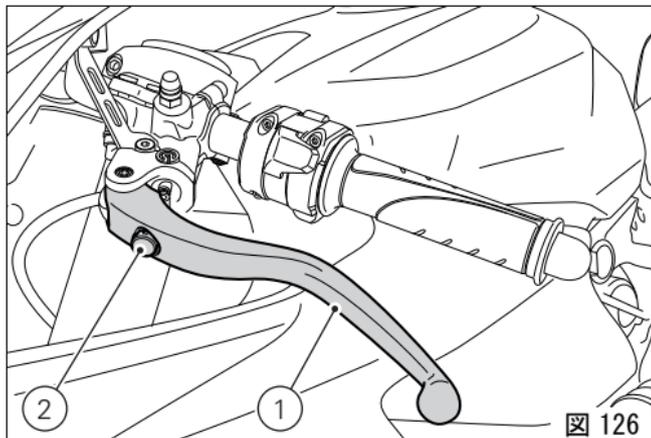


図 126



参考

サイドスタンドを下ろし、ギアがニュートラルの状態ではエンジンを始動させることができます。また、ギアが入った状態で始動する時は、クラッチレバーを引いて下さい（この場合サイドスタンドは下ろしません）。

右側スイッチ（図128）

- 1) 赤スイッチ ON/OFF
- 2) 黒ボタン エンジン始動

スイッチ（1）は3ポジションあります。

- A) 中央：RUN OFF このポジションではエンジンの起動は不可、全てのエレクトリックデバイスは停止します。
- B) 下部に押した場合：起動/停止 このポジションでシステムの起動（key-on）と停止（key-off）が可能です。
- C) 上部に押した場合：RUN ON このポジションのみで、黒ボタン（2）を押しながら、エンジンの起動が可能です。

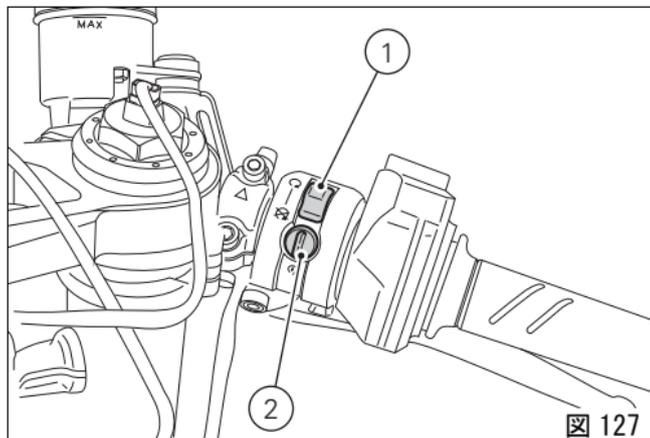


図 127

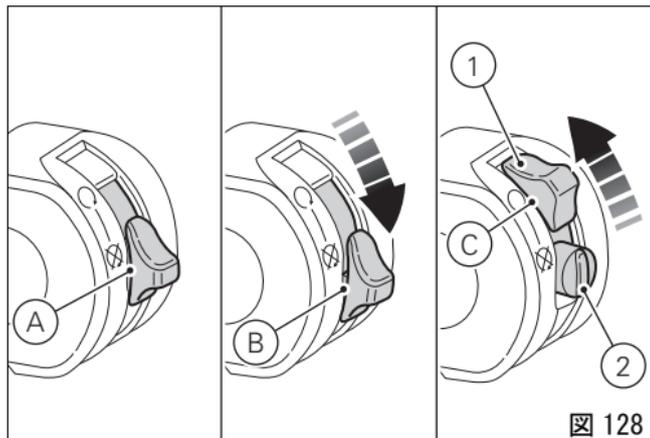


図 128

スロットルグリップ (図 129)

ハンドルバー右側のスロットルグリップ (1、図 129) は、スロットルボディの開閉を操作します。グリップを緩めると、自動的に元の位置 (アイドリング状態) に戻ります。

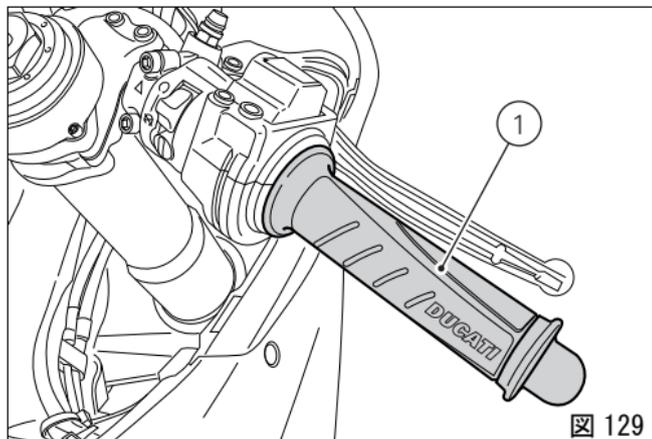


図 129

フロントブレーキレバー (図 130)

レバー (1、図 130) をスロットルグリップの方向へ引くと、フロントブレーキがかかります。このレバーは油圧で作動するため、軽く握るだけで作動します。コントロールレバー (1、図 130) にはつまみ (2、図 130) がついており、レバーとグリップとの間隔が調整できるようになっています。

レバーの間隔はアジャスター (2、図 130) の 10 クリックで調整できます。時計回りに回すとレバーはスロットルグリップから離れます。アジャスターを反時計回りに回すと近づきます。

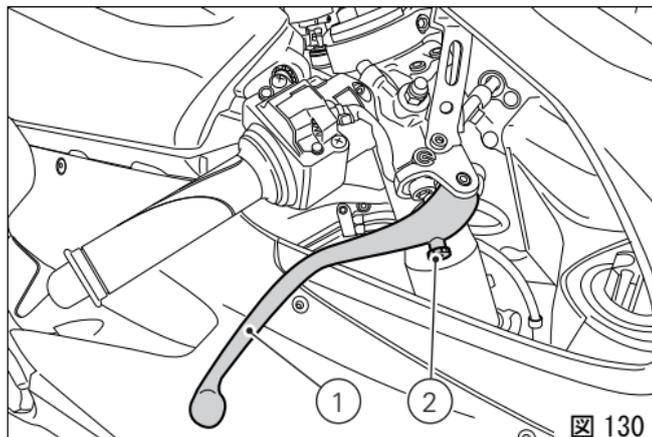


図 130

リアブレーキコントロールペダル（図 131）
ペダル（1、図 131）を下に踏むことで、リアブレーキが機能します。
システムは油圧式で作動します。

ギアチェンジペダル（図 132）

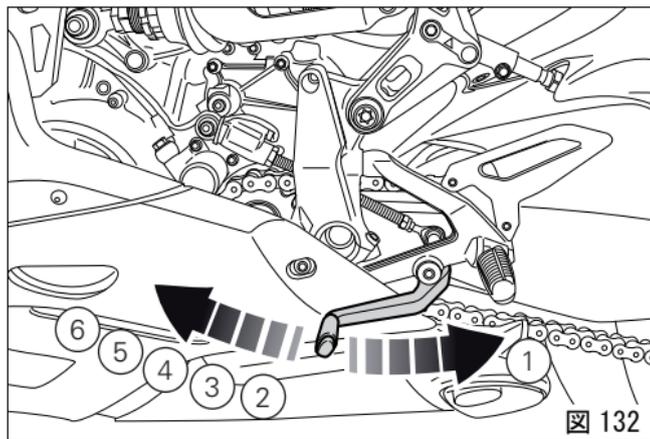
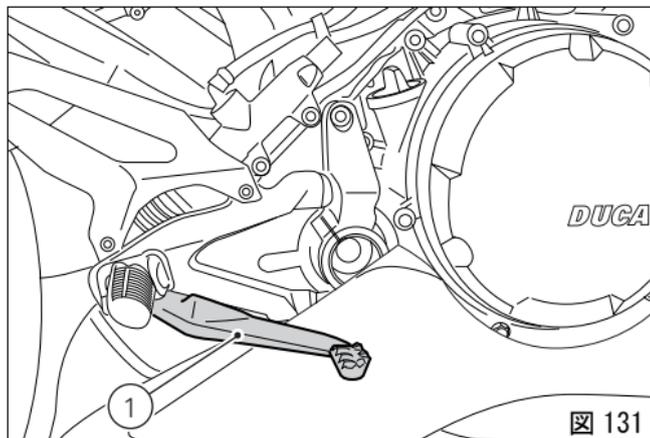
ギアチェンジペダル（1、図 132）は中央のニュートラルのポジション N に自動的に戻ります。ニュートラルポジションであることはインストルメントパネル上の N ランプ（2、図 4）で表示されます。

ペダルは以下のように動かします：

下へ＝シフトダウンおよび 1 速へのチェンジは、ペダルを下に押します。この時、インストルメントパネルの N ランプが消えます。

上へ＝ペダルを上へ上げることで、2 速から順次 3、4、5、6 速へとチェンジします。

一回の操作が一速分のチェンジに相当します。



ギアチェンジペダルとリアブレーキペダルの配置調整

ギアチェンジペダルとリアブレーキペダルのポジションは、ライダーのライディングスタイルとフットペグの位置に合わせて調整することができます。これらの調整は以下の手順で行ってください：

ギアチェンジペダル

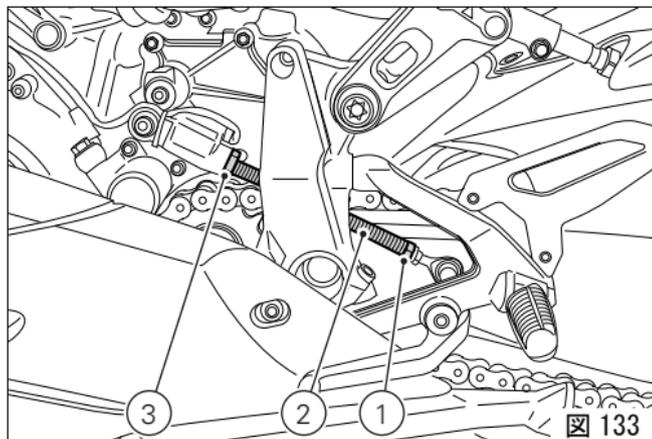
ロッド (1) を固定しながら、ナット (2) と (3) を緩めます。



参考

ナット (2) は、逆ネジになっています。

ギアチェンジペダルを好みの位置に定めながら、レンチでロッド (1) の六角部分を回します。ロッドに対して両ロックナットを締め付けます。



リアブレーキコントロールペダル（図 134）

ナット（7）を緩めます。

ペダルが好みの位置になるまで、調整スクリュー（6）を回します。

ロックナット（7）を締め付けます。

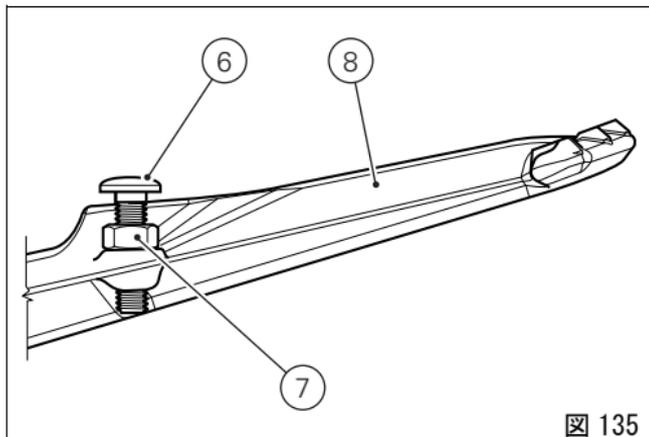
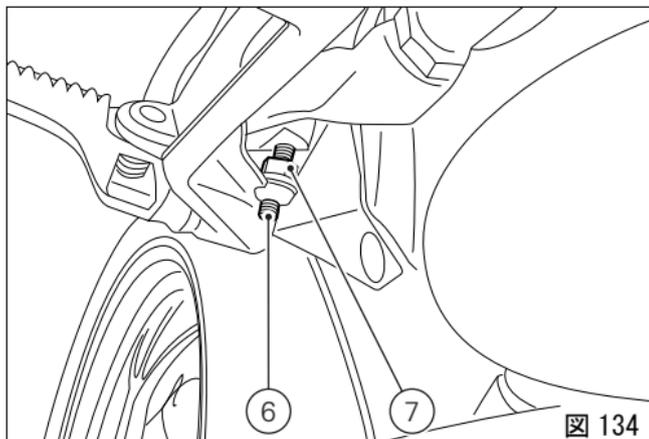
ペダル（8）を手で押しながら、ブレーキがかかり始めるまでに約 1.5～2 mm の遊びがあるかを確認します。

上記のような遊びが確認できない場合は、マスターシリンダーのロッドの長さを調整します。



警告

ペダルの調整はDucatiディーラーまたはサービスセンターで実施して下さい。



主要構成部品 / 装備

車両上の配置 (図 136)

- 1) フィラープラグ
- 2) シートロック
- 3) サイドスタンド
- 4) リアビューミラー
- 5) フロントフォークアジャスター
- 6) リアショックアブソーバーアジャスター
- 7) 触媒システム (両側)
- 8) エキゾーストサイレンサー (両側) (196 ページ
"注意事項" 参照)

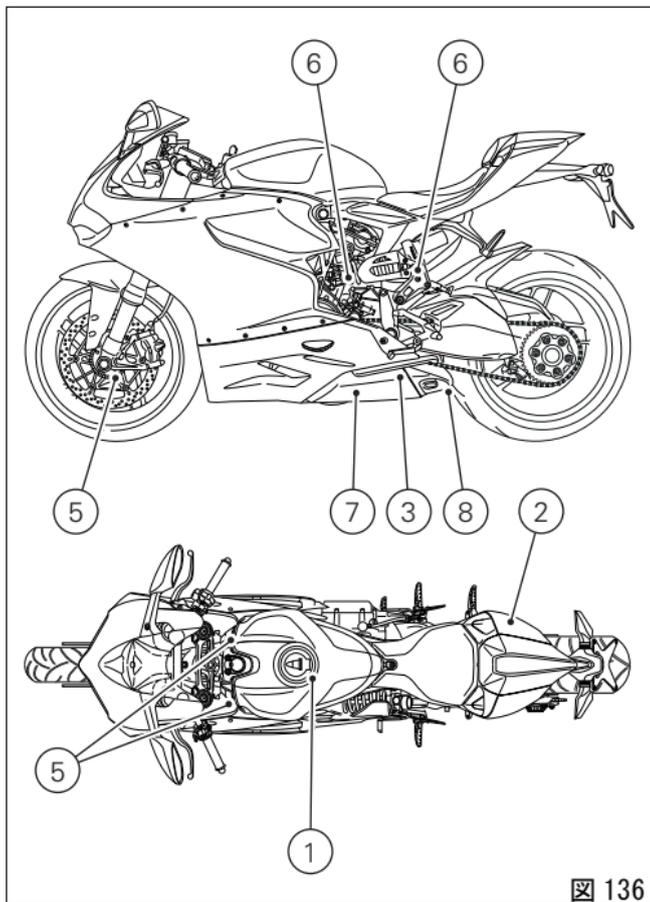


図 136

燃料フィルタープラグ

開け方

プラグの保護カバー (1、図 137) を持ち上げ、イグニッションキーを差し込み、キーを時計回りに 1/4 回転してロックを解除します。
プラグ (2、図 138) を起こします。

閉じ方

キーの差し込まれたプラグ (2、図 138) で押しながら閉じてください。キーを抜き取り、プラグの保護カバー (1、図 137) を閉じます。



参考

プラグはキーが差し込まれていないと閉まりません。



警告

燃料補給 (197 ページ参照) 後は毎回、プラグが正しい位置で確実に閉まっていることを確かめて下さい。

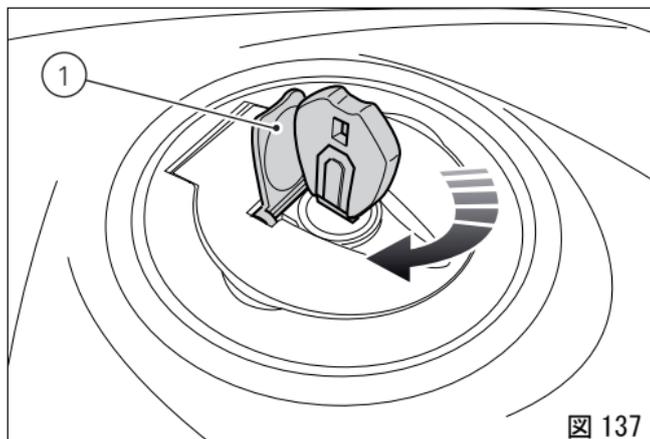


図 137

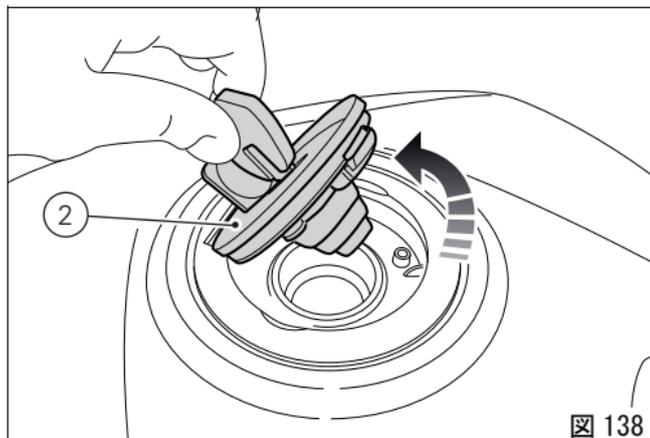
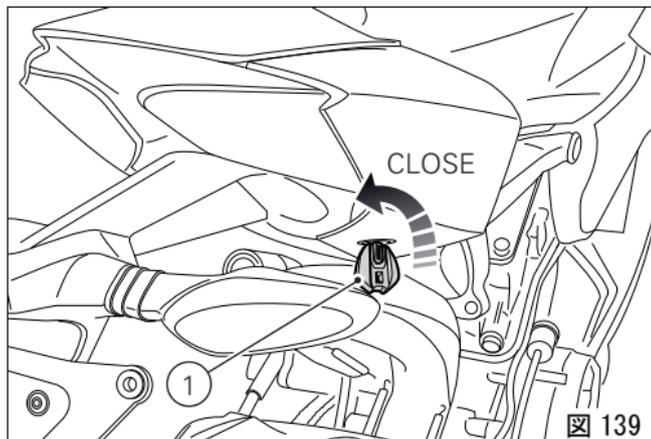


図 138

シートロック

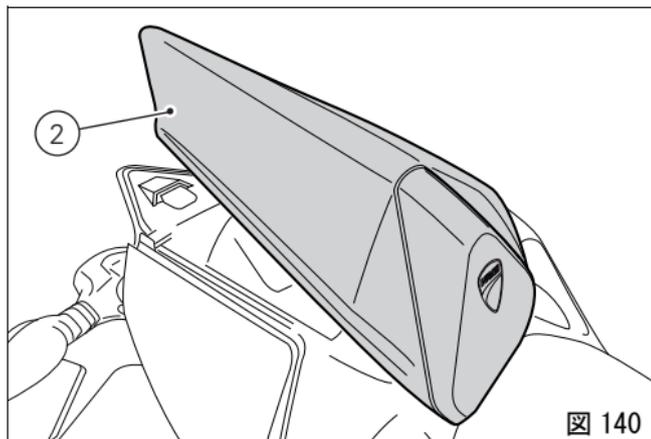
開け方 (図 139)

鍵穴 (1) にキーを差し込み、クリックと言う音が聞こえるまで回します。
シート (2) の後部を上に向けてやさしく引き、取り外せるまで持ち上げます。



閉じ方 (図 140)

リアサブフレームの下にシートのフックを挿入します。
ピンがラッチにカチッとハマるまでシートの後部を押しします。
正しくロックされているか確認するため、パッセンジャーシートを少し上に引き上げます。



サイドスタンド (図 141)



重要

サイドスタンドを使用する前に、地面が適しているか、平らであるかを確かめて下さい。

柔らかい地面、砂利、日光で柔らかくなったアスファルト等にパーキングすると、車両転倒の原因となります。

傾斜面に停車する場合は、常にリアホイールが斜面の低い側になるようにして下さい。

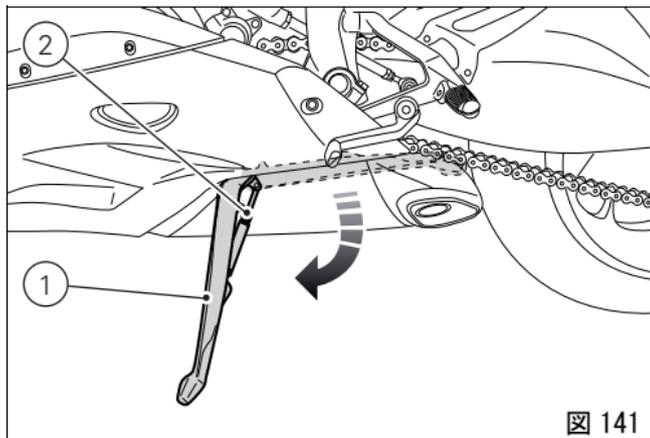
サイドスタンドを使用するには、ハンドルバーを両手で掴み、車体を支えながら、スタンドのフック (1) を足でいっぱいに押します。次に、スタンドがしっかりと路面に着くまで、車体を徐々に傾けていきます。



警告

サイドスタンド使用時には、車両にまたがらないで下さい。

サイドスタンドを元の位置 (水平位置) に戻すには、車両を右側に傾けながら、足でスタンドのアーム (1) を持ち上げます。



参考

定期的にスタンド (内側と外側 2 つのスプリングの状態) と安全センサー (2) の作動を点検することをお勧めします。



参考

スタンドが開き、ギアがニュートラルの状態ではエンジンを始動させることができます。ギアが入った状態で始動する時は、クラッチレバーを引いて下さい (この際サイドスタンドは閉じていなければなりません)。

ステアリングダンパー (図 142)

燃料タンク前部にあり、フレームとステアリングヘッドに固定されています。

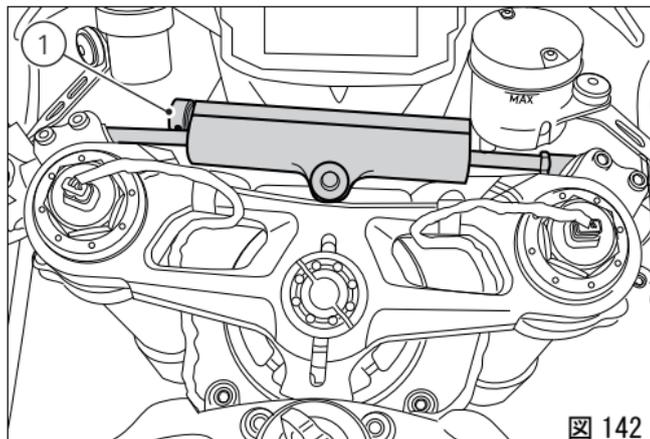
このダンパーのお陰でステアリングはより正確で安定し、あらゆるコンディションでの操縦性がアップしました。

つまみ (1) を時計回りに回すとステアリングはより重くなり、反時計回りに回すとより軽くなります。調整のそれぞれのポジションは“クリック”と呼ばれ、最大 10 クリックまで回すことができます。



警告

車両の制御ができなくなる恐れがあるので、運転中につまみ (1) のポジションを変更しないでください。

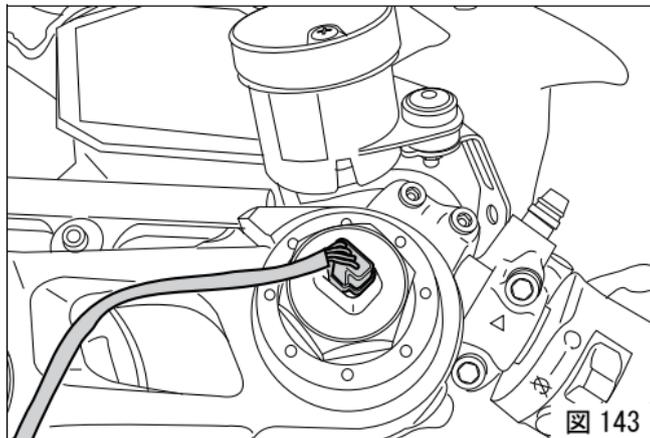


フロントフォーク調整

車両のフォークは、リバウンド / コンプレッションダンピング、およびスプリングプリロードの調整が可能です。

フォーク調節は、インストルメントパネルからフォークインナー調節機器 (図 143) に送信されるインパルスで行なわれます。
フォークの調整は、101 ページの記載内容に従います。

フロントショックアブソーバーの初期設定：
リバウンド：10 クリック
コンプレッションダンピング：8 クリック
スプリングプリロード：8mm



リアショックアブソーバー調節

リアショックアブソーバーは荷重に合わせてバランスを調整できるようにアジャスターを装備しています。



警告

ショックアブソーバーには高圧のガスが充填されています。未経験者による分解作業は重大な損傷の原因となります。

パッセンジャーを載せて走行する際には、スプリングプリロードを最大に設定すると、路面からの影響を受けにくくなり、走行安定性が増します（スプリングプリロードの調整にはリングナットを操作します）。この場合には、リバウンドダンピングの再調整が必要になることがあります。

ショックアブソーバー調節は、インストルメントパネルからアブソーバー内部の調節機器に送信されるインパルスで行なわれます。ショックアブソーバーの調整は、101 ページの記載内容に従います。

リアショックアブソーバーの初期設定：

リバウンド：10 クリック

コンプレッションダンピング：10 クリック

スプリングプリロード：23mm

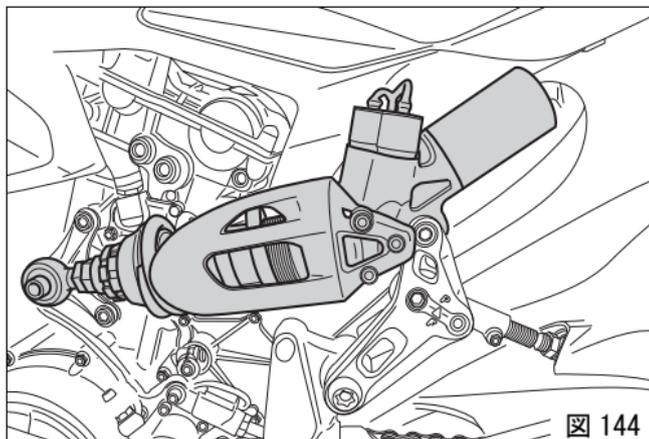


図 144

車高の調整 (図 145、図 146)

この車両の車高は、Ducati 社の技術者がさまざまな走行状態でテストを行い決定しています。

車高調整は非常にデリケートな作業ですので、不適切な変更作業を行うとライダーの身体に危険をもたらします。

ライダーはアブソーバーのポジションを変更し、自分のライディングスタイルに合わせた車高の変更が可能です。



重要

FLAT (F) ポジションはレースバージョンのように様々な車高に調整することができます
PROGRESSIVE (P) ポジションはパッセンジャーが乗る場合に推奨します。



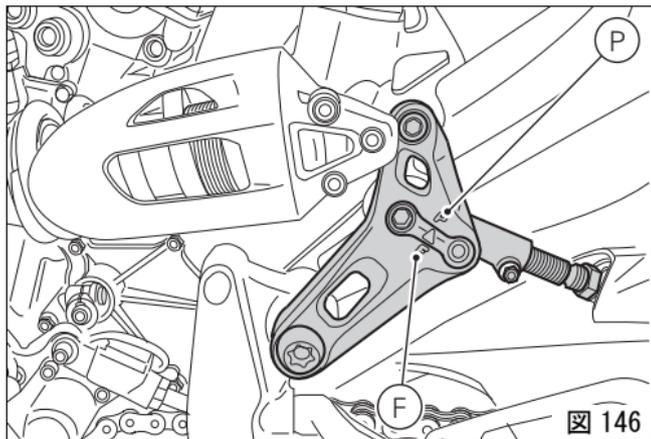
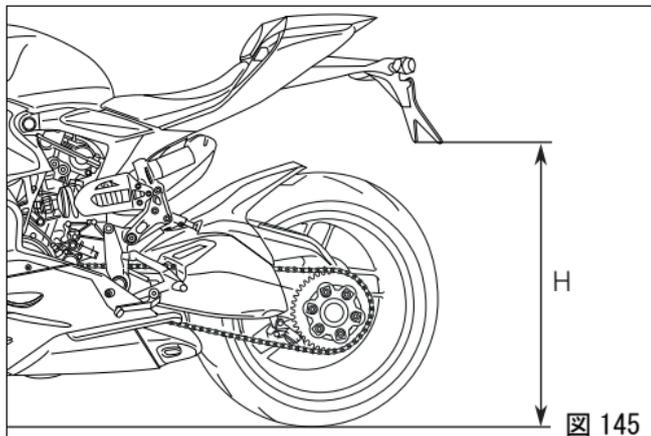
警告

FLATポジションの状態のパッセンジャーをのせて車両を使用すると、車両の安定性が失われる可能性があります。



警告

車高の調整作業が必要な場合は、ディーラーまたは Ducati サービスセンターにご連絡下さい。



運転のしかた

慣らし運転の方法

慣らし運転時の最高速度（図 147）

慣らし運転期間中および通常使用においてのエンジン最大許容回転数：

- 1) 1,000 km まで
- 2) 1,000 ~ 2,500 km まで

1,000 km まで

最初の 1,000 km まではタコメーターに注意し、5,500 ~ 6,000 回転 (rpm) を超えてはいけません。最初の数時間は、規定回転数の範囲内でエンジンの負荷と回転数を色々変えることをお勧めします。

重要

走行距離が 1000km（慣らし運転）までの期間、すなわちオドメーターの表示が 1000km 以下では、6000rpm に達すると、“オレンジゾーン”（事前警告ゾーン - ディスプレイにオレンジ色の棒グラフ及びそれに相当する数値を表示）が表示されます。慣らし運転期間中は 6000rpm を超えないこと、すなわちインストルメントパネルの棒グラフに “オレンジゾーン” が表示されないことが推奨されます。

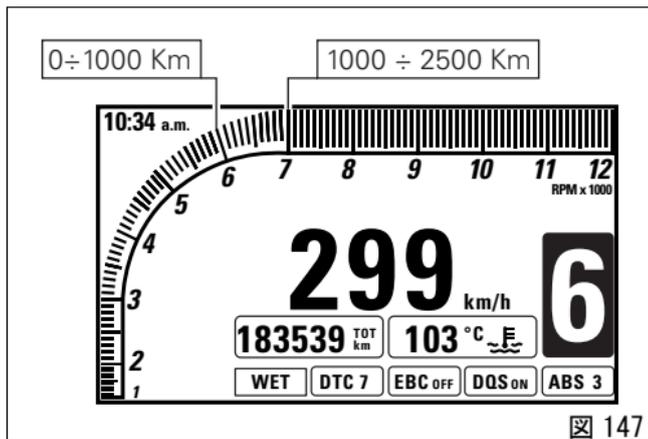


図 147

エンジン、ブレーキ、サスペンションのより効果的な慣らしには、カーブが多く起伏に富んだ場所を走行することが理想的です。

最初の 100 km は、ブレーキディスクに対してパッドの摩擦材を適切に慣らすために、優しくブレーキをかけ、急なブレーキや長い間ブレーキをかけることは避けて下さい。

全ての機械部分を互いに馴染ませるため、また、エンジンの主要部分の寿命に悪影響が出ないように、急な加速や、特に上り坂での長時間にわたる高速回転は避けて下さい。

定期的にチェーンを点検し、必要であれば潤滑し、調整して下さい。

1000 ~ 2500 km まで

この間、エンジンからよりパワーを引き出す事は可能ですが、下記の回転数を決して超えないようにして下さい：

7,000 rpm

重要

慣らし運転期間は、当マニュアルで指定された点検、整備を必ず受けて下さい。順守されなかった結果、エンジンの損傷、および寿命の短縮などについて、Ducati モーターホールディング社はいかなる責任も負いません。

慣らし運転の方法を守ることでエンジンの寿命を延ばし、調整、オーバーホールの回数を抑えることができます。

走行前の点検事項



警告

走行前にこれらの点検を怠った場合、車両に損傷を与え、ライダー、及びパッセンジャーを危険に晒す恐れがあります。

走行前に以下の点検を実施してください：

タンク内の燃料量

タンク内の燃料の残量を確認します。必要であれば給油して下さい (197 ページ)。

エンジン内のオイルレベル

クランクケースの点検窓でオイルのレベルを確認して下さい。必要であればオイルを補充して下さい (220 ページ)。

ブレーキおよびクラッチフルード

各リザーバー内のフルードレベルを確認して下さい (203 ページ)。

クーラント量

クーラントタンクの液量を確認します。必要であれば補充して下さい (201 ページ)。

タイヤコンディション

空気圧と摩耗度を点検します (218 ページ)。

コマンド機能

ブレーキ、クラッチ、アクセル、トランスミッション等の作動レバーまたはペダルを作動させて機能を確認します。

ランプ類、インジケーター

ランプ、インジケーター、ホーンが適切に機能するかを確認します。電球が切れている場合には交換して下さい (213 ページ)。

ロック類

フィルタープラグ (179 ページ) およびシート (180 ページ)。

スタンド

サイドスタンドがスムーズに作動し、適切な位置にあるかをチェックします (181 ページ)。

ABS ランプ (ABS バージョン)

key-on 後、ABS ランプ (9、図 4) は点灯し続けます。走行速度が 5 km/h を越えた時点で、ABS システムの正常な機能を示すため、ランプは消灯します。



警告

不良な点がある場合には、車両の使用を中止し、Ducati オフィシャルディーラーにご連絡下さい。

ABS 装置 (ABS バージョン)

フロントフォニックホイール (1、図 148) とリアフォニックホイール (2、図 149) をよく清掃してください。



警告
汚れなどが付着して読み取り窓が詰まっていると、システムが正常に機能しない恐れがあります。泥の多い路面を走行する時には ABS システムがうまく機能しない場合がありますのでシステムを OFF にしておくことをおすすめします。



警告
長い後輪立ち走行を行うと、ABS システムが停止してしまうおそれがあります。

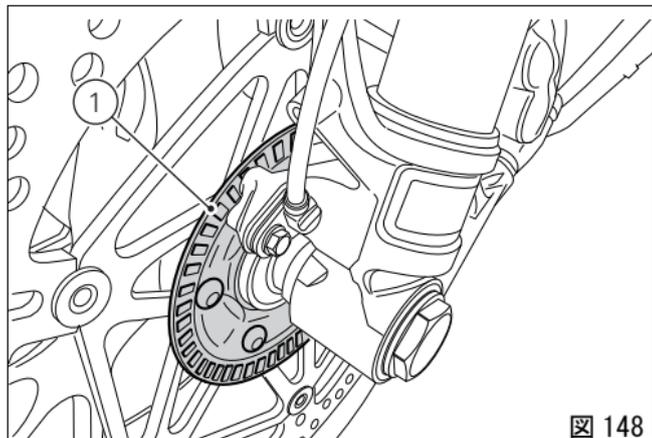


図 148

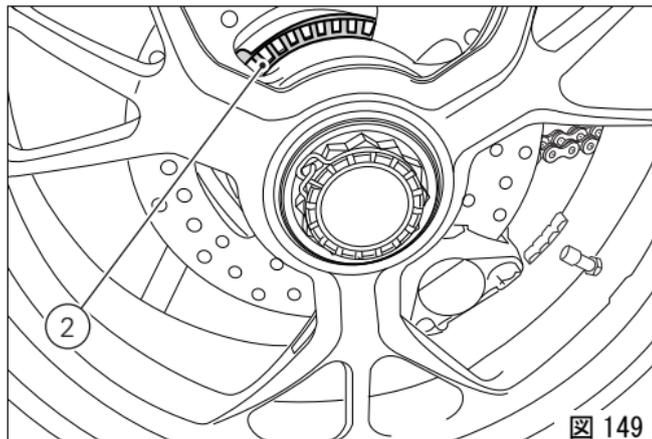


図 149

エンジンの始動

警告
エンジン始動前に、運転に必要な操作系の取り扱いに慣れておいて下さい (10 ページ)。

警告
屋内では絶対にエンジンを始動したり、作動させたりしないで下さい。排気ガスは有毒ですので、短時間で意識を失ったり、さらには死に至る危険性があります。

1) イグニッションキーを ON の位置にします (図 148)。
緑のランプ N (2) と赤のランプ  (4) が点灯していることを確認してください。

重要
オイルプレッシャー表示ランプ (4) はエンジン始動後、数秒で消えなければなりません (17 ページ)。

警告
サイドスタンドが完全に上がって (水平) いない場合、安全センサーが作動して始動できません。

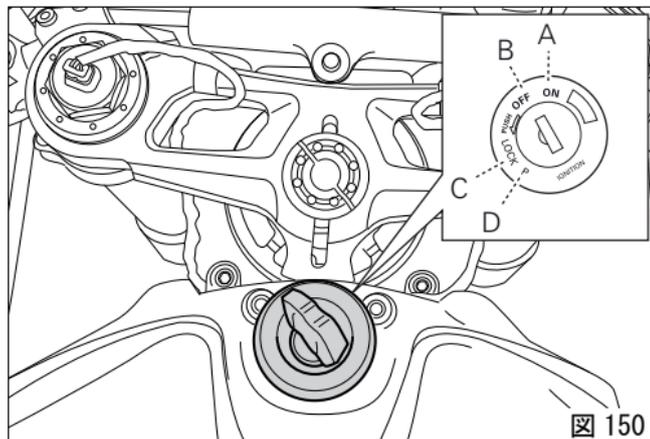


図 150

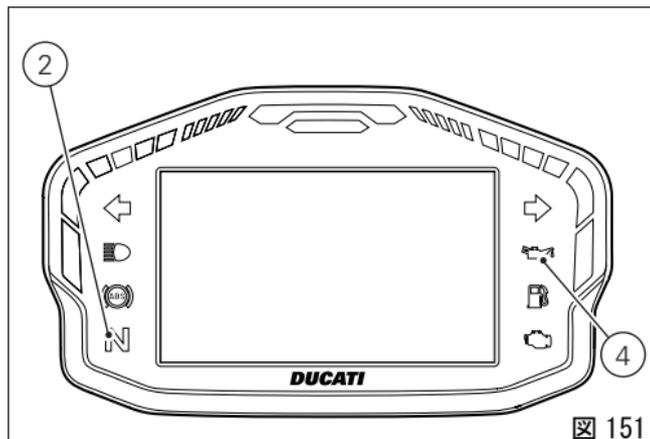


図 151



参考

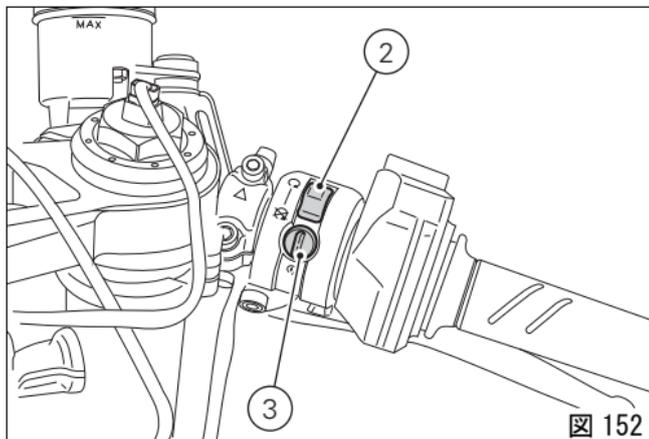
サイドスタンドを下ろし、ギアがニュートラルの状態ではエンジンを始動させることができます。または、ギアが入った状態で始動する時は、クラッチレバーを引いたままの状態では始動させてください（この時サイドスタンドは上がっていません）。

2) エンジンストップスイッチ (2、図 150) が (RUN) の位置になっていることを確認してから、スタートボタン (3、図 150) を押します。



重要

エンジン冷間時は回転数を上げ過ぎないで下さい。オイルが温まるまで待ちます。



車両の発進

- 1) クラッチレバーを引いてクラッチを切ります。
- 2) 1 速に変速するためにギアチェンジペダルをつま先でしっかり押し下げます。
- 3) スロットルグリップを回してエンジンの回転数を上げ、同時にクラッチレバーを徐々につなぐと、車両は発進し始めます。
- 4) クラッチレバーを完全に放し、エンジンの回転数を上げます。
- 5) シフトアップするには、エンジン回転数を落とすためにスロットルを戻し、クラッチを切り、ギアチェンジレバーをもち上げ、クラッチレバーを放します。シフトダウンは以下のように行います。スロットルグリップを放し、クラッチレバーを引いてから、ギアを同調させやすくするためにエンジンを軽くふかしてシフトダウンし、クラッチを放します。これらの作業は適切に素早く操作しなければなりません。上り坂を走行する際には、車速が落ちてきたらすぐにシフトダウンし、車両への異常なストレスやエンジンのノッキングを避けて下さい。



重要

急な加速操作は、オーバーフローやトランスミッションのスナッチを招きますので避けて下さい。ギアを変速した後もクラッチレバーを引いたまましていると、機械部分の過熱や摩擦部分の異常な摩擦を引き起こします。



警告 (ABS バージョン)

長い後輪立ち走行を行うと、ABS システムが停止してしまうおそれがあります。

ブレーキ操作

減速するには、最初にスロットルグリップを戻してエンジンブレーキをかけ、それからブレーキングします。エンジンが急に止まるのを防ぐため、車両が停止する前に、クラッチを切ります。



警告（非 ABS バージョン）

レバーとペダルの内、片方だけ使用するとブレーキ効力が低下します。

ブレーキ類は急激に力づくで操作すると、ホイールのブロックが生じ、車両のコントロールを失います。雨中を走行する際や、滑りやすい路面上ではブレーキ力が著しく低下します。このようなコンディションでは慎重に優しくブレーキ操作をして下さい。急ブレーキは車両のコントロールを失う危険があります。長く急な下り坂を走行する際にはシフトダウンしてエンジンブレーキを使用します。ブレーキは断続的に短時間だけ使用して下さい。ブレーキの長時間にわたる連続使用は、摩耗材の過熱を招き、ブレーキ能力の著しい低下の原因となります。規定空気圧以外のタイヤはブレーキ能力を低下させるとともに摩耗を早め、また運転の確実性と、カーブでの安定を欠きます。

ABS システム (ABS バージョン)

困難な条件下のブレーキ操作は、非常に慎重に行わなければなりません。ブレーキ操作は二輪車の運転で最も難しく危険な瞬間です。ブレーキ操作中に転んだり事故を起こす可能性が統計的に最も高くなっています。フロントホイールがロックされると、牽引力、安定性が減り、車両のコントロールを失います。

アンチブロックブレーキシステム (ABS) は、緊急のブレーキ時、悪道路、悪天候の下でブレーキの性能を最も効率的に使えるように開発されたものです。

ABS は油圧電子システムです。ホイールがロックされそうになると、ホイールにあるセンサーからコントロールユニットに信号が送られ、ブレーキ回路内のプレッシャーが制御されます。

一時的にプレッシャーが下がることで、タイヤが理想的な接地状態を維持したまま、ホイールは回転を続けます。ブレーキ回路内のプレッシャーはすぐにまた上がり始め、ブレーキが作動するようになります。ロックアップのリスクが完全になくなるまでこのサイクルが繰り返されます。

ブレーキが作動状態に入ると、ブレーキレバーとブレーキペダル上に軽い断続的抵抗が感知されます。フロントとリアブレーキのコントロールシステムはそれぞれ独立していますので、ABS もフロントとリアブレーキに同時に作動するわけではありません。このシステムをインストルメントパネルで停止させたい場合は、“ABS 停止機能” を使います。



警告

レバーとペダルの内、片方だけ使用するとブレーキ効力が低下します。

ブレーキ類は急激に力づくで操作すると、ホイールのブロックが生じ、車両のコントロールを失います。雨中を走行する際や、滑りやすい路面上ではブレーキ力が著しく低下します。このようなコンディションでは慎重に優しくブレーキ操作をして下さい。急ブレーキは車両のコントロールを失う危険があります。長く急な下り坂を走行する際にはシフトダウンしてエンジンブレーキを使用します。ブレーキは断続的に短時間だけ使用して下さい。ブレーキの長時間にわたる連続使用は、摩耗材の過熱を招き、ブレーキ能力の著しい低下の原因となります。規定空気圧以外のタイヤはブレーキ能力を低下させるとともに摩耗を早め、また運転の確実性と、カーブでの安定を欠きます。

車両の停止

スロットルグリップを緩めると、車両は徐々にスピードを落とし始めます。シフトダウンしながらクラッチをつなぎ、最後に1速からニュートラルに入れます。ブレーキをかけると、車両を完全に停止することができます。エンジンを停止させるには、キーをOFFにします(170ページ)。

パーキング

停止させた車両をサイドスタンドを使って駐車します(181ページ参照)。

盗難防止のため、ハンドルを左に振りきり、キーをLOCKにします。

車両をガレージ、その他の建物内に駐車する際には、換気が充分され、車両の近くに熱源が無いことを確認して下さい。

必要な場合には、車両を認識しやすいようにイグニッションキーをPの位置にするとパーキングランプを点灯しておくことができます。

重要

このキーを長時間Pの位置にしておくと、バッテリー切れの原因になります。監視できない場所に停車するときは、キーを付けたままにしないで下さい。



警告

エンジン停止後でもエキゾーストユニットは高温の場合があるので、手を触れないよう充分注意し、車両を木材、木の葉などの可燃物のそばに駐車しないようにして下さい。



警告

発進を妨げるタイプの盗難防止用ロック(ディスクロック、リアスプロケットロック等)は大変危険で、車両の機能とライダーとパッセンジャーの安全に危害を与えるおそれがあります。

燃料の補給 (図 153)

給油の際、入れすぎないように注意してください。燃料はプラグの下縁をこえてはいけません。



警告

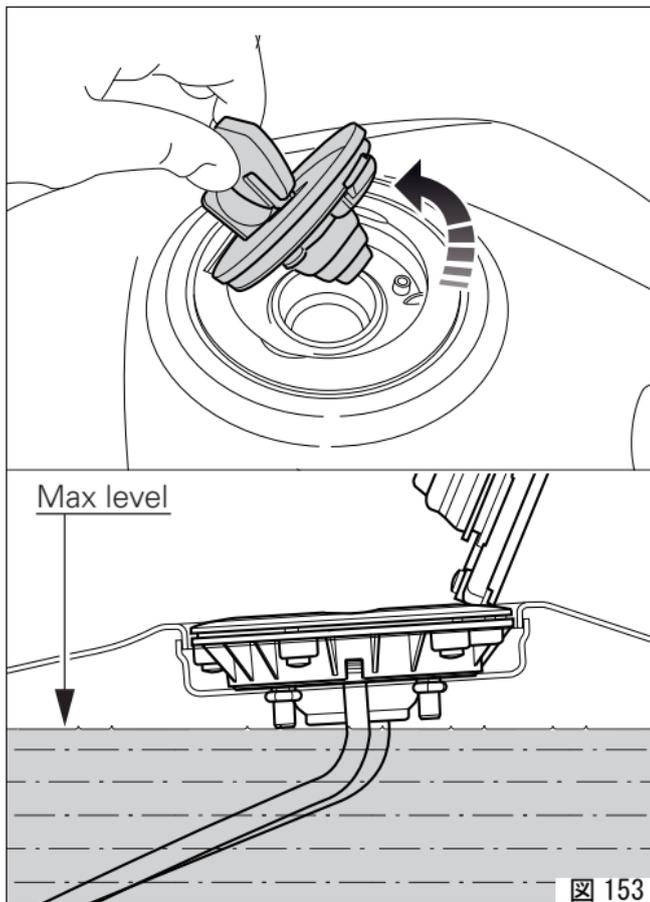
ガソリンは無鉛に出来るだけ近いもの、もしくはオクタン価 RON が最低 95 のものを使用してください (230 ページ “給油” 参照)。

プラグの上部に燃料が溜まってないことを確認します。



警告

この車両にはエタノール含量が 10% 以下の燃料 (E10) のみ使用することができます。エタノール含量が 10% 以上のガソリンを使用することは禁止されています。この燃料を使用すると車両のエンジン及び部品に重大な損傷をきたす恐れがあります。エタノール含量が 10% 以上のガソリンを使用すると保証の対象外になります。



付属アクセサリー（図 154）

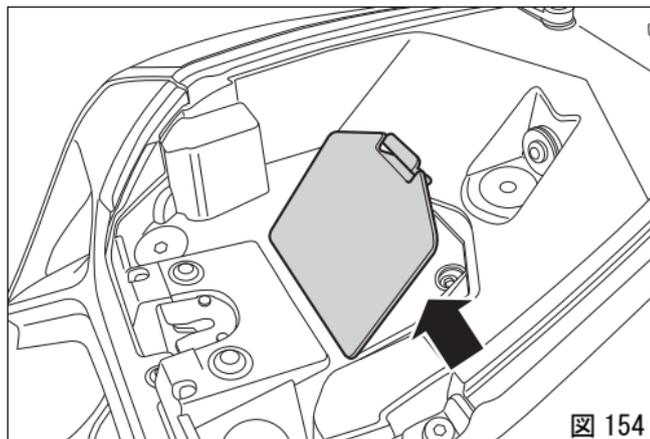
パッセンジャーシート下部に以下のツールキットが装備されています。

- スパークプラグ用六角レンチ
- スパークプラグレンチ用ボルト
- ダブルスクリュードドライバー
- フェアリング用アレンレンチ

このスペースの作業をするにはシートを取り外してください（180 ページ参照）。

以下の部品一式の取り付けはオフィシャルディーラーにて行わなければなりません。

- ヘッドライトフェアリング用左右エアロパーツ（バルクヘッド）
- パッセンジャーシート
- 左右リアフットペグ



主な整備作業とメンテナンス

装飾部品の取り外し

車両を正しく整備、修理するためには、装飾部品の一部を取り外す必要があります。



警告

取り外したパーツは正確に取り付けて下さい。適切に取り付けられていないと、走行中に部品が脱落し、車両のコントロールを失なう危険があります。



重要

車体の塗装部分、及びスクリーンのプレキシングラスに傷を付けないため、スクリュー再装着の際には常に専用ナイロンワッシャーをお使い下さい。



重要

装飾部品の取り外しが必要な場合は、ディーラー又は Ducati サービスセンターにご連絡下さい。

サイドフェアリング

フェアリングを取り外すには、シート下部にあるアレンレンチを使用して下記を緩めます：

フェアリングブラケットに固定している 2 本スクリュー (1)

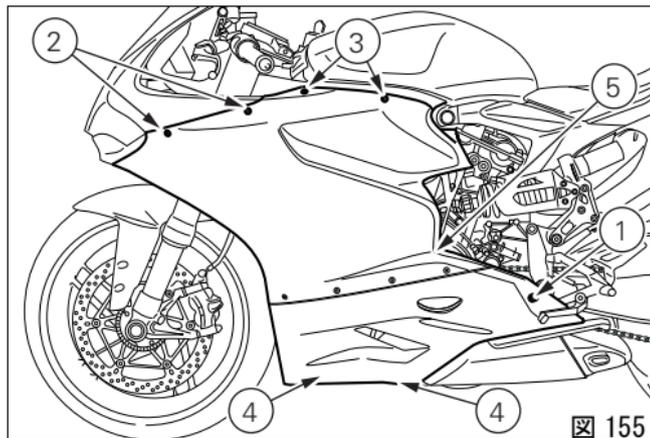
ヘッドランプフェアリングに固定している 4 本のスクリュー (2)

フレームに固定している 3 本のスクリュー (3)

フェアリング下部にある右側フェアリングを固定している 2 本スクリュー (4)

中央を固定している 2 本のスクリュー (5)

ヘッドランプフェアリングにフロントを固定している 2 本のスクリュー (6、図 156)。





参考

フェアリングからフリーになっているスプラッシュガードに注意して下さい。



参考

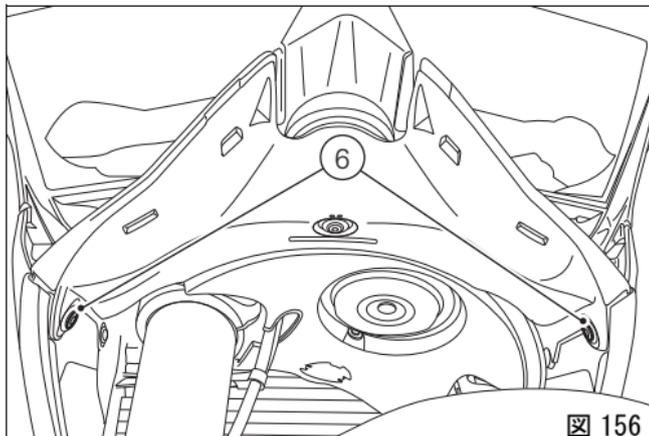
左フェアリングを取りつけるには、サイドスタンドを下ろし、フェアリングをフェアリング本体の開口部に通します。

エアフィルターの交換



重要

エアフィルターのメンテナンス作業が必要な場合は、ディーラーまたはDucati サービスセンターにご連絡下さい。



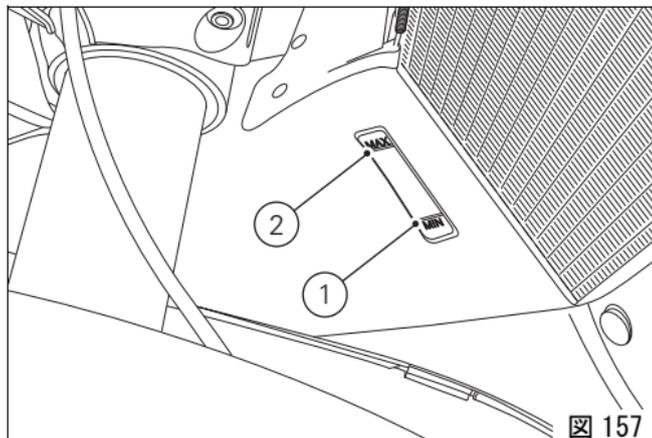
クーラントレベルの点検および補充

車両右側にある拡張タンク内のクーラントレベルを点検します。

クーラントレベルが拡張タンクの脇にある MIN (1) 及び MAX (2) の目盛の間にあることを確認します。

液体レベルが MIN 以下の場合は補充します。

右側フェアリングを取り外します (199 ページ)。



フィルタープラグ (3) をゆるめ、希釈水と不凍液 SHELL Advance Coolant 又は Glycoshell (35 ~ 40%) の混合液を MAX のレベルになるまで補充します。

プラグ (3) をしっかりと閉め、取り外したパーツを元通りに取りつけます。

上記に示された混合液を使用することで最良のコンディションを保つ事が出来ます

(-20° C/-4° F から凍結し始めます)。

クーリングシステムの容量 : 2.3 リットル。



警告

この作業は、エンジン冷間時に車両が完全に垂直で安定した状態で行って下さい。



重要

補充が必要な場合は、ディーラー又は Ducati サービスセンターにご連絡下さい。

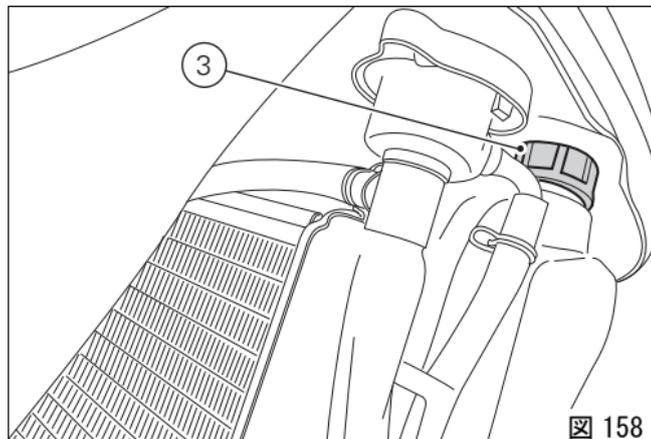


図 158

ブレーキ / クラッチフルードレベルの点検

ブレーキ、クラッチ液のレベルは、絶対に各リザーバータンクのMIN 目盛りより下になってはいけません。

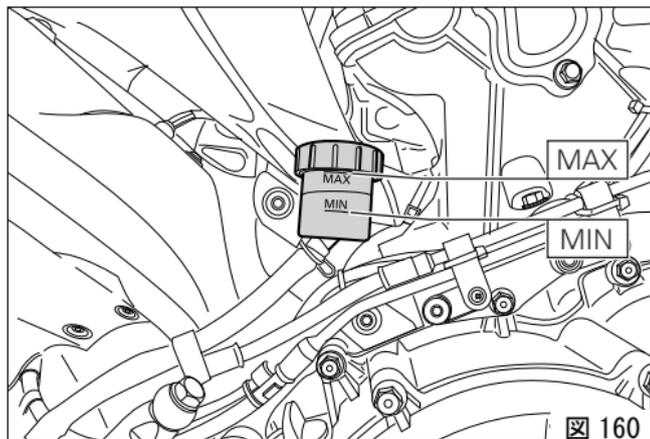
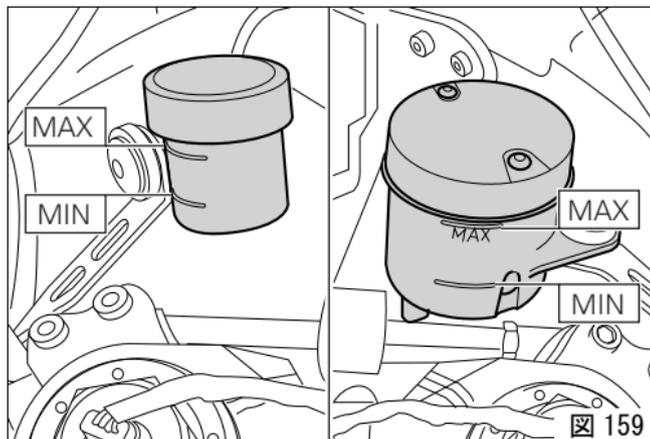
液体レベルが下がりすぎると、回路内に空気が混入し、システム作動に悪影響を及ぼします。

また、定期点検表で指定されているブレーキ/クラッチフルード補充及び交換は、Ducati ディーラーまたはサービスセンターに依頼して下さい。



重要

ブレーキ、クラッチシステムのパイプは 全て 4 年毎に交換して下さい。



ブレーキシステム

ブレーキパッドが磨耗していないのに、ブレーキレバー、ブレーキペダルの過度の遊びに気付いた場合には、Ducati ディーラーまたはサービスセンターに連絡し、システムの点検とエア抜きを行って下さい。



警告

ブレーキ / クラッチフルードはプラスチックおよび塗装部分に損傷を与えますので、こぼさないようにして下さい。これらの液体は腐食性ですので傷損害を与える恐れがあります。異なった品質のオイルを混ぜないで下さい。
シールの状態をチェックしてください。

クラッチシステム

クラッチレバーに過度の遊びがあり、ギアチェンジの際クラッチにスナッチやジャダーが出る場合は、システム内にエアが混入している事があります。システムを点検しエアを排出する必要があるため、Ducati ディーラーまたはサービスセンターにご連絡下さい。



警告

クラッチフルードレベルはクラッチディスクの磨耗材の消耗によって上がる傾向があります。規定のレベルを超えないよう注意して下さい（最低レベルの 3 mm 上）。

ブレーキパッドの摩耗点検（図 161 と図 162）
キャリア間の開口部を通してパッドの摩耗を点検
します。
摩耗剤の厚さが一つでもおよそ 1mm ならば、両方の
パッドを交換します。



警告

摩耗剤が消耗しすぎると、ブレーキディスクと
金属製サポートが接触し、ブレーキの性能、ディス
クの完全性、ライダーの安全性を損なう可能性があ
ります。



重要

ブレーキパッドの交換はDucatiディーラーまた
はサービスセンターで実施して下さい。

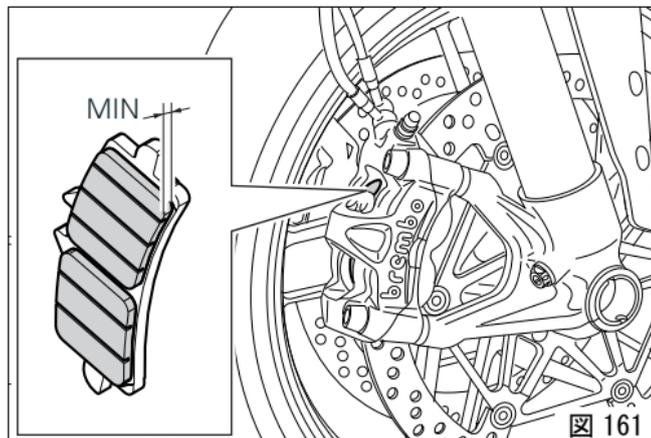


図 161

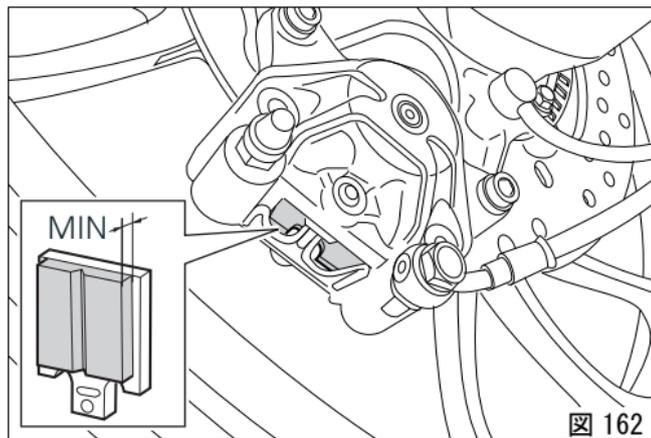


図 162

バッテリーの充電

バッテリーを充電する際、バッテリーを車両から取り外して下さい。

左側フェアリングを取り外します(199ページ)。スクリュー(1、図163)を緩め、バッテリーを固定するカバー(2、図163)を取り外します。

所定の位置からバッテリー(3、図164)を抜き取り、陰極端子(-)からスクリュー(4、図164)を緩めます。陽極ケーブル(5、図164)、ABS陽極ケーブル(6、図164)を陽極から、陰極から陰極ケーブル(7、図165)を外します。



警告

バッテリーは爆発性のガスを発生させます。熱源の近くに保管しないで下さい。



警告

バッテリーは幼児の手の届かないところに置いて下さい。

バッテリーは0.9Aで5～10時間充電します。

充電は換気のよい場所で行って下さい。

端子に充電機のコンダクターを接続します。赤い端子はプラス(+)、黒い端子はマイナス(-)。

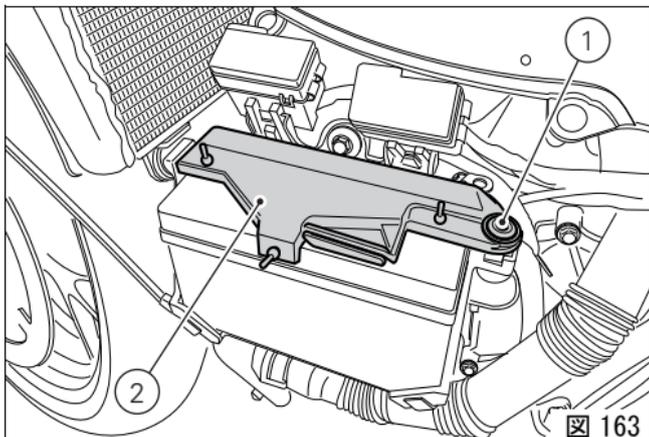


図 163

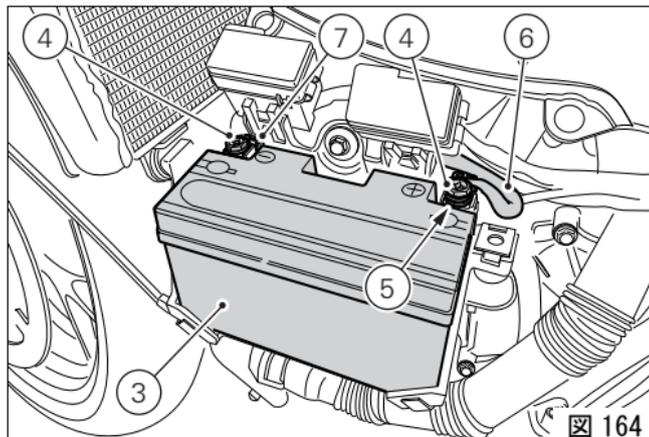


図 164

重要

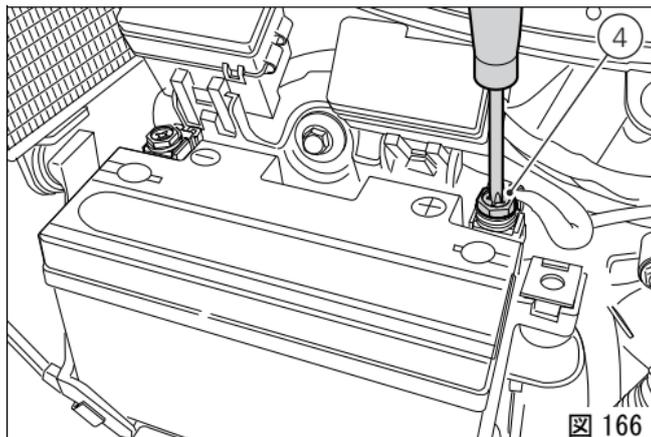
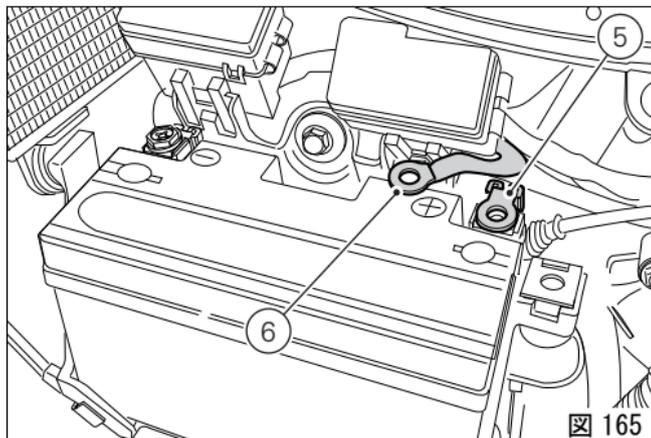
電源を入れる前にバッテリーを充電機に接続します。電源に接続する際に火花が発生し、セル内の可燃性ガスに引火する危険があります。接続は常に赤のプラス (+) 極から行って下さい。

ABS システムの陽極ケーブル (6、図 165) を陽極ケーブル (5、図 165) の上に置き、スクリュー (4、図 166) をその上に差し込みます。



警告

陽極ケーブル (6) は ABS システムが搭載されているバージョンにのみ取り付けられています。

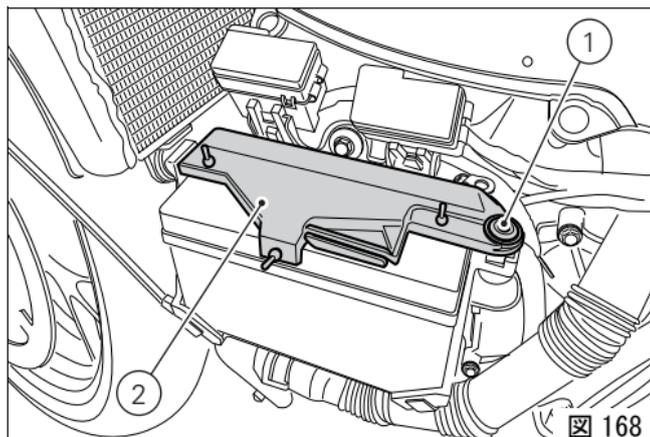
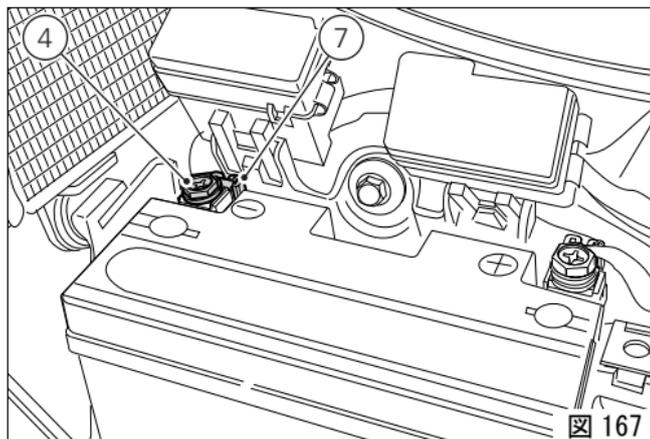


前もって ABS ケーブル (6、図 167) と組み立てておいた陽極ケーブル (5、図 167) をバッテリーの陽極に、陰極ケーブル (7、図 167) をバッテリーの陰極に接続し、スクリー (4、図 167) を差し込みます。電極のスクリー (4、図 167) を $5\text{Nm} \pm 10\%$ のトルクで締め付け、酸化を防ぐためにバッテリー電極周辺にグリースを塗布します。

図 164 に示す方向にケーブル (5、図 164) 及び (6、図 164) を向け、バッテリー (3、図 164) をマウントに取り付けます。

バッテリー固定カバー (2、図 168) を取り付け、スクリー (1、図 168) を $10\text{ Nm} \pm 10\%$ のトルクで締め付けます。

左側フェアリングを再度取り付けます (199 ページ)。



バッテリー充電および冬季の断熱

車両には所定の充電器 (2) (バッテリーメンテナーキット、部品番号 69924601A - 多くの国、バッテリーメンテナーキット、部品番号 69924601AX - 日本、中国、オーストラリアのみ) を接続することができるコネクター (1、図 169) が装備されています。充電機は当社の販売店でお求めできます。



参考

1199 Panigale の電気システムはエンジン停止の状態での消費電力を非常に低く抑えるよう設計されています。いずれにせよ、バッテリーは自然に放電し、それは “ 使用していない ” 期間や環境条件によって変化します。



重要

所定のメンテナーを介してバッテリー電力の最低値が維持されないと、不可逆反応でバッテリー自体の性能の低下を招くサルフェーション現象が生じます。

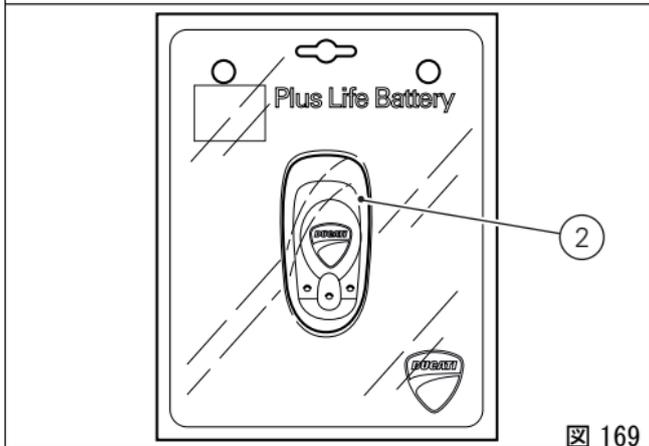
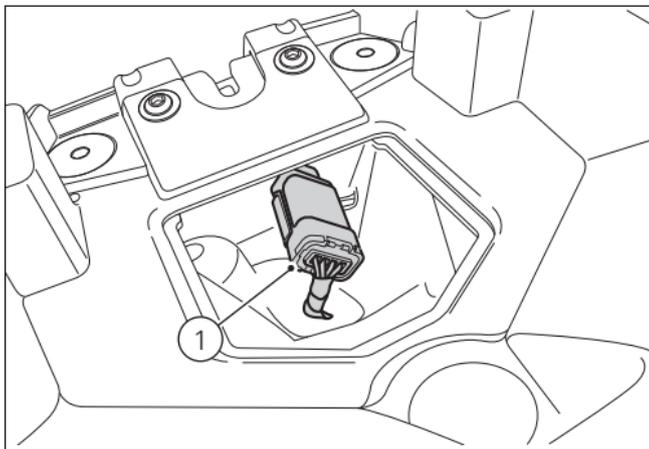


図 169



参考

1199 Panigale を使用しない期間（およそ 30 日以上）、Ducati バッテリーメンテナー（バッテリーメンテナーキット、部品番号 69924601A - 多くの国、バッテリーメンテナーキット、部品番号 69924601AX - 日本、中国、オーストラリアのみ）の使用を推奨します。電力をモニターする内部エレクトロニクスが搭載されており、充電電流は最大 1.5 アンペア /h です。メンテナーを車両のテールにある診断プラグに接続します。



参考

Ducati に認可されていないバッテリーメンテナーを使用すると、車両のエレクトリカルシステムに損傷をきたす恐れがあります。上記の理由で車両が損傷を受けた場合、不適切なメンテナンスとみなし、バッテリーは車両の保険の対象にはなりません。

トランスミッションチェーン張力の点検 (図 170)

重要

チェーン張力の調整は Ducati オフィシャルディーラーまたはサービスセンターに依頼してください。

リアホイールを回転させ、チェーンが最も張る位置を探します。サイドスタンドに車両を駐車します。指の力だけで測定位置でチェーンを下方方向に押し、放します。チェーンピンの中央とフォークのアルミニウム間の距離 (1) を測定します。

その値は $A = 50 \sim 52 \text{ mm}$ でなければなりません。

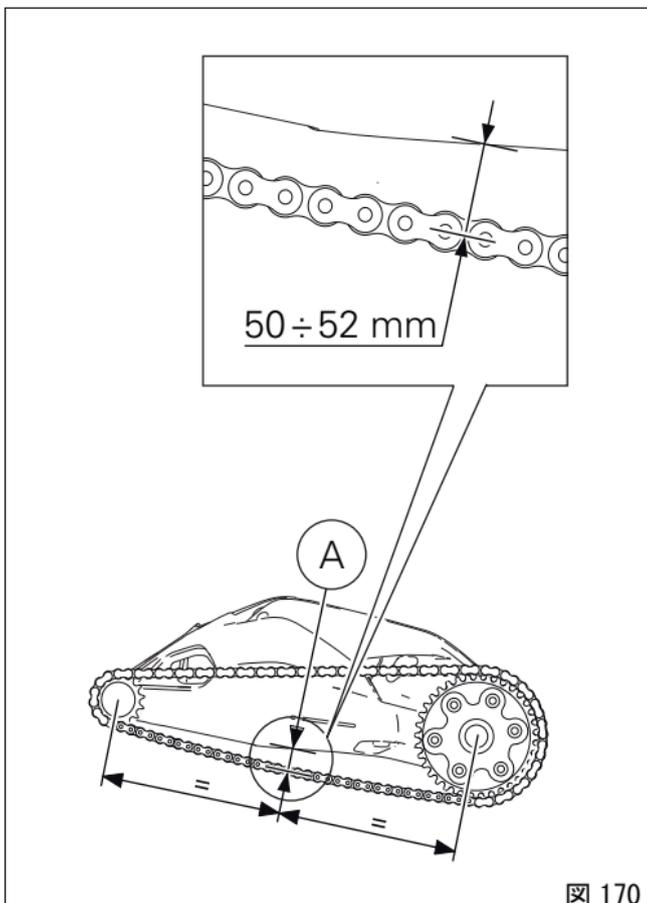


図 170



警告

安全な走行状態を保つにはスクリュー
(1、図 171) の正しい締め方がとても重要です。



重要

不適切なチェーンの張りは、トランスミッション
部品の磨耗を促進させます。

チェーンの潤滑

この車両には、泥などの侵入を防ぎ、潤滑をより保つ
0 リングシールの付いたチェーンが装備されてい
ます。

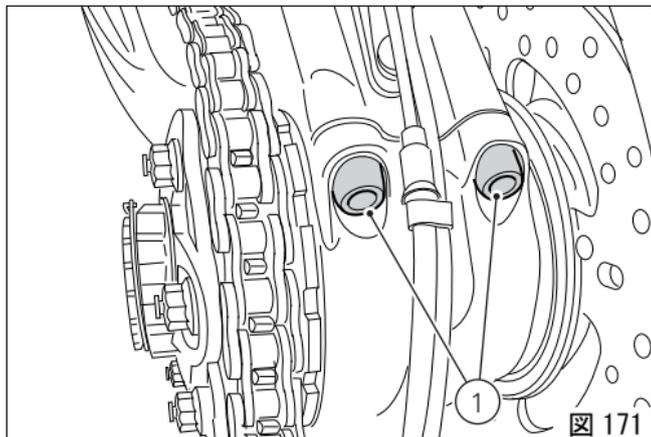
チェーンを洗浄する場合には、シールの損傷を防止
するため、専用の溶剤を使用して下さい。ウォッ
シャー等でスチームや圧力のかかった水で洗浄しな
いで下さい。

洗浄後は、コンプレッションエアでチェーンを乾
かし、SHELL Advance Chain または Advance Teflon
Chain で潤滑します。



重要

規定オイル以外を塗布すると、チェーン、フロ
ント / リアスプロケットに損傷を与える可能性があ
ります。



ハイ / ロービーム電球の交換



参考

ロービーム及びハイビームランプは LED 電球なのでメンテナンスの必要はありません。

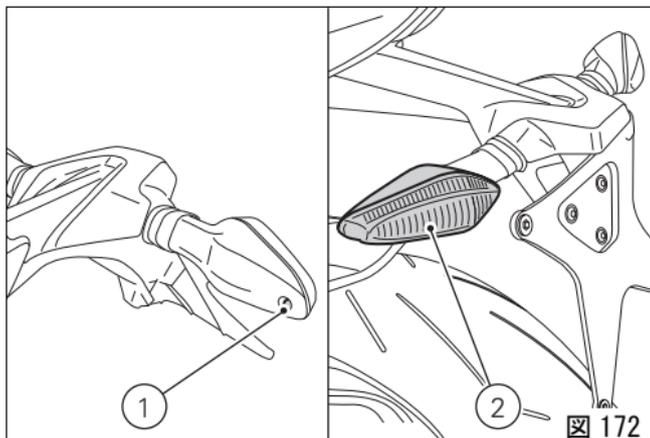
パーキングランプ電球の交換

ポジションランプは LED 電球なのでメンテナンスの必要はありません。

リアターンインジケータ（図 178）

リアターンインジケータの電球の交換にはターンインジケータ（1）ボディを 1/4 回転回し、レンズをインジケータサポートから抜き取ります。

電球はバイヨネットベースタイプなので、取り外すには押しながら反時計回りに回します。新しい電球は、押しながら時計回りにカチッという音がするまで回して取り付けます。ターンインジケータボディ（2）を取り付け、サポートに 1/4 回転回して取り付けます。



ヘッドランプの光軸調整 (図 173)

ヘッドランプの光軸をチェックするには、適切な空気圧のタイヤの車両にまたがり、車体を垂直に保ち、縦軸に対して正しい角度を保持します。車両は壁またはスクリーンから 10m の距離に配置します。壁にヘッドランプの中心と同じ高さで水平に線を引き、また車体の縦軸に一致する垂直線も引きます。この作業はできれば薄暗い場所で行ってください。

ロービームを点灯します：

光の照射範囲の高さが（照射された部分と明るい部分との境界の上限）、地上からヘッドランプの中心までの高さの $\frac{9}{10}$ 以下でなければなりません。



参考

この方法は、イタリアの基準で制定された照射角度に準拠したものです。

イタリア以外の国で使用する場合は、それぞれの国で法律に従い調整してください。

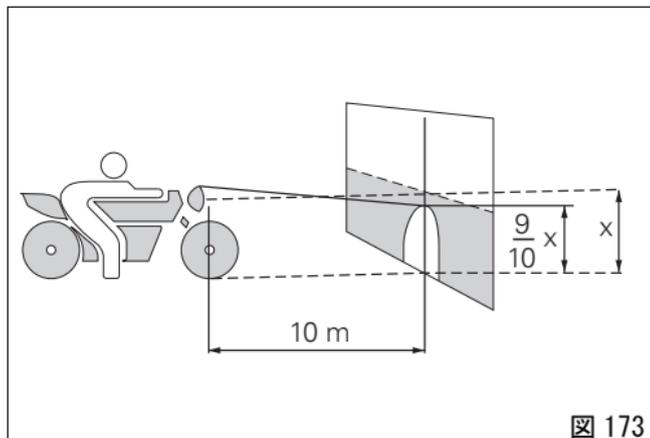


図 173

ヘッドランプの光軸調整は車両のフロント左右両側に取り付けられた4本のスクリュー (1) 及び (2) を回して行います。

ヘッドランプの垂直方向の光軸調整を行うには車両の左右両側に一つずつ取り付けられた2本のスクリュー (1) を回します。

ヘッドランプの水平方向の光軸調整を行うには車両の左右両側に一つずつ取り付けられた2本のスクリュー (2) を回します。



警告

雨天時または洗車後に車両を使用する際、ランプレンズが曇っている場合があります。レンズ内の結露はランプを点灯すると短時間で消えます。

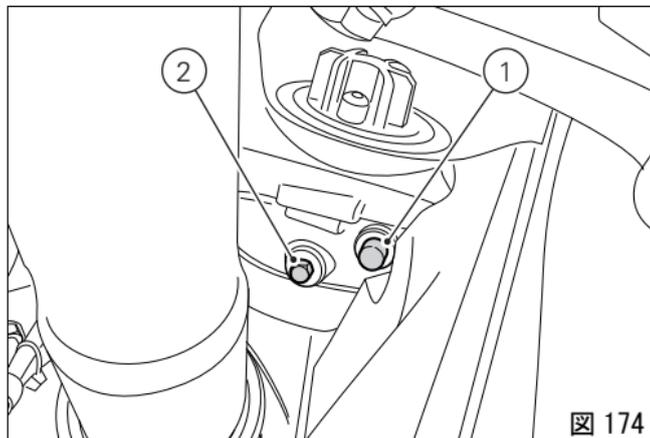


図 174

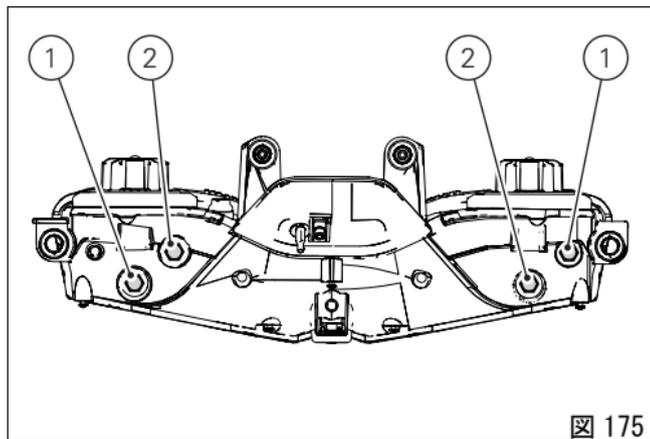


図 175

リアビューミラーの調整 (図 176)

(A) を手で押し、ミラーを調整します。

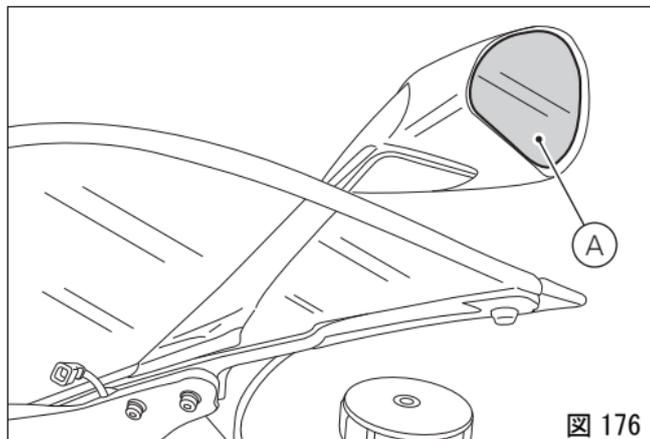


図 176

チューブレスタイヤ

フロントタイヤ空気圧：

2. 1bar ~ 2.3 kg/cm²

リアタイヤ空気圧：

2. 2bar ~ 2.4 kg/cm²

タイヤの空気圧は外気温や高度によっても変化するので、標高の高い場所や気温差のある場所を走行する場合は、毎回点検と調整を行って下さい。



重要

タイヤの空気圧はタイヤ冷間時に測定しなければなりません。

フロントリムがダメージを受けないように、悪路を走行する時はタイヤの空気圧を0.2 ~ 0.3bar 上げて下さい。

タイヤの修理、交換（チューブレス）

タイヤに穴が開いた場合、チューブレスタイヤは空気の減り方が遅いため、気付くまでに時間がかかることがあります。タイヤの空気圧が下がってきた場合は、パンクの可能性をチェックします。



警告

パンクしたタイヤは交換して下さい。交換する際は、標準装備タイヤと同じメーカー、タイプを指定してください。

走行中のエア漏れを防ぐため、タイヤのバルブキャップがしっかり締まっていることを確認します。チューブタイプのタイヤは絶対に使用しないで下さい。突然タイヤが破裂し、ライダー、パッセンジャーの安全に大きな危険を及ぼします。

タイヤ交換の後には、必ずホイールバランスの点検を行って下さい。



重要

ホイールのバランスウェイトを外したり、移動させたりしないで下さい。



参考

タイヤの交換が必要な場合は、ホイールを正しく着脱することが大切ですので、Ducati オフィシャルディーラーまたはサービスセンターにご依頼下さい。

センサー、フォニックホイールなどABSシステム(ABSバージョン)のパーツがホイールに装着されており、特別の調整が必要になります。

タイヤ摩耗の限度

タイヤのトレッド面が一番摩耗している箇所の

(S、図 177) 溝の深さを測定します：

溝の深さは 2mm 以下、または道交法の規定値以下であってはなりません。



重要

タイヤを定期的に点検します。特に側面に傷やヒビがないか、突起、広範囲のシミ、内部の損傷を表すような箇所がないかを注意深く目視点検して下さい。損傷が著しい場合はタイヤを交換して下さい。トレッドに入り込んだ石や異物は取り除いて下さい。

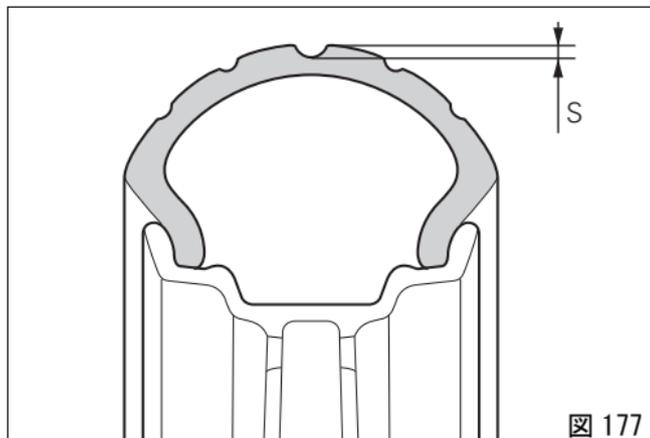


図 177

エンジンオイルレベルの点検 (図 178)

エンジンオイル量は、クラッチカバー上のオイル点検窓 (1) で確認できます。レベルチェックは車体を垂直に配置し、エンジン冷間時に行ってください。オイル液面は、点検窓の横に指示された目盛の間になければなりません。オイル量が不足している場合は、エンジンオイル SHELL Advance 4T Ultra を補充してください。注入口キャップ (2) を外し、指定のオイルを所定のレベルまで補充してください。プラグを取り付けます。

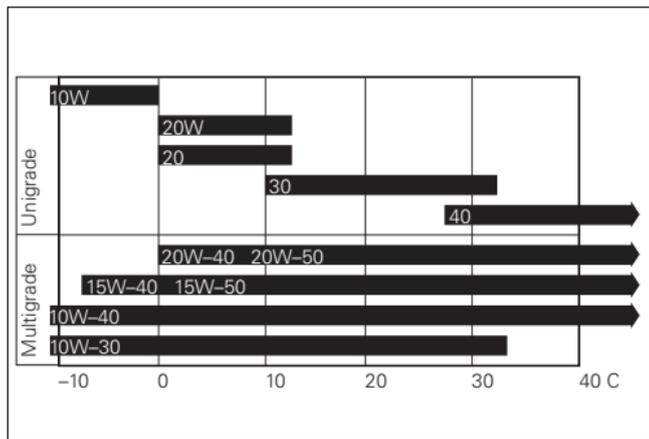
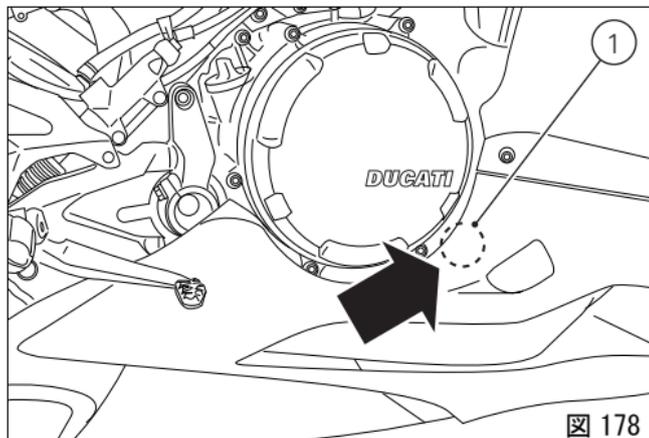
重要

保証書に記載されている定期点検表に従い、エンジンオイルとフィルターの交換は、Ducati デイラーまたはサービスセンターににご依頼下さい。

粘度

SAE 15W-50

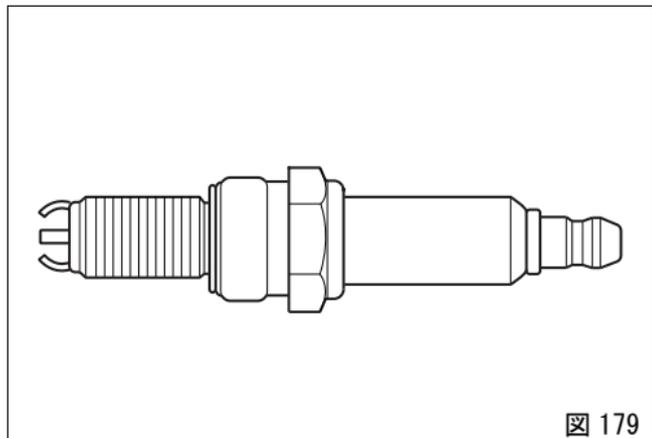
車両使用環境の気温が表示された規定範囲内であれば、表に示された以外の粘度のオイルも使用できます。



スパークプラグの清掃と交換（図 179）

スパークプラグはエンジンの重要な部品ですので、定期的な点検が必要です。

スパークプラグの交換が必要な場合は、ディーラーまたは Ducati サービスセンターにご連絡下さい。



車両の清掃

塗装部分とメタリック部分の本来の艶を長期間保つため、走行する道路の状態に合わせて、車両を定期的に清掃、洗車しなければなりません。車両に損傷を与えないように、強力な洗剤や溶剤を使用せず、専用の洗剤と水を使って洗車します。

ブレキシガラス部分やシートのお手入れには、水と中性洗剤をお使いください。

定期的にアルミニウム製部品を手作業で清掃してください。研磨剤や水酸化ナトリウムが含まれていないアルミニウム専用洗剤を使用してください。



参考

研磨剤付きスポンジやスチールウールは使用せず、柔らかい布のみを使用してください。

十分なメンテナンスが行われていない車両は保証の対象になりません。



重要

走行後のボディがまだ暖かい間は、水染み等を防ぐためすぐには洗車をしないで下さい。高温や、ウォッシャー等の圧力のかかった水で洗淨しないで下さい。ウォッシャー等の使用は、フォークやホイールベアリング、電装部分、ランプ内部の結露（くもり）、フォークシール、エア吸入口、エキゾーストサイレンサーの磨耗や変形をもたらす、車両の安全を損ねるおそれがあります。

エンジンにひどく汚れた部分や油脂汚れなどがある時は、油取り用洗剤を使って、トランスミッション系統（チェーン、ギア、リム等）に洗剤がかからない様に洗淨します。水道水で良くすすぎ、車体全表面部をセーム革で拭きます。



警告

洗車後は、ブレーキ能力が落ちることがあります。ブレーキディスクには絶対に、グリースやその他のいかなるオイルを付けしないで下さい。ブレーキ能力が失われます。ディスクは非油性の溶剤で清掃してください。



警告

洗淨、雨、結露などにより、ヘッドランプレンズにくもりが生じることがあります。レンズ内の結露はランプを点灯すると短時間で消えます。

ABS システムが効率よく作動するように、フォニックホイールを入念に清掃してください（ABS バージョン）。ホイールやセンサーをいためますので、強い洗剤、溶剤の使用は避けてください。



参考

インストルメントパネルの清掃にアルコール又はその二次製品を使用しないでください。

ビレットアルミ製の部品があるのでホイールリムの清掃には細心の注意を払ってください。車両を使用する度に清掃し水分を拭き取ってください。

長期間の保管

車両を長期間使用しない場合は、保管する前に以下の作業を行うようお勧めします：

車両を清掃します。

燃料タンクを空にします。

車両をスタンドに立てかけて停車します。

バッテリーの接続を切り離し、取り外します。バッテリーメンテナーで定期的に充電します（209 ページ参照）。

結露を防止し塗装を保護するため、車体はカバーで覆います。

車体カバーはDucati パフォーマンスにて取り扱っています。

重要注意事項

国によっては（フランス、ドイツ、イギリス、ヨーロッパ、スイス等）排気ガス、騒音規制の基準を設けている場合があります。

法規に義務付けられた定期点検を行う他、規制に適さない部品がある場合は、適合するDucati オリジナルパーツと取り替えて下さい。

メンテナンスプログラム

 **警告**
このメンテナンスプログラムは 1199 Panigale の公道での使用を想定しています。サーキットで使用する場合、試合でなくとも、車両のすべてのシステムに多大な負荷がかかっているため、定期点検をより頻繁に行う必要があります。

 **警告**
1199 Panigale を競技で使用するためのパーソナルアドバイスをを行いますので、オフィシャルディーラー又はDucati サービスセンターにお問い合わせください。

メンテナンスプログラム：ディーラーで行うメンテナンス

メンテナンス項目 / 作業内容 (km / マイル毎、または経過時間*)	km x1000	1	12	24	36	48	期間 (月)
	マイル	0.6	7.5	15	22.	30	
DDS 2.0 による不具合メモリー読取り及びコントロールユニットのソフトウェアバージョン更新の確認		●	●	●	●	●	12
テクニカルアップデート及びリコールの有無の確認		●	●	●	●	●	12
エンジンオイル及びフィルターの交換		●	●	●	●	●	12
エンジンオイルインテークメッシュフィルター清掃				●		●	

メンテナンス項目 / 作業内容 (km / マイル毎、または経過時間*)	km x1000	1	12	24	36	48	期間 (月)
	マイル	0.6	7.5	15	22.	30	
バルブクリアランスの点検と調整				●		●	
チェーンタイミングシステムの摩耗の目視点検						●	
スパークプラグの交換				●		●	
エアフィルターの清掃			●		●		
エアフィルターの交換				●		●	
クラッチカバー、クラッチプロテクションカバーを固定している スクリューの締め付け点検			●	●	●	●	
オイルパンを固定しているスクリューの締め付け点検				●		●	
ブレーキ / クラッチフルードレベルの点検		●	●	●	●	●	12
ブレーキ / クラッチフルードの交換							24
ブレーキパッドの点検 必要な場合は交換		●	●	●	●	●	12
ブレーキキャリパー及びブレーキディスクフランジスクリュー の締め付け点検		●	●	●	●	●	12
フロント及びリアホイールナットの締め付け点検		●	●	●	●	●	12
ホイールハブベアリングの点検				●		●	
リアホイールシャフトの点検と潤滑				●		●	24

メンテナンス項目 / 作業内容 (km / マイル毎、または経過時間*)	km x1000	1	12	24	36	48	期間 (月)
	マイル	0.6	7.5	15	22.	30	
リアスプロケットのダンパーの点検				●		●	
リアスプロケットのナット及びセカンダリートランスミッションスプロケットの締め付け点検		●	●	●	●	●	12
チェーンガイドの摩耗点検		●	●	●	●	●	12
チェーン張力の点検と潤滑		●	●	●	●	●	12
ステアリングベアリングの点検及び潤滑				●		●	24
フロントフォークオイルの交換							36
フロントフォーク及びリアショックアブソーバーのシーリング部品の目視点検		●	●	●	●	●	12
フレーム - エンジンの固定締め付けの点検			●	●	●	●	12
サイドスタンドの動作及び締め付け点検		●	●	●	●	●	12
フューエルホースの目視点検			●	●	●	●	12
フレキシブルケーブルと配線ケーブルの摩擦部分、遊び、動作及びポジショニングの点検		●	●	●	●	●	12
ハンドルレバー及びペダルコマンドの潤滑			●	●	●	●	12
クーラントの交換							36
クーラントの点検		●	●	●	●	●	12

メンテナンス項目 / 作業内容 (km / マイル毎、または経過時間*)	km x1000	1	12	24	36	48	期間 (月)
	マイル	0.6	7.5	15	22.	30	
電動ファンの作動点検		●	●	●	●	●	12
タイヤ圧、磨耗点検		●	●	●	●	●	12
バッテリーチャージレベルの点検		●	●	●	●	●	12
アイドリング点検		●	●	●	●	●	12
セカンダリーエアシステムの機能点検				●		●	
セキュリティー電気装置の作動点検 (サンドスタンドセンサー、フロント及びリアブレーキスイッチ、エンジン停止スイッチ、ギア / ニュートラルセンサー)		●	●	●	●	●	12
ランプ、インジケータの点検		●	●	●	●	●	12
DDS 2.0 を介したサービスインジケータのリセット		●	●	●	●	●	12
車両及びセキュリティーデバイス (例、ABS 及び DTC) の道路上の試運転		●	●	●	●	●	12
車両の清掃		●	●	●	●	●	12
定期点検実施の保証書への記入		●	●	●	●	●	12

メンテナンスプログラム：お客様が行うメンテナンス

メンテナンス項目 / 作業内容 (km / マイル毎、もしくは経過時間 *)	km x1000	1
	マイル x1000	0.6
	月	6
エンジンオイルレベル点検		●
ブレーキ / クラッチフルードレベルの点検		●
タイヤ圧、磨耗点検		●
チェーン張力の点検と潤滑 必要であれば、ディーラーにて調整して下さい。		●
ブレーキパッドの点検 必要であれば、ディーラーにて交換して下さい。		●

* 走行距離 (km) 又は経過月数のうち、どちらか最初の期限に達した場合に作業を実施して下さい。

テクニカルデータ

全体寸法 (mm) (図 180)

重量

ABS システムを搭載していないバージョン

総重量 (燃料 93/93/CE を 90% 入れた状態の走行時):
188 kg

総重量 (液体及びバッテリーを含まない): 164 kg
ABS システム搭載バージョン

総重量 (燃料 93/93/CE を 90% 入れた状態の走行時):
190.5 kg

総重量 (液体及びバッテリーを含まない): 166.5 kg

最大許容重量 (最大負荷): 370 kg

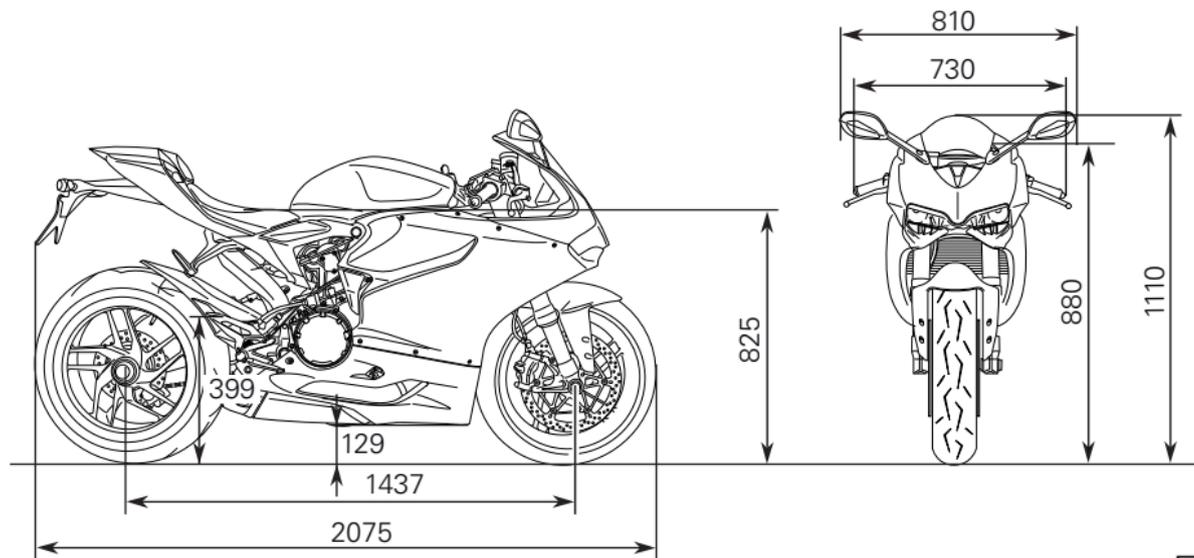


図 180



警告

重量制限を遵守しない場合、操縦性と性能の低下を招き、車両のコントロールを失う原因となります。

給油	タイプ	
燃料タンク、リザーブ 5dm (リットル)を含む	オクタン価 95 以上の無鉛ガソリン	17 リットル
潤滑回路	SHELL - Advance 4T Ultra	3.7 リットル
フロント/リアブレーキシステム、クラッチ	油圧システム用 SHELL - Advance Brake DOT 4	-
電極保護液	配線用スプレー SHELL - Advance Contact Cleaner	-
フロントフォーク	SHELL - Advance Fork 7.5 または Donax TA	155 cc (レッグごと)
クーラントシステム	不凍液 SHELL - Advance Coolant または Glycoshell 35 ~ 40% + 水溶液	2.3 リットル



重要

燃料、潤滑液等には絶対に添加剤を加えないで下さい。この燃料を使用すると、車両のエンジン及び部品に重大な損傷をきたす恐れがあります。



警告

この車両にはエタノール含量が 10% 以下の燃料 (E10) のみ使用することができます。エタノール含量が 10% 以上のガソリンを使用することは禁止されています。この燃料を使用すると車両のエンジン及び部品に重大な損傷をきたす恐れがあります。エタノール含量が 10% 以上のガソリンを使用すると保証の対象外になります。

エンジン

4ストローク 90° “L”型 2気筒、低タンクキャストクランクケース付き

ボア mm :

112

ストローク mm :

60.8

総排気量、cm³ :

1,198

コンプレッション比 :

12.5 ± 0.5:1

クランクシャフト最大出力 (95/1/EC)、kW/馬力 :

143 kW/195 馬力 / 10,750rpm

クランクシャフトトルク最大回転数 (95/1/EC) :

132 Nm / 13.5 kgm / 98.1 lb-ft/9000rpm

最大回転数、rpm :

11,300

重要

どんな状況でも許容最大回転数を越えた状態で走行してはいけません。

タイミングシステム

チェーン駆動及びスプロケット付きダブルオーバーヘッドカムシャフト、シリンダーごとに 4 本のバルブ、デスモドロミックシステム

デスモドロミックタイミングシステム (図 181)

- 1) オープニング (アッパー) ロッカーアーム
- 2) オープニングロッカーシム
- 3) クロージング (もしくはロア) ロッカーアームシム
- 4) ロッカーアームリターンズプリング
- 5) クロージング (もしくはロア) ロッカーアーム
- 6) カムシャフト
- 7) バルブ

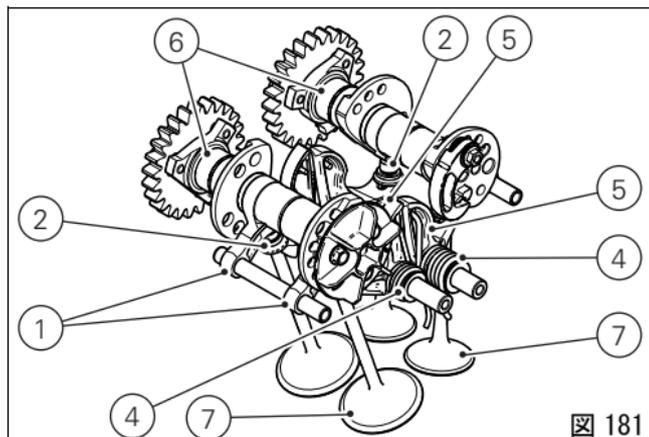


図 181

性能データ

各ギアにおける最高速度は、決められた慣らし期間を正しく行い、適切な規定点検整備を受けた場合のみ出すことができるようになります。

重要

これは保証の必須条件で、この条件が守られなかった結果としてのエンジンの損傷や寿命の短縮について、Ducati モーターホールディング社はいかなる責任を負うものではありません。

スパークプラグ

メーカー：

NGK

タイプ：

MAR09A-J

燃料供給

MITSUBISHI 間接エレクトロニック・フューエル・イ

ンジェクションタイプ：a/n / a/n

楕円対応スロットルボディ（直径準拠）

67.5 mm

インジェクター（各シリンダー）：2

インジェクター口径：12

ガソリン燃料：95-98 RON



警告

この車両にはエタノール含量が 10% 以下の燃料 (E10) のみ使用することができます。エタノール含量が 10% 以上のガソリンを使用することは禁止されています。この燃料を使用すると車両のエンジン及び部品に重大な損傷をきたす恐れがあります。エタノール含量が 10% 以上のガソリンを使用すると保証の対象外になります。

ブレーキ

各ブレーキのアンチブロックシステムは、両タイヤに搭載されたホール効果センサーで制御されます。ABS 解除が可能。

フロント

穴付きセミフローティングダブルディスク。

ブレーキシュー材質：

スチール製

ハウジング材質：

アルミニウム製

ディスク径：

330 mm

右側ハンドルレバーによる油圧コントロール

ブレーキキャリパーメーカー：

BREMBO

タイプ：

M50（キャリパー径 30）

ブレーキパッド材質：

TT2910 HH

ポンプタイプ：

PR 16/21

リアサスペンション

穴付き固定ディスク、スチール製

ディスク径：

245 mm

車体右側ペダルによる油圧コントロール。

メーカー：

BREMBO

タイプ：

P34c（ピストン付きキャリパー Ø 34）

ブレーキパッド材質：

ライニング Ferit I/D 450 FF

ポンプタイプ：

PS13



警告

ブレーキフルードは腐食性です。誤って目や皮膚に付いた場合は、大量の流水で洗浄して下さい。

トランスミッション

湿式クラッチ / 左側ハンドルバレバーによる操作
エンジンとギアボックスメインシャフト間の駆動伝達

エンジンプロケット / クラッチプロケット比：
30/53

6速コンスタントギア、車体左側ペダルによる操作
ギアプロケット / リアプロケット比：

15/39

変速比：

1速 15/37

2速 16/30

3速 18/27

4速 20/25

5速 22/24

6速 24/23

トランスミッションチェーン：

メーカー：

レジナ

リンク数：

106



重要

上記のギア比は認可時の値ですので、いかなる
ことがあっても変更してはいけません。

この車両を競技用に仕様変更する場合には、Ducati
モーターホールディング社から特別なギア比に関する
情報を提供いたしますので、オフィシャルディー
ラー又はDucati サービスセンターにお問い合わせ下
さい。



警告

リアプロケットの交換作業は、Ducati ディー
ラーまたはサービスセンターにお問い合わせ下
さい。この部品の誤った交換作業はライダーの安全に
深刻な危険をもたらす、車両に回復不能な損傷を
与える原因となります。

フレーム

アルミニウム合金キャストモノコックフレーム

アルミニウム合金キャストリアフレーム

ステアリングヘッドアングル：24.5°

ステアリングアングル：左 27° / 右 27°

トレール：100 mm

ホイール

3スポーク軽合金鍛造リム

フロント

サイズ：

MT3.50 x17"

リアサスペンション

サイズ：

MT5.50 x17"

タイヤ

フロント

"チューブレス"ラジアルタイヤ

サイズ：

120/70

リアサスペンション

"チューブレス"ラジアルタイヤ

サイズ：

200/55

サスペンション

フロント

プリロード（フォークインナーสปリング）及びリバウンド / コンプレッションのインストルメントパネル（ダッシュボード）を介したエレクトロニック調整システム付き油圧倒立フォーク

スタンションチューブ径：

TIN加工 43 mm

ホイールトラベル

120 mm

リアサスペンション

ショックアブソーバーはインストルメントパネル（ダッシュボード）を介してリバウンド及びコンプレッションダンピングを調整することができます。スプリングプリローは手動で調整することができます。

ショックアブソーバーはエンジンクランクケースに対しては前部に、ロッカーアームに対しては後部に支点があります。フォークはエンジンを通る支点ピンの周りを回転します。このシステムは車両に高い安定性をもたらします。

ホイールトラベル

130 mm

エキゾーストシステム

ダクトレイアウト “2 in 1 in 2” ステンレス製サイレンサー 2 つ及びアルミニウム合金製アウタージャケット ラムダセンサー 2 つ、触媒 2 つ

カラーバリエーション

Ducati アニバーサリーレッド、部品番号：473.101 (PPG)

クリアー、部品番号：228.880 (PPG)

ポリウレタンクリアホワイト、部品番号：490.019 (PPG)

グレーモノコックフレーム、ブラックホイール。

エレクトリカルシステム

主要構成部品は以下の通りです：

LED フロントヘッドライトタイプ：

LED ALTILON LAFL-C4L-850 (ロービーム) 2 個

LED LUMILEDS LXMA-PW01-0100 (ハイビーム) 8 個

ポジションランプタイプ

LED OSRAM LW G6SP-EAFA-JK 8 個

リアランプタイプ：

LED REBEL LXM2-PH01-0060 2 個

LED ストップランプ信号タイプ：

LED LA G6SP-CBEA-24-1 8 個

LED ナンバープレートランプタイプ：

LED CREE CLA1A-WKW-CXAYB453 3 個

ハンドル上スイッチ

LED フロントターンインジケータータ입： -

LED リアターンインジケータータ입：

LED OSRAM LYE65F 4 個

警告ホーン。

バッテリー 12 V - 6.5 AH 密閉タイプ

システム電圧 12 V

ジェネレーター、12V- 380W

スターターモーター 12V - 0.6 kW

電子部分は 30A (C、図 184) ヒューズで保護されています。バッテリー下のスターターコンタクター上に配置されています。

リアターンインジケーター：R10W (12V-10W) オレンジ色

ナンバープレートホルダーランプ：LED



参考

電球の交換は 213 ページ、“ハイ / ロービーム電球の交換” を参照してください。

ヒューズ

電気部品保護はフロントヒューズボックス内に12、スターターコンタクター上に一つあります。それぞれのボックス内に補給ヒューズがあります。

用途およびアンペア値については表を参照してください。

左フロントヒューズボックス (A、図 182) 及び右フロントヒューズボックス (B、図 183) はシート下のスペースに装備されています。

ヒューズの作業をするには左フェアリングを取り外してください (199 ページ参照)。

ヒューズの交換には、各ヒューズの配置と定格が表記された保護カバーを外してください。

左フロントヒューズボックス (A、図 182)

配置	内容	数値
1	-	-
2	GPS	5 A
3	Key-sense	10 A
4	診断	5 A
5	スロットルオープンリレー (ETV)	10 A

左フロントヒューズボックス (A、図 182)

6	インストルメントパネル	10 A
7	スペア	5 A
8	スペア	10 A
9	スペア	20 A

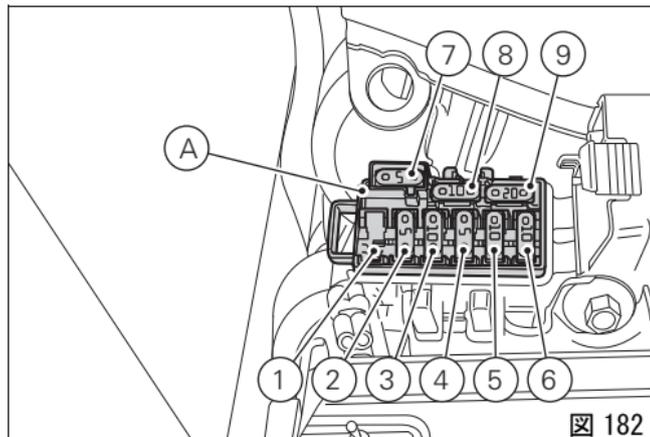


図 182

右フロントヒューズボックス (B、図 183)

配置	内容	数値
1	ABS 1	30 A
2	ABS 2	15 A
3	インジェクションリ レー	20 A
4	ランプ	10 A
5	エンジンコントロール ユニット	10 A
6	Black Boxシステム (BBS)	15 A
7	スペア	20 A
8	スペア	10 A
9	スペア	5 A

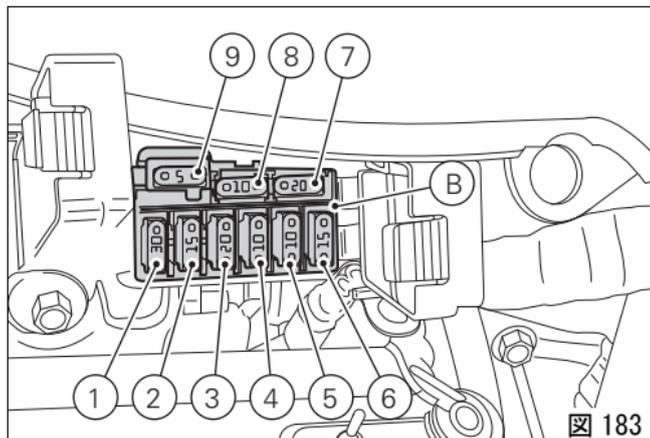


図 183



参考

メインヒューズを操作するには左ロアフェアリングを取り外します（206 ページ “バッテリーの充電” を参照）

メインヒューズ（C、図 184）は、スターターコンタクター（D）上、バッテリーの近くに位置しています。交換の際は保護キャップ（E）を取り外して下さい。切れたヒューズは、インナーフィラメントが溶断していることで確認できます（F、図 185）。



重要

回路のショートを防止するために、ヒューズ交換は Key-off 後にして下さい。



警告

表示されている規定以外のヒューズは決して使用しないで下さい。この規則を順守しない場合、電気システムに損傷を招き、火災の原因となることがあります。

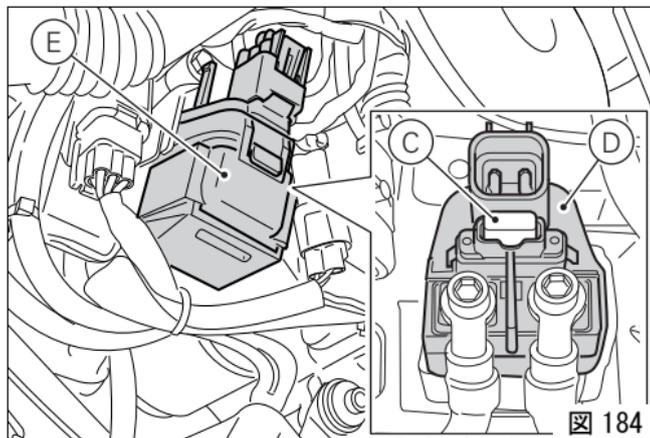


図 184

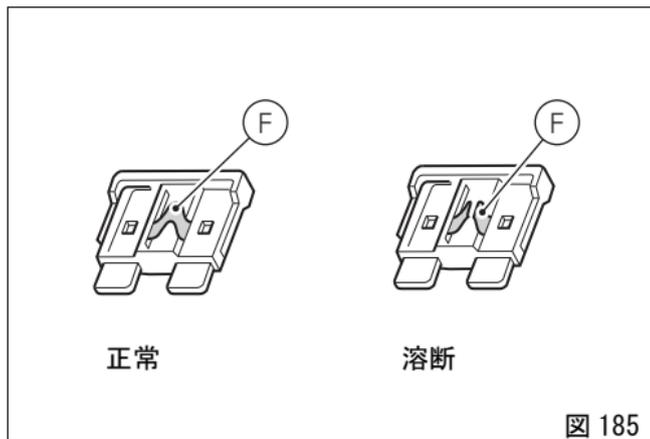


図 185

1199 Panigale S インジェクション / エレクトリカルシステム配線図凡例

- | | | |
|---------------------------|----------------------------|---|
| 1) 右側スイッチ | 26) ホリゾンタルコイル | 49) パーチカルスーパーライン
ジェクター |
| 2) E-LOCK コントロールユニット | 27) パーチカルコイル | 50) ホリゾンタル ETV モーター |
| 3) E-LOCK リレー | 28) エンジン回転 / 作動センサー | 51) パーチカル ETV モーター |
| 4) ヒューズボックス 1 | 29) パーチカルラムダセンサー | 52) セカンダリーエアアクチュ
エーター |
| 5) ヒューズボックス 2 | 30) ホリゾンタルラムダセンサー | 53) 左側スイッチ |
| 6) エンジンコントロールユニッ
ト | 31) クイックシフト | 54) 警告ホーン |
| 7) APS センサー | 32) サイドスタンドスイッチ | 55) GPS |
| 8) スターターモーター | 33) 油圧センサー | 56) 左フロントターンインジケー
ター |
| 9) ヒューズコンタクター | 34) リアストップスイッチ | 57) インストルメントパネル |
| 10) バッテリー | 35) クラッチスイッチ | 58) ヘッドランプ |
| 11) エンジンアース | 36) フロントストップスイッチ | 59) 右フロントターンインジケー
ター |
| 12) レギュレーター | 37) フェューエルポンプリレー | 60) ファン |
| 13) ジェネレーター | 38) パーチカル ETV リレー | 61) コンプレッションリアサスペ
ンション - stepper C |
| 14) 右リアターンインジケーター | 39) ホリゾンタル ETV リレー | 62) リバウンドリアサスペンシ
ョン - stepper D |
| 15) リアライト | 40) パーチカル MAP センサー | 63) リバウンドフロントサスペン
ション - stepper B |
| 16) 左リアターンインジケーター | 41) ホリゾンタル MAP センサー | 64) コンプレッションフロントサ
スペンション - stepper A |
| 17) ナンバープレートランプ | 42) クーラント温度センサー | |
| 18) 診断コネクター | 43) 気温センサー | |
| 19) 車両コントロールユニット
(BBS) | 44) ホリゾンタル TPS | |
| 20) EX-UP モーター | 45) パーチカル TPS | |
| 21) ギアセンサー | 46) ホリゾンタルメインインジェ
クター | |
| 22) リアスピードセンサー | 47) ホリゾンタルスーパーライン
ジェクター | |
| 23) フロントスピードセンサー | 48) パーチカルメインインジェク
ター | |
| 24) フェューエルポンプ | | |
| 25) 燃料レベル | | |

1199 Panigale S ABS インジェクション / エレクトリカルシステム配線図凡例

- | | | |
|---------------------------|----------------------------|---|
| 1) 右側スイッチ | 26) ホリゾンタルコイル | 49) パーチカルスーパーライン
ジェクター |
| 2) E-LOCK コントロールユニット | 27) パーチカルコイル | 50) ホリゾンタル ETV モーター |
| 3) E-LOCK リレー | 28) エンジン回転 / 作動センサー | 51) パーチカル ETV モーター |
| 4) ヒューズボックス 1 | 29) パーチカルラムダセンサー | 52) セカンダリーエアアクチュ
エーター |
| 5) ヒューズボックス 2 | 30) ホリゾンタルラムダセンサー | 53) 左側スイッチ |
| 6) エンジンコントロールユニッ
ト | 31) クイックシフト | 54) 警告ホーン |
| 7) APS センサー | 32) サイドスタンドスイッチ | 55) GPS |
| 8) スターターモーター | 33) 油圧センサー | 56) 左フロントターンインジケー
ター |
| 9) ヒューズコンタクター | 34) リアストップスイッチ | 57) インストルメントパネル |
| 10) バッテリー | 35) クラッチスイッチ | 58) ヘッドランプ |
| 11) エンジンアース | 36) フロントストップスイッチ | 59) 右フロントターンインジケー
ター |
| 12) レギュレーター | 37) フェューエルポンプリレー | 60) ファン |
| 13) ジェネレーター | 38) パーチカル ETV リレー | 61) コンプレッションリアサスペ
ンション - stepper C |
| 14) 右リアターンインジケーター | 39) ホリゾンタル ETV リレー | 62) リバウンドリアサスペンシ
ョン - stepper D |
| 15) リアライト | 40) パーチカル MAP センサー | 63) リバウンドフロントサスペン
ション - stepper B |
| 16) 左リアターンインジケーター | 41) ホリゾンタル MAP センサー | 64) コンプレッションフロントサ
スペンション - stepper A |
| 17) ナンバープレートランプ | 42) クーラント温度センサー | 65) ABS ヒューズ |
| 18) 診断コネクター | 43) 気温センサー | 66) ABS コントロールユニット |
| 19) 車両コントロールユニット
(BBS) | 44) ホリゾンタル TPS | |
| 20) EX-UP モーター | 45) パーチカル TPS | |
| 21) ギアセンサー | 46) ホリゾンタルメインインジェ
クター | |
| 22) リアスピードセンサー | 47) ホリゾンタルスーパーライン
ジェクター | |
| 23) フロントスピードセンサー | 48) パーチカルメインインジェク
ター | |
| 24) フェューエルポンプ | | |
| 25) 燃料レベル | | |

配線カラー表

B 青

W 白

V 紫

BK 黒

Y 黄

R 赤

LB ライトブルー

GR グレー

G 緑

BN 茶

O オレンジ

P ピンク

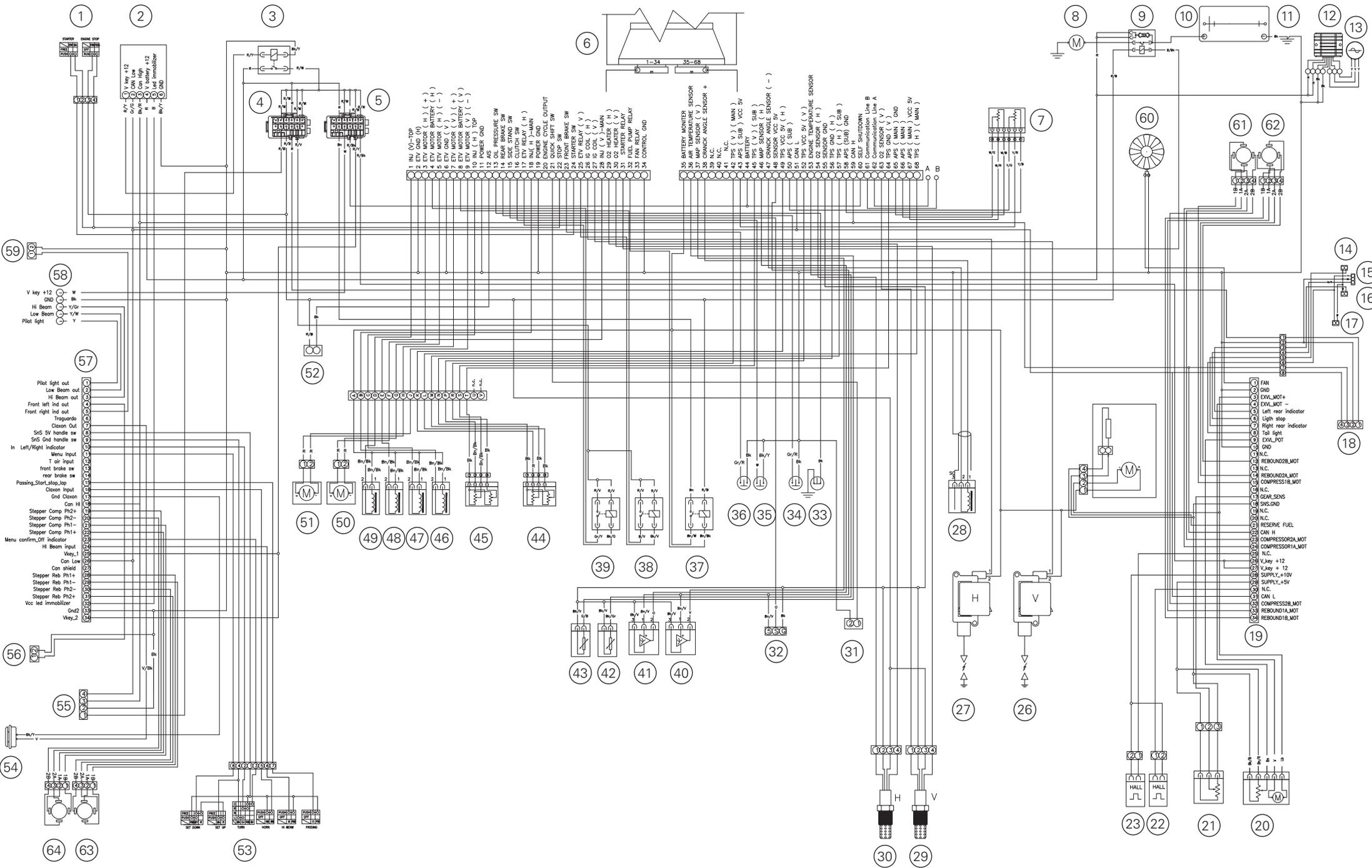


参考

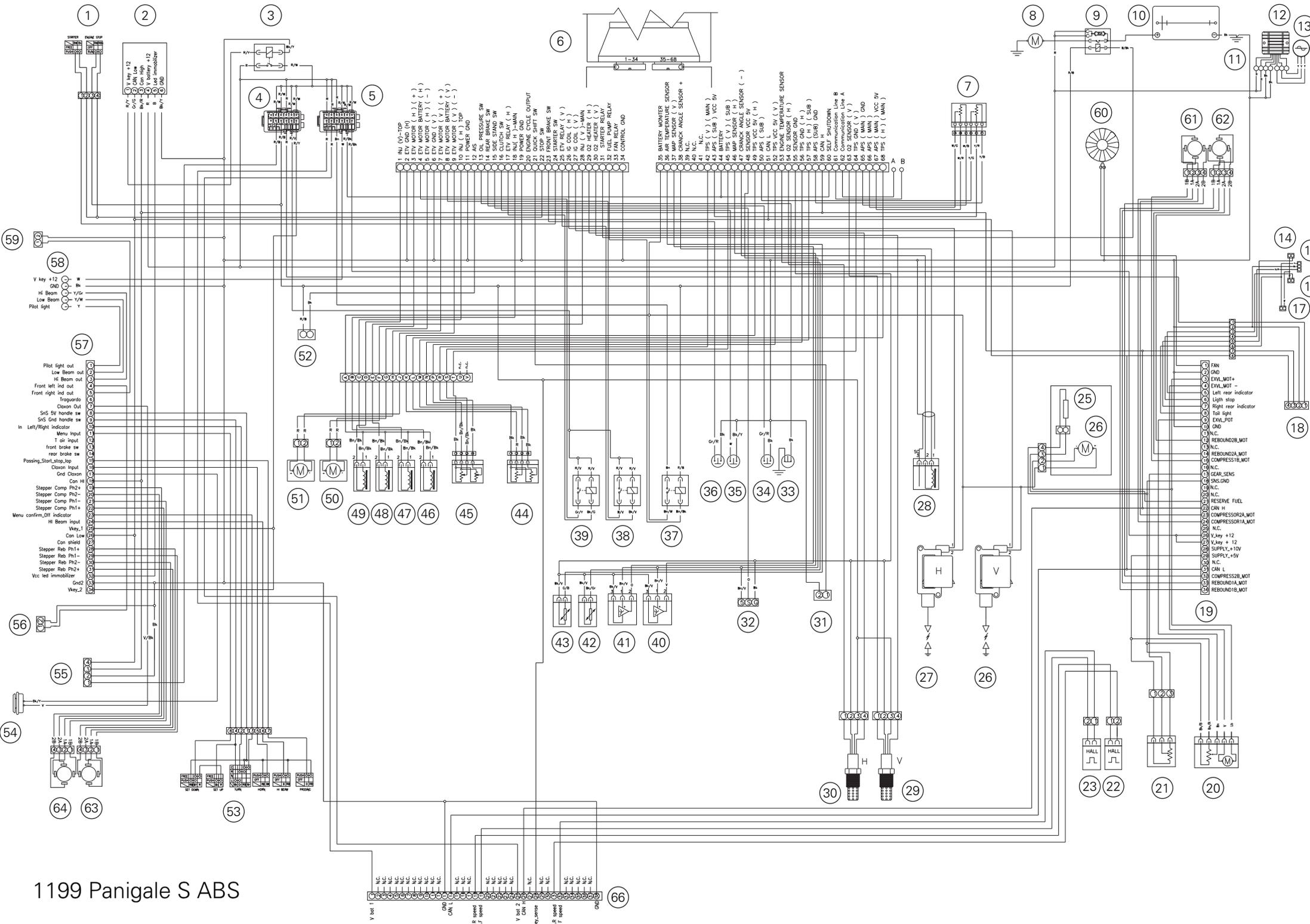
配線図はマニュアルの最後部にあります。

定期点検メモ

KM	DUCATI サービスセンター名	走行距離	実施日
1000			
12000			
24000			
36000			
48000			
60000			



1199 Panigale S



1199 Panigale S ABS

Stampato 02/2012

Cod. 913.7.190.1B

Ducati Motor Holding spa
www.ducati.com

Via Cavalieri Ducati, 3
40132 Bologna, Italia
Tel. +39 051 6413111
Fax +39 051 406580

cod 913.7.190.1B